

• 海軍時代

◦ 渡米以前

▪ 一、就学期

- 1 海軍兵学寮優等褒賞状 明治一〇年 活版 一綴 運用科・砲術科・測量科優等
- 2 試験問題集 明治初年 墨書・ペン・活版 一冊 海軍兵学寮・海軍兵学校試験問題綴
- 3 運用術写本（英文） 斎藤実 ペン
- 4 運用術写本（英文） 斎藤実 ペン
- 5 Field Fortification 斎藤実 ペン
- 6 Sail Making Book 1 斎藤実 ペン
- 7 水雷術修学ノート
 - (1) 甲 斎藤実 明治一六年 墨書 一綴 座学教程（電池論・電池接・電気計・発火電鑰他） 実地施業
 - (2) 乙 斎藤実 明治一六年 墨書 一綴 「ハーバー」氏水雷論
 - (3) 丙 斎藤実 明治一六年 墨書 一綴 水雷網 機関砲 番船 防御総論
 - (4) 丁 斎藤実 明治一六年 墨書 一綴 電気灯論
 - (5) 戊 斎藤実 明治一六年 墨書 一綴 障害物除去法
 - (6) 己 斎藤実 明治一六年 墨書 一綴 モナーク号夜襲防御発砲電路
 - (7) 斎藤実覚書 明治一六年 ペン・鉛筆 一〇枚 Correction Table for Director他
- 8 Shell roomの構造について 一八七四年三月三日 ペン 枚

◦ 在米時代

▪ 二、在米中公信

- 1 軍秘第八七号 北米合衆国他派遣内訓書 海軍軍事部長仁礼景範 斎藤実宛 明治一七年四月二五日 墨書 海軍省 野紙 一綴 艦砲研究 米国及欧州諸国海軍兵制兵略取調
- 2 軍乙第四三七号の三他 軍事部指令書 斎藤実宛 明治一八年 墨書 海軍省野紙 一綴 「ニューオリエンズ」万国博覧会出張旅費関係（付）明細書控
- 3 軍甲第一二八四号 軍事部長仁礼景範達書 斎藤実宛 明治一八年十一月一四日 墨書 海軍省野紙 一枚 報告書式につき（付）大使或は国使附武官職務上の報告 墨書 海軍省野紙 一綴
- 4 調査一一八号 郵便税領収書回送依頼 旧調度局副長荒川主計中監 斎藤実宛 明治一九年二月一五日 墨書 海軍省野紙 一綴（付）領収書草稿 斎藤実 海軍主計少監本田親之宛
- 5 堀井兵学校長秘書回答書 斎藤実宛 明治二一年一月一四日 墨書 海軍省野紙 一枚 書籍代送付通知（付）斎藤書翰控 堀井大主計宛 明治二一年三月五日 合衆国海軍協会雑誌二〇年二一年分代価領収
- 6 参計第七六号ノ三 兵語字林代価請求に関する返書 君島海軍大主計 斎藤実宛 明治二一年一月二六日 墨書 参謀本部野紙 一綴
- 7 参謀本部海軍部第三局通知 斎藤実宛 明治二一年二月九日 墨書 参謀本部野紙 一枚 書籍接收通知
- 8 兵学校長有地品之允依頼書 斎藤実宛 明治二一年五月二八日 墨書 海軍省野紙 一綴 授業用小銃購買廻送依頼

9 艦政局公文綴 墨書 海軍省野紙 一綴 艦政局長伊藤島吉照会書 斎藤実宛 明治二一年二月二八日 綿火薬製造機械図面仕様書等調製につき伊藤簡吉照会書 斎藤実宛 明治二一年五月八日 綿火薬製造用諸器械火薬試験法及貯蔵法等取調につき 伊藤島吉回答書 斎藤実宛 明治二一年五月九日 綿火薬形状等何用を問わず製図せしめられたし

- 10 参謀本部海軍部計官公文綴 墨書 参謀本部野紙 一綴 参謀本部海軍部計官君嶋胤広送金書 斎藤実宛 明治二一年四月一八日 帰朝旅費送金君嶋胤広送金書 斎藤実宛 明治二一年一月二四日 君嶋胤広送金書 斎藤実宛 明治二一年五月 出張旅費 君嶋胤広送金書 斎藤実宛 明治二一年五月二六日
- 11 参謀本部海軍部副官公文綴 墨書 参謀本部野紙 一綴 参謀本部海軍部副官杉盛道申進 斎藤実宛 明治二一年二月七日 帰朝旅金賄手当送金杉盛道通達 斎藤実宛 明治二一年二月九日 合衆国海軍軍学校規則教程等調査後加奈太植民政庁管下英国海軍諸官庁等視察し帰朝のこと 杉盛道問合斎藤実宛 明治二一年三月三〇日 「ニューポート」海軍軍学校調査済なるか 杉盛道申進 斎藤実宛 明治二一年四月一〇日 御辞令書写送付 杉盛道申進斎藤実宛 明治二一年五月一〇日 馬場大尉到着迄滞在のこと 海軍参謀本部副官申進 斎藤実宛 明治二一年五月一八日 辞令書写送付
- 12 返納告知書 参謀本部海軍部計官海軍大主計君嶋胤広 明治二一年一月一九日 墨書・鉛筆 一綴 (付) 斎藤実 覚書
- 13 参謀本部海軍部第三局回答 斎藤実宛 明治二一年一月一八日 墨書 参謀本部野紙 一枚 書籍送付の件
- 14 在米国特命全権公使通牒草稿 斎藤実 海軍大臣西郷従道宛 明治二一年六月二〇日 ペン 一綴 米国海軍兵学校在学生徒仁礼景一成績について (付) T.F.Bayard書翰 一八八八年六月一九日
- 15 在米公使館付武官中来信 (公文の部) 明治一七年六月一一八年一二月 墨書・ペン 一綴 信号用短銃二挺並に薬包二百個購求代価取調関係達書 (三通) 書籍 (『仏国海軍戦記』他三冊) 購求廻送達書 土工用鋤讓受け送付達書米国在留中公使館附兼勤辞令受書差出べく達書 斎藤実公使館附服命通知書案 (特命全権公使九鬼隆一 国務卿フレデリッキ、ティー、フレリングハイセン宛) 他
- 16 外国派遣艦長将校報告文例内達書 海軍卿川村純義 軍事部長仁礼景範宛 明治一八年一一月五日 蒟蒻版 一枚
- 17 伊国派遣訓示書 参謀本部長二品熾仁親王 貴島才蔵宛 明治一九年四月一七日 墨書 海軍参謀本部野紙 一綴 語学研究 海軍兵制及び軍人慣習取調
- 三、在米中ノート
 - 1 在米中ノート 明治一七年頃 ペン・鉛筆 一冊 Port of London
 - 2 在米中ノート 明治一八年 ペン 一冊 Removing Obstructions & the Clearing of Channels他 (付) 新聞切抜 Torpedo Swimmers-old and new 活版 一枚
 - 3 在米中ノート 明治一八年 ペン 一冊 Defensive Torpedo (part II) (付) 新聞切抜 Carbonic Acid Gas Liquefied and Solidified 活版 一枚
 - 4 在米中ノート ペン・鉛筆 一冊 Note From the Naval Hygiene Dedensive Torpedoed (part I) 他 (付) 斎藤実書翰案 ペン 一枚
 - 5 在米中ノート ペン 一冊 projection に関するQ&A
- 四、報告書案
 - 1 米国報告書案 斎藤実 墨書 海軍省野紙・在米国日本公使館野紙
 - (1) 合衆国海軍戦術学校等の義に付報告 海軍卿川村純義宛 明治一八年一月一日 一綴
 - (2) 合衆国海軍費額議定外三件報告 川村純義宛 明治一八年二月五日 一綴

(3) 米合衆国海岸防御に関する件報告 川村純義宛 明治一八年二月一八日 一綴 (付) 送付状案 軍事部宛 一枚

- (4) 合衆国陸海軍大砲砲具に関する件報告 明治一八年二月一八日 二点
- (5) 「エリオット」氏試造鋤之儀上請 川村純義宛 明治一八年二月一八日 一枚
- (6) 新形軽気船発明報告 軍事部宛 明治一八年二月一八日 一枚
- (7) 合衆国海軍費用及造船等に関する件に付報告 川村純義宛 明治一八年二月二五日 一綴
- (8) 水雷其他兵器に関する報告 明治一八年三月一日 一枚
- (9) 合衆国海軍用大砲に関する件報告 川村純義宛 明治一八年三月一日 一綴
- (10) 合衆国海陸軍に関する議決報告 川村純義宛 明治一八年三月一日 一綴 (付) 天文的算定法の義に関する冊子進達一新聞切抜貼付一 川村純義宛 明治一八年三月一日 一点
- (11) 英国挨及関係に関する論説送付 軍事部宛 明治一八年三月一日 一枚
- (12) 合衆国海軍下士以下服制改正の儀に付報告 川村純義宛 明治一八年三月二七日 一枚
- (13) 書籍進達に付副申並に伺 明治一八年三月二七日 一枚
- (14) 中央亜米利加騒擾の儀に付報告 川村純義宛 明治一八年三月二七日 六枚
- (15) 「ニューオリエンズ」博覧会出張の儀に付御届 軍事部長仁礼景範宛 明治一八年三月二七日 一枚
- (16) 海軍服制送付上請 川村純義宛 明治一八年四月三日 一枚
- (17) 海軍学校に関する書類進達 川村純義宛 明治一八年四月四日 一枚
- (18) 中央亜米利加兵事に関する近況報告 川村純義宛 明治一八年四月二日 一綴
- (19) 調度局長依頼書類送付書 調度局長田中綱常・軍事部長仁礼景範宛 明治一八年四月二〇日 一枚
- (20) 「ハウエル」水雷の儀に付報告 川村純義宛 明治一八年五月一日 三枚
- (21) 中央亜米利加騒擾に関する報告並に書類進達 川村純義宛 明治一八年五月一日 一枚
- (22) 「ダイナマイト」弾丸発射の実験に関し報告案 川村純義宛 明治一八年五月二日 一綴 (付) 新聞切抜 活版 一枚
- (23) 合衆国海軍に関する事項報告 川村純義宛 明治一八年五月一三日 三枚 新艦 石炭調査 割烹学校
- (24) 陸軍兵器に関する件報告 川村純義宛 明治一八年五月一三日 一枚
- (25) 難破船人命救助法に関する報告並博覧会出品説明目録進達 川村純義宛 明治一八年五月二五日 一枚
- (26) 海陸軍卿報告書上進 川村純義宛 明治一八年六月五日 一枚
- (27) 博覧会出品中病院汽船に関する件報告 川村純義宛 明治一八年六月九日 一綴
- (28) 合衆国海軍卿報告書進達に付報告 明治一八年六月九日 一綴
- (29) 「ウキーク」水雷に関する報告 川村純義宛 明治一八年七月一三日 二枚 (付) 新聞切抜 活版 一枚
- (30) 水雷学校行の義に付上請 仁礼景範宛 明治一八年七月一三日 二枚
- (31) 「パナマ」地方派遣兵の実験に関する件報告 川村純義宛 明治一八年七月二四日 二枚
- (32) 合衆国製造新艦に関し報告 川村純義宛 明治一八年八月二日 一枚
- (33) 本年七月に至る各国海軍の挙動記事進達 明治一八年八月二日 一枚
- (34) 一二尹鑄鉄後装施条砲試験の報告 明治一八年九月二五日 一枚

- (35) 諸種水雷に関する米国専売免許状上送付報告 川村純義宛 明治一八年九月二五日 二枚
- (36) 海軍戦術学校に関し報告 明治一八年九月二五日 川村純義宛 一枚
- (37) 水雷衛所等出張之義に付報告 川村純義宛 明治一八年九月二五日 一枚 (付) 普一五八号「エリオット」氏より請求御達に付仰上裁の件 一枚
- (38) 合衆国軍艦新造に関する報告 明治一八年一〇月一〇日 一〇枚
- (39) 「クスタッター」螺旋及南米戦争記事報告 川村純義宛 明治一八年一〇月一〇日 一枚
- (40) 合衆国海軍雑誌一八号兵員練習法上送 川村純義宛 明治一八年一〇月一五日 一枚
- (41) 「ファロウ」氏兵事字林軍事部經由により外務省へ送付書 調度局宛 明治一八年一二月一一日 一枚
- (42) 「ファロウ」氏兵事字林軍事部を經由して調度局へ送付書 調度局・軍事部宛 明治一九年一月二日 一枚
- 2 報告番号控 斎藤実 明治一八・一九年 ペン 一冊 No1-99在米報告標題
- 五、在米中雑資料
 - 1 Regulations and Programme of Instruction of the United States Artillery School 1882 Washing Government Printing Office 一八八四年 活版
 - 2 米国海軍軍学校長の報告他 明治一七年 活版 一綴 米国海軍軍学校長の報告二月四日上院の議決に対し「ロード・アイランド」州「コースタース・ハーバー」島に海軍将校高等学校設立に関し海軍大臣の処分したる事項を報告せる同大臣の書翰 海軍高等学校設立委員報告 米国海軍軍学校長の報告 (第二高等学校課程の綱領) 海軍軍学校の設立 米国海軍軍学校
 - 3 Examination Papers The U. S. Naval Torpedo School 斎藤実 一八八五年 ペン 一綴 (付) 斎藤覚書 一枚
 - 4 Map of Newport, R. I. 一八八五年 活版 一枚
 - 5 Trade Price List C. J. Chapin Arms Co. 一八八五年 活版
 - 6 General Legendre 意見書 (写) 米国下院海軍委員会委員長工H. Herbert宛 一八八六年三月二九日 ペン 一綴 海軍再編の報告に対する意見書
 - 7 Paul Amnell 意見書 米国下院海軍委員会委員長H. Herbert 宛 一八八六年四月二一日 タイプ 四枚
 - 8 B. F. Sturtevant's Illustrated Catalogue Blowers and Exhaust Fans, Steam Fans, Steam Engines, Steam Heaters, Steam Hot-Blast Apparatus 一八八五-一八八六年 活版
 - 9 外国雑誌等切抜
 - (1) Measures and Weights 活版 一綴
 - (2) The Battle of Abu-Klea "The Nineteenth Century" 一八八六年一月 活版 一綴
 - (3) The Strength and Weakness of England in India H. M. Lazelle 活版 一綴
 - (4) The Administration of the Navy 1880-85. Thomas Brassey "The Nineteenth Century" 一八八六年一月 活版 一綴
 - (5) Monte Carlo : Its Games and Gamesters 他 "The Cosmopolitan" 一八八六年 活版 一綴
 - (6) The British Navy Edward Reed "Harper's New Monthly Magazine" 一八八六年二月 活版 一綴
 - (7) Our New Navy W. S. Hughes "The American Magazine" 活版 一綴
 - (8) The Naval Mobilization and Manoeuvres of '88 "Colburn's United Service Magazine" 一八八八年八月 活版 一綴

10 Night Signals 関係書類

- (1) Conston's Telegraphic Night Signals 活版
- (2) Distinguishing Night Signals of Steamship Lines, &C. 活版 一枚
- (3) W. F. Conston・斎藤実往復書翰 一八八六・八七年 ペン 四通
- 11 西郷海軍大臣滞米中調書
 - (1) 西郷海軍大臣滞米中陸海軍及私立兵器製造所取調書案 明治一九年 鉛筆 海軍造船廠 私立造船所 製造中艦船 水雷艇他
 - (2) 雑誌切抜 活版 一〇点
- 西郷海軍大臣随行巡視中 Gun に関する記事
 - 12 Instructions for the Torpedo Board Bureau of Ordnance, Navy Department 一八八七年四月 活版 一綴
- (付) Questions relating to Whitehead Torpedo 活版 一枚
 - 13 Pilot Chart of the North Atlantic Ocean 一八八七年八月版・同一〇月版・一八八八年二月版 活版 三枚
- (付) Waterspouts of the Atlantic Coast of United States 一八八八年一一二月 活版 一枚
 - 14 E. M. Bentley 書翰 斎藤実宛 一八八六年八月二日 ペン 一枚 艦船参観許可
- 15 Norton's Life Boats に関する報告参考書類
 - (1) Norton's Life Boats に関する書翰等写 一八八六年 タイプ 四点 Extracts from Letters from A. Anderson, Director of the Danish Life-Saving Service, Coast of Jutland他
 - (2) Scientific American 一八八七年六月二五日 活版 一部
 - (3) Report of United States Naval Board on Norton's Life Boats 他 一八八六年 活版四点
 - (4) By-Laws of the Norton Ship-Building Company of Virginia and West Virginia 一八八七年 活版 一部
 - (5) Norton's Life Boat に関する新聞切抜等 活版 七点
- 16 Watchman's Improved Time Detectors 一八八七年 活版 一綴
- 17 砲術協会講義録 第四九号附函 明治二〇年 一綴 クルップ式急火砲写真 三〇ポンド急火砲写真 ホッチキス三ポンド急火砲写真 三〇ポンド急火砲図 ホッチキス三ポンド急火砲図
- 18 紹介状案 斎藤実 明治二〇年 ペン 一枚 G.Yasunaga の紹介
- 19 J. E. Wallen (Navy Department) 書翰 斎藤実宛 一八八七年四月八日 タイプ 二枚 Naval Academy 日本人 受入規則送付
- 20 Jno. P. Finley (Lieutenant, Signal Corps U. S. Army) 書翰 (写) The Minister of War for Japan 宛 一八八七年六月二三日 タイプ 一綴 Signal 器具について
- 21 Hartlay & Graham Arms and ammunition 書翰 斎藤実宛 一八八八年七月一〇・一三日 ペン 二通 資料送付
- 22 J. G. Glynn (U. S. Navy Academy) 書翰 斎藤実宛 一八八七年一一月一五日 ペン 一枚 資料送付通知
(付) U.S.Navy Academy 規則 活版 一枚
- 23 J. G. Glynn (U. S. Navy Academy) 書翰 斎藤実宛 一八八七年一一月一六日 ペン 一枚 書式送付通知
- 24 Ventilation and Heating Principles and Application B. B. Sturtevant 一八八八年 活版
- 25 Dry Dock at Esquimalt (図) 一八八八年七月 活版 二枚
- 26 Ships and Machinay 蒔蒨版・活版 五枚 米国工作船 (Deck Plan of the United States Repair Ship "Vulcan") 米国蒸溜水船 (The United States Distilling Ship "Iris") 艦船に於て遠距離偵察用一人乗繫止軽気球

水雷艇又は敵地占領の際急速無線電垂直線引揚用軽気球

- 27 The American Tool and Machine Co.書翰 斎藤実宛 一八八八年一月一三日 ペン 一綴
- Weston's Centrifugal Clothes Wringer 広告文同封
 - 28 I.H.Horne and Sons 書翰 斎藤実宛 一八八八年一月一三日 ペン 一綴 Pulping Machine について
 - 29 Davis and Furber Machine Co. 書翰 斎藤実宛 一八八八年一月一三日 ペン 一綴 Cotton Piker について
 - 30 William Sellers & Co.Incorporated 書翰 斎藤実宛 一八八八年一月一日 タイプ 一綴 Hydraulic Press について
 - 31 B. B. Sturtevant 書翰 斎藤実宛 一八八八年一月一三日 ペン 一綴 Blower について
 - 32 Armington and Simes Engine Company 書翰 斎藤実宛 一八八八年一月一三日 ペン 一枚 Engine について
 - 33 Everett Frazar 書翰 斎藤実宛 一八八八年一月一八日 タイプ 一枚 Armington and Simes Engine について
 - 34 A. Angstrom・斎藤実往復書翰 一八八八年四月 ペン 四点 Gun Cotton Factory に関する新聞記事同封
 - 35 Truman (President, American Helio-Telegraph and Signal Light Company) 書翰 斎藤実宛 一八八八年四月一七日 タイプ 一綴 信号に関する図書送付
 - 36 Winchester Repeating Arms Co.・斎藤実往復書翰 一八八八年七月 ペン・タイプ 四枚 Hotchkiss repeating rifle, Shot Gun について
 - 37 J. A. H. Patril 書翰 一八八八年六月二七日 ペン 一枚 水雷試験見学 (付) 陸奥宗光返書案 一八八八年六月二八日 ペン 一枚
 - 38 Colt's Patent Fire Arms Manufacturing Co.・斎藤実往復書翰 一八八八・八九年 ペン 五通
 - 39 コルト拳銃に関する書翰翻訳
 - (1) コルト製造会社書翰 斎藤実宛 一八八八年七月一八日 墨書 海軍参謀本部野紙 一枚 拳銃見本について (付) 書翰原文 翻訳草稿及びメモ 三枚
 - (2) コルト製造会社書翰 斎藤実宛 一八八九年一月一〇日 墨書 海軍参謀本部野紙 一枚 拳銃見本進達 (付) 翻訳草稿 墨書 一綴
 - 40 1884 Illustrated Catalogue Pittsburgh Fire Arms Company 活版
 - 41 書籍目録 ペン 一綴 日本向発送書目 一八八五年三月一八八八年六月
 - 42 新聞切抜・斎藤実覚書断簡 活版・ペン・鉛筆 四点
 - 43 トーマス・エジソン氏意見 タイプ 五枚 電気によるサンフランシスコ防衛案
 - 44 米国海軍報告式 明治二〇年 墨書 参事本部野紙 一綴 甲号報告項目書式 乙号乗組員報告項目書式 丙号装鉄兵器等報告項目書式丁号諸装備操練等報告項目書式 戊号機関汽缶等報告項目書式 己号端舟等報告項目書式 港湾沿海等防御報告項目書式 攻撃方案報告項目書式庚号便利事項報告項目書式 通信上其他諸項報告書式 国勢一般報告項目書式 別途水路諸報告項目書式 別途特別報告書式 庚号速力装置報告項目書式外国商売汽船に係わる報告項目書式 灯標等特報項目書式 第三十四号海軍省通信局及水路部示令
 - 45 水雷艇に関する報告書案 斎藤実 墨書 海軍省野紙他 一綴 (付) 斎藤実覚書 墨書 一枚
 - 46 Baltimore & Potomac Rail Road Co.・領収書綴 一八八八年 活版・ペン 一綴
 - 47 米国在勤中金銭出納簿 斎藤実 墨書・ペン 三冊
 - 48 在米時代招待状他 一二点
- 六、アルミニウムブロンズに関する書類
 - 1 明治一九年一月二一日報告草稿 斎藤実 海軍大臣宛 明治一九年一月二一日 墨書 在米国日本公使館野紙 一綴

兵器製造に適すべき金属の件

- 2 斎藤実覚書 明治二〇年 ペン 三点 アルミナムブロンズについて本国問合の件他
- 3 斎藤実覚書断簡 ペン・鉛筆 四枚
- 4 合衆国海軍の新式砲製造方針について（草稿） 墨書 海軍野紙他 二点
- 5 西郷海軍大臣随行記事より抜粋 鉛筆 一枚 アルミナムブロンズの件
- 6 斎藤実書翰草稿 陸奥宗光全権公使宛 明治二一年九月二日 ペン 一枚 アルミナムブロンズについて
- 7 大河平才蔵書翰 斎藤実宛 一二月五日 墨書 一通 アルミヤムスチールに関する質問 都合問合
- 8 大河平才蔵書翰 斎藤実宛 一二月一日 墨書 一通 アルミヤムアイロン書類送付感謝
- 9 大河平才蔵書翰 斎藤実宛 一五日 墨書 一通 アルミヤムアイロン試験について
- 10 近藤陸三郎書翰 斎藤実宛 明治二一年一〇月一〇日 ペン 一枚 アルミナムブロンズ製造所視察について
- 11 近藤陸三郎書翰 斎藤実宛 明治二一年 墨書 海軍参謀本部野紙 一綴 アルミナムブロンズ製造所点検（付）アルミナムブロンズ価格表 Leward Waldo 書翰 近藤陸三郎宛 明治二一年一〇月六日
- 12 Romaine C. Cole 書翰 斎藤実宛 一八八六年一月二三日 ペン 二通
- 13 Extract from Report of Wm. H. Harris, Chief Engineer U. S. N. 活版 二枚
- 14 Electric Furnace United States Patent Office 一八八七年 活版 一綴
- 15 Electric Furnace for Metallurgic Operations United States Patent Office 一八八六年 活版 一綴
- 16 Electric Furnace and Method of Operating the Same United States Patent Office 一八八六年 活版 一綴
- 17 Aluminum Bronze and Aluminum Brass The Cowles Electric Smelting and Aluminum Co. 一八八六年四月 活版 一枚
- 18 Strength and Other Mechanical Properties of Alumium Alloys The Cowles Electric Smelting and Aluminum Co. 一八八八年九月 活版 同文二部
- 19 Influence of Alumium on Cast Iron The Cowles Electric Smelting and Aluminum Co. 一八八八年 活版 同文二部
- 20 Aluminum in Cast iron Office of the The Cowles Electric Smelting and Aluminum Company 一八八八年八月三一日 活版 一部 Editorfal from London "Engineering"
- 21 官報・新聞記事切抜 明治一八年 活版 三枚 銅綱に関する参考他
- 22 英文雑誌記事切抜 一八八七年 活版 七枚
- 七、樺山資紀滞米資料
 - 1 赤羽四郎電報 斎藤実宛 明治二〇年二月二日 ペン 一枚 樺山到着報告
 - 2 R. P. Rodgers (Office of Naval Intelligence) 書翰 斎藤実宛 一八八七年二月八日 ペン 一枚 樺山到着日問合
 - 3 W. H. Jacques 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月九日 ペン 一枚 案内できず陳謝
 - 4 斎藤実書翰案 Jacques 宛 一八八七年 鉛筆 一枚 参観報告感謝
 - 5 E. I. Dupont Co. 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月一日 ペン 一枚 参観許可
 - 6 斎藤実電報案 Du Pont & Co. 宛 Bethlehem Iron Co. 宛 ペン 一枚 参観日変更
 - 7 斎藤実書翰案 John Frits (Bethlehem Iron Co.) 宛 ペン 一枚 参観依頼
 - 8 John Frits (Bethlehem Iron Co.) 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月二日 ペン 一枚 参観許可
 - 9 斎藤実書翰案 John Frits 宛 ペン 一枚 参観日変更
 - 10 斎藤実書翰案 Chas. H. Cramp 宛 ペン 一枚 参観依頼

- 11 Chas. H. Cramp 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月三日 ペン 一枚 参観依頼受取
- 12 J. A. Stowell 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月三日 ペン 一枚 水雷参観延期願
- 13 W. N. Hastings 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月四日 ペン 二枚 リバプール行乗船について
- 14 J. G. Glynn 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月六日 ペン 一枚 書式送付
- 15 J. A. Patrick 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月二三日 ペン 一枚 水雷試験見学許可
- 16 A. Mordecai (New York Arsnel) 書翰 斎藤実宛 一八八七年一月二七日 ペン 一枚 樺山一行演習場参観
- 17 A. Mordecai 電報 斎藤実宛 一八八七年一月二九日 ペン 一枚 約束確認
- 18 斎藤実書翰案 Captain Howell 宛 一八八七年一月 ペン 一枚 水雷参観依頼
- 19 斎藤実書翰案 G. E. Haight 宛 一八八七年一月 ペン 一枚 水雷参観依頼
- 20 Chas. H. Cramp 書翰 斎藤実宛 一八八七年二月三日 ペン 一枚 会社案内送付
- 21 E. V. Zalinski (Pneumatic Dynamite Gun Company) 書翰 斎藤実宛 一八八七年二月四日 ペン 一枚 大砲に関するパンフレット送付
- 22 Wm. F. Coston (New York Yacht Club) 書翰 斎藤実宛 一八八七年二月七日 ペン 一枚 招待状
- 23 斎藤実書翰案 J. G. Glynn 宛 一八八七年二月一〇日 ペン 一枚 感謝状
- 24 山本権兵衛書翰 斎藤実宛 一八八七年二月二〇日 ペン 一枚 樺山一同安着の報告
- 25 樺山資紀申進 斎藤実宛 一八八七年二月二三日 墨書 一枚 拙者一行去一八日無事英国着 ダイナマイト砲注文之儀について
- 26 斎藤実書翰案 Du Pont & Co. 宛 一八八七年二月 ペン 一枚 火薬工場参観依頼
- 27 遠藤喜太郎書翰 斎藤実宛 明治二年一月二日 ペン 一枚 滞米中周旋感謝 欧州海軍調査の予定
- 八、 欧州巡回報告
 - 1 巡回報告のconclusionに参照すべきもの 明治二〇年一月三月 活版・ペン 一括 新聞切抜 (Scientific American 他) ・斎藤覚書・地図
 - 2 欧州巡回報告参考新聞切抜 地図 明治一九・二〇年 活版 一括 The Mechanical Engineer ・ Scientific Amewrican 他 斎藤書込みあり
 - 3 欧州巡回報告に関する斎藤実覚書 明治一九・二〇年 ペン・鉛筆 一括
 - 4 ドイツ軍艦図他 銅版 五枚 TheKing ・ The Lai Yuan Pansefahzzeug "Wespe" Panzerschiff"Sachsen" 独艦「グレーフ」号 気球
 - 5 独国軍港「ウィルヘルムスハーヘン」造船所略図 ペン 一枚
 - 6 独国軍港「キール」及同所海軍船廠ノ図 ペン 一枚
 - 7 欧州巡回の記事 明治二〇年 墨書・朱書 一綴 独乙国記事草稿 雑誌「中外兵談」に書込み
 - 8 旅行日誌 明治一九年二月三〇日ー明治二〇年一月一日 鉛筆 一綴 spezia昌市地図帳の裏面に書込み
 - 9 西郷従道公閣下の前に於て試砲射的の順序 一八八七年二月 活版 三枚
- 九、 カナダ調査報告
 - 1 加奈陀調査報告書 明治二年 ペン 一綴 (付) Pilot Chart of the Borth Atlantic Ocean 活版 一枚
 - 2 加奈陀調査報告書草稿 明治二年 ペン・鉛筆 一括
 - 3 加奈陀調査報告書関係新聞切抜他 一八八八年 活版 一括
- 新聞切抜 (Pall Mall Budget ・ The Canadian Militia Gazette 他) 時刻表他

○ 日清戦前

一〇、海軍参謀本部

- 1 陸奥宗光紹介状 井上伯宛・渋沢栄一宛 明治二一年八月二二日 墨書 二通
- 2 開通社領収書 斎藤実宛 明治二一年一一月一三日 墨書 三枚 (付) 横浜税関輸入免状 斎藤実覚書
- 3 斎藤実書翰案 海軍少将有地品之允宛 明治二一年一一月二〇日 墨書 海軍参謀本部野紙 一枚 購入御下命連発 銃今般帰朝之際携い帰り候
- 4 学計第一三四号 兵学校主計部申進 斎藤実宛 明治二一年二月二九日 墨書 海軍省野紙 一枚 連発銃代価送付
- 5 公使館附海軍将校への一般訓令案 明治二二年 墨書海軍参謀本部野紙 一綴 訓令案草稿
- 6 英国造船会社扶助料に関する調 斎藤実 墨書 海軍参謀本部野紙 一綴
- 7 「作戦計画材料の統計簿を作る事」他意見書 墨書 海軍参謀本部野紙 一綴 作戦計画材料の統計簿を作る事 同 統計簿目次牒報を得るの方法を講ずる事 参謀将校に対策せしむる事 時日を定め本部内に参謀将校を会同する 事 参謀将校に作戦案を作らしむる事牒報の目的を以て隣邦に軍艦を派遣する事 省部事務施行の円滑を計る事
- 8 廿一年九月調海員調査表・廿一年七月調船数表抜萃 墨書 海軍参謀本部野紙 一枚
- 9 海軍整備拡張意見書 墨書 海軍参謀本部野紙 一綴 新値造船 海岸防御司令権限決定他
- 10 斎藤実覚書 英国補助巡洋艦 墨書 一枚
- 11 Number of the Ships Proposed 表 鉛筆 一枚 (付) 下士以下現員調 明治二一年二月一日調 ペン 一枚
- 12 航海所用費調 斎藤実 鉛筆 一枚
- 13 The Japan Mail Summary 一八八九年二月一五日号 活版 一部
- 14 露式発光信号及米製発射信号試験予定 墨書 海軍参謀本部野紙 一枚 試験法 試験手続
- 15 明治二二年士官学術検査問題甲種 明治二二年 活版・蒟蒻版 六枚 受験者心得 士官学術検査日割及学科 士官学術検査問題甲種・大尉 (砲術 水雷術 航海術 運用術)
- 16 明治二三年士官学術検査問題甲種 明治二三年 活版 六枚 受験者心得 士官学術検査日割及学科 士官学術検査問題甲種・大尉 (砲術 水雷術 航海術 運用術)
- 一一、海上勤務・海軍省課僚・侍従武官
 - 1 「ホイルロープ」変更に付上申及再上申 高雄艦長心得山本権兵衛 横須賀鎮守府司令長官仁礼景範宛 明治二二年四月二九日 (上申書)・五月一日 (再上申) 墨書 海軍野紙 一綴 「ホイルロープ」変更相成度 上申書 造船部反対意見書 (五月三日付)
 - 2 Selden A. Day (U. S. Army) 書翰 斎藤実宛 一八八九年五月二三日 ペン 一枚 Special Electric Rifle について (付) 名刺 一枚
 - 3 Remarks on the Naval Manoeuvres 1890 by Capt, Ingles, R. N. (写) 一八九〇年 ペン 一綴
 - 4 横須賀鎮守府下士卒定員表・各練習員表 (明治二三年六月一日)・造船部伍長職工現在員調 (明治二三年七月一〇日) 明治二三年 墨書・蒟蒻版・印刷 一綴 (付) 集弾発射法等通知 海軍大臣西郷従道 常備小艦隊司令官伊東祐亨宛 明治二〇年七月二二日
 - 5 Army and Navy Register 一八九一年一〇月三日号 活版 一部
 - 6 仏国軍港陸上司令官の廃止 (翻訳) 一八九一年 蒟蒻版 一綴 鎮守府条例改正案に添え大統領に奉呈したる海軍大臣の上申書 鎮守府条例改正案
 - 7 La Marine francaise, no143 一八九一年六月二八日 活版
 - 8 La Marine francaise, no149 一八九一年八月九日 活版
 - 9 巡洋艦噸傍号始末等調査報告 明治二四年 活版 一冊 巡洋艦噸傍号始末 艦船総数表 (明治二四年八月三一日)

調) 累年軍艦製造事業支出金額 (明治一六二四年) 軍艦製造費始末 (明治二四年八月調) 特別費始末 (明治二四年八月調) 海軍軍人俸給表海軍軍人定員表 (明治二四年八月三十一日調) 海軍軍人手当金表 海軍文官俸給表 海軍文官定員表 (明治二四年九月調) 糧食給与人員品目定数經費表 (明治二四年九月調) 明治二三年度海軍各庁決算現計総括表 明治二三年度歳出經常部各庁決算現計 二三年度艦団隊校別現計表 (明治二四年八月三十一日調) 最近三ヶ年被服費 下士卒被服物品給与及貸与員数表 被服物品交換期及定数 被服給与人員定数制式表 各国歳出及陸海軍費比較表 最近五ヶ年軍艦修理費 平均額表 最近五ヶ年演習費 累年兵器購買製作費 累年兵器製造に関する經費 海軍諸学校人員經費表累年人員俸給対照 傭外国人人名及俸給表 賜暇中の俸給減額 仏国海軍武官俸給表等 露国文武官陸上及艦船勤務年俸表等 累年無関税輸入艦船兵器代価調

- 10 Organisation of Quarter Bill and Fighting Arrangement 一八九二年二月二六日 ペン 一枚
- 11 W・H・ゼーキス書翰翻訳 斎藤実宛 一八九二年三月一日 墨書 海軍野紙 一綴 当社製造の砲弾の採用方願い
- 12 On Saluting other Flags in the presence of Sovereign, etc, John Ingles 一八九二年三月一五日 ペン 一枚
- 13 The Iron Age 一八九二年六月一六日・二三日 活版 一綴
- 14 Gen. Grant at the Launch (斎藤覚書) ペン 二枚
- 15 討議を要する件之覚書 斎藤実 明治二五年 墨書 海軍野紙 一綴 各艦經濟速力及び平時艦隊の汽走速力を一定する事他
- 16 斎藤実覚書 明治二五年 墨書 海軍野紙 五枚 艦内軍法會議他 海軍艦隊規定 (常備艦隊軍艦通則草稿)
- 17 高雄航海日程表 ペン 一枚 横浜より新約克
- 18 高雄艦歴写 明治二七年 墨書 海軍野紙 一綴
- 19 各庁定員現員表・各艦船定員現員表 明治二六年一月一日 墨書 一枚
- 20 Regulations of the Vladivostock Harbour Commander of Vladivostock Port 一八九三年 ペン 一綴
- 21 アメリカ新聞切抜 一八九三年 活版 一活 San Francisco Chronicle, The Examiner
- 22 出師準備規定草案 明治二六年一月 謄写版・墨書
- 23 海軍常備彈薬及需品規程草案 明治二六年一月 蒔蒔版 一綴 海軍常備彈薬規程 海軍予備兵器規程 海軍常備軍需品規程
- 24 官報 第三一二八号 明治二六年一月一日 活版 一枚 軍艦団隊定員表 (朱訂)
- 25 海軍大学校 海軍軍医学校 海軍主計学校 砲術練習艦 水雷術練習艦 海兵団 海軍工学校 教育施行の目的に関し建議に属する諸般の意見 教育會議常設の意見
- 26 艦隊第二迴航地予定表他 明治二六年 墨書 海軍野紙 一綴 艦隊第二迴航地予定表 生石第四砲台試験射撃に関する命令海岸砲台試験射撃の目的及順序 (甲・乙号) 「命中射撃」書類 陸上信号所出張員名 明治二六年口達記録 明治二六年六月四日参謀口達の控經濟速力試験施行手續 神戸出帆迄事業順序 奥国フランツ・フェルチナンド親王殿下釜山御乗艦並に長崎 (門司) 御発艦の節艦隊敬礼次第奥国フランツ・フェルチナンド親王殿下釜山御乗艦並に門司御発艦の節敬礼次第
- 27 製造事業に関する原田宗助 (海軍大技監) 意見書 海軍大臣西郷従道宛 明治二六年一月四日 墨書 海軍野紙 一綴 (付) 製砲事業問答 (陸軍省) 呉兵器製造所大坂砲兵工廠合併反対意見書 (軍令部)
- 28 襲撃隊呼集 明治二五年 墨書 海軍野紙 一綴
- 29 水雷艇防御配置大要他 斎藤実 明治二五年 墨書 海軍野紙 一綴 水雷艇防御配置大要 襲撃隊編制大意 衝突用意大要 平常航海衝突操練 総員乗艦配置
- 30 火災士官配置及特別職務表他 斎藤実 鉛筆 一枚

31 海軍軍令部処務細則 明治二七年 印刷

- 32 常備艦隊特命検閲書類写 明治二七年二月二八日 墨書 海軍野紙 一綴 検閲式 常備艦隊特命検閲使海軍中将中牟田倉之助訓示 参考検閲不可碩末事項他
- 33 各艦船各庁将校機関士要員数調表 明治二七年一月 墨書・鉛筆 一枚
- 34 日本 第一六七九号 明治二七年三月九日 活版 一枚 「欧州の陸軍」記事
- 35 The Journal of the Royal United Service Institution 抜粋 一八九四年五月号 ペン 一枚 海上戦術に関する記事

■ 一二、海軍技術会議

- 1 復働信管試験委員担任通知書他 蒟蒻版・墨書 海軍野紙 一綴 復働信管試験委員担任通知書 技術会議議長諸岡頼之 斎藤実宛 明治二七年五月三日 甲乙丙種復働信管試験予定 海軍技術会議条例及規則 議案送付書 池端技術会議幹事 斎藤実宛 明治二七年二月二〇日 議案 距離方位測定儀採否の件海軍大臣西郷従道 諸岡頼之宛 明治二七年二月一五日 博恭王殿下より距離方位測定儀御送呈に付具申 海軍大尉加藤定吉 軍令部長中牟田倉之助宛 明治二六年一〇月七日
- 2 議題 弾底着発信管調査委員長報告の審議 蒟蒻版 一綴 (付) 議案送付開会通知書 池端技術会議幹事 斎藤実宛 明治二七年六月四日
- 3 弾底着発信管考案他 蒟蒻版 一綴 弾底着発信管考案 (付) 図面 弾底着発信管構造説明 (付) 図面 信管説明書 (付) 図面 弾底着発信管意匠説明 (付) 図面 説明問答 (付) 図面 弾底着発信管考案 (付) 図面
- 4 弾底着発信管の説明・図面 蒟蒻版 一綴 (付) 同送付書 池端技術会議幹事 斎藤実宛 明治二七年六月七日
- 5 現今の調査に依り弾丸の常備額に過不足する数額 蒟蒻版 一綴
- 6 技術会議通知書 墨書・蒟蒻版 三枚 復働信管試験委員会通知書 池端技術会議幹事 斎藤実宛 明治二七年六月一五日 弾底着発信管調査委員担任通知書 海軍技術会議議長諸岡頼之 斎藤実宛 明治二七年七月八日 同試験施行通知書 池端技術会議幹事 斎藤実宛 明治二七年七月八日

○ 日清戦争

■ 一三、朝鮮国特派書類

- 1 朝鮮国に特派したる斎藤少佐に与えたる口達・八重山艦長へ与えし命令・注意上の事に付内訓せし件 海軍大臣 明治二七年六月二二日 墨書 海軍野紙 一綴 (付) 土岐裕官房主事命令書送付書 斎藤実宛 明治二七年六月二二日 墨書 二通
- 2 電報綴 明治二七年 墨書 海軍野紙 一綴 海軍大臣電報 常備艦隊司令長官宛 明治二七年六月一六・二一日 仁川 発電報 東京着電伊東司令長官 西郷大臣宛 明治二七年六月一九日
- 3 植村永孚佐世保鎮守府参謀長電報 斎藤実少佐宛 明治二七年八月一日 カーボン 一枚
- 4 伊東海軍士官暗号電報 斎藤実宛 明治二七年六月二三日 カーボン 一枚
- 5 平山某通告 公使宛 明治二七年六月二八日 墨書 一枚 出港断る

■ 一四、連合艦隊戦闘報告

- 1 連合艦隊出征第三回報告 明治二七年七月二七・三一日 蒟蒻版 一綴 艦隊の進退 仁川に至る航路の安危 炭水夜中の警戒 広乙濟遼等の成行根拠地の変更 艦隊序列の変更 独乙船臨検の件 英国軍船アーチャー号艦長よりの来翰 破損清国軍艦見分報告 摩耶艦長橋元正明常備艦隊司令長官伊東祐亨宛現状報告 高千穂艦長報告 赤城艦長坂元八郎西海艦隊司令長官相浦紀道宛報告 艦隊序列独乙汽船杭州府号船長との談話 沢高雄艦長報告 財部彪報告 軍艦愛宕報告 商船「モーセル」号雇人山下久太郎申立 利運杜朝鮮汽船顕益号賄方申立 今井仲四郎申立 仁川

碇泊英国軍艦「アーチャー」号乗組レジナルド・ダブルユーエス・ローチャース在朝鮮日本艦隊司令長官宛書翰

- 2 連合艦隊出征第七回報告 明治二七年八月 蒟蒻版 六枚 八月一日隔音島到着後艦隊の進退 牙山の偵察及英国艦隊との出会本地に於ける事業一以上 長直路聯合艦隊司令長官伊東祐亨 海軍軍令部長樺山資紀宛 明治二七年八月一四日一威海衛夜襲報告一常備艦隊附属水雷艇司令餅原平二 聯合艦隊司令長官伊東祐亨宛 明治二七年八月一日一威海衛砲台砲撃報告（西海艦隊司令長官相浦紀道 聯合艦隊司令長官伊東祐亨宛 明治二七年八月一日）
- 3 軍艦扶桑九月一七日大洋河口大鹿島沖戦闘報告 扶桑艦長新井有貴 常備艦隊司令長官伊東祐亨宛 明治二七年九月二二日 墨書 海軍野紙 一綴 戦闘報告 軍艦扶桑戦死及負傷者人名 軍艦扶桑被害表 弾孔防器図解 軍艦扶桑弾薬消費表
- 4 八月一〇日午前威海衛砲撃の時第二遊撃隊の運動略図 明治二七年 鉛筆 一枚
- 5 第二遊撃隊戦闘報告 墨書 海軍野紙 一綴 威海衛の砲撃 陸軍兵護送並に其揚陸及び本隊応援の爲め出航 死傷者員数 軍艦西京丸破損箇所調査 軍艦赤城の損害 飲料水及石炭
- 6 黄海海戦
 - (1) 黄海海戦に臨める両国軍艦比較表 大本営附製図部 明治二七年九月一七日 謄写 一枚 帝国軍艦・支那軍艦
 - (2) 斎藤実覚書 明治二七年九月 墨書 一枚 黄海海戦各艦損害状況報告書趣向具申
 - (3) 秋津洲及巖島にて得たる書類 明治二七年九月 墨書・鉛筆 四枚 故海軍一等水兵佐藤長作最後の事を記す 明治二七年九月一九日 吉村最太郎外戦傷者八名戦傷状況報告 上村秋津島艦長宛 明治二七年九月二一日 戦傷図
 - (4) 高千穂被害 明治二七年九月 鉛筆 一綴
 - (5) 九月一七日戦闘報告 明治二七年九月 墨書 海軍野紙 一綴 戦闘報告 敵艦損傷状況 第一遊撃隊死傷員数表 軍艦秋津洲破損箇所調査表写 軍艦浪速破損之箇所報告 軍艦吉野破損場所調査表 軍艦高千穂破損箇所調査表
 - (6) 黄海海戦被害状況調査報告草稿 斎藤実 明治二七年 鉛筆 一枚
 - (7) 黄海海戦艦隊運動図 明治二七年 墨書 一綴
- 7 日清戦争中各艦海戦に際し発射の割合 明治二七・二八年 墨書 海軍野紙 一綴 巖島 松島 橋立 秋津洲 吉野 千代田 西京丸 八重山
- 豆、海軍戦力諸表
 - 1 常備艦隊艦船乗員表 明治二八年一月一日調 活版 一枚
 - 2 常備艦隊附属第一水雷艇隊・常備艦隊附属第二水雷艇隊・常備艦隊附属第三水雷艇隊・横須賀水雷隊・呉水雷隊・佐世保水雷隊・対馬水雷隊乗員表 明治二八年一月一日調 活版 一枚
 - 3 西海艦隊艦船乗員表 明治二八年一月一日調 活版 一枚
 - 4 旅順港及大連湾諸官衙諸隊 明治二八年一月一日調 活版 一枚 旅順口海軍根拠地 旅順口海軍根拠地海兵団 旅順口水雷敷設隊 大連湾要港地 大連湾水雷敷設隊
 - 5 艦隊司令長官及司令官幕僚 明治二八年一月一日調 活版 一枚
 - 6 警備艦乗員表・運送船工作船病院船測量船乗員表 明治二八年一月一日調 活版 一枚
 - 7 艦船艇及根拠地職員表（出征之分） 明治二八年一月一日調 活版 一枚

一六、日清戦争中新聞

- 1 The Pacific Mutual 一八九四年一〇月 活版 一枚
- 2 国民新聞附録 一四六七号 明治二七年一月二五日 活版 一枚
- 3 The New York Times 一八九四年一月九日 活版 一枚
- 4 国民新聞 一四七九号 明治二七年一月九日 活版 一枚
- 5 The Examiner 一八九四年一月二八、二〇日 活版 三点
- 6 The Argonaut 一八九四年一月三一日 活版 一部
- 7 国民新聞・大阪朝日新聞附録 石版図 明治二七・二八年 三枚
- 8 東京朝日新聞 明治二八年二月一八日 活版 一部

■ 一七、日清戦争期一般

- 1 鴨緑江外への海戦に関する合衆国海軍卿の論文 合衆国海軍卿ハーバート稿 明治二七年一月 活版
- 2 皇太子殿下啓御次第書 海軍兵学校 明治二七年一月二二日 活版 一綴
- 3 写真 加藤嘉太郎海軍少尉写す 明治二七年九月 三葉 清艦経遠撃沈瞬間 同沈没瞬間 軍艦吉野後甲板戦闘後の状
- 4 軍艦帖完成通知 藤野海軍文庫主管 川島海軍大尉宛 明治二七年一月二八日 墨書 海軍野紙 一枚
- 5 戦時清国宝物蒐集方法 明治二七年 蒟蒻版 一綴 要旨 方法 費用
- 6 戦時俘虜取扱法 明治二七年
 - (1) 戦時俘虜取扱法草稿 海軍野紙 墨書 一綴
 - (2) 戦時俘虜取扱法 海軍教授清水市太郎取調 蒟蒻版 海軍省野紙 一綴
- 7 明治二八年戦艦和泉日誌 斎藤実 明治二八年二月二七日―三月三一日 墨書 海軍野紙 一綴
- 8 明治二十七八年役陣中日誌 下 大本営野戦衛生長官部 明治二八年六月一日―二九年四月一日 活版 一冊 (付録) 恩賜義肢受領人員 清兵傷病者俘虜及戦地土民患者施療人員 衛生材料補給及患者用寄贈品の梗概他
- 9 クリミア戦争の顛末 明治二八年 蒟蒻版 一綴
- 10 独仏戦争の嬉和条件 「エルサス」 「ロトリンゲン」の客取 明治二八年 蒟蒻版 一綴
- 11 海軍奏判任文官名簿 明治二七年八月三日調 活版
- 12 戦時大本営人名表 明治二八年一月三一日調 印刷 一枚
- 13 大本営及供奉人名録 活版 二枚
- 14 済物浦沖各国軍艦停泊図 ペン 一枚
- 15 Flotte (艦隊表) 一八九四年 ペン 一枚
- 16 玉利佐世保鎮守府参謀申進 大本営海軍参謀官宛 明治二七年一月二一日 墨書 海軍野紙 一綴 別紙依頼取計願 (付) 横尾道日立敷島艦長依頼状 植村参謀長宛 明治二七年一月一二日 鷹島一羽捕獲献上致度
- 17 斎藤実覚書 墨書 一枚 一月七日、高千穂艦大橋桁に宿る隼鷹を捕へる
- 18 戦争と仏教 大内青巒 明治二七年九月 活版
- 19 日清戦役経歴書 斎藤実 明治二八年七月二八日 墨書・鉛筆 二点 任免異動その他

○ 日清戦後

■ 一八、ヴィクトリア女王即位六〇年記念観艦式

- 1 軍艦富士兵員部署表 明治三〇年 墨書・鉛筆
- 2 Variety Entertainment by the Members of the Crew of "Fuji" 明治三〇年四月七日・八日 墨書・活版 一枚

3 The arrival of the Fuji "The Japan Times" 明治三〇年一一月一日 活版 一枚

■ 4 ヴィクトリア女王即位六〇周年記念観艦式関係書類

- (1) Admiralty Her Majesty's Ships, Vessels, and Torpedo Boats 一八九七年六月二六日 活版
- (2) Naval Review 一八九七年六月二六日 活版 一冊 List of Frag and Principal Officers of the Warships invited to Portsmouth
- (3) H. I. M's Cruiser "Rossia" 活版 一枚
- (4) List of Officers of the U. S. Flag Ship "Brooklyn" 活版 一枚
- (5) Programme of the Naval Review at Spithead 一八九七年六月二六日 活版 一枚
- (6) Admiralty Programme of Entertainments at Portsmouth 一八九七年六月三〇日 活版 一枚
- (7) The Fleet 一八九七年六月二六日 活版 同文二枚
- (8) Visit of Foreign Officers H. M. Dockyard, Portsmouth 一八九七年六月二九日 活版 一枚
- (9) Inspection of H. M. Dockyard, Portsmouth 活版 一枚
- (10) "Rosemary" Theatre Royal, Portsmouth 一八九七年六月 活版 一枚
- (11) 斎藤実覚書 墨書・鉛筆 三枚 観覧式に関して

■ 一九、北清事変

- 1 清国事件経過摘録 海軍省 明治三三年四月五日一一一月一八日 蒟蒻版 一綴 諸報告摘要 諸訓令等及帝国海軍の行動 帝国陸軍の行動 諸外国海陸軍の行動
- 2 善後措置に関する書翰
 - (1) 出羽重遠書翰 斎藤実総務長官宛 明治三三年九月二四日 墨書 海軍野紙 一綴 八月廿一日付貴翰漸く到達講和談判開始も捗々しく参らざる様子 列国の雲行如何廟堂諸彦御心痛と存候 今回我政府混成一箇旅団残し他は凱旋御決定の趣承知其後我師団如何着手候哉報導に接せず 露兵も過日出港の外乗船の様子なし 岡沢侍従武官長の所作部内に不平あり当冬河内冬籠りは従前の通りの方針なるや 列国艦船發着の報告に付て 軍務局長の御一考煩度
 - (2) 出羽重遠書翰 斎藤実総務長官宛 明治三三年一〇月七日 墨書 海軍野紙 一綴 明石入渠期日経過 代船を要す 高砂帰朝修理必要 代船を要す当太沽は艦底のよごれ甚し 愛宕は兩三日内には帰朝の途に就く 運 山海関は二隻の軍艦碇泊必要 通航の為に陸軍より一隻位運送船を出さしむべし 先日会議決議の棧橋設置陸軍と交渉 高砂艦長の待命の理由如何 上泉中佐千代田に転職都合よし 陸上の弾丸運送船に積み出す人足監督の為下士官派遣冬籠中の軍艦派遣数 露独の支那保全には底意ある如し 一ヶ月有余にして 肥后丸到着 (付) 出羽重遠書翰 斎藤実宛 明治三三年一〇月八日 秦皇島若くは山海関に棧橋架設に付列国指揮官会議 列国は未だ十分冬籠りの支度整わず
 - (3) 出羽重遠書翰 斎藤実総務長官宛 明治三三年一〇月一一日 墨書 海軍野紙 一綴 海軍勲績調査早く命せらるべし
 - (4) 出羽重遠書翰 斎藤実宛 明治三三年一〇月三十一日 墨書 海軍野紙 一綴 新内閣組織一先ず安心 独国歩調疑わし 越冬の北清派遣艦選定注意 山海関秦皇島棧橋工事 捕獲曳船使用料払方 井上中将令息の不始末
- 3 明治三三年清国に関する調査表並図表
 - (1) 清国武官略表 海軍軍令部 明治三三年六月 活版 一枚
 - (2) 揚子江沿岸砲台表第一表・第二表 海軍軍令部第三局 明治三三年九月調 活版 二枚

- (3) 在東洋各国艦艇表 海軍軍令部第三局 明治三三年七月調 印刷 一枚
- (4) 北清事変に付絶東派遣列国艦艇表及北清事変に付絶東派遣列国艦隊勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三三年七月調 一〇月一日調 印刷 二枚
- (5) 清国造兵諸局表 船渠を有する東洋造船所及修理工場表 海軍軍令部第三局 明治三三年七月調 印刷 一枚
- (6) 列国海軍勢力比較表・在東洋列国艦隊比較表・列国商船比較表 海軍軍令部第三局 明治三三年七月調 印刷 一枚
- (7) 関内及関外の一部鉄道線路並停車場一覽表 海軍軍令部第三局 印刷 一枚
- (8) 芦津及芦漢（一部分）鉄道線路図 海軍軍令部第三局 印刷 一枚
- (9) 天津城南攻撃配備略図 明治三三年七月一三日・一四日 活版 一枚
- (10) 揚子江沿岸諸砲台図 海軍軍令部第三局 明治三三年九月調 活版 一枚
- (11) 山海関水雷及地雷布設計画図 海軍軍令部第三局 明治三三年七月 印刷 一枚
- (12) 天津附近之図 印刷 一枚
- 4 北清事変関係新聞切抜・附録他 活版・謄写 一括 支那に於ける各国勢力範囲及鉄道線路図 国民新聞第三一七六号附録 明治三三年七月一六日北京市街及公使館街之図 国民新聞第三一七六号附録 明治三三年七月一六日 天津市街之図・太沽及北塘砲台附近之図 国民新聞第三一七六号附録明治三三年七月一六日 北清動乱地之図 国民新聞第三一七六号附録 明治三三年七月一六日 清国との電信線 国民新聞第三一七六号附録明治三三年七月一六日 海軍中将男爵坪井航三追悼碑写真 英文新聞切抜 (Great Britain and Japan Important Agreement)
- 二〇、鉄道会議
 - 1 阪鶴鉄道之真価 工学博士南清 明治三四年三月 活版 一冊 (付) 南清書翰 斎藤実宛 明治三四年三月一日
 - 2 斎藤実書翰案 増田工学博士宛 明治三四年 鉛筆・ペン 一綴 舞鶴鉄道計画に付 (付) 舞鶴線 (舞鶴余部及倉梯 舞鶴倉梯) 間線路平面図 墨書・鉛筆・ペン 一枚
 - 3 中央鉄道八王子甲府間笹子隧道工事施行概況 明治三五年七月一八日 活版 一冊 (付) 中央鉄道笹子隧道之図 (平面図 断面図) 活版 一枚
 - 4 函樽鉄道株式会社経画之要略 函樽鉄道營業収支調査参考書 活版 二冊
 - 5 既成鉄道一覽表 参謀本部 明治三四年一月一日調 印刷 一枚 本土 四国 九州 台湾
 - 6 工事中鉄道一覽表 参謀本部 明治三四年一月一日調 印刷 一枚 本土 四国 九州 北海道 台湾
 - 7 仮免状下附鉄道一覽表 参謀本部 明治三四年一月一日調 印刷 一枚 本土 四国 九州 北海道
 - 8 自明治二九至同三三年度鉄道敷設出願明細表 第七回乃至第一三回鉄道會議諮詢の出願処分統計表 明治三四年四月一七日 印刷 二枚 (付) 送付書鉄道會議幹事 斎藤実宛 明治三四年四月一七日 菟菟版 一枚 鉄道乗車証送付書 鉄道會議幹事藤田虎力 斎藤実宛 明治三四年二月二日 墨書 一枚
 - 9 鉄道會議諮詢書 (第七九七—八〇四号) 明治三四年三月二八・二五日 菟菟版・印刷 一綴 目錄 諮詢第七九七号鉄道敷設法中改正の件諮詢第七九八号阿陽鉄道株式会社發起並鉄道敷設の件 諮詢第七九九号 博多海岸鉄道株式会社發起並鉄道敷設の件諮詢第八〇〇号越前鉄道株式会社發起並鉄道敷設の件 諮詢第八〇一号信参鉄道敷設の件 諮詢第八〇二号筑紫鉄道敷設の件諮詢第八〇三号筑紫鉄道敷設の件 諮詢第八〇四号佐賀鉄道敷設の件 明治三四年三月二九日議事日程 鉄道會議議員席次表 (付) 第一三回鉄道會議召集状鉄道會議議長寺内正毅 斎藤実宛 明治三四年三月一六日 印刷 一枚 通牒 鉄道會議幹事原田真義 斎藤実宛 本日會議にて諮詢案決議明治三五年一二月八日 墨書 一枚 乗車証送付状 日本鉄道株式会社 斎藤実宛 明治三四年三月二〇日 墨書 一枚

10 第一三回鉄道会議議事速記録 明治三四年三月一八日一二九日 活版 一綴 諮詢第七九七一八〇四号 (付) 送付状 藤田虎力 斎藤実宛 明治三四年六月一九日 蒟蒻版 一枚

- 11 鉄道会議諮詢書 (第八〇一・八〇二号) 明治三四年一二月九日 印刷 一綴 目錄 諮詢第八〇一号第一期鉄道建設費既定年割額改訂の件諮詢第八〇二号官設既成鉄道改良費既定年割額改訂及追加増額の件鉄道会議議員席次表 (付) 第一四回鉄道会議召集状 鉄道会議議長寺内正毅 斎藤実宛明治三四年一二月六日 印刷 一枚 逓信省所管三五年度歳出臨時部 鉄道建設費・官設既成鉄道改良費表 墨書 一枚
- 12 鉄道会議諮詢書 (第八〇七七八一一号) 明治三五年二月一〇日 印刷 一綴 諮詢第八〇七号博多湾鉄道株式会社鉄道延長敷設の件諮詢第八〇八号徳島鉄道株式会社鉄道延長敷設の件 諮詢第八〇九号予定線路中私設鉄道会社へ敷設許可の件諮詢第八一〇号第一期鉄道建設費既定年割額改訂の件 第八一一号鉄道敷設法中改正の件 議事日程
- 13 鉄道会議諮詢書 (第八一二一八一五号) 明治三五年三月一五日 印刷 一綴 諮詢第八一二号九州鉄道貨物線延長敷設の件 諮詢第八一三号竜崎鉄道延長敷設の件 諮詢第八一四号横浜鉄道敷設の件諮詢第八一五号品川鉄道敷設の件明治三五年三月一九日議事日程
- 14 鉄道会議諮詢書 (第八一六一八一九号) 明治三五年一二月六日 印刷 一綴 目錄諮詢第八一六号官設期成鉄道改良費総予算追加並に年度割予算に関する件 諮詢第八一七号北海道鉄道敷設法予定線路中着手順序変更の件諮詢第八一八号鉄道建設費総予算追加科目改訂並に年度割予算に関する件 諮詢第八一九号鉄道敷設法並に附属法中改正の件 鉄道会議議員席次表 (付) 第一五回鉄道会議召集状 鉄道会議議長田村怡与造 斎藤実宛 明治三五年一二月六日 印刷 一枚
- 15 鉄道会議諮詢書 (第八二〇一八二九号) 明治三六年一二月二一日 印刷 一綴 目錄 諮詢第八二〇号日本興業鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件諮詢第八二一号京越鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件 諮詢第八二二号城南延長鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件諮詢第八二三号西成鉄道延長敷設の件諮詢第八二四号九州鉄道延長敷設の件 諮詢第八二五号九州鉄道延長敷設の件諮詢第八二六号北海道炭砒鉄道延長敷設の件 諮詢第八二七号山陽鉄道延長敷設の件 諮詢第八二八号武平鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件諮詢第八二九号山田鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件 鉄道会議議員席次表
- 16 鉄道会議諮詢書 (第八三四一八四二号) 明治三八年一二月二〇日 印刷 一綴 目錄 明治三八年一二月二〇日 議事日程諮詢第八三四号北信鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件 諮詢第八三五号叡山鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件 諮詢第八三六号阪鶴鉄道延長敷設の件諮詢第八三七号北海道炭砒鉄道延長敷設の件 諮詢第八三八号横浜鉄道延長敷設の件 諮詢第八三九号関西鉄道延長敷設の件諮詢第八四〇号伊和鉄道株式会社発起並鉄道敷設の件 諮詢第八四一号関西鉄道延長敷設の件諮詢第八四二号鉄道敷設法中改正の件 (第一期鉄道工事成功期限を二五年に変更) 鉄道法参照 (付) 第一七回鉄道会議議員表 印刷 一枚 磐仙鉄道設計趣意書及び送付状 活版 二枚 磐仙鉄道線路略図 活版 一枚
- 17 鉄道会議諮詢書 (第八三〇一八三三号) 明治三八年一二月二〇日 印刷 一綴 目錄 諮詢第八三〇号鉄道敷設法中改正の件諮詢第八三一号鉄道建設費総予算変更の件 諮詢第八三二号官設既成鉄道改良費年度割改訂の件 諮詢第八三三号北海道鉄道敷設費総予算中変更並に敷設順序に関する件 (付) 第一七回鉄道会議召集状 鉄道会議議長児玉源太郎 斎藤実宛明治三八年一二月一五日
- 二一、内閣政務調査会
 - 1 官吏制度主査提出意見書八冊回付書 柴田内閣書記官長 斎藤政務調査委員宛 明治三五年九月二〇日 蒟蒻版 一枚

2 官第一号 官等俸給令改正案 政務調査官吏制度主査委員内閣書記官長柴田家門 内閣総理大臣桂太郎宛 明治三五年七月二五日 活版 一冊官等俸給令改正案と経費の関係 官等俸給に関する現行諸法規と改正案との差異要領 官等俸給令改正案 官等俸給令改正案説明書 参考書類

- 3 官第二号 官吏身分令案 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年八月一二日 活版 一冊 官吏身分令案と経費の関係 官吏身分令案要領 官吏身分令案 官吏身分令案理由書 参考書類
- 4 官第三一七号 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年九月三日 活版 一冊 総説 文官任用令案（官第三号）改正要領及其の理由・勅令案・逐条説明文官試験令案（官第四号）改正要領及其の理由・勅令案・逐条説明 文官試補及見習令案（官第五号）勅令案・理由及逐条説明特別高等文官試験に依る任用の件勅令案（官第六号）勅令案・理由及逐条説明 特別高等文官試験令案（官第七号）勅令案・理由及逐条説明 参照書類
- 5 官第八号 官吏任免令案 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年九月二日 蒟蒻版 一綴 官吏任免令案 改廃すべき法令 説明 逐条説明裁判所構成法第六八条第七九条第三項を改正すること 明治三二年勅令第四五六号を廃止し官吏恩給法明治二三年法律第九〇号第九一号に改正を加うること 参照書類（付）柴田内閣書記官長回付書 斎藤宛 明治三五年九月二五日 蒟蒻版 一枚
- 6 官第九号 内国旅費に関する意見 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年九月一一日 活版 一冊 経費に関する見込書 勅令案 説明書 関係現行規定目録 参考書類
- 7 官第一〇号 官吏給与令制定に関する意見 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年八月二九日 活版 一冊 官吏給与令制定に関する意見 官吏給与令案 説明書 関係現行規定目録 各庁別諸給与調
- 8 官第一一号 賞与制度に関する意見附定時間外勤務手当 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年八月四日 活版 一冊 経費増減見込調 賞与制度改正意見 勅令規定案 説明書 参考書類
- 9 官第一二号 交際手当に関する意見附接待費 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年八月四日 活版 一冊 経費増減見込調 交際手当に関する意見 説明書 参考書類
- 10 官第一三号 手当其の他の給与に関する意見 柴田家門 桂太郎宛 明治三五年八月四日 活版 一冊 経費増減見込調 手当其の他の給与に関する意見 勅令規定案 説明書 関係現行規定目録 参考書類

■ 二二、基隆築港

- 1 基隆築港に関する意見並同設計図 基隆築港調査委員長海軍少将角田秀松 明治三〇年三月 活版他 三点
- 2 基隆港実測図 印刷・彩色 一枚 第二期設計案
- 3 基隆市区改正計画図 墨書・彩色 一枚
- 4 台湾諸港改良に関する海軍省及軍令部意見 海軍総務長官 台湾民政長官宛 明治三四年八月二一日 墨書 一綴 基隆防波堤築造は最も慎重なる考慮を要す（付）基隆港関係図 四葉
- 5 基隆港築港関係 第一回一第三回稟申 明治三六年 印刷 一枚

■ 二三、海軍関係各種調書

- 1 各艦船航海時数・運転時数表 明治二七年六月一二八年六月 ペン 一枚
- 2 日清戦後臨時軍事費購入品調（外国購入の分） 墨書 海軍野紙 一綴（付）防御水雷要具配置表
- 3 各艦船石炭消費高表 明治三一年四月一三二年三月 ペン 一枚
- 4 明治三一年度軍艦役務調 明治三一年 墨書 一枚
- 5 造兵工場東京存置に関する調査命令書 海軍大臣山本権兵衛 造兵工場設立調査委員長斎藤実宛 明治三二年二月二三日 蒟蒻版 海軍野紙 一綴 造兵工場の製作品 呉造兵廠製作品 造兵工場及呉造兵廠に於て製作すべきもの 新旧建築物敷地 器具機械移転及購入費予算額

- 6 某距離より大砲水雷有効距離に至る時分 海軍中尉中桐啓太 明治三二年二月 活版 一枚
- 7 明治三二年度帝国各艦石炭消費額一覧表 海軍軍令部第二局 印刷 一枚
- 8 各艦船航程表 明治三一年四月—三二年三月 ペン 一枚
- 9 各艦船航海日数表 明治三一年四月—三二年三月 ペン 一枚
- 10 東洋大勢図（甲、乙、同附表） 軍令部第三局 明治三五年一〇月調 活版 三枚 各国領地、租借地等
- 11 橋立・巖島・松島運轉時数・石炭消費・航程表 鉛筆 一枚
- 12 明治三二年度軍艦汽走一覧表 青焼 一枚
- 13 明治三三年度一二月常備艦隊各艦汽走速力実験一覧表 蒟蒻版 一枚
- 14 東洋各港に於ける石炭及艦船機械用油貯蔵調査表 海軍軍令部第三局 明治三六年四月 印刷 一枚
- 15 艦船石炭・消耗品額 墨書 一枚 横須賀一佐世保一威海衛往復一〇昼夜
- 16 東洋艦船修理所貯炭所・鉄道電信交通一覧図 印刷 一枚
- 17 造船廠工業力消費程度一覧表 明治二五年度—三五年度 青焼 一枚
- 二四、日清戦後一般
 - 1 向一〇年間に完備を要する沿岸防御一覧表 明治二八年 青焼 一枚
 - 2 勲章佩用心得 賞勲局 明治二八年七月 活版 同文二冊（付）叙勲者履歴届出心得 賞勲局 明治二八年七月 活版 一枚
 - 3 兵器表 明治二八年九月調査 青焼 一枚 横須賀鎮守府所管 吳鎮守府所管 佐世保鎮守府所管 各所
 - 4 常備艦隊軍艦吉野航泊日誌記事 明治二八年一〇月二九日—一一月一八日 ペン 一綴（付）高橋大尉書翰 斎藤参謀宛 明治二八年一二月四日 墨書 一枚 本艦日誌写御落手被成下度
 - 5 石炭搭載運送船回漕願状 荒木臨時敷設部司令 上村常備艦隊参謀長宛 明治二八年一〇月三〇日 墨書 海軍 野紙 一枚
 - 6 Movement of the Vessels under Command of the Admiral Commanding the "Permanent Fleet" 明治二八・二九年 墨書・鉛筆 一冊 斎藤実ノート 艦隊運動程式改正案草案他
 - 7 艦隊予定運動企画案草案 斎藤実 明治二九年三月一二日 墨書 海軍野紙 一枚
 - 8 本邦沿岸巡航航路 明治二九年五月一七月 墨書 一枚
 - 9 一一月二五日軍艦鎮遠等天覧御次第書事項心得書 明治二九年 蒟蒻版 一綴
 - 10 将来の大海戦 英国海軍大佐アードレー・ウィルモット著作 海軍軍令部諜報課 明治三〇年三月 謄写 一冊 開戦の布告 欧州の形勢 開戦の準備 水雷艇の襲撃 地中海艦隊の敗北 敗軍の結果
 - 11 Scientific American 一八九七年七月三日 活版 一部 軍艦千歳図解掲載
 - 12 秋津洲甲種作業問題綴 明治三〇・三一年 墨書 海軍野紙 綴
 - 13 艦長命令書 秋津洲艦長斎藤実 明治三一年 墨書・鉛筆 四枚 一月八日横須賀港 一月九日 二月一八日清水 四月二一日横浜 五月五日 五月二七日 六月二七日馬尼刺港
 - 14 George Dewey 書翰及びメモ 一八九八年七月一一日 ペン 二点
 - 15 端舟軍装空放発火報告 川原軍装艇隊司令 明治三一年九月六日 墨書 海軍野紙 一枚
 - 16 時事新報 第五三七六号 明治三一年一一月一三日 活版 二枚 新任海軍次官斎藤実の紹介記事（付）時事新報 第五二二二号切抜 明治三一年五月二九日 活版 一枚
 - 17 京城大塚大佐報告摘要 馬山浦買収事件 明治三二年五月二二日・六月三日・七月一五日・七月二八日報告 墨書 海軍野紙 一綴

- 18 明治三二年八月海軍兵学校入校試験人員 明治三二年八月 墨書 海軍野紙 一枚
- 19 井出謙治書翰 斎藤実海軍次官宛 明治三二年八月九日 ペン・タイプ 一通 米国政府より水難救済会に送付する物品目録及び送付状
 - 20 海軍法案に関する書類 明治三二年 墨書 海軍野紙 一綴 海軍法案 同法案理由書 本法案起草の趣意 海軍法案に対する卑見（名和海軍中佐 明治三二年八月九日）
 - 21 清国内地水路視察関係書翰
 - (1) 清国上海大東汽船会社白岩竜平書翰 斎藤次官宛 明治三二年九月二三日 墨書 一通 清国水路視察之件御垂教之如く至急書面認め左右に進達之手續に可仕 御採納大臣へも稟議願
 - (2) 白岩竜平書翰 斎藤次官宛 明治三二年一〇月七日 墨書 一通 水路視察旅行計画書・費用概算書及び送付状
 - (3) 斎藤実書翰案 白岩竜平宛 海軍省に都合あり 此際福建省一部之外は視察叶難し
 - 22 露国探偵関係書翰
 - (1) 山内長人憲兵司令官書翰 斎藤実宛 明治三二年一一月二〇日 墨書 一通 池中大尉昨朝出発明朝は帰任 先ず都合好く纏る
 - (2) 山内長人書翰 斎藤実宛 八月五日 墨書 一枚
 - (3) 山内長人書翰 墨書 一通 高橋某書翰（写）二通送付
 - (4) 鹿野横須賀鎮守府参謀長書翰 斎藤実宛 明治三二年二月一日 墨書 一通 御来書之一兵技手が露人之手先きと認むる人物を警察へ告発之件至極秘密に取計候
 - (5) 鹿野横須賀鎮守府参謀長書翰 斎藤実宛 明治三二年一一月一三日 墨書 一通 小山憲兵少佐来訪 当方に於て撰定 先申分なき人物当地憲兵分隊長へ内議之未取極高橋も気に入る 原は呉へ参る事高橋と相談
 - (6) 呉鎮守府参謀長矢島海軍大佐書翰 斎藤次官宛 明治三二年一〇月一九日 墨書 一通 露国公使館附武官チャギン氏の探偵本軍港関本氏より同官の命に依り報告致度旨申来 偽数を示し置候
 - (7) 矢島呉鎮守府参謀長書翰 斎藤次官宛 明治三二年一一月一六日 墨書 一通 謀者の件委細承知
 - 23 外国新聞切抜 活版 七点
 - The Examiner 一九〇一年二月二三日 The New York Herald 一八九四年九月九日 The Daily Kedge Anchor 一八八九年一二月二〇日 The Daily Telegraph 一九〇六年三月二七日他
 - 24 軍務局判任文官現員調 明治三三年二月三日 墨書 海軍野紙 二枚 軍事課 機関課 造船課 兵器課
 - 25 軍務局判任文官の定員及現員 明治三三年二月三日 墨書 海軍野紙 一枚
 - 26 牒雑第五〇号 海軍軍令部第三局 明治三三年三月六日 蒟蒻版 一綴 独逸海軍省の改革 一九〇〇年仏国海軍の予算（一八八九年一二月一五日英国海陸協会雑誌 仏国海軍予算説明書附録 六号 ル・タン翻訳）
 - 27 外事年報 第六回 海軍軍令部第三局 明治三三年六月 活版 一冊 清国の部・韓国の部・露国の部・西伯利亞の部 自明治三一年一月至同年一二月
 - 28 外事年報 第七・八・九回 上巻 海軍軍令部第三局 明治三三年一一月 活版 一冊 清国の部 自明治三二年一月至三三年九月
 - 29 外事年報 第七・八・九回 下巻 海軍軍令部第三局 明治三三年一二月 活版 一冊 韓国・亞露・歐亞・英・仏・独・澳・伊・土・米国の部 自明治三二年一月至三三年九月
 - 30 外事年報附録 第八回 海軍軍令部 明治三三年七月 活版 一冊 艦船艇・砲銃弾薬・水雷及電氣器具・通信・機

関及燃料・造船材料・教育訓練・海軍予算及兵備・雑事

- 31 海総第七七六号 海軍部内電報略語表 第二版 明治三三年七月一日 活版
- 32 坂口經理局第三課課僚書翰 斎藤次官宛 明治三三年一〇月三〇日 墨書 一通 (付) 射撃場火薬庫位置・火薬庫地域図肥前国東彼杵郡日宇村之内海軍省用地之図 長崎県東彼杵郡日宇村崎辺免前 烟火薬庫敷地実測図 肥前国東彼杵郡日宇村字大石谷及干尽実測平面図墨書・彩色 四枚
- 33 海軍軍令部第三局新聞雑誌目録 明治三三年 活版 同文二枚
- 34 海軍予算案に顕はれたる海軍勢力の増加 明治三四年二月一六日訳 印刷 一綴 一九〇〇年七月一日合衆国海軍省牒報記事訳文
- 35 山本海軍大臣通知 海軍総務長官斎藤実宛 明治三五年一一月五日 蒟蒻版 一枚 三等巡洋艦新高進水式通知
- 36 枋内中佐の千代田艦に関する報告並に函館室蘭所見 枋内中佐 斎藤実宛 明治三五年八月一日 鉛筆 一綴 函館所見 室蘭港所見 寒地の建築に関する他
- 37 桂内閣総理大臣訓示 明治三六年一月一六日 活版 一綴
- 38 島津忠重公海軍志願の件
 - (1) 山本権兵衛覚書斎藤実草稿 明治三六年二月 墨書・鉛筆 一綴 平生御服膺を要する事項
 - (2) 山本権兵衛覚書 明治三六年二月 墨書 一綴 平生御服膺を要する事項
 - (3) 山本権兵衛覚書 明治三六年二月 ペン 一綴 平生御服膺を要する事項
 - (4) Memorandum 明治三六年二月 タイプ 一綴 山本権兵衛覚書英訳
- 39 海軍彙纂 (常) 第五号 海軍軍令部第三局 明治三六年三月 活版 一冊 艦船艇 砲銃弾薬 水雷及電気器具 通信機関及燃料 造船材料及船具 教育訓練演習 予算兵備 運輸交通 官制雑事
- 40 海軍彙纂 (常) 第六号 海軍軍令部第三局 明治三六年七月 活版 一冊 艦船艇 砲銃弾薬 水雷及電気器具 通信機関及燃料 造船材料及船具 教育訓練演習 予算兵備 運輸交通 官制雑事
- 41 製鉄所商議委員書類 明治三六年九月三〇日 蒟蒻版 農商務省罫紙 一綴 製鉄部熔鋳炉及製鋼部ベスマー炉作業再始の件 英国スタンダードセクション採用の件 外国職工長雇継の件 製鉄所商議委員人名表
- 42 帝国海軍協会船舶所有に関する要旨 明治三六年一二月一七日調 墨書 一綴
- 43 陸海軍幹部席割 明治三六年 謄写 一枚
- 44 日清海軍艦船比較表 謄写 一枚
- 45 山下中佐より出羽少将に宛てたる書束の一節 明治三六年八月二七日 蒟蒻版 一綴 英艦隊懸賞射撃に付て

○ 日露戦争

■ 二五、露国情報・戦闘経過

- 1 在英林全権公使電信
 - (1) 在英林全権公使電信訳文 小村外務大臣宛 明治三六年一〇月一五日 蒟蒻版 一枚 タイムス紙日露関係社説に関して
 - (2) 在英林全権公使電信訳文 小村外務大臣宛 明治三六年一二月二日 墨書 外務省罫紙 一綴 英政府との交渉に付本官以外の筋を通ずるは本官の地位面白からず
- 2 開戦に際し調査概目 (海軍特秘) 明治三七年 蒟蒻版 一綴 敵国との関係 各条約国との関係 軍事 戦時財政 警察 交通 立法及行政機関 貿易上の保護 捕虜及戦利品の処分 行賞の程度
- 3 日露交渉に関する覚書 斎藤実 明治三七年二月五日 鉛筆 三枚
- 4 戦闘報告抜萃 一一四 明治三七年二月一三日一三七年八月一五日 謄写 四冊

5 大海情 露国太平洋第二艦隊の近況（其一一其十） 明治三十七年一月一三八年三月 謄写他 一綴 露国太平洋第二艦隊編成表・日露艦隊噸数比較表・東航露国太平洋第二艦隊所在表及附図他を含む

- 6 大海情綴 陸号 大本営陸軍幕僚調査 明治三十七年五月二四日一三八年三月一〇日 謄写他 一綴 露軍の近況
- 7 大海情綴 陸号 大本営陸軍幕僚調査 明治三十八年三月二〇日一三八年一月三〇日 謄写他 一綴 露軍の近況
- 8 大海情 第三号 大本営海軍幕僚 明治三十七年二月一八日 謄写 一綴 露国運炭船二艘東洋に向はんとす
- 9 日露戦争海軍情報 情一号一一〇〇号（欠号アリ） 海軍軍令部第三局 明治三十六年五月二〇日一三六年一月一六日 謄写 一綴
- 10 日露戦争海軍情報 情一〇一号一二〇〇号（欠号アリ） 海軍軍令部第三局 明治三十六年一月一六日一三六年一月二六日 謄写 一綴
- 11 日露戦争海軍情報 情二〇一号一三〇七号 海軍軍令部第三局 明治三十六年一月二六日一三七年二月一六日 謄写 一綴
- 12 露国海軍に関する電報訳文綴 明治三十六年一月二日一三七年一月五日 墨書 海軍野紙 一綴
- 13 露国海軍に関する情報（英文） Macdonald 駐日公使 斎藤実宛 明治三十七年一月一八日 ペン 一綴
- 14 部外秘密雑報 第一号 港務部 一月二日 謄写 一枚 横鎮雑報
- 15 ロシア事情調査報告 明治三十七年 活版 一冊 極東に於ける露国の運輸機関及糧食 公使官二等書記官川上俊彦 外務大臣小村寿太郎宛 明治三十七年五月九日 露国絶東行政一斑 外務省調査 明治三十七年九月 「ダルニー」事情 在牛莊領事館鈴木陽之助 明治三十七年二月満州に於ける露国の施政一斑 瀬川領事調査
- 16 千八百七十七年露土開戦前に於ける露国の外交並に軍事行動対照一覧表 一八七六年七月一八七七年四月 活版 一枚
- 17 スエズ通過の石炭数量、陸兵人数 明治三十六年七月一三七年一月 墨書 海軍野紙 一綴
- 18 調査事項 墨書・鉛筆 一綴 丁抹海軍士官露国に探偵行の件
- 19 Obi 他一五艦船動向調査 ペン 二枚
- 20 浦潮斯徳港砲台位置及形勢一斑図 墨書 一枚
- 21 東郷連合艦隊司令長官報告 明治三十七年 墨書 海軍野紙 一綴 第二回旅順口閉塞に関する報告
- 22 露艦に撃沈せられたる日本船舶及び砲撃を受けたるも沈没を免れたるもの 明治三十七年二月一日一三十七年七月二四日 墨書 海軍野紙 一枚
- 23 戦闘死傷者概表 大海医報第五〇号 大本営海軍医務部 明治三十七年一月二八日調 活版
- 24 日本海海戦報告 大本営海軍幕僚 明治三十八年五月三〇日 謄写 一綴
- 二六、日露海軍力比較調査
 - 1 日露海軍力比較図 海軍軍令部第一局 明治三十六年六月 印刷 一枚 自明治二七年至明治四〇年表（付）第一表 明治三十六年一月一三十七年一月 印刷 一枚
 - 2 在東洋露国主要軍艦梗概拾遺 海軍軍令部 明治三十七年一月 活版 一冊 戦艦 装甲巡洋艦 一等巡洋艦 二等巡洋艦
 - 3 海軍軍備諸施設に関する調査 明治三十七年 墨書 海軍野紙 一綴 臨時軍事費艦艇補足費支弁の艦艇 海軍煉炭製造所設立 佐世保水道増設 海軍用火薬の製造
 - 4 日露艦隊噸数比較表 明治三十七年一月一五日調 印刷・朱訂 二枚
 - 5 明治三十七年各国艦船表日露地図等 明治三十七年
 - (1) 在東洋各国艦艇略図二種 海軍軍令部 明治三十七年一月調 活版 二枚
 - (2) 総噸数百噸以上汽船旗及煙突記章 コロタイプ 一枚

- (3) 望楼無線電信図 コロタイプ一枚
- (4) 海軍炭庫図 印刷一枚
- (5) 日本鉄道線路図 海軍軍令部 明治三十七年二月 印刷一枚
- (6) 亜露鉄道電信線路図 印刷一枚
- (7) 東洋鉄道電信図 印刷一枚
- 6 日露軍艦一覽図 印刷・朱訂 四枚
- 7 在東洋露国太平洋第一艦隊艦艇の末路 大本營海軍幕僚 明治三十八年一月調 活版 同文二枚
- 8 明治三七・八年戦役中諸表図等
 - (1) 韓国電信連絡一覽図 野戦高等電信部 明治三十七年四月一七月 謄写 三枚
 - (1) 露国東航艦隊の艦船 大本營海軍幕僚 明治三十八年四月 印刷 同文二枚
 - (2) 露国義勇艦隊汽船 海軍軍令部 明治三十七年七月 印刷 同文二枚
 - (3) 東洋に回航し得べき露国波羅的艦隊 海軍軍令部 明治三十七年七月 印刷 同文二枚
 - (4) 露国太平洋第二艦隊 大本營海軍幕僚 明治三十七年一二月 印刷 同文四枚
 - (5) 露国太平洋増援艦隊 大本營海軍幕僚 明治三十八年三月 印刷 同文三枚
 - (6) 在東洋各国艦艇略図其一 海軍軍令部 明治三十七年一月調 印刷一枚
 - (7) 在東洋各国艦艇略図其二 海軍軍令部 明治三十七年一月調 印刷一枚
 - (8) 露国黒海艦隊 海軍軍令部 明治三十七年七月 印刷 同文二枚
 - (9) 在東洋日露軍艦一覽図 大本營海軍幕僚 明治三十七年二月一〇月 印刷 五枚
 - (10) 日露軍艦一覽図 海軍軍令部第三局 明治三十六年一〇月 印刷一枚
 - (11) 列国高速力大汽船 海軍軍令部 明治三十七年一〇月 印刷一枚
 - (12) 露国海軍用施条砲要目表 海軍軍令部第三局 明治三十六年九月 活版一枚
 - (13) 列国艦隊配備表 海軍軍令部第三局 明治三十六年六月調 活版一枚
 - (14) 在東洋露国艦隊の艦艇 大本營海軍幕僚 明治三十八年四月調 活版・朱訂 四枚
 - (15) 露国海軍艦船艇定員表 海軍軍令部第三局 明治三十六年六月 活版一枚
 - (16) 在東洋列国海軍勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三十六年一二月 活版 同文二枚
 - (17) 在東洋列国海軍勢力比較表 海軍軍令部 明治三十七年五月 活版一枚
 - (18) 列国海軍勢力比較表（其二） 海軍軍令部第三局 明治三十六年一〇月調 活版一枚
 - (19) 在東洋露国艦艇現状一覽 海軍軍令部 明治三十六年一二月二九日調 活版一枚
 - (20) 在東洋露国艦艇現状一覽 海軍軍令部 明治三十七年四月一日調 活版一枚
 - (21) 明治三十七年五月軍令部配布の旅順港防備図中各砲台の名称備砲等訂正表 活版一枚
 - (22) 鴨緑江方面に於ける一般の情況・鴨緑江口附近略図 海軍軍令部第三局 明治三十六年一二月 活版 同文二枚
 - (23) 斎藤実覚書 露国艦隊図及英文メモ 鉛筆 二枚
- 9 明治三十六年四月以降日露両国外交並軍事行動対照一覽表 參謀本部調査 明治三十六年四月一二月 活版 同文二枚
- 10 日露戦役諸表図繪
 - (1) 東航露国太平洋第二艦隊の編成 明治三十七年一二月一三日調 活版一枚
 - (2) 東航露国太平洋第二艦隊所在表 明治三十七年一二月一三日調 活版・朱訂一枚

- (3) 六月一日亜露に於ける現在兵力 活版 一枚 清国事変戦史巻七に挿入のもの
 - (4) 一九〇五年四月一日北緯八度三七分東經一〇八度五五分海上の波羅的艦隊見取図 活版 一枚
 - (5) 関東半島図 海軍軍令部 明治三十七年二月 印刷 一枚
 - (6) 遼東半島図 海軍軍令部 明治三十七年七月 印刷 一枚
 - (7) 露国の新設計に係る旅順口西面防御略図 (明治三六年一〇月陸軍将校報告) 軍令部第三局 明治三六年一二月 印刷 一枚
 - (8) 旅順攻囲軍作戦経過附図 官報第六四〇六号附録 明治三十七年十一月五日 活版 一枚
 - (9) Seat of War in Southern Manchuria ジャパンタイムズ二二三九号附録 明治三十七年八月一〇日 活版 一枚
 - (10) 旅順港内外沈没船位置図 明治三十九年九月調 青焼 一枚
 - (11) 旅順港口沈没船状態調査 明治四〇年八月 青焼 一枚
- 11 日露軍艦存失比較 (在東洋) 大本営海軍幕僚 明治三十八年六月調 印刷 二枚
- 12 日露戦没参与軍艦比較図 大本営海軍幕僚校閲 水交社発行 明治三十八年一〇月調 活版 一枚
- 13 日露戦後艦艇表 青焼 三枚 帝国政府に於て新建造の軍艦 帝国政府に於て新建造の駆逐艦及潜水艇 戦利及捕獲艦船
- 14 日露戦後存亡艦船類別対照表 墨書 海軍野紙 一枚
- 二七、臨時軍事費
 - 1 臨時費一時限り経費概算書・臨時費一ヶ月分経費概算書 墨書 海軍野紙 一綴
 - 2 改造予算大略 墨書 海軍野紙 一枚 第三号「マンチュリア」号を工作船に改造予算大略 (関東丸) エカテリノスロウ号を水雷母艦に改造予算大略 (韓崎丸)
 - 3 各鎮守府設備経費に関する書類 墨書 海軍野紙 一枚
 - 4 臨時軍事費機密費仕払命令額調 墨書 一通 二月五日—一月一六日
 - 5 臨時軍事費営繕費支弁仮設工事命令若は認許済概算総額調 明治三十八年五月一八日調 墨書 海軍野紙 一枚
 - 6 三八年一・二両月分船舶費予算調 明治三十八年 墨書 海軍野紙 一枚
 - 7 臨時軍事費材料注文要領 明治三十八年三月三日調 墨書 海軍野紙 一枚
 - 8 未決事項書類 明治三十七年一月 墨書 海軍野紙 一綴 出師準備軍事費に関して
 - 9 アルゼンタイン国所有の艦船に関する書類 墨書・ペン 一綴
 - 10 三六年度戦時編制に依る臨時費概算 墨書海軍野紙 一枚
 - 11 軍備の経営に関する議閣議稟請書 山本海相 内閣総理大臣宛 明治三十七年九月 墨書 海軍野紙 一綴 海軍拡張 (付) 日電海軍艦船噸数比較一発図 ペン 一枚
 - 12 被服準備額・粒食準備額 明治三十六年五月八日調査 墨書 海軍野紙 一綴
 - 13 臨時事件費支弁要求書綴 明治三十七年一月 墨書・鉛筆 海軍野紙 一綴 臨時事件費初度調弁費内訳 被服費一時費用内訳臨時事件費造兵及修理費予算現況 (三十七年一月二八日調) 臨時事件費造兵及修理費予算残額支出見込調臨時事件費造船及修理費予算現況 (三十七年一月二九日調) 臨時事件費造船及修理費予算残額支出見込額 (三十七年一月二九日) 仮根拠地防材材料準備表患者費一時経費 (三十七年一月二八日現計) 臨時事件費艦営費測器費請求額 臨時事件費水路費請求額 (付) 有馬海軍艦政本部長書翰村上海軍省經理局長宛 明治三十七年一月二八日 取調書送付書
 - 14 日露戦中海軍増艦計画草稿 明治三十七年 墨書・鉛筆 海軍野紙 一綴

- 15 臨時軍事費艦艇補足費支弁艦艇表甲乙 明治三十七年 蒟蒻版 海軍野紙 二枚 乙表は艦艇名付
- 16 明治三十七年度臨時軍事費予算 明治三十七年 活版 一綴 臨時軍事費予算説明 臨時軍事費予算 臨時軍事費歳入予算明細書臨時軍事費予定経費要求書 臨時事件費予算外支出総計算書 各省支出計算書 明治三十七年度歳入歳出総予算追加 明治三十七年度歳入予算追加明細書明治三十七年度大蔵省予定経費追加要求書 明治三十七年度特別会計歳入歳出予算追加 明治三十七年度大蔵省所管専売局作業歳入歳出追加予定計算書 17 海軍大臣山本権兵衛具申 桂太郎総理大臣宛 明治三十七年八月一日 墨書 海軍野紙 同文二綴 自働水雷の製造に関する臨時軍事費支出
- 18 下士卒服制改正に伴う経済費用調 明治三十七年三月一五日 墨書 海軍野紙 一綴 利益の部 損失の部 損益差引施行順序の事 下士卒服制改正概要等
- 19 臨事軍事費関係メモ 斎藤実 ペン・鉛筆 三点
- 二八、石炭補給
 - 1 東洋各港に於ける石炭及艦船機械用油貯蔵調査表 海軍軍令部第三局 明治三十六年四月 印刷 一枚
 - 2 煉炭所及採炭所綱紀に関する書翰
 - (1) 筑前宇美有志憤慨生書翰 斎藤実宛 明治三十八年一月 墨書 一通 新原採炭所官紀棄乱
 - (2) 徳山町有志者書翰 斎藤実宛 明治三十八年一月二六日 墨書 一通 官紀紊乱訴え
 - (3) 某書翰 斎藤実宛 明治三十八年二月 墨書 一通 新原採炭所長等の官紀紊乱
 - (4) 岩崎達人書翰 斎藤実宛 明治三十八年二月四日 墨書 一通 稲葉所長に関する内偵報告
 - (5) 岩崎達人書翰 斎藤実宛 明治三十八年二月六日 墨書 一通 稲葉中佐内偵続報 笠松主計長内偵報告
 - 3 臨時軍事費支弁英炭購入費調 墨書 海軍野紙 一枚
 - 4 英炭消費情況 明治三十七年 ペン 一綴 各艦消費報告 算定英炭消費額 購入英炭月別 即決要件
 - 5 四月一五日に於ける英炭調査 鉛筆 海軍野紙 一枚 在庫トン数
 - 6 佐世保・呉・横須賀に於ける英炭の状況 墨書 海軍野紙 一枚
 - 7 第二種石炭買上・運送に関する意見書 墨書海軍野紙 一綴
 - 8 常備艦隊石炭費航海用消耗費等の経費に関する件 墨書 海軍野紙 一枚
 - 9 岩崎大佐上申書 斎藤次官宛 墨書 一枚 英粉炭及「ピッチ」に関する件
- 二九、サルベージ・戦時造艦
 - 1 旅順港沈没艦引揚に関する書翰集
 - (1) ロンドン鎚木電報 次官宛 明治三十八年二月四日 墨書・カーボン 一綴 土木技師ジャクソン助力申出
 - (2) 坂本一書翰 斎藤実宛 明治三十八年三月一日 墨書 一通 沈没艦引揚方法費用
 - (3) 旅順鎮守府司令長官柴山矢八書翰 斎藤実宛 明治三十八年三月五日 墨書 一通 当鎮守府事業 沈没船調査等の進行状況報告
 - (4) 柴山矢八書翰 斎藤実宛 明治三十八年三月一七日 墨書 一通 当港海面整理方針取調 意見具申 要員派遣願う
 - (5) 宮原二郎書翰 斎藤実宛 明治三十八年三月二〇日 墨書 一通 旅順港回送すべき横須賀工廠第四船渠用ポンプ其他に付報告
 - (6) 柴山矢八書翰 斎藤実宛 明治三十八年四月一五日 墨書 一通 港口開通の件大臣希望了承 引揚状況報告 三浦少将港務部長派遣は衝突を生ずべし
 - (7) 柴山矢八書翰 斎藤実宛 明治三十八年四月三〇日 墨書 一通 沈没艦引揚大臣意思了承 各自担当者指

定は行れ難し引揚事業意見

- (8) 柴山矢八電報 斎藤実宛 明治三八年五月九日 墨書・カーボン 一綴 河野派遣配慮乞う 出来難ければ北野を派遣されたし
- (9) 柴山矢八書翰 斎藤実宛 明治三八年五月一〇日 墨書 一通 陸軍省より借用と認置候家屋の件先般第二報告訂正 病院船の儀了承 アンカラ昨日排水に取掛る
- (10) 柴山矢八書翰 斎藤実宛 明治三八年五月一四日 墨書 一通 黒井廠長帰着東京事情了承 職工到着 港務部長変更の義
- (11) 坂本一書翰 斎藤実宛 明治三八年五月二五日 墨書 一通 柴山長官より防備隊部下の者及び材料を以て一艦引揚得るや質問 引揚得ると断言
- (12) 柴山矢八書翰 斎藤実宛 明治三八年五月二五日 墨書 一通 三浦少将当鎮守府附被命旨 拙者意見不採用
- (13) 斎藤実書翰案 鉛筆・墨書 二通 北野中佐派遣決定 旅順沈没艦引揚戦力増加必要 引揚事業分担は大臣の希望 職員補免の件
- 2 沈没船引揚に関する売込み交渉書翰
 - (1) C. F. Gildersleeve, The British Canadian Salvage Association President 書翰綴 山本権兵衛宛 明治三七年一〇月一二月 タイプ 一綴
 - (2) フレザー商会書翰 斎藤実宛 明治三七年九月二三日 タイプ 一枚
 - (3) Alexander Mckinley 書翰 斎藤実宛 明治三八年七月二四日 タイプ 一通 (付) George H. Jenkins 書翰 Mckinley 宛 一九〇五年七月一八日 タイプ 一通 Mckinley 身元保証書及び送付状 タイプ・ペン 二枚
 - (4) F. C Weber 書翰 山本権兵衛宛 明治三七年一一月三〇日 ペン 一通
 - (5) Salvage 関係記事写 タイプ 一綴
- 3 サルベージ船購入関係書類
 - (1) インダストリー号交渉関係電報綴 明治三七年三月二四日一明治三八年一月二三日 墨書・カーボン綴
 - (2) 三井物産会社サルベージ船交渉の往復電報写綴 ペン 一綴
 - (3) James Wallace 書翰 帝国海軍井出少佐宛 一九〇五年一月一三日 ペン 一通
 - (4) 艦船性能・価格表 ペン 一綴
 - (5) 斎藤実メモ 鉛筆 二枚
- 4 Floating Crane, Wharf Crane に関する書翰
 - (1) The Thames Ironworks, Shipbuilding & Engineering Co. 書翰 Captain T. Fujii 宛 一九〇五年八月一日 タイプ 一通
 - (2) James (PENZ) 書翰 斎藤実宛 一九〇五年一〇月二日 タイプ 一通
 - (3) 寿海商会書類 J. & F. Hall's 等総代理ヴキ・サングキネッチ タイプ 一綴
- 5 潜水艇建造のためホーランド技士雇入れに関する松方幸次郎書翰
 - (1) 斎藤実宛 明治三七年五月一八日 墨書 一通 ホーランド来朝の趣 (付) Mason S. Chace 電報 松方宛 明治三七年五月一八日 ペン・鉛筆 一通
 - (2) 斎藤実宛 明治三七年六月九日 墨書 一通 ホーランド雇用条件 御補助願う (付) John P. Holland

書翰写 松方幸次郎宛 明治三七年五月一七日 タイプ一通

- (3) 斎藤実宛 明治三七年六月一日 墨書一通 ホーランド渡航の件 一六日上京面会願う
(付) Chace 書翰写 松方幸次郎宛 明治三七年五月一八日 タイプ一通 必要経費等覚書 墨書・ペン 三枚
- (4) 斎藤実宛 明治三七年七月二日 墨書一通 ホーランドの返答待 (付) 松方幸次郎電報控 ボーランド宛他 タイプ・鉛筆 三通
- 6 竹下勇書翰 斎藤実宛 明治三八年四月二〇日 ペン Imperial Japanese Navy 罫紙一枚 川崎造船組立中の潜航艇機械並に技師につき注意の件
- 7 覚書 米国レーキ・トルベッド・ボート会社日本専売代理店高田商会主高田慎蔵 海軍次官斎藤実宛 明治三七年八月 ペン 高田商会罫紙一枚 「プロテクトル」型潜航水雷艇六隻
- 8 竹内大佐書翰 井出副官宛 明治三七年五月二日 活版・ペン Imperial Japanese Navy 罫紙一綴 「グーベール」式潜水雷艇購入の件 (付) 潜水雷艇関係フランス新聞切抜
- 9 米国製潜航艇に関する書類
 - (1) 潜航艇引渡の保証契約 墨書 海軍罫紙一綴
 - (2) Electric Boat Company 書翰 Mitsui & Company 宛 一九〇五年二月六日 タイプ一通 (付) N. Y. Times 切抜記事 二枚
 - (3) Government Specifications for Submarine Torpedo Boats Electric Boat Company タイプ一綴
- 10 日露戦争中勢力維持の為め造艦に関係の書類
 - (1) 製鉄所より購入鋼材の数量及代価 明治三六年一二月調 ペン一枚
 - (2) 駆逐艦式拾五隻製造所予定 明治三七年三月一五日 ペン一枚
 - (3) 日露海軍勢力比較表 明治三六年九月 活版一枚
 - (4) 日露海軍力比較図 明治三六年一月一三七年一月 印刷一枚
 - (5) 露国海軍建造中の軍艦 ゼ・プルシーディングス・オブ・ゼ・ユナイテッド・ステーツ・ネーバル・インスティテュート 一九〇四年六月 墨書 海軍罫紙一綴
 - (6) 露国海軍の拡張 墨書 海軍罫紙一枚
 - (7) 四二年度迄に逡減年期を過ぐへき艦艇名綴 墨書 海軍罫紙一綴
 - (8) 補充基金の分 三八年度一四一年度 墨書 海軍罫紙一綴
 - (9) 軍艦船体用材料 (鋼板及び鋼棒) 墨書 海軍罫紙一枚
 - (10) 瑞典銑鉄に付ての調査 墨書 海軍罫紙一綴
 - (11) 海軍用火薬製造所設立の議 墨書・朱書海軍罫紙一枚
 - (12) 中村雄次郎書翰 斎藤実宛 墨書一通 軍艦使用の鉄材等調査願
 - (13) 戦闘艦通報艦支出年割額 三八一四三年度 墨書 海軍罫紙一枚
 - (14) 電信訳 山内 北古賀部長宛 墨書 海軍罫紙一枚 銑鉄質等ノ回答
 - (15) 製艦事業鋼材取調回付書 海軍艦政本部長有馬新一 斎藤実宛 明治三七年一〇月二五日 墨書 海軍罫紙一枚
 - (16) 軍艦用鋼材取調送付書 近藤 斎藤実宛 一月二二日 墨書 海軍罫紙一枚
 - (17) 斎藤実メモ 鉛筆 三点
- 11 砕氷船購入に関する往復電報訳文 明治三七年六月一日一六月二八日 墨書・ペン 海軍罫紙 四点 伯林滝川大佐と軍令部長間 滝川大佐と斎藤海軍次官間 (付) 斎藤書翰案・斎藤覚書 墨書・鉛筆 三枚

12 掃海用汽艇に関する書翰

- (1) Edgar Weeks 書翰写 川崎芳太郎宛 一九〇四年六月一四日 タイプ一通
- (2) 川崎芳太郎書翰 斎藤実宛 明治三七年七月一四日 墨書一通
- (3) 斎藤実返信案 川崎芳太郎宛 鉛筆一通
- 13 三井物産紐育支店長報告 東京本店宛 明治三七年九月二七日・一〇月一日 墨書・ペン 三井物産罫紙 二綴 製艦用鋼板輸送其他に関する報告
- 14 白井敬蔵報告書 江頭軍令部副官宛 明治三七年一二月二八日 ペン Imperial Japanese Navy 罫紙 一綴 海天号大砲の件取調報告
- 15 在上海 Vickers 社代表厨三口書翰 三井物産会社宛 一九〇五年一月一四日 タイプ 一綴 Port Arthur 占領兵器修理等の売込み
- 16 C. M. Stewart 書翰 一九〇四年一二月一五日 タイプ 一綴 War Vassels の売込み
- 17 海軍中佐井出謙治報告書 斎藤実宛 明治三八年五月五日 ペン 一綴 英人元ギンスバルグ商会員Goldman 船舶買借契約につき注意を喚起
- 18 井出謙治書翰 斎藤実宛 明治三八年五月一一日 ペン 一通 Turbine Steamer に関する要件取調
- 19 斎藤実・井出謙治中佐往復電報
 - (1) タービンスチーマー売物に付調査依頼 明治三八年五月一一日 墨書・カーボン 一綴
 - (2) 調査結果報告・購入断念 明治三八年五月二四日・二五日 墨書・カーボン 一綴
- 20 軍艦高砂姉妹艦に関する書類 ストローク商会津田万吉 墨書一枚
- 21 The Steamer 仕様に関する書類 タイプ一枚 (付) 写真一葉
- 22 Memorandum タイプ 一綴 船舶の売込みに関する書類
- 23 村上経理局長書翰 斎藤海軍次官宛 一二月一九日 墨書一枚 大蔵大臣協議の件 運送船雇入の件至急決定を要す
- 24 甲鉄戦艦並に装甲巡洋艦用鋼材製造に関する調査 明治三七年五月三〇日 墨書 製鉄所罫紙一枚
- 三〇、日露戦争一般
 - 1 対露の危機 葛生修吉 明治三六年八月 活版一冊 対露の危機を論し内閣諸公に上るの書に擬す
 - 2 日本郵船株式会社社長近藤廉平内申書 逋信大臣大浦兼武宛 明治三六年一二月二五日 蒟蒻版 一綴 戦時の社船供用に関し上陳 (付) 船舶表
 - 3 入渠艦艇表 大坪技手 沖工場主管宛 明治三六年一二月二六日 墨書 海軍罫紙一枚 現今の俣入渠す可き者・盤木を変更の上入渠す可き者・盤木変更並に搭載石炭陸揚の上入渠す可き者
 - 4 新聞屋に示すべきもの 明治三六年 蒟蒻版 一綴 海軍艦隊行動報道に関する注意
 - 5 朝鮮領内における戦闘行為に関する国際法上の解釈 明治三七年 墨書 海軍罫紙 一綴
 - 6 海軍大臣山本権兵衛伝達草案 明治三七年二月 墨書 海軍罫紙 一綴 日露間接交渉決裂につき動員令を発するの理由
 - 7 日露時局断片 九鬼男爵口授 光彰館 明治三七年三月一七日 活版 同文二冊
 - 8 露国東洋交通要覧 海軍軍令部 明治三七年三月 活版 一冊 海軍の部 鉄道の部
 - 9 日露開戦に関する意見 明治三七年 墨書 海軍罫紙 一綴 政府の決心を各機関に告知すべし・艦船の修理完成期を外交決裂期とすべし・開戦前鎮南浦、木浦附近を占領すべし開戦後は海軍独力を以て事を決すべし・平和に事を収める時は露国兵力を増兵すべからざるを条件とすること

- 10 日露海戦に際し陸海軍人に賜る勅語案 墨書 一枚 (付) 送付状 岩倉具定 斎藤実宛 明治三十七年二月六日 墨書一通
- 11 戦時中措置を要する件 明治三十七年 墨書 海軍野紙 一綴 閣議に提出中のもの・閣議に提出せんとするもの・大臣より上奏せんとするもの・大臣決裁を仰がんとするもの・軍令部長より上奏方を大臣と商議済のもの
 - 12 陸軍の動員に就て 斎藤実 明治三十七年一月一六日 墨書 海軍野紙 一綴 海軍大臣意見書草案 陸軍三箇師団の動員政略観を以て動くべきにあらず 首相元老当局大臣に宣明したるもの
 - 13 連隊法令 第二三号 連合艦隊司令長官東郷平八郎 明治三十七年一月二四日 謄写 一枚
 - 14 滑稽欧亜外交地図 中村進午 小原喜三郎案 明治三十七年二月 活版 一枚
 - 15 三隊機密第三六号 明治三十七年一月一一日報告 墨書 海軍野紙 一枚 戦隊 (第五・第六・第七) 艇隊 (第一・第十・第十一・第二十)
 - 16 在旅順露国陸軍中尉某の書簡 明治三十七年 活版 一冊 在旅順口第一五狙撃歩兵連隊附歩兵中尉メニシコフよりヲテッサ軍管区都督騎兵大将男爵コウリバルに宛たる信書他
 - 17 艦船艇部隊別出征中人員表 明治三十七年三月二日調 墨書 水交社野紙 一綴
 - 18 征露戦役部隊艦船艇別名簿 明治三十七年三月一六日現在 活版 九枚
 - 19 大本営陸海軍幕僚 明治三十七年 蒟蒻版 二綴
 - 20 大本営名簿 墨書 海軍野紙 一綴
 - 21 L' Armée et la Flotte Japonaises La Patrie 新聞切抜 明治三十七年二月二日 活版 一枚
 - 22 臨時増加人員一覧 軍務局 明治三十七年四月二〇日調 蒟蒻版 海軍野紙 一綴 各庁艦団部隊等へ特に臨時増加せられたる人員年月日等摘録
 - 23 戦闘の為に消耗したる弾薬及魚形水雷価格 明治三十七年四月二二日調 墨書 海軍野紙 一綴
 - 24 汽船払下関係書類 明治三十七年四月 墨書 海軍野紙 一綴 広告案 契約書案 入札心得書 入札保証金納付票・入札書書式
 - 25 出征海軍軍人金品寄贈人名 明治三十七年四月 活版
 - 26 召集したる予後備人員調 明治三十七年六月一五日調 墨書 海軍野紙 一綴 (付) 現役を継続しつつある者 軍属 外傭人調
 - 27 極東に於ける露国の兵力 参謀本部 明治三十七年九月 活版 一冊 極東軍隊の編成改正並に増加 欧露軍隊の増援
 - 28 戦時大本営将校同相当官職員及人馬概見表 陸地測量部 明治三十七年一〇月一日調 印刷 一枚
 - 29 外国有志義指金を以て軍艦購入し日本政府へ献納の件に関する書類
 - (1) Orlan C. Cullen 書翰 有地品之允宛 一九〇四年一二月一九日 ペン・タイプ 一綴 軍艦献納の申出 (付) 有地書翰控 Cullen 宛 一九〇四年一二月二〇日
 - (2) Orlan C. Cullen 書翰 斎藤実宛 一九〇四年一二月 ペン 五通
 - (3) 日置報告 小村寿太郎宛 明治三十七年一二月一七日 タイプ 一枚 Cullen 身元調査
 - (4) 外国有志義指金を以て軍艦購入・日本政府献納の件に関する条件 墨書 一綴 (付) 同案文 鉛筆 一綴 同英文翻訳 タイプ 一綴
 - 30 日露事件要報
 - (1) 日露事件要報 一 外務省臨時報告委員 明治三十七年七月 活版 一冊 宣戦の詔勅等 帝国議会に関する件 戒厳に関する件 韓国に関する件 局外中立に関する件 戦時財政に関する件 戦時禁制品及捕獲審検に関する件 恤兵救恤に関する件 傷病兵取扱に関する件 通信に関する件 俘虜に関する件 封鎖に関する件

戦報

- (2) 日露事件要報 二 外務省臨時報告委員 明治三七年一〇月 活版 一冊 韓国に関する件 局外中立に関する件 恤兵救恤に関する件 通信に関する件 俘虜に関する件 戦報
- (3) 日露事件要報 三 外務省臨時報告委員 明治三七年一二月 活版 一冊 勅語等 韓国に関する件 戦時財政に関する件 戦時禁制品及捕獲審検に関する件 俘虜に関する件 戦報
- (4) 日露事件要報 四 外務省臨時報告委員 明治三八年三月 活版 一冊 帝国議会に関する件 戒厳に関する件 韓国に関する件 局外中立に関する件 戦時財政に関する件 戦時禁制品及捕獲審検に関する件 恤兵救恤に関する件 俘虜に関する件 封鎖に関する件 戦報
- (5) 日露事件要報 五 外務省臨時報告委員 明治三八年五月 活版 一冊 戒厳に関する件 韓国に関する件 局外中立に関する件 戦時財政に関する件 戦時禁制品及捕獲審検に関する件 恤兵救恤に関する件 俘虜に関する件 戦報
- (6) 日露事件要報 六 外務省臨時報告委員 明治三八年八月 活版 一冊 講和に関する件 戒厳に関する件 戦時財政に関する件 捕獲審検に関する件 占領地に関する件 恤兵救恤に関する件 俘虜に関する件 戦報
- 31 日露事件外評一斑
 - (1) 日露事件外評一斑 一 外務省臨時報告委員 明治三七年六月 活版 同文二冊
 - (2) 日露事件外評一斑 二 外務省臨時報告委員 明治三七年八月 活版
 - (3) 日露事件外評一斑 三 外務省臨時報告委員 明治三七年十一月 活版
 - (4) 日露事件外評一斑 四 外務省臨時報告委員 明治三八年一月 活版
 - (5) 日露事件外評一斑 五 外務省臨時報告委員 明治三八年五月 活版
 - (6) 日露事件外評一斑 六 外務省臨時報告委員 明治三八年六月 活版
 - (7) 日露事件外評一斑 七 外務省臨時報告委員 明治三八年九月 活版
 - (8) 日露事件外評一斑 八 外務省臨時報告委員 明治三八年十一月 活版
- 32 軍艦・水雷艇・仮装軍艦等修理一覧表 明治三八年二月七日調 墨書 海軍野紙 一綴
- 33 戦時経営につき希望訓示案 明治三八年 墨書 海軍野紙 一綴
- 34 奉天附近の会戦経過附図 官報第六五一二号附録 明治三八年三月一八日 活版 一枚
- 35 現時出征し居るべき員数 明治三八年四月一五日 墨書 海軍野紙 一枚
- 36 海軍出征者慰問会趣意書 明治三八年五月一七日 活版 一枚 扇子寄贈の為寄付賛成願
- 37 日露戦争戦況写真 明治三八年五月二七日 一九葉
- 38 日露海戦紀念銅船建設趣意書 最上五郎 明治三八年七月 活版 一枚
- 39 艦船役務調 明治三八年九月二日 墨書 一綴
- 40 戦時医務衛生につき訓示材料 明治三八年 墨書 海軍野紙 一枚
- 41 戦時交通及望楼につき訓示材料 明治三八年 墨書 海軍野紙 一枚
- 42 旅順口占領後押収書類翻訳 大本営海軍幕僚 明治三八年一〇月 活版 一冊 一八八二年より一九〇二年に亘る造艦事業の概見 一九〇三年より一九二二年に亘る造艦計画の査定案 波羅的海沿岸防御計画の概略
- 43 クラード露国海軍中佐意見
 - (1) 露国海軍中佐クラード論文集 其一 日本海海戦前 海軍軍令部 明治三八年九月 活版 一冊 露国太平洋第二艦隊の出発後は如何露国海軍中佐X氏のプリポイ氏に向て呈出せし小疑問 クラード中佐の演説 クラード中佐の海戦意見露国太平洋第三艦隊は夏期の信風に際し果して能く印度洋を超え得る乎 露国

は如何なる艦隊を組織せざるべからざる乎極東に於ける海戦の結果を予知することを得たりし乎

- (2) 露国海軍中佐「クラドー」意見書 正・続・続の二 外務省臨時報告委員 明治三八年三—四月 活版一綴 「ノーオエ・ウレーミヤ」新聞掲載日露交戦二関する戦略の論文翻訳
- 44 膠州湾に逃避したる敵艦の処分について 岩井尊文 明治三八年 墨書 海軍野紙 一綴 事実 中立国庇護の範囲及効力 膠州湾に逃避したる露艦「ツレサンウィッチ」に関する独逸帝国宣言の価直 此際我国の取る可き手段
- 45 呉海兵団外安式十五拇砲状態調 墨書 海軍野紙 一枚
- 46 海軍少佐田中耕太郎調査書 墨書 海軍野紙 一綴 露国海軍給与令露国陸軍給与令に関する調査
- 47 艦隊用運送船の運用に関する意見書 墨書 海軍野紙 一綴
- 48 民間船供用船名使用目的等に関する表 墨書 海軍野紙 一綴
- 49 鉄線他数量金額書上 墨書 海軍野紙 一枚
- 50 瓜生第二艦隊司令官電報 斎藤次官宛 三月二五日 墨書 海軍野紙 一綴 南三山島建築物に関する状況報告 (付) 三山島砲撃聯合艦隊命令
- 51 観戦人名表 謄写 一綴 貴族院議員・衆議院議員・外国公使館附海軍武官・内国新聞社員・外国軍事通信員他
- 52 第二回満州丸便乗者姓名 蒟蒻版 海軍野紙 一綴 外国人・貴族院議員・衆議院議員
- 53 予定行動表 謄写 一綴 六月一—二日横須賀発より六月二—四日仁川・二五日鎮南浦より七月一—二日横浜迄
- フィールド・アルローアンス
 - 54 一八九八年英国海軍条例中海軍野戦加俵に関する一条の抄訳 墨書 海軍野紙 一綴
 - 55 近着英字新聞香港デーリー・プレス所載露国艦隊の轟沈又は拿捕せる船舶 二月一—三日—七月二六日 墨書 一綴
 - 56 満州占領地施政の件 蒟蒻版 一綴 露国租借地・清国開港地・清国内地
 - 57 各鎮守府補欠員現在調 墨書 海軍野紙 一枚
 - 58 三月十四日旅順口沖に於て捕獲せる汽船「マンチュリヤ」号搭載電信材料 墨書 陸軍省野紙 一枚
 - 59 備上船舶一ヶ月 (臨時使用共) 使用料並運転請負料調 墨書 海軍野紙 一枚
 - 60 艦艇船体機関部欠損衰朽の程度並現状及之が修理施行予定場所一覽 海軍艦政本部第三・四部 墨書・蒟蒻版 海軍野紙 一綴
 - 61 海軍備用船舶噸数比較グラフ 墨書・彩色 一枚
 - 62 海軍備用船舶総噸数 墨書 海軍野紙 一枚
 - 63 「アルグーン」「ロシア」二船を捕獲物となす正当なる理由 墨書 海軍野紙 一枚
 - 64 艦隊付主計官管掌事務大要 墨書 海軍野紙 一綴 管掌事務事項・艦隊付主計官を置くの件 理由
 - 65 汽船新発田丸修繕工事仕様書 墨書 航路標識管理所野紙 一綴
 - 66 望楼略記 謄写 一綴 海軍望楼調
 - 67 斎藤実覚書 墨書 一枚 日露戦波羅の艦隊 露国関係中立国船舶 其他参考諸件
 - 68 元浦塩に居りし熊本県人阿部野某に関する覚書 墨書 海軍野紙 一枚
 - 69 阪谷芳郎上申 斎藤次官宛 一月一—五日 墨書 一枚 露清銀行上海より旅順に向銀塊積出す模様
 - 70 練習艦松島橋立巖島航路予定表 墨書 海軍野紙 一綴
 - 71 砲戦戦策 謄写 一綴 射距離 目標の撰弾 弾丸の撰弾 照準点 号令 (付) 十五拇砲射撃心得一覽 謄写 一枚
 - 72 露国海軍非行の報復として帝国権内露国船舶没収すべしとの意見書 明治三七年 墨書 海軍野紙 一綴 被害商船に関する事例報告

三一、戦後処理

- 1 明治三八年一二月二〇日大本営を閉らるる節賜はりたる勅語 墨書 一綴
- 2 明治三七八年戦時財政始末報告 大蔵省 活版
- 3 明治三七八年役戦後財政整理報告 大蔵省 明治四四年八月 活版
- 4 日露戦争戦勝祝詞 伊達宗基 明治三九年五月六日 活版 一枚
- 5 拿捕船舶一覧表 明治三八年九月改正 蒟蒻版 一綴
- 6 拿捕品捕獲品及戦利品元受調 墨書 海軍野紙 一綴 拿捕品捕獲品及戦利品陸軍其他部外官衙へ保管轉換調 拿捕品捕獲品及戦利品売却調 英炭和炭煉炭元受等調
- 7 拿捕船処分一覧表 明治四〇年六月七日調 蒟蒻版 一綴
- 8 戦利艦船処分一覧表 軍艦含有 明治四〇年六月一七日調 蒟蒻版 同文二綴
- 9 戦後旅順口写真集 関重忠撮影 一五葉 関東都督府陸軍部 海軍病院 敷設隊 衛兵隊 元露国関東州海兵团 司令長官官邸 関東都督官邸 水交支社旅順港口 船渠内の「アムール」 露国駆逐艦の末路「ラザレスチー」 同「ストロスヌノー」 同「ボイヨイ」 唐碑亭水禽
- 10 日露戦争写真帖英文解説 斎藤実 明治三八年 ペン・鉛筆 二綴
- 11 オイゲン・ノルド旅順砲城記 外務省臨時報告委員 明治三八年一〇月 活版 一冊 上海発行『徳文新報』記事翻訳
- 12 明治三七年度の賃金に及ぼせし戦争の影響・明治三七年度の物価に及ぼせし戦争の影響 農商務大臣官房統計課 明治三八年一〇月 活版 一綴
- 13 明治三八年の物価に及ぼせし戦争の影響 農商務大臣官房統計課 明治三九年一一月 活版
- 14 凱旋観艦式関係資料 明治三八年一〇月
 - (1) 凱旋式規程 明治三八年一〇月一六日 活版 一綴
 - (2) 凱旋観艦式行幸御次第書 活版 一綴
 - (3) 御次第書第十五項に依る勅語案 墨書 海軍野紙 一枚
 - (4) 海上御列及乗艇各官・奉送員艇等に付各大臣供奉員等に配付書類 謄写 一綴
 - (5) 横浜沖凱旋観艦式艦隊排列図 水路部 明治三八年一〇月 印刷 二枚 (付) 気球昇騰点略図
 - (6) 観艦式場参列艦艇配列図 印刷 一枚
- 15 海軍明治四一年授爵関係書類
 - (1) 侍従職幹事岩倉具定書翰 斎藤実海軍大臣宛 明治四〇年九月一八日 墨書 一通 海軍将官本月二〇・二一日在京の分至急取調願う (付) 海軍将官名書上 墨書 宮内省野紙 一綴 佐双造船総監外二名嗣子名書上 墨書 一綴
 - (2) 大将伊東祐享外将官・総監名書上 墨書 海軍野紙 一綴
 - (3) 伊東他海軍将官名等メモ 斎藤実 墨書 一枚
 - (4) 海軍軍令部長大本営海軍参謀官海軍大将子爵伊東祐享外司令官等・全戦役従軍戦後病死者・全戦役従軍中少将名書上 墨書 海軍野紙 一綴
 - (5) 伊東大将外将官・総監名書上 墨書 海軍野紙 一綴
 - (6) 新井中将・佐双総監に関するメモ 斎藤実 赤鉛筆 一枚
- 16 授爵に関する意見 斎藤実 墨書 一枚 日露戦功による授爵標準の拡大
- 17 勲功調査委員名簿 墨書 海軍野紙 一枚

18 齋藤実武功明細書案 海軍大臣山本権兵衛 明治三十八年一〇月一六日 墨書 海軍野紙 一枚

- 19 故広瀬中佐記念物建設趣意書 墨書 海軍野紙 一綴 趣意書 発起者 要項 (付) 広瀬武夫遺族宛電案 明治三十七年三月 墨書 海軍野紙 一綴
- 20 旅順忠魂碑を旅順要塞戦紀念碑とせられ度旨趣書 墨書 海軍野紙・陸軍野紙他 一綴 旨趣書浅井案を修正 旅順忠魂碑を旅順紀念碑 (或は明治三十七八年戦役旅順紀年碑) とせられ度旨趣書 旅順忠魂碑に対する意見草 按
- 21 故湯浅海軍少佐紀念奨学資金募集趣意書 磯貝一他一六名 明治三十九年一二月 活版 一枚
- 22 鴨緑江沖の戦 合衆国海軍大臣ヒラリー・エー・ハルバルト 墨書 大本営野紙 一綴 合衆国海軍改造
- 23 日露戦争座談会名簿 一二月六日 鉛筆 朝日新聞社野紙 一綴

○ 海軍大臣

■ 三二、 予算

- 1 明治四四年度総予算摘要 ペン 海軍省野紙 一綴
- 2 明治四四年度予定経費の説明大要 墨書 海軍野紙 一綴
- 3 明治四五大正元年度予算追加・大正二年度経費追加書等綴 活版 一綴 大蔵省・文部省・京都帝国大学・外務省・内務省・陸軍省・海軍省・司法省・農商務省・逓信省・朝鮮総督府・関東都督府・東京帝国大学・海軍省
- 4 大正元年度国庫剰余金見込調書 大正二年九月一六日調 蒔菟版 大蔵省野紙 一綴 (付) 勝田大蔵次官送付書 齋藤海軍大臣宛 大正二年九月一八日

■ 三三、 政治・行政

- 1 海獣猟業に関する調査 海軍大臣官房 明治三十九年二月 蒔菟版 一綴 海豹島、海獣保護問題一般状況調査報告
- 2 南満州鉄道会社設立に関する命令案 明治三十九年 蒔菟版 一綴 全二六条 (付) 南満州鉄道会社資金概算書
- 3 対清政策要項 明治四〇年二月一六日 蒔菟版 一綴 元老及関係大臣参同首相邸会議 清国革命党首領孫逸仙説論 海外へ去らしめ部下革命党员我邦運動に対し取締ること 他一三項目
- 4 林権助報告 林董宛 明治三十九年八月一八日 蒔菟版 一綴 満州方面視察 満廷の諸臣主権熱に感染 対満方針意見
- 5 宮中恒例儀式関係
 - (1) 宮中恒例儀式御祭典に関する規定 式部長戸田氏共 海軍大臣齋藤実宛 明治三十九年一二月 活版 一綴 宮中恒例儀式御祭典の節参賀参拜等に関する通知
 - (2) 年中恒例儀式祭典心得 宗秩寮 明治四四年一二月 活版
- 6 枢密院議事細則 明治三十九年一二月 活版 一冊 議場整理・読会・発言・表決・委員・補則
- 7 枢密院官制及事務規程 明治三十九年一二月 活版 一冊 憲法第五六条・枢密院官制及事務規程他 蒔菟版追加あり
- 8 北越鉄道国有之件に付請願書・同理由書 北越鉄道株式会社渡辺嘉一 逓信大臣山県伊三郎宛 明治四〇年一月一四日 活版 一綴 付表
- 9 財政に関する井上侯質問要領 明治四一年四月一日 蒔菟版 一綴 質問条項一〇項目 於井上侯邸 列席者西園寺首相、原内相、松田蔵相、林外相、堀田逓相、阪谷男爵、水谷次官、松尾総裁、高橋副総裁、添田総裁、橋本主計局長、勝田理財局長、塚田整理局長、長島書記官
- 10 井上侯提出財政意見 (写) 明治四一年 墨書 海軍野紙 一綴 四一年度内に詳細の調査を遂げ整理を執行せられんことを期す
- 11 宮内伝染病予防令 同施行規則 明治四一年一〇月九日 活版
- 12 高等中学校令制定の顛末概要 明治四四年七月 蒔菟版 一綴 学制改革大要・高等教育会議諮詢

13 高等教育会議諮問の結果 明治四四年七月 蒔菟版 一綴 高等中学校令について

- 14 第二五回衆議院外国領海水産組合法中改正法律案委員会議録筆記 第二回 明治四二年三月一八日 蒔菟版 一綴
- 15 在西特命全權公使稲垣滿次郎報告 外務大臣林董宛 明治四一年六月二日 蒔菟版 一枚 日米間の關係に就き西國皇帝陛下の我國に対する好意御内示の件
- 16 稟議書 海軍大臣齋藤実 内閣總理大臣桂太郎宛 明治四二年一〇月 墨書 海軍野紙 一綴 旅順港の一部を商港となすこと及び鎮海湾軍港に鎮守府を置かるる計画を確定せられ度件 (付) 旅順港に関する覚書
- 17 閣議稟請書 海軍大臣齋藤実 内閣總理大臣桂太郎宛 明治四二年一〇月二八日 墨書・ペン 海軍野紙 一綴 鎮海湾軍港設備大体計画の件 (付) 鎮海湾軍港第一期設備費予算総括表
- 18 齋藤実覚書 明治四二年 墨書 一枚 旅順港の一部を商港と為すことの件
- 19 文部大臣に提出せし口演書 船越衛 明治四二年 蒔菟版 一綴 教育基金の填補及教育費に対する国庫補助の件 (付) 船越衛書翰 海軍大臣齋藤実宛 七月一五日 尽力願う
- 20 関稅定率法附属輸入稅表草案 明治四二年一〇月 活版 一冊 (付) 輸入稅表草案中造船造兵材料の重なるものに就 謄写 海軍野紙 一綴 窪田主計大監久野主計小監意見書 松本艦政本部長宛 一〇月七日 ペン 海軍野紙 一綴 関稅定率法改正意見
- 21 文部大臣小松原英太郎内訓 北海道庁長官府県知事宛 明治四三年 謄写 一綴 小学校教員、中学校其他中等以上学校生徒の思想取り締りに関する件
- 22 貴族院及衆議院に速記技師を設け守衛長を奏任とするの議 衆議院書記官長林田龜太郎 海軍大臣齋藤実宛 明治四三年三月二一日 墨書 一綴
- 23 柴田内閣書記官長通牒 齋藤海軍大臣宛 明治四三年八月二一日 墨書 海軍野紙 一枚 二二日枢密院會議參集願
- 24 借地に関する法律案 明治四四年一二月二一日仮決 謄写 一綴 提出するや否未定
- 25 水産貿易振興策 明治四四年一二月 蒔菟版 一冊 (付) 将来遠洋漁業として發達すべきもの及其發達程度の予想 付図 (大船漁業漁場一覽図・鱈大鮮漁場・鯉鮪鯨鮫鮫漁場・鯉鮪鮪漁場・東海附黃海の一部支那海の一部及日本海西南部漁場)
- 26 外交に関する演說要領 明治四四年 蒔菟版 一綴 帝國議會に於ける演說
- 27 李王世子渡鮮便船に付き總督府海軍往復電報 小栗海軍省副官報告 海軍大臣齋藤実宛 明治四四年七月二二日 墨書 海軍野紙 一綴
- 28 耕地整理の既往及将来 大正元年 蒔菟版 一綴 (參考) 耕地整理施行認可累年表・農商務省支出金累年表・府県支出金累年表・耕地整理施行地実例
- 29 辞表 齋藤実 明治四一年一月 墨書 一枚 (付) 御沙汰覚書 明治四一年一月一四日 各大臣の辞表は現時の情勢に顧み内閣の更迭を許すの時機にあらず 局部の責任に腐るものの外は病を努め留任せしむことを望む 首相より朕の旨を伝えよ
- 30 辞表 齋藤実 明治四一年七月 墨書 一枚
- 31 辞表 齋藤実 明治四四年八月 墨書 一枚
- 「四四年八月二二日桂首相に提出 同二五日首相より闕下へ捧げたるに四四年八月二九日西園寺侯に新内閣組織大命下ると共に留任の恩命あり 八月三〇日新内閣成立に至り西園寺侯を以て御下附あり」と封紙にあり
 - 32 辞表 齋藤実 大正元年一二月四日 墨書 一枚
 - 33 米穀公營計画趣意書 前案後案 明治四五年三月・四月 活版 二枚 目的・実行方法・米穀公營計画第二趣意

- 34 明治天皇御大葬に関する書類
 - (1) 大喪儀殯宮葬場殿間函簿 大正元年 活版 同文二冊 明治天皇御大葬函簿
 - (2) 大喪儀桃山仮停車場陵所間函簿 大正元年 活版
 - (3) 大喪儀参列諸員心得 大正元年九月 活版 同文二冊 (付) 男爵会幹事通知 大正元年九月九日 蒟蒻版一枚
 - (4) 大喪儀陵所参列諸員心得 大正元年 活版
 - (5) 第一供奉列車時刻表其他注意書 大正元年 活版 六枚
 - (6) 京都新橋間及京都桃山間臨時列車に就ての御注意 大正元年 活版 同文二部
 - (7) 京都及桃山近傍略図 活版一枚
 - (8) 大喪儀轎車及儀仗隊前隊先頭行進位置想定図 大正元年九月一三日 活版一枚 (付) 交通遮断線図印刷一枚
 - (9) 官報号外綴 活版一綴 明治四五年七月三〇日、大正元年七月三〇日、同七月三十一日、同八月一二日、同八月一六日、同九月三日 明治天皇大喪関係 (付) 斎藤覚書 墨書
 - (10) 大喪儀参列各国御名代特派使節及来航艦隊等一覧表 大臣官房調製 大正元年九月七日 蒟蒻版一枚 (付) 御名代宮及特派大使の横浜着発期日一覧表 九月八日調 蒟蒻版一枚
 - (11) 各大臣殯宮祇候順番 大正元年八月一五日—九月一日 墨書 内閣野紙一綴
 - (12) 殯宮祇候日割表 大正元年八月一二日 謄写一綴 (付) 海軍次官財部彪通知書
 - (13) 渡辺千秋 (宮内大臣・大喪使副總裁) 通知書綴 大正元年八月七日—一〇月二九日 蒟蒻版一綴 大葬関係
 - (14) 式部長官戸田氏共通知書 斎藤実宛 明治四五年七月三〇日 謄写 宮内省野紙一枚 参内通知
 - (15) 海軍省副官森山慶三郎申進書 活版二枚 上京艦団代表者宛 大正元年九月一〇日 斎藤実宛 大正元年九月七日 大喪儀参列心得
 - (16) 海軍公報第一号 大正元年七月三十一日 活版一枚 改元通牒・大喪関係
 - (17) 警視庁・東京府公報 号外 大正元年九月九日 活版一部 大喪関係
 - (18) The Japan Advertiser 新聞記事他 一九一二年九月一七日 活版四点
 - (19) 斎藤実覚書他 大正元年九月 活版・鉛筆二点
- 35 乃木希典、夫人静子神葬通知 斎藤春子宛 大正元年九月一六日 活版一通
- 36 横浜市市会議員選挙区に関する事件の顛末概要・山口県下関市築港事業に関する事件の顛末概要 大正二年一月 謄写二綴 (付) 原内務大臣送付書 海軍大臣斎藤実宛 大正二年一月二七日 印刷一枚
- 37 海軍治罪法中改正法律案に関する意見
 - (1) 衆議院議員花井卓蔵外二名提出海軍治罪法中改正法律案に対する意見 大正三年三月 墨書・活版 海軍野紙一綴 本案反対理由の要旨 (付) 海軍治罪法中改正法律案
 - (2) 海軍治罪法第二条改正案 (花井卓蔵議員提出) に関する意見 大正三年三月 墨書 海軍野紙一綴 反対理由第一点・第二点釈明改正案成立の場合の修正意見
- 38 昭憲皇太后御大喪に関する書類
 - (1) 大喪儀参列諸員心得 大正三年 活版 同二冊
 - (2) 皇太后御大葬注意 四谷区役所 大正三年五月 活版二枚

- (3) 皇太后御容態通知書類 西郷他七名・華族会館 大正三年四月九日 蒟蒻版 二枚
- (4) 皇太后崩御通知 宮内大臣波多野敬直 大正三年四月 蒟蒻版 一枚 (付) 男爵会幹事通知 四月一日 蒟蒻版 一枚
- (5) 皇太后殯宮移御参拝通知 海軍大臣八代六郎・海軍省副官 大正三年五月一日 蒟蒻版 二枚
- (6) 男爵会幹事通知 大正三年五月 活版 二枚 殯宮拝礼 (付) 皇室喪服規程喪服制式 活版 一枚
- (7) 大喪使儀式部長伊藤博邦通牒 大正三年五月一四日 謄写 一枚 殯宮祭等
- (8) 男爵会幹事通知 大正三年五月二一日 蒟蒻版 一枚 大喪儀当日奉送諸員乗用馬車自動車等置場切符に付
- (9) 華族会館通知 大正三年五月二三日 活版 一枚 皇太后御斂葬翌日本館遥拝所参拝相成度
- (10) 海軍公報 号外 海軍大臣官房 大正三年四月一一日 (正・其二)・五月一一日 活版 三枚 皇太后崩御に関する令達・通牒
- (11) 権殿百日祭通知 活版・謄写 二点 海軍公報 五七一号 大正三年七月一一日 大喪使儀式部長伊藤博邦通牒 大正三年七月一〇日
- 39 宮内大臣波多野敬直通知 大正三年七月一七日 蒟蒻版 一点 閑院官季子女王殿下薨去
- 40 聖上御容体書綴 宮内大臣渡辺千秋 大正二年五月二二日一五月二九日 蒟蒻版 一綴
- 41 問題提出書類 農商務省 蒟蒻版 一綴 外国貿易助長の方法及施設に関する件 不正競争の取締に関する件 公有林野開発に関する件 米穀の増収及改良に関する件 蚕糸業の発達及改善に関する件
- 42 海相官邸来訪者名簿 墨書 海軍野紙 一綴 官邸来訪者人名簿 明治四〇年一月一四日 官邸来訪者名簿 明治四一年一月一三月 接客日来訪者控明治四二年一月一三月 官邸茶話会 (招待状発送名簿) 明治四二年四月一四日 来訪者名簿 明治四四年一月一三月 年始交歓名簿 大正四年一五年
- 三四、意見書類
 - 1 政論 土田政次郎 明治四一年五月二三日 活版 一冊 帝国国民大多数諸君に呈する書・在朝在野政治家諸君に呈する書・緒言・国勢観・政治観・軍備観・財政観・国勢振興策
 - 2 旅順港調査に関する卑見 明治四一年 蒟蒻版 一綴 旅順港湾を測量し築港の計画を定め其利害得失を考察するの機を与えられんことを願う
 - 3 覚書 明治四〇年代 墨書 一枚 旅順港築堤高架の件 潜水業として雇上げの件
 - 4 軍事問題に就き我が国有識なる紳士諸君に訴うるの書 葛生玄喟 明治四二年四月 謄写 一綴 軍事費の公示・海陸何れを主とすべきか (海軍の拡張には或る程度に於て同意を禁ずる事能わざるなり)・過大なる陸軍の設備・国家将来の危機・軍事の調査
 - 5 在北京英国公使館ヴァレンタイン・チロル意見書 桂太郎宛 一九〇九年六月二日 蒟蒻版 一綴 朝鮮統治、対清政策に関する意見
 - 6 石炭運賃割引率御改正御延期相成度儀に付歎願書 北海道炭砒汽船株式会社専務取締役井上角五郎 海軍大臣 齋藤実宛 明治四三年二月一〇日 墨書 北海道炭砒汽船株式会社野紙 一綴
 - 7 国際通報事務局設置の理由 望月小太郎 明治四三年五月 墨書 一綴
 - 8 行幸道路建議案 京都市会議員西村仁兵衛 齋藤実宛 明治四三年八月一五日 活版 一部
 - 9 危険思想自滅案 根津一 明治四三年 活版
 - 10 禅と思想界の関係 カーボン 一綴 表紙に「根津一氏より」とあり
 - 11 敬神につき一言 田中知邦 明治四四年一月一日 活版 一綴

- 12 日本財政概観 宇都宮鼎 明治四四年六月 謄写 一綴 我国税の収入高・列国の富力・列国民の負担・我財政の将来・結論
- 13 出征下士卒留守資金制創設趣意書 明治四五年一月 活版 一枚 実行方法・第二趣意書
 - 14 清国領土の保全を研究して関東州租与地の法律上の性質に論及す 高橋作衛博士報告 明治四五年三月二五日 活版
 - 「国際法雑誌」第一〇巻七号抜刷 緒言・領土保全の意義・清国領土の保全は条件付なり・関東州租与地は清国領土にあらず従て領土保全の圏外にあり・平和維持の必要上世界大勢は次第に土地の疑問的地位を排除す・結論
 - 15 減債基金論 宇都宮鼎 明治四五年五月 蒔菞版 一綴
 - 16 明治神宮建設に関する意見書 赤坂倶楽部 大正元年九月 活版 一枚 神宮の位置・神宮の設計
 - 17 東京市政問題 市政講究会 大正二年四月 活版 一綴 緒言・国家として講究すべき問題・東京市として講究すべき問題・結論
 - 18 護国論 水野梅暁 大正二年九月一二日 謄写 一綴 辛亥革命後対支政策
 - 19 今後に於ける支那を如何にすべきや 水野梅暁 大正二年九月一三日 謄写 一綴
 - 20 戸井嘉作他二六名書翰 斎藤実宛 大正二年一二月二日 墨書 一通市会可決の横浜市会議員選挙区条例廃止の件大島久満次県知事拒否の不当について (付) 陳情書 内務大臣原敬宛 大正二年一二月二〇日 活版 一部謹んで市の公民諸君に訴う 大正二年一二月 活版 一枚
 - 21 我軍備は果して海軍に偏倚せりや 安井正太郎 大正三年三月一五日稿 謄写 一綴 第三議會貴族院並に尾崎行雄の論に対する反論
 - 22 海軍大臣の資格に関する意見書 墨書 海軍野紙 一綴 海軍大臣たるの資格を一定するは不法にあらずと思料すれども政治上の意味に於て不得策なり
 - 三五、南北朝正閏問題
 - 1 教科書に於ける南北正閏問題の由来 文学博士三上参次談 明治四四年 活版 一冊 「太陽」第一七巻五号所載
 - 2 教科用図書調査委員会議決事項 明治四四年 蒔菞版 一綴 第一一第九議決 部会原案 少数意見 (参考) 神皇正統記 大日本史 皇朝史略他
 - 3 委員会議決事項に関する意見書 明治四四年 墨書 文部省野紙 一綴 (参考) 古人が偽主偽器偽朝の字面を用いたる例
 - 4 第二案 明治四四年 蒔菞版 一綴 光厳以下五王の説明教師用書に掲載し児童用教科書には註釈を置かざること
 - 5 教科用図書調査委員会議決の二 (高等小学歴史) 明治四四年 墨書 一枚 第一一第三
 - 6 歴史教科書記載事項 明治四四年 活版・蒔菞版 一綴 第一一第七最終決 (付) 御系図上下
 - 7 尋常小学日本歴史 児童用 巻一・二 文部省 明治四二年一二月・四三年一〇月 活版 二綴 朱訂正、蒔菞版訂正綴込
 - 8 尋常小学日本歴史 児童用 巻一 文部省 明治四二年九月 活版
 - 9 小学日本歴史 新制高等小学校第三学年用 文部省 明治四二年六月 活版
 - 10 尋常小学修身書 教師用 巻一・二 明治四二年 活版 二冊
 - 11 尋常小学読本 巻丁三 文部省 明治四二年 活版 二冊
 - 12 小学教育卑見統稿 謄写 一綴 (付) 郡山文蔵書翰 斎藤実宛 明治四三年六月二一日 墨書 一綴
 - 三六、辛亥革命
 - 1 革命党の方略 水野梅暁訳 六月八日 謄写 一綴 中国に於ける革命党の組織状況を革命党が発表せるもの 人才

の予備・思想の伝播・財用の準備・各社会との連絡・地盤の撰択・時期の決定・大挙

- 2 湖北事変通報綴 海軍大臣官房 明治四四年 蒟蒻版 一綴 自明治四四年一〇月一四日（前紀）至同年一一月一七日（第三八号）第二三・二五号欠（付）東洋派遣列国艦艇所在表 第四〇〇号 海軍軍令部 明治四四年一〇月一二日 活版 一枚
- 3 清国事変特報（甲） 第一二回 二月一〇日 謄写 一綴 特別派遣員報告 二月二日 於南京（付）江西省吉安府朱念■氏より根津一宛来翰訳文
- 4 機密報 第二三号支那時局観 海軍軍令部長 明治四五年二月一五日 蒟蒻版 一綴 宗方小太郎二月八日稿
- 5 清国事変通報 第一三四一一五〇号 海軍大臣官房 明治四五年二月九日一四五年二月二五日 蒟蒻版 一綴 清国事変に関する海軍艦隊司令官より海軍大臣宛電報綴
- 6 清国事変通報 第一五一一一八〇号 海軍大臣官房 明治四五年二月二六日一四五年三月二〇日 蒟蒻版 一綴
- 7 清国事変通報 第一八一―二〇〇号 海軍大臣官房 明治四五年三月二日一四五年四月九日 蒟蒻版 一綴
- 8 清国事変通報 第二〇一一二三〇号 海軍大臣官房 明治四五年四月一〇日一四五年五月二二日 蒟蒻版 一綴
- 9 清国事変通報 第二三一―二六九号 海軍大臣官房 明治四五年五月二三日一四五年七月二五日 蒟蒻版 一綴
- 10 清国事変通報 第一一二九号 海軍大臣官房 大正元年八月二日一元年一〇月四日 蒟蒻版 一綴
- 11 清国事変通報綴 海軍大臣官房 蒟蒻版 一綴 自明治四四年一―月一八日（第三九号）至大正元年一〇月一四日（第三六号）第五五号欠
- 12 革命軍独立の承認 有賀長雄博士意見 明治四五年二月五日 活版 一冊 「支那」第三卷第三号附録
- 13 清国時局救済三策 明治四五年 ペン 海軍野紙 一綴 皇帝を廃し共和国となすこと・現皇室に数省の地を与えて一帝国を存立せしめ其の他を共和国となすこと・現皇室を依然主権者に戴き君主立憲国となすこと
- 14 森山副官報告 斎藤海軍大臣宛 大正元年九月二七日 ペン 海軍野紙 一綴 独海軍武官フィッセル少佐来省・独艦隊横浜滞泊中の御礼・クロジック長官よりの伝言申述る・その他五件通報
- 15 对支那時局卑見井手三郎、小越平陸、根岸信、中野二郎、山内巖、荒賀直順、島弘尾、岩田凡平、田鍋安之助、中西正樹、中村弼、松平康国、宮島大八 大正元年一〇月謄写 一綴 露国の外蒙古に於ける運動に対し日本は宜しく内蒙古を収めて我が勢力範囲と為すべし・奉天より新民府に至る京奉鉄道の一部を買収し之を内蒙古に延長し小庫倫赤峰「トロノール」を経て張家口附近に至る一線の鉄道を敷設すべし・露国に交渉し庫倫張家口間鉄道敷設の計画を放棄せしむべし・吉会鉄道布設の権を我に収め急に工を興すべし（附図）一枚
- 三七、シーメンス事件
 - 1 斎藤実覚書 大正三年 墨書 一枚 大隈内閣八代海軍大臣の奏請に反対 山本大将現役に復せしむべし
 - 2 斎藤実演説草稿 大正三年 墨書 一枚 シーメンス事件 海相辞任経緯
 - 3 第三一回帝国議会議事速記録 大正三年 活版
 - (1) 貴族院委員会議事速記録 第一、三、七号 大正三年二月一七日・一九日・三月九日 三点
 - (2) 貴族院予算委員第四分科会（陸軍省・海軍省）議事速記録 第四・五・六号 大正三年三月二日・三日・五日 三点
 - (3) 衆議院予算委員会議録（速記） 第九回 大正三年二月二七日 一部
 - (4) 衆議院臨時国防会議設置に関する建議案委員会議録（速記） 第二回 大正三年三月一―日 一部
 - (5) 官報号外衆議院議事速記録 第一四号 大正三年二月二二日 一部
 - (6) 官報号外貴族院議事速記録 第一四号 大正三年三月一四日 一部
 - (7) 大正三年度歳入歳出総予算案両院協議會議事速記録 大正三年三月一九日 一部

- 4 意見書 大日本国防義会有志川島清治郎他三名 海軍大臣齋藤実宛 大正三年二月一九日 墨書 一綴 海軍不祥事件 海軍補充計画のため閣下の誠意披瀝を求める
- 5 刻下の海軍問題に関して敢て憂国の士に檄す 府下大崎国防同憂者集会所盛田暁他五名 大正三年二月 活版 一枚
- 6 辞表草案 齋藤実 大正三年三月二四日 墨書 一枚
- 7 シーメンス事件判決書 大正三年五月・九月
 - (1) 海軍造兵中監鈴木周二 蒟蒻版 一綴
 - (2) 海軍中将松本和 謄写 一綴
 - (3) 海軍大佐沢崎寛猛 謄写 一綴
 - (4) 海軍機関少将藤井光五郎 謄写 一綴 (付) 海軍教育本部名和中将齋藤宛封筒
- 8 海軍大臣八代六郎部内高等武官に訓示 大正三年六月一二日 蒟蒻版 一綴 海軍部内汚職事件に関するもの
- 9 宣言 一立憲青年党 大正三年 謄写 二枚 海軍廓清に関するもの
- 三八、日露戦後海軍
 - 1 "Lhasa"号、"Lunka"号売買交渉に関する書類
 - (1) A. F. White 書翰 齋藤実宛 一九〇五年四月二〇日・五月一四日・五月一五日 ペン 三通
 - (2) 有地品之允・齋藤実書翰電報綴 明治三八年五月一五日 鉛筆・墨書 一綴 有地品之允書翰 齋藤宛 彼の船内田氏に取調依頼置出張明日迄猶予願齋藤実電報案 有地品之允宛 「ラッサ」「ルンカ」号談判 暫く延引 仲人誤解のため進み過ぎ 協会責任者に仲人を紹介して談判進行する様致度
 - (3) 有地品之允書翰 齋藤実宛 明治三八年五月一五日 墨書 一通
 - 2 クラムプ造船所より支那日本貿易商會に通信に関する書の写 一九〇五年二月一六日 タイプ 一綴
 - 3 生熱冶金術研究報告 吳海軍工廠海軍技師田中元槌 明治三八年一月二五日 ペン 一綴 (付) 第二次研究報告 明治三八年三月一四日
 - 4 紐状火薬の分解及自発に関する意見 艦政本部第一部長北古賀竹一郎 艦政本部長齋藤実宛 明治三八年九月 墨書 海軍野紙 一綴 (付) 戦役中軍艦火薬庫最高温度
 - 5 齋藤乘艦艦船説明 墨書 海軍野紙 一綴
 - 6 海軍少機関士候補生に与うる訓示案 海軍教育本部長 明治三八年三月 墨書 海軍野紙 一綴 朱書あり
 - 7 ノーエル大將以下英国艦隊乗員に対する官民招待次第書 明治三八年一〇月 活版 一枚
 - 8 将官及大佐任官略歴 (海軍) 明治三八年一〇月一日調 活版 一綴 一等装甲巡洋艦進水式御次第書 吳鎮守府司令長官有馬新一 明治三八年一二月二三日 謄写 一綴 (付) 儀仗兵編成表・図・一般心得
 - 10 齋藤実履歴書 明治三九年一月 墨書 海軍野紙 一綴
 - 11 臨時費支弁に伴なう海軍工事の峻成につき訓示 明治三九年三月一〇日 墨書 海軍野紙 一綴
 - 12 五等卒教育に関する諮問案 明治三九年三月 蒟蒻版 一綴
 - 13 諮問案 明治三九年三月 蒟蒻版 海軍野紙 一綴 大学校、兵学校、砲術水雷術練習所の教育方針に関する諮問案
 - 14 軍令部彙報第一〇号 (二冊の一) 海軍軍令部 明治三九年四月一八日 活版 一冊 艦船艇・通信運輸交通・教育訓練演習・予算兵備・官制・外交・雑事
 - 15 軍事新報 二期一四号 明治三九年五月一二日 活版 一部
 - 16 海外情報 第二一号 参謀本部 明治三九年一二月 活版

- 17 土耳其事情 森岡中佐報告 海軍情報第六一号付録 参謀本部 明治四三年四月 活版 一冊 一八五四年以前に於ける土国財政史要 財政諸機関 行政諸機関・土耳其国債整理委員会の管理する財政・鉄道・結論・土耳其軍の編制
- 18 官報 号外 明治三九年一二月三〇日 活版 一部 叙任及辞令
- 19 西郷従道、川村純義、仁礼景範銅像建設ニ関スル書類
 - (1) 故西郷元帥川村海軍大将仁礼海軍中将銅像建設旨趣書・建設抛金方法等 東郷平八郎、井上良馨、伊東祐亨、山本権兵衛 明治三八年一二月二三日 蒔蒨版 一綴
 - (2) 故三海将銅像図案募集要件 明治三九年四月七日 活版 一枚
 - (3) 三海将銅像図案審査の結果 明治三九年一〇月 活版 一部 (付) 審査結果送付書 明治三九年一〇月二六日 蒔蒨版 一枚
 - (4) 故三海将銅像建設位置案 明治三九年一二月二〇日 蒔蒨版・謄写 一綴
- 20 彰仁親王銅像建設募告案 発起者山県有朋他 明治四〇年八月 蒔蒨版 一綴
- 21 エムデー紐状火薬検査仮規則通牒 本部長 四工廠長宛 明治四〇年三月七日 墨書 海軍野紙 一綴 (付) 紐状火薬検査仮規則 明治三五年一二月一〇日
- 22 「コルダイト」配合等調 明治四〇年 墨書 海軍野紙 一綴
- 23 米国艦隊太平洋合同運動に就て 明治四〇年一〇月三十一日 謄写 一綴 明治四〇年九月二四日迄の調査 艦隊編制・準備・航路・石炭・演習の目的・合同後の行動(想定)・結論
- 24 海軍兵学校生徒大試験成績表 海軍兵学校 明治三七年一二月 活版 一冊 第三三期生徒大試験成績表・第三四期生徒大試験成績表
- 25 海軍兵学校生徒試験成績表 海軍兵学校 明治四〇年一二月 活版 一冊 第三五期生徒卒業試験成績表・第三六期生徒第二学年大試験成績表・第三七期生徒第一学年大試験成績表
- 26 柄内首次郎大佐書翰 斎藤実宛 明治四〇年一二月三十一日 墨書 一枚 歳末御祝詞 (同封) The Times 一九〇七年一二月三十一日 活版 一枚
- 27 義勇艦隊ニ関スル書類 明治四〇年代 墨書 帝国海事協会野紙
 - (1) 義勇艦隊船舶設計概要 一綴
 - (2) 帝国義勇艦隊供用船舶要項 一枚
- 28 八代六郎大佐辞任に関する書翰
 - (1) 八代六郎書翰 斎藤実宛 明治四〇年一〇月一四日 ペン 一通 現役御免願
 - (2) 八代六郎書翰 人事局長小倉鋺一郎宛 明治四〇年一〇月一四日 ペン 一通 現役御免願軍令部長へ廻付願う
 - (3) 八代六郎書翰 人事局長小倉鋺一郎宛 明治四〇年一〇月二六日 ペン 一通 現役御免願内情具陳
 - (4) 山本権兵衛書翰 斎藤実宛 一一月一七日 墨書 一通 八代大佐好時機昇級候えば自然消滅 (付) 八代六郎電報 二通
- 29 辰丸事件詳報 岡次郎訳 明治四〇年二月一七日 墨書 海軍野紙 一綴 辰丸清国領海内武器密輸抑留事件
- 30 第二辰丸事件に就て 明治四〇年 墨書 海軍野紙 一綴 清国官憲葡国領海内の我船舶を拿捕黄浦に引渡したる事件
- 31 米報秘 第十一号 米国大使館附谷口尚真 海軍軍令部長東郷平八郎宛 明治四一年四月二九日 墨書 海軍野紙 一

綴 米国に於ける日米開戦論に関する件

- 32 三田海軍用地売却に関する書類
 - (1) 三田海軍造兵廠処分に関する条件並手續 墨書 二点
 - (2) 松方正義書軸 齋藤海軍大臣宛 明治四一年一月三〇日 墨書 一通 三田用地島津家購入希望余地あらば指名入札之手續相違間敷や
 - (3) 齋藤実書翰案 松方正義宛 明治四一年二月五日 墨書 一通 城南鉄道会社と内約済 同会社事業は公共事業に付特別処分に依り随意契約を得るも公共事業に非ざるときは法規上指名入札は行れ難し
- 33 軍令部彙報 第四五号 海軍軍令部 明治四一年一月二三日 活版 一冊 艦船艇・砲銃弾薬・通信運輸交通・教育訓練演習・予算兵備・官制・雑事
- 34 各国海軍高等武官官階対照表第二刊 海軍軍令部 明治四一年三月 活版 一枚
- 35 軍艦伏見座礁に関する電報綴 明治四一年八月 墨書 海軍郵紙 一綴
- 36 米国大西洋艦隊来航関係
 - (1) 米国大西洋艦隊要目表 海軍省調 明治四一年七月二〇日現在 活版 一枚
 - (2) 米国大西洋艦隊指揮官幕僚姓名表 海軍省調 明治四一年七月二〇日現在 活版 一枚
 - (3) 米国艦隊接待次第第二版 明治四一年八月二五日改刷 蒟蒻版 一綴
 - (4) Miyage Souvenir of the U. S. Battleship Fleet's Visit to Yokohama, 1908 ジャパンガゼット記者 中田松太郎編纂 明治四一年一〇月 活版二冊 Old Yokohama・Modern Yokohama・Arrangements of Yokohama as a City
 - (5) Address List at Tokyo 明治四一年一〇月 謄写 一枚
 - (6) 米国艦隊接待次第 米国艦隊接待委員 明治四一年一〇月 活版 二冊
 - (7) Map of Tokyo The Welcome Society 明治四一年一〇月 活版同二枚
 - (8) A Guide to the Imperial Government Railways of Japan 一九〇八年一〇月 活版
 - (9) Supplement of the Official Program for American Fleet at Yokohama and Tokyo 一九〇八年一〇月 活版
 - (10) A Dinner Given by the American Ambassador to Japan 一九〇八年一〇月一九日 活版
 - (11) 米国艦隊歓迎演芸梗概 東京銀行家開催 明治四一年一〇月二二日於歌舞伎座 活版
 - (12) A Guide to Tokyo City, The Street Car Service, Guide to the American's Friends Association Pavilions 明治四一年一〇月 活版 三枚
 - (13) The Plan of Seating 一九〇八年一〇月二〇日 活版 一枚
 - (14) 歓迎宴挨拶 (日文・欧文) 明治四一年一〇月 活版 二枚
 - (15) 歓迎の辞 (案) 東京銀行集会所・東京交換所及銀行倶楽部三団体総代 明治四一年一〇月二二日 活版 三点
 - (16) 新宿御苑図 謄写 一枚
 - (17) Anchorage Plan of the United States Visiting Fleet and The Japanese Reception Fleet 明治四一年一〇月 活版 一枚
 - (18) A Part of Yokohama Harbor Showing the Navy Boat Landings, Specially Built for the American Fleet 一九〇八年一〇月 謄写 一枚
 - (19) American Embassy, Tokio 明治四一年一〇月 タイプ 一枚

- (20) 各国大使公使を招くべきや否や他 明治四一年 墨書 一綴 各国大使公使を招くべきや否や・各宮殿下の御台臨を願うや否や・四大臣の饗宴に於ける「トースト」は左の通りとしては如何
- (21) 米大使館附武官と交渉の事項 明治四一年 蒟蒻版 一綴
 - (22) 米大使館附武官と交渉の事項 第二版 明治四一年 蒟蒻版 一綴
 - (23) 米艦隊接待次第 米艦隊接待委員 明治四一年一〇月一七日一二四日 蒟蒻版 一綴
 - (24) 米艦隊接待次第 (詳細) 明治四一年 蒟蒻版 一綴
 - (25) 米艦隊接待次第梗概 明治四一年 蒟蒻版 一綴
 - (26) 歓迎宴出席人名表 (日本側) 明治四一年 蒟蒻版 一綴
 - (27) 米艦隊太平洋回航の為南米諸邦沿岸寄港の際各地の歓迎状況に関する新聞記事抜粋 明治四一年 蒟蒻版 一綴
 - (28) 華族会館に於いて東郷大将の招待せる米艦隊乗組将校の夫人令嬢其他米国人一覧表 明治四一年一〇月五日 謄写 一綴
 - (29) Names of wives and relatives of officer of the Visiting American Fleet who will be in Yokohama and Tokyo at the time of visit 明治四一年 タイプ一綴
 - (30) 米回航艦隊艦長以上の米西戦争当時の戦歴略表 明治四一年 謄写 一枚
 - (31) 米友協会会長金子堅太郎通知 会員宛 明治四一年一〇月一〇日 活版 一枚 米艦隊歓迎出張便宜
 - (32) 歓迎宴会席次覚 明治四一年一〇月 ペン 一枚 岡新聞切抜 (英字紙) 明治四一年一〇月 活版 一綴
- 37 神戸観艦式関係新聞切抜 明治四一年一〇月一七日 活版三枚 神戸又新日報・同附録
 - 38 官房第四三一号 海軍次官加藤友三郎申進 横須賀・呉・佐世保・舞鶴鎮守府司令官宛 明治四二年二月一〇日 蒟蒻版 一綴 予備艦隊条例に関する件
 - 39 第一艦隊日令第四〇号 伊集院第一艦隊司令官 明治四二年六月一〇日 謄写 一綴 大湊附近在泊中予定作業日程
 - 40 気球調査委員会関係書類 明治四二年・四三年 墨書 海軍野紙 一綴 海軍省等にある風船、軽気球に関する書類 明治一〇年 軽気球製造に関する書類
 - 41 将校教育順序要領 第一案・第二案・第三案 諮問会資料 謄写 一綴
 - 42 第一期講習員教授報告 明治四二年一月一三月 蒟蒻版 一綴 講習員人名及員数・教授の始終・教授せる学科 各学科の内容時間及教官・教授要領
 - 43 長江筋巡航所感 墨書 海軍野紙 一綴 明治四二年四月より六月の長江湖航の所感報告
 - 44 覚書 明治四三年五月 ペン 一綴 英国先帝崩御の際各国君主若は代表者に対する砲礼に関し英海軍省公布の覚書
 - 45 遠航記 第一信一第六信 明治四三年 謄写 一綴 浅間、笠置練習艦隊の遠航記 (付) 山路一善送状 斎藤実宛 一〇月七日 墨書 一通
 - 46 The Japan Advertiser 切抜 一九一〇年五月一日 活版 一枚 After the Russo-Japanese War
 - 47 現在甲種学生学歴表 第一〇期・第一一期 明治四四年 ペン 海軍野紙 一枚
 - 48 遭難船「エムプレス・オブ・チャイナ」救助に関する書類
 - (1) 練習艦隊司令官無線電信報告写 海軍大臣宛 七月二七日 海軍野紙 一綴
 - (2) 海軍省副官通報写 英国大使館宛 明治四四年七月二八日 ペン 海軍野紙 一綴 練習艦隊司令官報告

要領

- 49 在伊国齋藤大使館附武官より回答要領 明治四四年八月一五日 ペン・鉛筆 海軍野紙 一綴 伊国「チュラン」市FIAT会社製戦艦用油機械に関する件
- 50 明治四十五年佐世保鎮守府旅順鎮守府及第二艦隊特命検閲実施規程案 明治四五年四月一七日会議 蒟蒻版 一綴 一般の要領・官庁の検閲・艦団隊の検閲・雑件・特命検閲日割予定表
- 51 海軍二等機関兵曹の負傷死亡に関する上申書 第一潜水艦隊司令松村純一他 海軍大臣宛 明治四〇年一月 謄写 海軍野紙 一綴
- 三九、大正期海軍
 - 1 大正の年号に関する調査 墨書 海軍野紙 二枚
 - 2 露国皇帝陛下より齋藤海軍大臣への贈品に関する文書写 大正元年九月 墨書・タイプ 海軍野紙 一綴 貰入一個 贈与
 - 3 増師反対意見 衆議院議員沢来太郎政務調査所 大正元年一二月一日 活版
 - 4 国防に関する質問顛末 衆議院議員沢来太郎 大正二年二月 活版 一綴 (付) 国防に関する質問事項 大正二年三月一一日衆議院提出
 - 5 国防に関する第二回質問顛末 衆議院議員沢来太郎 大正二年四月 活版 一冊 第二八議会に於ける質疑応答
 - 6 国防に関する第三回質問顛末報告・国防問題根本的解決私見 衆議院議員沢来太郎 大正三年六月 活版 一冊 (付) 敢て大隈内閣に質す
 - 7 Count Yamamoto's speech before the House of Peers of the Imperial Diet on Feb. 27, 1913 タイプ 一綴
 - 8 軍隊教育令に関する教育総監部本部長並各兵監講話摘要 「借行社記事」四五四号付録 大正二年三月 活版 一冊 本郷教育総監部本部長・豊辺騎兵監・藤井野戦砲兵監・山口重砲兵監・落合工兵監・渋谷輻重兵監講話摘要
 - 9 比律賓視察報告・比律賓糖業会社売却申込の件 松岡富雄 大正二年一〇月 墨書 海軍野紙 一綴
 - 10 「ノヴィック」物語 露国海軍大尉エイ・ビー・スティーヤル 真木重愛訳 大正二年一二月 活版 一冊 「水交社記事」第一一巻四号付録
 - 11 海軍諸令達 海軍軍務局 大正三年一月 活版 一綴 海軍旗章令・海軍礼砲令・海軍礼式令・海軍服装令・海軍訪問規則・海軍葬喪令(一抜粹)・付帯諸令達等
 - 12 吾人の将来 独国ベルンハルデイ将軍 海軍軍令部 大正三年九月 活版 一冊 外交の手段・戦争の社会的及政治的意義・仲裁裁判と政治道徳・今日の国際状態・英国との融和・戦争に対する準備・軍事上の成功に対する独国の期待・政治的戦備・附記
 - 13 帝国在郷軍人会規約
 - (1) 国在郷軍人会規約 大正三年 活版 一綴 (付) 官房第三三六五号ノ四 海軍大臣八代六郎 在京在郷高等武官宛 大正三年一二月一一日勅語写・御沙汰書写 官房第三三六五号ノ五 海軍次官鈴木貫太郎 在京在郷高等武官宛 大正三年一二月一一日 帝国在郷軍人会規約 改正要領
 - (2) 帝国在郷軍人会四谷区分会規約 大正二年八月二一日改正 活版 一枚
 - 14 Troubridge 書翰の写 小栗英国大使館附海軍武官 大正三年一二月一七日 タイプ・蒟蒻版 一綴
 - 15 横須賀海軍船廠史 第一巻 横須賀海軍工廠 大正四年九月二七日 活版 一冊 自明治元年紀至明治六年紀
 - 16 横須賀海軍船廠史第二巻 横須賀海軍工廠 大正四年九月二七日 活版 一冊 自明治七年紀至明治二〇年紀
 - 17 横須賀海軍船廠史 第三巻 横須賀海軍工廠 大正四年九月二七日 活版 一冊 自明治二一年紀至明治三〇年紀

18 露国視察一班 大正五年九月稿 ペン 海軍野紙 一綴

- 19 The Over-Seas Club 依頼状 大正五年九月一〇日 活版 三点 (付) 戦場に在る英国戦士に対する大日本帝国よりの新年の贈物抛金芳名録
- 20 海軍公報第一三〇一号附録 海軍大臣官房 大正五年一二月二五日 活版 一枚 大正五年歳末同六年年始儀式一覧表
- 21 拉丁亜米利加視察報告 海軍中佐森電三 大正六年九月 謄写 一綴 経過概要 (大正六年三月四日紐育発 同七月九日ニューオーレヤンス着) ・旅行計画並準備・行動概要・拉米概要表・視察各地の概況・所感
- 22 召集事務に関する件 海軍省人事局長岡田啓介 大正六年一月 活版 一枚
- 23 東洋派遣列国艦艇所在表 第三三八号 海軍軍令部 大正六年四月二日 活版 一枚
- 24 海謀報第一七〇七号 海軍軍令部 大正六年九月二日 謄写 一枚 英国電報 大正六年八月中の船難並開戦以来の統計
- 25 大日本海事思想普及会趣意書規約 大日本海事思想普及会本部 大正六年一〇月 活版
- 26 軍令部情報 第八一号 海軍軍令部 大正六年一二月一五日 活版 一部 布哇に於ける望月代議士の演説 (付) 政尾議員団長の挨拶、ヒンガム知事の演説
- 27 在極東露国艦船略影図 第二版 海軍軍令部 大正七年一月一五日 謄写 一枚
- 28 候補生参考資料 第四号 練習艦隊司令部 大正七年一月一五日 謄写 一綴 平壤鋳業所、三菱兼二浦製鉄所概況 (大正七年一月七日警手浅間士官視察報告摘要)
- 29 海謀報 第二〇五五号 海軍軍令部 大正七年三月三〇日 謄写 一枚 英国電報 (三月二八日着)
- 30 「米国の軍事的諸能力に関する研究」中の一節 海軍中佐森電三 大正六―七年 謄写 一綴 米人に通有なる性情にして吾人の特に注意を要すと認めらるるもの並南洋諸島に関する所感
- 31 大正五年軍令部秘報 第三八号 海軍軍令部 大正五年七月三〇日 活版 一綴 日米関係より観たる占領南洋諸島処分に関する意見 (大正五年六月二〇日米国通信) (付) 欧米列強海軍現勢力概要・開戦後欧米列国海軍艦艇増亡概要 大正七年三月調
- 32 支那に於ける列国利権獲得概要図 海軍軍令部 大正八年二月調 活版 一枚
- 33 防務会議関係書類
 - (1) 国防会議に関する件 ペン・鉛筆 海軍野紙 一綴 国防会議の設置に関する意見賛否両論
 - (2) 臨時防務会議関係書類 ペン・タイプ 内閣野紙 一綴 設置趣意書 (大正三年五月一日) ・会議制定 (大正三年六月二三日) 廃止の勅令 (大正一一年九月一八日) ・議員名簿 (大正四年五月一日及び大正一一年七月一日現在) ・海軍軍備補充に関する提議 (大正四年九月)
 - (3) 英国国防会議 (Defence Committee) 蒟蒻版 一綴 英国国防会議に関する調査

○ 海軍拡張問題

■ 四〇、意見書・諸報告・覚書類

- 1 軍艦水雷艇補充基金特別会計法案 明治三二年二月二四日 活版 二部
- 2 斎藤実覚書 鉛筆 三枚 第三期拡張造船費・建築費他
- 3 七年継続第三期海軍拡張按理由書 ペン T. SATO 野紙 一綴
- 4 海軍拡張に関する議提出理由 明治三五年 墨書 海軍野紙 一綴
- 5 明治三五年政務調査及行政整理に関する書類 明治三五年 墨書・鉛筆 六点 海軍軍備に対する海軍大臣の意見案 斎藤意見案元帥府軍事参議官廃止の件同意 斎藤意見案 海軍将官会議及技術会議、軍事顧問府設置に伴う廃

止に反対 齋藤意見案軍事上の枢機は軍事当局者以外に更に之を要するの理由を認めず 齋藤意見案軍事参議院を設置し軍事参議官制度、元帥府条例を改正する案は先ず現制の俛に為し置くことを希望す 齋藤覚書 海軍部局改革案

- 6 第三期海軍拡張計画造兵費等齋藤計算メモ 明治三五年 鉛筆 一綴
- 7 齋藤実海軍拡張意見書草案 明治三五年 墨書・鉛筆 三枚 明治三六年より四二年に至る七ケ年の海軍拡張計画
- 8 海軍拡張に関する議 墨書 海軍野紙 一綴 閣議稟請案 七ケ年を期し九千噸乃至一万五千噸の軍艦一二隻新造・鎮守府設備拡張
- 9 補充基金による艦艇補充計画書 墨書 海軍野紙 一綴
- 10 明治三十六年度末より起算するの理由 蒟蒻版 一綴 海軍勢力の起算理由 遞減年期及遞減歩率のこと 遞減代価を艦艇の艦籍より除かれたるものあるに当り基金に組入るること 兵器のこと
- 11 帝国海軍の第三期拡張の緊急要務なる所以を論じて同胞人士に檄す 副島道正 明治三五年 活版 一冊 東邦協會會報第八六号付録
- 12 海軍政策 太田中佐 明治三六年一月二一日 墨書 海軍野紙 一綴 海軍拡張 帝国は遂に戦闘艦の二艦隊を備うまで奮起せざるべからず
- 13 海軍艦船拡張沿革 海軍大臣官房 明治三七年七月 活版 一冊 明治三年一三六年拡張案 一等巡洋艦の購入及第三期拡張製艦年度の変更軍艦水雷艇補充基金（付）各年末に於ける軍艦水雷艇表 各拡張案提出当時の現在軍艦水雷艇噸数表 海軍軍人統計 軍艦製造及兵器費一覧表
- 14 政友 第五〇号 立憲政友会 明治三七年八月二五日 活版 一冊 海軍拡張及商船巡洋艦建造に関する意見 松本君 平他
- 15 三九年度歳入出概算に関する意見書 明治三八年 墨書 海軍野紙 一綴（付）軍艦水雷艇補充基金特別会計法改正法律案 三八年度末現在艦艇にして三九年度補充基金組入金額見込調
- 16 新潜水艇に関する意見具申 海軍中佐小栗孝三郎 齋藤実宛 明治三九年六月一〇日 ペン 一綴
- 17 国島孟貞意見書 齋藤実宛 明治三九年九月一六日 墨書 一枚 明治四五年を期とし快速力を有する補充艦（六千五百噸三千五百噸との巡洋艦各一〇隻）建造計画定められ可然
- 18 海軍予算に関する覚書 墨書 一枚 四〇年度以降補充基金組入五ケ年継続費新艦艇建造見込 臨時事件繰替支出補充基金補填利子は新艦建造の財源とし支出組入金額併用五ケ年間新艦艇建造見込他四件
- 19 四一年度予算問題 墨書・カーボン 海軍野紙 一綴 新艦（四〇年度末迄未着手の分） 軍艦製造及建築費艦艇補足費合計海軍補充計画事業繰延に関する意見書 未着手軍艦製造費年度割表（軍艦製造及建築費） 同（艦艇補足費） 軍艦製造及建築及艦艇補足費着手未竣工艦艇年度割表 四一年度經常部概算中最終復活の分
- 20 露海秘 第二号 日露海軍力将来の対称に関する件（写） 海軍中佐田中耕太郎報告 海軍軍令部長東郷平八郎宛 明治四二年七月一日 墨書 海軍野紙 一綴
- 21 閣議稟請書 海軍大臣齋藤実 内閣総理大臣桂太郎宛 明治四三年五月 蒟蒻版 一綴 海軍軍備充実の議 海軍軍備充実計画理由
- 22 近年に於ける軍艦艦型の急激なる進歩増大の例 明治四三年一二月 印刷 一枚
- 23 軍備補充費に就て 明治四三年 墨書 海軍野紙 一綴 明治四四年度以降六ケ年度継続費を以て八二二二万余円増加（付）齋藤実草稿
- 24 齋藤実覚書 墨書 二枚 海軍拡張提案 明治三九年一山本内閣期 三九年提案修正補充費と収容艦船の修理他
- 25 増師問題と海軍拡張に関する意見 海軍大佐上村経吉 大正元年一二月一〇日 カーボン 海軍野紙 一綴

- 26 海軍充実必要の理由 謄写 一綴 大正二年度に於て新充実に着手すべし
- 27 覚書 斎藤実 大正二年九月三〇日稿 墨書 海軍野紙 一綴 議会協賛閣議決定の方針に基き大正三年度予算に於て年度割を定められんことを要す
- 28 閣議稟請書 大正二年十一月 蒟蒻版他 一綴 海軍軍備補充計画実施の議 軍備補充計画案は大正三年度より実施断行を要す (付) 日露独仏米海軍主力艦隊実力比較図
- 29 計画内容 蒟蒻版 一枚 海軍補充計画三億五千万円—一億六千万円に対する艦船隻数
- 30 事項要領 墨書 海軍野紙 一綴 海軍軍備拡張事業造船費・造兵費・建築費概要 (付) 斎藤覚書
- 四一、 拡張費・補充基金
 - 1 海軍経費表 活版 一枚 明治四年—一五年経費 一六—一八年予算
 - 2 甲鉄戦艦製造費予算 明治二六年度—三二年度 蒟蒻版 一枚 造船費及造船雑費・造兵費及造兵雑費
 - 3 拡張費年度割概算表・拡張費製艦一覧表 墨書 海軍野紙 一綴
 - 4 敷島以下一〇艦船造船費造兵費書上 墨書 海軍野紙 一枚
 - 5 拡張費維持及積立金財源差引表 墨書 海軍野紙 一綴 大蔵省案 附則
 - 6 明治三五年第三期海軍拡張計画原案 (七ヶ年予算・九ヶ年予算表) 明治三五年 墨書・鉛筆 海軍野紙 一綴 (付) 拡張に伴う設計 石炭運搬船
 - 7 第三期海軍拡張計画計画表 (第一次二次) 明治三五年 墨書・ペン・鉛筆 一綴 造兵費外・内国製造費表 拡張費新艦維持費調 (三五年八月一六日調) 造船費各節金額一覧表 造船費各日予算全額 各年度支出一覧表 (明治三五年五月二八日) (付) 斎藤メモ
 - 8 第三期海軍拡張計画計画表 (第三次案) 明治三五年 墨書・鉛筆 一綴 五十口径十尹及六尹砲を四五口径となすとき差額調 造兵費外・内国製造費表 (付) 斎藤メモ
 - 9 第三期拡張に関する海軍拡張費調等綴 明治三六年 蒟蒻版・墨書 海軍野紙 一綴 海軍拡張費 甲鉄戦艦装甲巡洋艦二等巡洋艦一噸に付造船造兵費装甲巡洋艦内外国製造費の比較 甲鉄戦艦装甲巡洋艦二等巡洋艦造船費造兵費 補充基金製造各艦艇の内内地製造に係る分に対し外国仕払額細別海軍拡張費内外国仕払額調 軍艦製造及建築費内外国仕払額調 装甲巡洋艦二等巡洋艦造船費外国仕払額細別 兵学校生徒募集人員調 所要兵員徴募数調 拡張維持費調
 - 10 艦船造船造兵費外内国製造費調 初年度—第一一一年度 墨書・ペン 二枚
 - 11 補充基金による製艦費書類 鉛筆 一枚
 - 12 軍艦水雷艇補充基金元利計表 明治三二年度—三七年度 墨書 海軍野紙 一枚
 - 13 拡張費及補充基金を以て製造の軍艦噸数曲線表 明治三五年—四七年 ペン 一枚
 - 14 建艦計画 明治三七年一〇月六日 ペン 一枚 明治三六年—四六年度 第一・二拡張費軍艦製造及建築費 臨時軍事費 補充艦隊
 - 15 補充基金製造艦艇 (兵装費を除く) 明治三五年—二月五日 ペン 一枚 明治三七年度—四一年度
 - 16 補充基金製造軍艦及水雷艇予算 (兵器費を含む) 明治三七年二月二五日 ペン 一枚 明治三七年度—四一年度
 - 17 自明治四〇年度至明治五〇年度軍艦水雷艇遞減額補充基金に組入概算表 墨書 海軍野紙 一枚
 - 18 維持費総額調他 明治四〇年 墨書・蒟蒻版 海軍野紙 一綴 維持費総額調 軍艦製造及建築費支弁の軍艦維持費調臨時軍事費支弁 (臨時事件費継続の分共一の軍艦水雷艇維持費調 海軍整備費支弁の軍艦水雷艇維持費調自明治四一年度至明治四八年度八箇年度間遞減年期を過ぎ除籍すべき艦艇の経費 七年経画の分 新募兵比較表

(八月六日調)

- 19 臨時軍事費造船費造兵費 蒟蒻版 一綴 臨時軍事費三九年自一月至三月及三九年度より四七年度迄の予算額造船費 同造兵費 臨時軍事費三九年自一月至三月三九年度中予算月額 予算分割一覽表 臨時軍事費艦艇補足費支出年度別一覽
- 20 軍艦製造及建築費艦艇補足費 明治四〇年一二月二二日 ペン 一枚 明治四一年度一四八年度
- 21 事業繰延に係る新艦船着手竣工年度別表 明治四一年一月二七日調 蒟蒻版 海軍野紙 一枚
- 22 軍艦製造及建築費艦艇補足費補充艦艇費製造艦船一覽表 明治四二年六月 ペン 一枚 明治三八年度一四九年度
- 23 軍備補充費追加額決定後ノ造艦予定 蒟蒻版 一枚 計画噸数・竣工予定期等
- 24 軍備補充費造船造兵各艦費用各年度支出一覽表 明治四四年一月一三日調 蒟蒻版 海軍野紙 一綴
- 25 自明治二六年度至四三年歳出合計に対する軍事費国債費行政費百分比例表 明治四四年 ペン 一枚
- 26 海軍軍備拡充計画書類 墨書 海軍野紙 一枚 明治五一年度迄に備えんと欲する主力艦隊主要艦数 四四年度予算己定計画拡充艦数 四六年一五一年度新造補充艦数
- 27 一九一一・一二年度海軍総予算額と新艦製造費 (独・英・仏・日・澳) ペン 海軍野紙 一綴
- 28 明治四〇年度一大正一〇年度海軍予算一覽表 大正二年 ペン 一枚
- 29 大正二一一一年度海軍軍備補充計画予算年度割一覽表 大正二年一二月 ペン 海軍野紙 一綴
- 30 大正二一一〇年度海軍軍備補充計画予算年度割一覽表 大正二年 ペン 海軍野紙 一綴 第一・二・三案
- 四二、艦艇製造費等諸経費調
 - 1 外国製造甲鉄戦艦兵器費 明治二八年七月調 青焼 一枚
 - 2 外国製老等巡洋艦兵器費 明治二八年七月調 青焼 一枚
 - 3 外国製式等巡洋艦兵器費 明治二八年七月調 青焼 一枚
 - 4 内国製水雷砲艦兵器費 明治二八年七月調 青焼 一枚
 - 5 内国製式百五拾四噸水雷艇駆逐艇兵器表 明治二八年七月調 青焼 一枚
 - 6 内国製百式拾噸水雷艇兵器費・八拾噸水雷艇兵器費 明治二八年七月調 青焼 一枚
 - 7 内国製五拾參噸水雷艇兵器費 明治二八年七月調 青焼 一枚
 - 8 艦艇製造費排水量一噸に対する価格 (概算) 墨書 海軍野紙 一枚
 - 9 魚雷砲艦兵器費細目 墨書 海軍野紙 一綴
 - 10 駆逐艇兵器費細目 墨書 海軍野紙 一綴
 - 11 砲量価格及弾丸発射費一覽表 明治三一年一二月調 青焼 一枚
 - 12 発射管魚形水雷之種類価格重量及水雷発射費一覽表 明治三一年一二月調 青焼 一枚
 - 13 弾丸及魚形水雷発射費一覽表 明治三七年三月改正 青焼 一枚
- 四三、艦船関係図表
 - 1 第一類第二類第三類軍艦噸数・製造中及海軍拡張費中軍艦噸数・露西亞軍艦総噸数・西班牙軍艦総噸数比較表 明治二八年八月 蒟蒻版・彩色 一枚 明治二九年度一四三年度
 - 2 第一類軍艦・製造中軍艦・海軍拡張費中軍艦噸数表 明治二八年 蒟蒻版 一枚 明治二九年度一五八年度
 - 3 軍艦第一類第二類第三類水雷艇噸数曲線經常費及修理費一覽表 明治二八年八月 青焼 一枚 明治四年度一四三年度
 - 4 軍艦及水雷艇表 明治三二年 青焼 四枚 大日本帝国軍艦一覽表 明治三二年四月調 第一期第二期拡張費製造艦

艇表 明治三一年一月一六日調 拡張費水雷艇表 明治三二年四月調 拡張費外水雷艇表

- 5 帝国軍艦並水雷艇製造費遞減年表 明治三二年三月一日調 蒟蒻版 一枚 明治三二年度一三九年度
- 6 帝国艦艇表 明治三二年一月末現在調 蒟蒻版 一枚
- 7 受取未済艦艇竣工期一覧表他 明治三三—三四年 墨書・活版・鉛筆 五点 受取未済艦艇竣工期一覧表 同表案 Akashi 性能メモ Shirataka, Kasasagi 性能メモ Russia Steam Trials
- 8 軍艦水雷艇排水量総噸数一覧表（仏噸） 明治三五年七月調 青焼 二枚 明治二七年—三七年
- 9 第三期拡張軍艦製造及建築費支弁艦艇表 明治三七年 蒟蒻版 海軍野紙 一枚
- 10 帝国軍艦新造回航統計比較一覧表 蒟蒻版 二枚
- 11 第丁二艦隊補充基金等により製造すべき艦艇表 ペン・鉛筆 一枚
- 12 戦利艦艇及海軍に於て使用見込の捕獲船表 明治三七年 蒟蒻版 海軍野紙 一枚
- 13 海軍艦艇総括表 明治三七年 蒟蒻版 海軍野紙 一綴 海軍艦艇表（在来の分・戦利の分）
- 14 臨時軍事費艦艇補足費支弁艦艇表 斎藤実 鉛筆 一枚
- 15 軍艦建造一覧表 明治四〇年三月二日 墨書・彩色 一枚 軍艦建造及建築費 艦艇補足費 臨時軍事費造船及修理費 補充艦艇費
- 16 大日本帝国水雷艇一覧表・大日本帝国駆逐艦一覧表 明治四〇年一月調 青焼 二枚
- 17 大日本帝国軍艦一覧表 明治四〇年二月調 青焼 一枚
- 18 海軍艦隊調 明治四二年一月二〇日調 墨書 海軍野紙 一綴
- 19 帝国海軍勢力調 明治四三年一二月 活版 一枚
- 20 軍艦年齢一覧
 - (1) 自明治三六年至明治四四年・自大正元年至大正三〇年軍艦年齢一覧 自明治三六年至大正二〇年 駆逐艦水雷艇年齢一覧 活版 一枚
 - (2) 同訂正版 活版・ペン 一枚
 - (3) 同新版 大正二年一月一日調 活版 同文三枚
- 21 艦船進水授受除籍年月旦調 艦政本部第三部 大正三年一月二〇日調 ペン 海軍野紙 一綴 明治三九年—大正八年
- 22 自大正三年至大正八年勢力減耗一覧表 大正三年二月 蒟蒻版 一枚
- 四四、列国海軍勢力比較表
 - 1 絶東に対する欧州列国の海軍勢力 安原海軍中佐 明治三一年九月 活版 一冊 欧州列国（英露独仏等） 現今の重なる艦数及び配備現今の東洋艦隊勢力の程度及び今後増加す可き程度の考察 現今に於る絶東海軍根拠地の概況 今後に於る軍艦増建の概況東洋艦隊将来の勢力増加に関する考察
 - 2 東洋派遣各国軍艦一覧表 軍令部第三局 明治三一年九月調 印刷 一枚
 - 3 列国海軍動作摘要 海軍軍令部第三局 明治三一年一二月七日・二六日調 活版 二枚
 - 4 露仏独三国新計画海軍拡張一覧表 明治三一年一三三年 蒟蒻版 同文二枚
 - 5 露英仏独伊米日在東洋艦船噸数比較表 明治三二年一月調 墨書 同文二枚
 - 6 在東洋各国艦艇表 明治三三年六月一五日現在 蒟蒻版 一綴 清国事件発起の当初 英仏独露伊米
 - 7 各国遣東艦艇噸数比較表 海軍省 明治三三年一〇月一二日調 墨書 一枚（付） 各国遣東艦艇噸数比較表 海軍省 明治三三年一〇月一二日調 蒟蒻版 一枚
 - 8 露国太平洋艦隊と日本艦隊との勢力比較 明治三三年一〇月調 印刷 一綴

- 9 東洋派遣各国艦艇略図 軍令部第三局 明治三三年一二月調 印刷 一枚
- 10 列国在役艦艇配備表 海軍軍令部第三局 明治三三年一二月三十一日 活版 同文二枚
- 11 列国海軍勢力表・在東洋列国海軍勢力比較表・列国仮装巡洋艦比較表 海軍軍令部第三局 明治三四年一月一日調 印刷 一枚
- 12 在東洋各国艦艇表 海軍軍令部第三局
 - (1) 明治三三年一二月調 活版 一枚
 - (2) 明治三四年五月調 印刷 一枚
- 13 明治三三年二月東洋派遣各国軍艦噸数表 蒟蒻版 同文三枚
- 14 在東洋艦船動静一覽表 軍務局
 - (1) 明治三四年一月一六日調 蒟蒻版 一綴
 - (2) 明治三四年四月一日調 蒟蒻版 一綴
- 15 明治三五年四月迄に増加すべき列国新造軍艦表 軍令部第三局 明治三四年四月一日 印刷 一枚 列国戦艦装甲巡洋艦一二等巡洋艦勢力比較 日本軍艦一隻の平均噸数を単位としたる列国軍艦隻数比較
- 16 列国の勢力ある軍艦数及配備 海軍軍令部第三局 明治三四年四月調 印刷 一枚
- 17 列国新造軍艦比較表（第一刊） 海軍軍令部第三局 明治三四年一〇月調 活版（一部朱訂） 同文四枚
- 18 列国海軍勢力比較表（第一刊） 海軍軍令部第三局 明治三四年一〇月調 活版 一枚
- 19 列国海軍勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三四年一〇月調 活版 一枚
- 20 東洋派遣各国艦艇略図 軍令部第三局 明治三四年一〇月調 印刷 一枚
- 21 在東洋各国艦艇表・在東洋各国艦艇指揮官表 海軍軍令部第三局 明治三四年一二月調 活版 一枚
- 22 東洋派遣英仏露米独軍艦所在表 帝国軍艦所在表 明治三四年 墨書・ペン 二点
- 23 列国海軍勢力比較一覽表 印刷 一枚 明治三四年四月迄に竣工に近き軍艦を含む
- 24 三四年以降日露兩國艦隊想定実在勢力曲線 ペン 一枚
- 25 列国軍艦増加比較表 明治三四年一三八年 ペン 二点
- 26 各年度に於ける日露兩國海戦艦隊の勢力の比較 明治三五年一三九年 ペン 一綴 帝国海軍海戦艦隊想定実在勢力年別表
- 27 列国艦隊配備表 海軍軍令部第三局 明治三四年五月調 活版 一枚
- 28 列国海軍軍艦数及排水量比較表 海軍軍令部第三局 明治三五年五月調 活版 一枚
- 29 動作摘要第一九号 海軍軍令部第三局 明治三五年六月一六日調 活版 一枚 在東洋列国軍艦所在表
- 30 列国新造軍艦比較表（第二刊） 海軍軍令部第三局 明治三五年一〇月調 活版 同文二枚
- 31 列国海軍勢力比較表 其一・其二（第二刊） 海軍軍令部第三局 明治三五年一〇月調 活版 四枚
- 32 在東洋列国海軍勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三五年一〇月 活版 一綴（付）齋藤覚書 艦船噸数 鉛筆
- 33 在東洋各国艦艇略図 其一・其二 海軍軍令部第三局 明治三五年一〇月調 印刷 二枚
- 34 在東洋列国海軍勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三五年一二月 活版 一枚
- 35 各国軍艦比較表 都筑馨六 明治三五年二月調 活版 一枚
- 36 列強国軍艦総噸数比較図・各国東洋派遣軍艦噸数比較図 蒟蒻版 同文六枚
- 37 在東洋各国軍艦増減比較表 明治二七年一三五年 ペン 一枚 四百噸以下の艦艇を除く
- 38 在東洋各国軍艦増減比較表 明治二七年一三五年 蒟蒻版 一枚 四百噸以下の艦艇を除く
- 39 列国海軍勢力比較表 明治二七年一三五年 蒟蒻版 一枚 四百噸以下の艦艇を除く

- 40 露仏独海軍拡張計画一覧表 明治三十一年一三八年 蒔菫版 同文二枚
- 41 列国海軍勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三十六年四月調 活版 同文二枚
- 42 列国未成軍艦（艦装製造若くは計画）比較表 海軍軍令部第三局 明治三十六年四月調 活版（一部朱訂） 同文二枚
- 43 在東洋列国海軍勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三十六年四月 活版 一枚
- 44 在東洋列国海軍勢力比較表 海軍軍令部第三局 明治三十六年六月 活版 一枚
- 45 在東洋各国艦艇略図 其一・其二 海軍軍令部第三局 明治三十六年一〇月調 印刷 二枚
- 46 列国海軍勢力比較 其一（第三刊） 海軍軍令部第三局 明治三十六年一〇月 活版 一枚
- 47 在東洋各国艦艇略図 其一 海軍軍令部 明治三十七年一月調 印刷 一枚
- 48 東洋に回航し得べき露国新艦艇現状一覧表 海軍軍令部 明治三十七年四月一日調 活版 一枚
- 49 在東洋列国海軍勢力比較表 海軍軍令部 明治三十七年五月 活版 同文二枚
- 50 一九〇四年六月「ゼ、プロシーディングス、オブ、ゼ、ユナイテッド、ステーツ、ネーヴル、インスティテュート」抄訳 堀内長雄翻訳明治三十七年九月一五日 墨書 海軍野紙 一綴 独逸海軍建造中の軍艦 露国海軍建造中の軍艦 七大海軍国の海軍力比較（付）七大海軍国の海軍力比較墨書 一枚
- 51 在東洋各国艦艇略図（日露を除く） 海軍軍令部 明治三十八年五月調 印刷 一枚
- 52 列国未成（艦装製造若くは計画）軍艦比較表 大本営海軍幕僚 明治三十八年一〇月調 活版 一枚
- 53 列国海軍勢力比較表 大本営海軍幕僚 明治三十八年一〇月調 活版 一枚
- 54 列国未成軍艦（建造並に艦装中のもの及び議会の協賛を経たるもの但露国に在ては之と同等のもの）比較表 海軍軍令部 明治四〇年一二月調 活版 一枚
- 55 列国海軍勢力比較表（第六刊） 海軍軍令部 明治四〇年一二月調 活版 一枚
- 56 列国海軍勢力比較表綴 蒔菫版・謄写 一綴 列国未成海軍勢力（建造並に艦装中のもの及び議会の協賛を経たるもの）比較表 明治四二年一二月調 戦役前後勢力比較表 明治四二年一二月調 帝国海軍勢力調 明治四二年一二月調 列国戦艦及装甲巡洋艦合計排水量比較・列国「ド」級軍艦合計排水量比較
- 57 列国海軍勢力比較表（第八刊） 海軍軍令部 明治四二年一二月調 活版 一枚
- 58 列国海軍勢力比較表一第九刊） 海軍軍令部 明治四三年一二月調 活版 一枚
- 59 戦役前後勢力比較表 明治四三年一二月調 活版 一枚
- 60 列国弩級軍艦一覧表 明治四四年一二月一日調 活版 一枚（付）列国弩級軍艦合計排水量比較
- 61 List of Destroyers over 600 Tons 青焼 一枚
- 62 帝国艦艇勢力増減表他諸表綴 明治四四年一二月調 活版他 一綴 帝国艦艇勢力増減表 列国に於ける人口一に對する国民の富力並經費負担額一覧表 列国人口歳入歳出軍事費全富力一
- 覽表 帝国海軍勢力 列国艦齡法及艦隊法 軍艦維持費一噸平均額表第一予備艦全定員 射手訓練費日英対照一覧 魚形水雷照準訓練費一覧 列国海軍勢力比較表
 - 63 帝国海軍勢力表他諸表綴 大正元年一二月調 活版他 一綴 帝国海軍勢力表 帝国艦艇勢力増減表 列国海軍勢力比較表 列国弩級軍艦一覧表 列国海軍艦齡法規及艦隊法規摘要表
 - 64 帝国海軍勢力表他諸表綴 大正二年一二月調 活版 一綴 帝国海軍勢力表 帝国艦艇勢力増減表 列国海軍勢力比較表 列国弩級軍艦一覧表 列国海軍艦齡比較並艦艇補充一覧表
 - 65 列強海軍力現状（独逸海軍年鑑に依る） 大正二年五月一五日調 活版一枚
 - 66 列国海軍工廠私立造船所戦艦巡洋艦建造速度一覧表 海軍軍令部 大正二年一月 活版 一枚

- 67 日露米独新式戦艦隻数比較表 大正元年一六年 印刷 一枚
- 68 列国駆逐艦潜水艇隻数比較表 大正元年一八年 印刷 二枚
- 69 日米海軍主要艦艇数比較 海軍軍令部 大正七年六月末調 印刷 一枚
- 70 日英米独仏露伊墺海軍現有新式戦艦隻数排水量比較表 明治四四年一大正一六年 謄写 二枚 我香取鹿島に相当するもの及其以上 明治四四年一大正二八年
- 71 列国艦隊配備表 印刷 一枚
- 72 東洋派遣各国艦艇表（一三刊）附録一米国大西洋艦隊）第一回訂正 活版 一枚 米国大西洋艦隊高級指揮官參謀長及艦長

○ 海軍一般

▪ 四五、海軍施設

- 1 造船廠増服業概況一覧表 明治二九年一三四年度 青焼 一枚
- 2 角田秀松司令官書翰 斎藤実宛 明治三八年三月三十一日 墨書 海軍野紙 一綴 竹敷要港施設拡充に関する意見
- 3 船型試験所要領 ペン 一枚
- 4 断簡 斎藤実 朱書 一枚 魚雷水雷艇用炭庫予定地他
- 5 海軍用地図面
 - (1) 松居横須賀鎮守府副官申進 寺垣海軍省副官宛 明治三二年一〇月一三日 墨書 一綴 志州鳥羽町海軍用地詳細取調報告（付）志摩国鳥羽港海軍用地位置図
 - (2) 海軍省用地鳥羽町略図・会社構内海軍省用地附近実測平面図他 鳥羽鉄工合資会社 墨書 一綴
 - (3) 志州鳥羽港相島石炭庫新設位置の図 墨書 一枚
 - (4) 江ノ島、茅ヶ崎、姥島附近開墾出願箇所図 墨書 一枚
 - (5) 三浦半島附近図 墨書 一枚
 - (6) 媽宮城図 墨書一枚
 - (7) 大湊最近測量図 明治二八年一二月 墨書一枚
- 6 山内万寿治書翰 斎藤実宛 九月二日 墨書 一枚 陸軍用鋼材取調
- 7 木炭銑鉄製造所設立に関する件 ペン 海軍野紙 一綴 清国産鉬石を原料とし内地に木炭銑鉄製造所を設立する方法
- 8 造船部新艦製造力 墨書 海軍野紙 一綴
- 9 斎藤実覚書 ペン 一枚 私立造船所職工平均賃銭
- 10 職工賃金表 蒟蒻版 海軍野紙 一綴 内地職工一人一日の給料 職工所得月額と技術官俸給との対照 技術官（武官）俸給其一 技術官（文官）俸給 其二
- 11 東京造兵廠位置図 六百分の一 明治四一年 墨書・彩色 一枚
- 12 鎮海軍港地域拡張菰浦海軍大砲射撃場射界用地及熊川郡海軍貯水場用地境域標建設取扱順序 謄写 一綴
- 13 海軍船渠明細表
 - (1) 海軍船渠寸法明細表一覧 明治四〇年四月 青焼 一枚
 - (2) 函館船渠株式会社修船船架（スリップ）尺度詳表 青焼 一枚
 - (3) 佐世保鎮守府第四第五及び第六船渠計画明細表 明治三九年四月 青焼 一枚
 - (4) 佐世保鎮守府第四第五及び第六船渠計画明細表 明治三九年四月 青焼 一枚 朱訂正あり
 - (5) 佐世保鎮守府第四第五及び第六船渠計画明細表 明治三九年六月変更 青焼 一枚

- (6) 函館船渠尺度明細表 青焼 一枚
- (7) 軍艦及水雷艇総排水量噸数実馬力及修理費比較表 青焼 一枚
- (8) 船渠明細表 謄写 一枚 横須賀鎮守府造船部船渠明細表 明治二七年四月調・呉鎮守府造船部船渠明細表 明治二七年四月調・佐世保鎮守府造船部船渠明細表 明治二七年一二月調
- 14 佐世保第一船渠図 鉛筆 一枚
- 15 横須賀鎮守府応急準備完成報告 横須賀鎮守府参謀長 墨書 大本営海軍部罫紙 一綴
- 16 軍艦用無線電信器具一組分代価調 鉛筆 海軍罫紙 一綴
- 17 Loss of the "Koeshing" 蒔菫版 一枚
- 18 The Truth about the Navy and its Coaling Stations "Pall Mall Gazette" "Extra" No. 12. 活版
- 19 甲号 墨書 海軍罫紙 一枚 東京市麻布区官有敷地坪数単価等書上
- 20 呉工廠に関する書類
 - (1) 呉海軍工廠鋼鉄鑄造場増築図案 青焼 一枚
 - (2) 百噸起重機之図 青焼 一枚
 - (3) 呉海軍工廠図 活版 一枚
 - (4) 観覧順序 活版 一枚
 - (5) 呉海軍造兵廠案内 活版
 - (6) 現今の工場に使役し得らるる人員調 墨書 海軍罫紙 一枚
 - (7) 軍艦及水雷艇製造所に関する方針 蒔菫版 一綴 来る二九年度に於て製造すへき艦艇の製造所内外国に區別
 - (8) 横須賀鎮守府兵器工場工事件数及工数総括表 一九年度一二九年度 謄写 一枚
 - (9) 製鉄所方針決定の件草稿 農商務大臣林有造稟請 内閣総理大臣伊藤博文宛 明治三四年一月一四日 墨書・鉛筆 一綴 (付) 呉造兵廠拡張事業対議會弁明草稿
 - (10) 製鉄所方針決定の件 農商務大臣稟請 内閣総理大臣宛 明治三四年一月 墨書 海軍罫紙 一綴 当省所管製鉄所設立方針変更製鉄所に於ては銑鉄及普通「シーメンス」及「ベスマー」鋼材の製造に止め 經濟上不利ならざる鋼材を製造するを目的とす (付) 某書翰 齋藤宛明治三四年一月一七日 墨書 一通 訂正意見
 - (11) 呉造兵廠拡張事業対議會弁明方針 明治三四年 墨書 海軍罫紙 一綴
 - (12) 呉造兵廠拡張事業対議會想定問答 第一問一五問 明治三四年 蒔菫版 一綴
 - (13) 呉造兵廠拡張事業一年延期論に対する反対意見 明治三四年 蒔菫版 一綴
 - (14) 呉造兵廠拡張費に関する政府方針説明要領 明治三四年 墨書 海軍罫紙 一綴 海軍農商務省協商決定の貴族院予算委員会に於ける説明弁明要領
 - (15) 呉造兵廠拡張計画見込 明治三四年 蒔菫版 一綴 製鋼の程度・鋼材の区分・造兵の程度・補充軍艦に対する兵装準備 (付) 同草稿 墨書 海軍罫紙 一綴
 - (16) 代価概算調書 明治三四年 蒔菫版 一枚
 - (17) 製材一覧 蒔菫版 一枚 シイメンス鋼・坩堝鋼
 - (18) 枝光製鉄所と呉海軍造兵廠の相違に関する書類 明治三四年 蒔菫版 同文二点
 - (19) 軍艦工事月数表 明治三四年 蒔菫版 同文七枚
 - (20) 呉福岡現在設備対照一覧 蒔菫版 一枚

- (21) 製鋼総高 明治三四年 蒟蒻版 一枚 使用目的・支払費目
- (22) 軍艦製造月数調・軍艦製造工数月数調 墨書 海軍野紙 一綴
- (23) 斎藤覚書 明治三四年 鉛筆 二点 製鋼財源他
- (24) 四呉海軍造兵廠出品説明 謄写一枚
- (25) 山内万寿治書翰 斎藤宛 明治三年一〇月七日 ペン 一綴 呉造兵廠拡張・製出し得べき鋼の量・各種の砲桶の製造力・甲鉄の製造力に関する問題の回答
- (26) 山内万寿治書翰 斎藤総務長官・村上経理局長宛 明治三四年二月二六日 呉工廠製鋼部開設に伴う夕張炭使用の儀に付意見
- (27) 山内万寿治書翰 大臣宛 明治三四年一〇月二日 墨書 一通 来一月中旬枝光製鉄所開業式貴衆両院議員招待の帰路呉工廠一覽之義斎藤長官より内話決定次第御下命願う 大坂毎日切抜注意すべき点あり 一つは農商務省内に反対者多きと云う事第二は部内技術官某々反対とある事御諭告願う 又議会議答併説明上戒心を加うべし (付) 大坂毎日切抜 活版 一枚
- (28) 山内万寿治書翰 大臣宛 明治三四年一〇月五日 墨書 一枚 大坂毎日藤田四郎の記事遺憾至極 昨年の敗も彼等に過まれし形跡なきに非ず彼は井上伯之意を受けるもの井上会見の上充分御話置被下度 井上が研究会を動かし又一方に藤田和田如き奴輩を陰に陽に使いで反対を試みしは明白前年欧州派出の大島技師報告書は和田の手元に可有之
- 四六、石炭
 - 1 一七年度石炭受払高・一八年度石炭要求高・各地炭庫壱万斤価格表 明治一八年 墨書 一枚
 - 2 海軍大機関士武田秀雄意見書 明治二九年 墨書 海軍野紙 一綴 無煙練炭製造に関する意見
 - 3 分析試験成績報告書 農商務省地質調査所 明治三年一〇月一〇日 墨書 一枚 縮石炭石狩国樺戸郡月形村産定量分析成績
 - 4 東洋各港に於ける石炭及艦船機械用油貯蔵額調査表 海軍軍令部第三局 明治三六年四月 謄写 一枚
 - 5 台湾総督府山県海軍参謀長書翰 斎藤実宛 明治三六年九月一〇日 墨書 一通 四脚亭海軍予備炭田譲受照会之起因内報 (付) 四脚亭炭田処分法に関する山県参謀長意見書 斎藤海軍総務長官宛 明治三六年九月一〇日 墨書 一綴
 - 6 露国東洋艦隊及同隊所要炭量見積 明治三六年一〇月一日調 蒟蒻版 一枚
 - 7 水谷機関大監意見書 明治三六年一二月四日 墨書 一綴 宮原式汽缶に対する私見 (付) Niclausse Boiler fitted to Vessels of French, English Navy タイプ 一枚
 - 8 記 宇橋為久 明治三七年五月 墨書 一枚 熊本県肥後国天草郡魚野村他石炭鉱区坪数及鉱主 右石炭鉱区は皆無煙質
 - 9 山本海軍大臣電報 斎藤次官宛 三月二七日 墨書 海軍野紙 一綴 煉炭会社成立のための保護は不可 当時の市価に比較し適当なる価格をもって購売するならば貴官の意見により取計うべし 三八年中三井物産より購売したる仏国煉炭代価
 - 10 防水工事予算説明書 明治三八年 蒟蒻版 一綴 防水工事予算書・鴻ノ巣附近防水工事予算書・用水路改設工事予算書・実収炭量調査書・揚水復旧後に於四抗口堀割工事予算書(煉瓦障壁断水工事)・臨時費予算書・卿筒鉄管購入費・本抗予算書・第二抗予算書・第五抗予算書・揚水設備・臨時事務所費予算書自八月至五月
 - 11 願書 日本坩堝株式会社 海軍省宛 明治四四年一月 墨書 日本坩堝株式会社野紙 一綴 黒鉛坩堝随意契約御買上願 (付) 参照表

12 山座円次郎書翰 斎藤次官宛 六月二七日 墨書 一通 鎮海湾入口臥島所有者内田良平明瞭 該島買収の始末文けは東京に於て付ける事に取計相成り間敷哉 買上代金は三浦領事目下尚預り居趣 内田も取急き決定を願う

(付) 臥島図 三浦領事報告中抜萃 ペン 二点

- 13 四脚亭鉦区炭量推算調・金包里嵌脚鉦区炭量推算調 墨書 海軍罫紙 一綴
- 14 Boiler Question 墨書 海軍罫紙 一綴 艦船缶種新製年月等調 艦船新缶製造費入替費調
- 15 海軍省予備炭田略図 墨書 一枚 福岡県筑前国鞍手郡勝野村
- 16 大嶺炭山及練炭製造所設備図
 - (1) 海軍練炭製造所麦川構内実測平面図 明治三七年 青焼 一枚 六〇〇分の一
 - (2) 海軍練炭製造所実測之図 明治三七年 青焼 一枚 六〇〇分の一
 - (3) 桃木坑所敷地実測平面図 明治三七年 青焼 一枚 六〇〇分の一
 - (4) 櫛ヶ谷坑所敷地実測平面図 明治三七年 青焼 一枚 六〇〇分の一
 - (5) 海軍練炭製造所水道水源地之図 明治三七年 青焼 一枚 一二〇〇分の一
- 四七、艦船諸元・兵器
 - 1 横須賀鎮守府所轄艦船営 明治一八年六月調製 墨書 一枚
 - 2 大日本帝国水雷艇・大日本帝国軍艦秋津洲 明治二四年一月二〇日 謄写 二枚 「水交社記事」第一七号附録
 - 3 艦船諸元 斎藤実 鉛筆 一枚 扶桑・金剛・比叡・日進・清輝・天城・磐城
 - 4 艦船諸元 斎藤実 鉛筆 一枚 扶桑以下二一艦船
 - 5 艦船諸元 鉛筆 一枚 葛城以下八艦船 (艦名のみ)
 - 6 艦船諸元 墨書 一枚 扶桑以下一二艦船
 - 7 艦船諸元 ペン 一枚 扶桑以下一三艦船
 - 8 Detail of the Packing of a 9-Pounder ペン 一枚 Rifled Muzzle Leading Gun, Naval Travelling Carriage and Limber
 - 9 Krupp Heavy Gun Drill 書類 ペン 一枚
 - 10 Notes referring to Admiralty Quarter Bill from the Old Books ペン 一枚
 - 11 On Protected Cruiser ペン 一綴
 - 12 Boat Evolution & Signals 墨書・ペン 一綴
 - 13 United States "MONTEREY" 活版
 - 14 Gun 目性能書 ペン 三枚
 - 8 Inch 203m/m Q. F. Gun, Penetration of W. I. Plate, Elswick Guns, Vickers
 - 15 Ballistics, Weights and Dimensions of Guns Compiled in Tokio April 30 Meiji (1897) 青焼 一枚
 - 16 一等甲鉄戦艦・一等巡洋艦最大仰角及其弾着距離 墨書・青鉛筆 一枚 (付) On Bombardment
 - 17 測距と弾着の関係 活版 一枚
 - 18 First Class Battleship 諸元艦船図 明治三六年五月九日 活版・タイプ 二枚
 - 19 扶桑艦装備図 墨書・ペン 四枚 Proposed Roller for Messenger Chair バーヂ他
 - 20 Boom Obstruction for North Entrance Port Hamilton 関係書類 ペン 一綴
 - 21 Calcium Cyanamide 一九〇六年一月二二日 タイプ 一綴 Extract from number of August 1906 of Electrochemical and Metallurgical Industry
 - 22 The Heroult Process in Sheffield タイプ 一綴 "Iron Monger" July 22, 1905

- 23 速射砲・通常砲性能書 墨書 一枚
- 24 Notes relating to the following Tabbs 謄写 一枚
- 25 Sketch of Extempore Torpedo Fittings in 38 Feet Steam Pinnacle H. M. Excellent 謄写 一枚
- 26 Port Watch ・ Starboard Watch ペン 一枚
- 27 浅光弾・吊光弾・潜水弾等図 鉛筆 一枚
- 28 独逸国ユングハンス機械時限信管 タイプ 一綴特許明細書（邦文）・説明書・米国の某将軍が本信管に関する特別委員会の席上になしたる演説の抜粋・「ユングハンス」社が米国政府に本特許権を譲渡せし際に於ける契約文中試験に関する部分の抜粋・「ユングハンス」社が米国に本特許権を譲渡せし際の実射成績表・年額十萬発の信管を製造するに要する工作機械器具の品名及員数表
- 29 空中自働墜撃器構造 謄写・青焼 一綴 構造・使用法・図
- 30 汽働艇配乗表 謄写 一綴
- 31 斎藤実覚書 墨書 一枚 最新式飛行船・同格納所・繫留軽気球等について
- 32 造機造船及需品に関する細目 鉛筆 海軍野紙 一綴
- 33 Duplicates of some Illustrations（海軍雑誌及砲術講義録より） 活版 七点
- 支那政府用巡洋水雷艇 西班牙国甲鉄艦「ペテヨ」号之図 独乙国「ローデック」氏空中雷船隊之図「タバルカ」等の外見（城塞及ボルジュ、ヂジー）陸地の屯所より使用する「シムス」氏電気水雷 H. M. S. Benbow
- 四八、訓令・訓示・挨拶
 - 1 新聞検閲を止むるに当たり新聞記者を水交社に招きたるとき挨拶 斎藤実 明治三八年 墨書 海軍野紙 一綴
 - 2 覚書 斎藤実 明治三九年四月 蒟蒻版 一綴 海軍大臣挨拶 軍紀風紀・人事・教育訓練・医務衛生・軍事司法及監獄・経費
 - 3 清国籌辦海軍大臣来航に際し挨拶 ペン 一枚
 - 4 憲兵隊長会議席上海軍大臣挨拶 斎藤実 明治四四年二月二三日 墨書 海軍野紙 一綴 於水交社
 - 5 覚書 斎藤実 明治四四年一月 蒟蒻版 一綴 進級会議席上海軍大臣挨拶
 - 6 仏国絶東艦隊司令長官ドニフ・クロア・ド・カストル歓迎挨拶 明治四四年 墨書 海軍野紙 一綴
 - 7 仏国絶東艦隊司令官答辞（抄訳） 明治四四年 鉛筆 海軍野紙 一枚
 - 8 仏国艦隊司令長官答辞の要領 ペン 海軍野紙 一綴
 - 9 人事及下士以下教育につき訓示草稿 鉛筆・墨書 海軍野紙 一綴
 - 10 伊東大将、井上大将、実吉総監三閣下招待会に於ける挨拶 墨書 海軍野紙 一綴
 - 11 訓示材料（新聞切抜） 活版 二枚
 - 12 参謀長会議の際大臣より口達覚書 斎藤実 明治四五年六月 蒟蒻版 一綴（付）参謀長会議議席
 - 13 少主計候補生に与うる訓示覚書 海軍大臣斎藤実 明治四五年七月二五日 蒟蒻版 一枚
 - 14 新任医官に与うる訓示覚書 海軍大臣斎藤実 大正二年二月三日 蒟蒻版 一枚
 - 15 憲兵隊長会議席上海軍大臣挨拶 斎藤実 大正二年三月 蒟蒻版・謄写 一綴（付）憲兵隊長会議列席人名
 - 16 参謀長会同に際し海軍大臣より訓示覚書 斎藤実 大正二年六月 蒟蒻版 一綴
 - 17 憲兵隊長会議席上海軍大臣挨拶 斎藤実 大正三年三月 蒟蒻版 一綴
 - 18 在京現役将官各鎮守府司令官等に対する海軍大臣談話要領送付状 海軍次官財部彪 大正三年三月二六日 蒟蒻版 一枚
 - 19 黒井司令官の率る少尉候補生へ与うる訓示案 斎藤実 大正三年四月八日 ペン 海軍野紙 一枚

20 海軍大臣離職挨拶 斎藤実 大正三年 蒟蒻版 同二綴

- 21 佐鎮守府司令長官、各艦隊司令長官へ期日準備の件電訓案 墨書 海軍野紙 一綴 連合艦隊諸艦艇等第一期目
(来一八日) 佐世保出発の準備すべし (付) 別紙電報取扱に付注意
- 22 各鎮守府参謀長に対し希望事項覚書 人事局長 蒟蒻版 一綴 人事局の所掌に係る事項希望
- 23 参謀長会同の際教育本部長の希望覚書 蒟蒻版 海軍野紙 一綴 将校機関官の実務励行・初級将校機関官の作業
問題・教育実施の監督・教育実施の确实・演習と教育・教育査閲・実物教育・各種教育実施予定並に時間の利
用・精神教育・部外者の講話・海兵団に於ける陸戦要務の練習・教員一海兵団教員助手・水泳・伝馬船漕方・
練習生志願者・練習生の選抜に就て
- 24 艦団部隊校等へ注意の事項草案 墨書 海軍野紙 一綴
- 25 所管長官へ訓令案 墨書 海軍野紙 一枚 軍艦機関の整備に付
- 26 請負者へ訓令・政府購入品保険に関する疑義問答 日本海陸保険会社 墨書 一綴 政府海外購入物品保険は内
国の保険会社に引受せしむること (付) 片岡直温書翰 斎藤実宛 別紙請負者へ訓令事項問答書差出 一二月二六
日 墨書 一通
- 27 英文挨拶等
 - (1) Admirals Togo and Kamimura の歓迎に対する感謝挨拶 ペン 一枚
 - (2) 斎藤実挨拶草稿 鉛筆 一綴
 - (3) 斎藤実挨拶断簡 鉛筆 一枚
 - (4) Vice-Admiral Sir Arthur W. Moore 歓迎挨拶 明治三九年 ペン 一枚
 - (5) Vice-Admiral Sir Arthur W. Moore 等歓迎挨拶 明治三九年 タイプ 二綴
 - (6) Vice-Admiral Sir Arthur W. Moore and the Officers of His Britannic Majesty's Squadron on the
China Station 歓迎挨拶 明治三九年 活版 一枚
 - (7) 雑報第七一号附録 海軍大臣 明治三九年八月二二日 活版 一枚 英国支那艦隊司令長官離日に際し
ての謝意 (英文)
 - (8) Toast Speech by Admiral of the Fleet Edward Seymour タイプ 一枚
 - (9) 英国の帝国海軍歓迎に対する感謝挨拶 斎藤実 鉛筆・タイプ 二枚
 - (10) 英国海軍に対する感謝挨拶 タイプ 一枚
 - (11) フランス国極東及太平洋艦隊司令長官カストリ歓迎挨拶 (仏文) 明治四四年 タイプ 一枚
 - (12) Admiral Von Coeper 等歓迎挨拶案 鉛筆 一枚
 - (13) Sir Edwin Arnold 等に対する感謝挨拶 ペン 一枚
 - (14) The Japan Society of London に於ける挨拶 明治四二年六月 ペン 一綴
 - (15) British Society に於ける挨拶 明治四三年一二月一二日 タイプ 一枚
 - (16) The Speech Made by the Minister of Marine in Occasion of Dinner on 21st October for
Commandore and Officers of Netherlaands Squadron タイプ 一綴
 - (17) The Atlantic Fleet of the U. S 歓迎挨拶草稿 斎藤実 鉛筆 一綴
 - (18) Admiral Sebree and the Officers of the U. S. Pacific Fleet 歓迎挨拶草稿 斎藤実 鉛筆・ペン 一
枚
 - (19) The Naval Minister's Speech at a Dinner held at the Naval Club in honor of the United States
Squadron 明治四一年一〇月二〇日 タイプ 一綴

四九、海軍法規類

- 1 海軍礼砲条例草案 明治二七年 墨書 海軍野紙 一綴
- 2 海軍礼砲条例 明治二七年 蒟蒻版 一綴
- 3 礼砲一覽表 明治二七年 墨書 一枚 礼砲を受くべき文武官、礼砲数等
- 4 海運条例草按 蒟蒻版 一綴 (付) 斎藤実覚
- 5 海軍予備汽船規程 墨書 海軍野紙 一綴
- 6 海軍敬礼式 (案) 墨書 海軍野紙 一綴
- 7 海陸信号法草按・艦隊運動程式草按 墨書 海軍野紙 一綴 隠頭信号法・号旗信号法・艦隊運動程式

■ 五〇、海軍演習・行幸

- 1 陸海軍連合大演習条例 明治二二年一月 墨書 一綴 (付) 達書 (内閣総理大臣黒田清隆 陸軍大臣大山巖 海軍大臣西郷從道宛) 送付書 (陸軍大臣大山巖 海軍大臣西郷從道宛)
- 2 明治二二年海軍大演習要旨及一般之規則 明治二二年三月 謄写 一冊 演習要旨・大演習総指揮官及審判官諸員・大演習両軍指揮官及参謀諸員・演習一般に関する教旨・演習規則
- 3 勢志尾三地方陸海軍連合大演習関係書類 明治二三年三・四月 墨書・蒟蒻版・謄写 海軍野紙 一綴 明治二三年常備艦参謀奉職中勢志尾三地方に於て施行せられたる陸海軍連合大演習及び吳佐世保兩鎮守府へ御巡幸並に海軍觀兵式に關係の書類陸海軍連合大演習一般図・同演習要旨及規則・館山湾図・同演習拝觀新聞社員乗艦書・西軍艦隊約速信号・西軍艦隊陸戦隊一般訓令・各艦長への訓令命令類・同演習西軍艦隊記事摘要・吳江田島佐世保御巡幸並に神戸港に於ける海軍觀兵式手続・海軍兵学校御臨幸及び卒業証書授与式に天覽御次第書他
- 4 明治二五年海軍大演習関係書類
 - (1) 公文 演第一号一三四号 (含) 号外 海軍大演習総指揮官兼審判長海軍中將中牟田倉之助 明治二五年三・四月 墨書・蒟蒻版・謄写 三級 海軍大演習要旨・海軍大演習規則・大演習陪觀者心得・第二期防禦軍第一特別方略他
 - (2) 公文 艦演第一二号一七四号 海軍大演習第一期防禦軍指揮官海軍少將有地品之允 明治二五年四・五月 蒟蒻版 一綴 例規抜萃・艦隊内約・第一期防禦軍艦隊命令・第二期攻撃軍命令他
 - (3) 公文 佐演第四号一八六号 第二期防禦軍指揮官海軍中將林清康他 明治二五年四・五月 蒟蒻版・謄写 一綴 第二期防禦軍命令・軍隊区分・訓令他
 - (4) 公文号外他綴 明治二五年四月 墨書・蒟蒻版・謄写 一綴 訓令・訂正・追加・改正・秘密暗号他
 - (5) 講評草案 斎藤実 明治二五年 墨書 九点 第一期防禦軍講評草案・運送船に関する講評草案他
 - (6) 斎藤実覚書 明治二五年四月一〇日一五月七日 墨書・鉛筆 四点
- 5 海岸防禦陸海軍指揮の系統 墨書 一枚 東京湾防禦・横須賀吳佐世保防禦・対列防禦・下ノ関紀淡芸予防禦
- 6 大演習後に於ける軍艦駆逐艦役務調 墨書 海軍野紙 一綴
- 7 演習要旨・演習区域 墨書 一綴 帝国海軍全軍横須賀鎮守府所轄備兵を以て南沿岸に於て施行
- 8 斎藤実覚書 墨書 同二枚 明一八日天候悪しく御親閱あらせられ難き場合に付
- 9 海軍大演習御親閱の為行幸御次第書 蒟蒻版 一綴
- 10 明治四一年海軍大演習関係書類
 - (1) 明治四一年海軍大演習参加艦隊予定調 明治四一年 蒟蒻版・墨書 海軍野紙 一綴 横須賀鎮守府・吳鎮守府・佐世保鎮守府・舞鶴鎮守府
 - (2) 海軍大演習御親閱行幸御次第書 明治四一年一一月 活版 一綴

(3) 明治四一年海軍大演習参加艦船部隊・海軍大演習参加艦船部隊下士卒傭人定員調 明治四一年一月 ペン 海軍野紙 一綴

- (4) 明治四一年一月一七日神戸沖観艦式諸艦船排列位置図 水路部 明治四一年一月 活版 同二枚
- (5) 明治四一年一月七、八、九日南北両軍對抗航路及び合戦地図 明治四一年 ペン 一枚
- (6) グラヒック 第一巻見本号 東京有楽社 明治四一年一月 活版 一枚 大観艦式夜景
- (7) 明治四一年九月一日現在現役兵員 墨書 海軍野紙 一枚
- (8) 観艦式参列艦船類別隻数噸数等 明治四一年 墨書 海軍野紙 一枚
- (9) 斎藤実覚書 明治四一年 墨書 一枚

▪ 11 軍艦敷島艦内御巡覧其他諸操練施行に関する内定 謄写 海軍野紙 一枚

▪ 12 鎮守府行幸図 謄写 一枚

▪ 13 兵棋演習想定 奇襲版・謄写 一綴 一月三十一日英仏独露及奥国大（公）使館附武官の海軍大学校の視察を許可せられたるとき同校に於て各官に交付せしもの

▪ 五一、航海予定

▪ 1 第二艦隊日令第一〇号附表 明治四二年一月一五日 謄写 一枚 明治四二年（教育年度）第二艦隊訓練作業予定表

▪ 2 明治四二年（教育年度）第一艦隊訓練作業予定表 明治四二年 謄写 一綴

▪ 3 第三艦隊日令 第一八号 明治四二年二月一八日 謄写 一枚 三月中行動及作業予定表

▪ 4 第二艦隊日令 第三号別表 二月二三日 謄写 一綴 第二艦隊行動予定

▪ 5 第二艦隊日令 第二六号 明治四二年三月一九日 謄写 一綴 第二艦隊行動予定表

▪ 6 本年六月自一日至一五日第二艦隊行動予定表 謄写 一枚

▪ 7 遣米艦隊作業予定表 墨書 一枚 筑波・千歳 二月一九日より同二八日

▪ 8 生駒航海予定 明治四三年三月 蒟蒻版 一枚

▪ 9 艦船航路案 墨書 海軍野紙 一綴 第一案寝門を限りとするもの・第二案古倫母を限りとするもの・第三案豪洲航路

▪ 10 英国より蘇士を経て「コロムボー」に致る航海表 墨書 一枚

▪ 11 英国より喜望峰を経て「コロムボー」に致る航海表 墨書 一枚

▪ 12 練習艦隊近海航路予定表 謄写 海軍野紙 一枚

▪ 13 月別航路、演習等予定 鉛筆 一枚

▪ 五二、詔勅

▪ 1 勅諭写 明治一五年一月四日 活版 一綴 軍人に賜りたる勅諭

▪ 2 軍人勅諭・教育勅語英文訳

▪ (1) Extract from "Port Arthur-and After" "The Fortnightly Review" (Vol.LXXVII New Series) January to June, 1905. 明治一五年 軍人に賜りたる勅語英訳 タイプ 一綴

▪ (2) Extract from the "The Japan Weekly Mail",Jan. 7 1882 Imperial Rescript Issued to the Army and the Navy タイプ 同文二綴

▪ (3) Imperial Rescript Relative to Education 教育勅語英訳 タイプ 一枚

▪ (4) The Imperial Rescript on Education in Japan 文部省 海軍大臣宛 一〇月二三日 活版・ペン 一綴 教育勅語発布由来（付）東京日日 明治四〇年一〇月二五日切抜 活版 一枚

- 3 戊申詔書写 明治四一年一〇月 墨書 内閣野紙 一枚
- 4 宮廷の臣僚への勅諭写 明治四一年一二月一八日 墨書 一枚
- 5 勅語写 墨書 海軍野紙 一枚 イギリス艦隊司令長官の来航に当っての勅語
- 6 勅書案 明治四三年一月二九日決議 蒟蒻版 一綴 小松家創立
- 五三、 斎藤実意見書・覚書
 - 1 航海覚書 斎藤実 明治一一年七月一日より一〇月一六日 墨書 一枚
 - 2 斎藤実奉職履歴 墨書 海軍野紙 一枚 明治六年より一三年 (付) 海軍軍務局兵籍課指令書 斎藤実宛 明治一二年一二月一一日 墨書 海軍野紙 一枚
 - 3 日英同盟に関する覚書 斎藤実 明治三五年一〇月二八日 鉛筆 三枚
 - 4 斎藤実覚書 墨書 一枚 海軍装備・装甲巡洋艦計画に関する件
 - 5 南洋防禦に関する意見草稿 斎藤実 墨書 海軍野紙 一綴 南洋水師艦隊編制・支出金額
 - 6 帝国海軍の勢力草稿 斎藤実 鉛筆 一綴 帝国海軍の勢力は二箇の戦闘艦隊二個の巡洋艦隊七個の駆逐隊三拾箇の水雷艇と特種艦船等より成る
 - 7 断簡 墨書・鉛筆 海軍野紙 六枚 艦内諸装備覚書・愛宕艦他
 - 8 斎藤実覚書 墨書 一枚 各艦砲種及び性能
 - 9 斎藤実覚書 鉛筆 一枚 陸海軍倶楽部創設に関する件
 - 10 斎藤実覚書 墨書 一枚 国防海軍陸軍緩急問題 現在の状態 米海軍に関する事
 - 11 斎藤実覚書 墨書 一枚 新領土における憲法施行に関する覚
 - 12 "The Japanese Navy" 関係書類
 - (1) Japanese Navy 英文草稿 鉛筆 一綴
 - (2) the Japanese Navy タイプ 一綴
 - (3) Contents タイプ 一綴
 - (4) 米海軍人件費予算額 At the End of 1901-1902 Fiscal Year, 1902-1903 Fiscal Year タイプ 一綴 (付) 吉井幸蔵名刺 印刷 一枚
 - 13 Encyclopedia Americana 草稿並に来書 一九〇六年一二月二八日 タイプ 三綴 The Japanese Navy 草稿二種 原稿依頼書簡
 - 14 斎藤実覚書 ペン・鉛筆 一枚 日本海軍要職訳語
 - 15 斎藤実覚書 鉛筆 一枚 Original Decision
 - 16 斎藤実覚書 鉛筆 一枚 Fuso 以下三三年度将校必要数
 - 17 斎藤実覚書断片 墨書・鉛筆 一綴 東雲廻航費予算他
- 五四、 意見書類
 - 1 陸軍軍備拡張意見の上奏文 山県有朋 明治二八年四月一五日 蒟蒻版 一綴 (付) 兵制改革案 蒟蒻版 一綴
 - 2 海軍大臣上奏文草稿 墨書・朱訂正 T. SATO 野紙 一綴 帝国国防論奏呈
 - 3 陸海軍軍制上奏案批評 高垣徳治 明治二五年一月 活版 一冊 杉田定一陸海軍軍制上奏案を評す
 - 4 欧米各国の軍港並に土木建築工事視察の爲め技術官を海外へ派遣せしめられん事を請うの建議 海軍技師石黒五十二海軍大臣山本権兵衛宛 明治三一年一二月二〇日 墨書 海軍野紙 一綴
 - 5 西直資意見書 明治三五年六月二三日 墨書 一綴 海軍拡張、日英同盟について
 - 6 将校、軍令部、大本営 蒟蒻版 三綴 日清戦後海軍軍制改革意見

- 7 黒岡参謀長覚書 墨書 一枚 台湾総督府の鉄道会議・土木会議・台湾の船舶其他徴発の事に付
- 8 黒岡帯刀中将意見 明治三六年 墨書 一枚 帝国議会に従事する文武官は在職者若くは華族に準じ位階進叙の内規を設けられ度事
- 9 黒岡帯刀覚書 墨書 海軍野紙 一綴 造船に関する事件
- 10 捕獲審検所は平和克復と共に当然消滅すべきものなりや 遠藤源六 明治三八年 謄写 佐世保捕獲審検所野紙 一綴 平和克復後も戦争中に拿捕せられたる事件の審検を続行すべきものなり
- 11 柄内首次郎大佐意見書 海軍大臣宛 明治三九年五月四日 墨書 海軍野紙 一綴 在英監督官事務所移転の件
- 12 軍事私義 葛生玄 明治四二年一月一日 活版 一冊 軍備と国力及び地形・我国防と海軍・国防と陸軍・国民と武力・軍事の調査
- 13 軍政及軍備 稲田周之助 明治四五年二月 活版
- 14 国防管見 一 安井正太郎 明治四五年六月 活版 一冊 大西洋上の英、米、独・太平洋上の日、独、米・日、英、米、独の海上武力・日本対露対支那及对南洋関係
- 15 国防管見 二 安井正太郎 大正元年一月 活版 一冊 国防の為に大陸軍を要せず・対支那関係の為に大陸軍を要せず・我財政は大陸軍整備の余裕を存せず・国力関係より観たる大陸軍主義の無稽・国際関係より観たる大陸軍主義の不利・痛切なる訓戒・余論
- 16 軍備問題に関し世の憂国者に檄す 大日本国防義会 大正二年一月 活版 一枚
- 17 艦隊法制定の必要理由 竹内平太郎 大日本国防義会 大正二年八月 活版 一冊 列国海軍の趨勢に鑑み 艦隊法制定の必要理由を提出す
- 18 新年国防上の所懐・海軍と商工業の関係 大日本国防義会 大正三年一月 活版 一冊 年頭に際して国防上の所懐を述べ 中野武宮 海軍と商工業との関係 川島清治郎 (付) 時事新報海軍の補充 (掲載)
- 19 艦隊の編制に就て・最近に於ける兵器の進歩 大日本国防義会 大正三年二月 活版 一冊 艦隊の編制に就て 清河海軍中佐 最近に於ける兵器の進歩 曾我祐邦
- 20 現下之海軍問題 盛田暁 現下之海軍問題発行所 大正三年二月 活版
- 21 艦隊法制定之急務 盛田暁 艦隊法制定之急務発行所 大正三年二月 活版
- 22 国防の大勢に伴う軍費・英国海軍義会の綱領 大日本国防義会 大正三年三月 活版 一冊 国防の大勢に伴う軍費 辻村楠造 英国海軍義会の綱領 矢野常太郎
- 23 我が農商工業と帝国海軍・国防軍備に関する所感並に国防会議組織私案 大日本国防義会 大正三年五月 活版 一冊 我が商工業と帝国海軍 山路一善 国防軍備に対する一二の所感 宮岡直記 国防会議組織私案
- 24 海軍政策一変の機熟す 竹越与三郎 大正三年七月 活版 一冊 征服の愉快・海軍政策一変の機・秘密の下に腐敗あり・生れながら白髪の薩摩・超、超、ドレッドノート現出・艦型の変遷に一定の法則あり・巨艦不利の実験・我国家は形勢に順応すべし・凡ての事失敗のみ
- 25 師団増設反対理由 軍事研究会 大正三年一二月 活版
- 26 軍事海運を陸軍の主管に帰すべき議 海軍中佐松本和 墨書 海軍野紙 一綴
- 27 国防舞議余論 佐藤鉄太郎 菟菟版 一綴 軍備の整理
- 28 大演習に関し意見 寺垣猪三 墨書 海軍野紙 一綴 大演習期間を三期に区分す他
- 29 福永 (吉之助) 提出意見書 墨書 海軍野紙 一綴 造船造兵其他は民間工業者へ漸次移管の方針に関する意見
- 30 溝口元金州丸監督官の行為に対する刑法上の意見外綴 一綴 溝口元金州丸監督官の行為に対する刑法上の意見 菟菟版 将官会同の際大臣より訓示案海軍軍人粗暴の挙措に対する措置・戦後教育の発展・軍事上機密事

項・年度配布予算 墨書 海軍野紙 将官会議大臣訓示事項提出 海軍教育本部長坂本俊篤海軍次官加藤友三郎宛
明治三九年九月一二日 墨書 海軍野紙 大臣より各司令官司令官等へ訓示案艦団隊下士卒教育・秩序的教育不
備の青年将校・艦砲射撃・魚形水雷発射・駆逐隊艇隊の訓練法・航海術及運用術 墨書 海軍野紙各艦艇等の弾
薬取扱、魚形水雷取扱、艦船兵器新改造の採否、供用兵器保管に付注意 墨書 海軍野紙 艦艇機関の取扱に付て
墨書 海軍野紙鎮守府組織改正意見 第一予備艦を待命艦と改称・予備艦部廃止第二・三予備艦改称海兵团附
属・水雷団に駆逐隊を置く・港務部を工廠に置く 蒟蒻版 覚制服に関するもの 蒟蒻版

- 31 軍隊に於ける懲罰の権限を論ず 寛克彦 墨書 海軍野紙 一綴 海軍懲罰令第一五・二一条 法律論・統率論
- 32 仮装巡洋艦の製造に対する私見梗概（未定稿） 謄写 日本郵船株式会社野紙 一綴 造船資金・造船設計・仮装巡洋艦の維持・仮装巡洋艦の用途（平時）
- 33 艦隊編制並に海兵团に付意見。 墨書 海軍野紙 一綴
- 34 艦隊条例、鎮守府条例改正に付て意見書 墨書 海軍野紙 一綴 鎮守府に予備艦隊新設（付）各国予備艦隊制度・艦隊条例齋藤覚書 墨書 一枚
- 35 海岸要塞を海軍に属せしむる利害に就ての意見 海軍大佐島村速雄 墨書 海軍野紙 一綴
- 36 高速力試験に関する件他意見 墨書 海軍野紙 一綴 高速力試験に関する件 艦船造修規則総検査に関する件修理改造等上申に対する審査手続に関する件 公試規則中汽走力試験に関する件 石炭庫及倉庫建築に関する件 石炭積込に関する件 附石炭船に関する件艦船艇の航海速力は海軍軍令部役務預定表の速力に依る事を各艦船長及水雷団長に預め訓令相成度事
- 37 吉田増次郎意見書 齋藤総務長官宛 二月二四日 墨書 海軍野紙 一綴 楊子江上流航路調査計画に関する意見
- 38 兵学校機関学校生徒採用方法改正の要旨 墨書 海軍野紙 一綴
- 39 外波内蔵吉書翰 野間口大佐宛 八月二二日 ペン 一綴 挨拶及び我海軍に関する上申
- 40 舞鶴鎮守府東郷司令官書翰 齋藤総務長官宛 明治三五年一月二四日 墨書 一通 福知山軍港間鉄道速成の件
- 41 石黒酒一郎財政私案 齋藤実宛 明治四三年一二月 活版 一枚
- 42 某覚書 墨書 一枚 歳入総額の一割毎年剰余を計る事、剰余の内海軍拡張費に充て其余を国庫に積立る事他
- 43 海戦論 奥国海軍大学校教授アトルマイル著 活版 一綴 第一巻艦隊の人員に関する断案 第二巻海軍戦略の要点を汎論す
- 44 台湾及澎湖島の防備に関する方針の要領 墨書 海軍野紙 一綴
- 45 戦時に於ける駆逐艇の編制 墨書 海軍野紙 一枚
- 46 馬政に関する卑見 蒟蒻版 一綴 馬政に関する卑見 競馬奨励及馬事思想普及に関する卑見要項
- 47 覚書 墨書 一枚 特別賜金を地方庁に於て保管中盗火難其の他紛失の場合
- 48 経済上より見たる国防 海軍主計少監佐伯敬一郎 大正二年 蒟蒻版 一綴 国防と経済の関係・日露戦費及其調達・戦費内容（臨時軍事費内容）・戦費の性質上区分（第一期一三期）・戦費の集散・戦費支出の状況・今後の戦費（露国と戦争の場合、欧米と戦争の場合）
- 49 国運振興に関する卑見（未定稿） 葛生東介 大正八年三月 活版 一枚 海軍八八艦隊のため資金確保必要
- 50 沿岸防禦説草稿 墨書 参謀本部野紙 一綴 我国海岸防禦を悉く海軍に委任さるか又た其区域を明示さる可し
- 51 戦闘配置・戦闘準備・夜中操練草稿 墨書 海軍野紙 一綴
- 52 檄して日本朝野志士仁人に告ぐ 齋藤実宛 明治三八年八月 謄写 一綴 商民救済問題 日本軍用地収容問題
- 五五、その他
 - 1 仏国海軍対抗運動報告 海軍大尉伊東義五郎 参謀本部海軍部 活版

2 海岸城堡攻守論第一一六編欠第三編 海軍省軍事部第四課 活版三冊

- 3 日本帝国海上権力史講義 海軍少佐小笠原長生 海軍大学校 明治三五年十一月 活版 一冊緒言・海上権力の発生及発達時代・海上権力の衰退時代・辺民侵略時代・中古の水軍・豊臣秀吉の遠征・西南洋貿易時代・鎖国の起因・鎖国中の海上権・開国・歐式海軍の設立・鹿児島及馬関砲戦・函館海戦・維新後の内乱
- 4 帝国海軍史要 墨書 海軍野紙 一綴 古代より日清戦争まで (付) 軍令軍政 将校と将校相当官との区別 軍令と軍政との別を正すべきこと
- 5 東巡日記 清国北洋海軍提督丁汝昌 明治二八年四月 活版 一冊 自明治二四年五月二〇日至同年七月四日
- 6 佐久間艇長遺言全文 蒟蒻版 一綴 潜水艇の沈没
- 7 諸外国海軍裁判の公訴公開弁護上訴 海軍省司法局 謄写 一綴 英、米、独、仏、澳、伊 附録瑞西、白
- 8 明治二六年一二月一日現員海軍受恩給人員並金額調書 墨書 一綴 (付) 明治一六年より二六年一二月三十一日 現役人員調
- 9 海軍本省費、軍事費改革前後の定員表 墨書 海軍野紙 一綴
- 10 一等船艦回航委員、一等船艦回航委員附下士卒数表 墨書 海軍野紙 一綴
- 11 海軍省部人事表 墨書 海軍野紙 一枚
- 12 横須賀海兵団高等官名簿 一二月二八日調 謄写 海軍野紙 一綴
- 13 一二月一日海兵団現状 ペン 海軍野紙 一綴 新旧敷地比較・移築着手・竣工・現在人員
- 14 一等巡洋艦及二等巡洋艦派遣費調 墨書 海軍野紙 一枚 欧州派遣艦費用概算
- 15 大廟献納砲に要せし入費概算 カーボン 海軍野紙 一綴
- 16 軍艦壱岐修理費 墨書 海軍野紙 一枚
- 17 日英仏海軍官名比較 活版 一枚
- 18 広島県糸寄寄港船舶数取調書 墨書 一綴
- 19 木原海軍少尉積算航走距離表 活版 一枚
- 20 馬公湾より各港に至る海里表 蒟蒻版 一枚
- 21 大正七年一二月一日入団徴兵聯隊区別人員表 謄写 一枚
- 22 参謀肩章図 印刷・彩色 二枚
- 23 御談話を願いたき事項 タイプ 一綴 海軍沿革に関する講演斎藤メモ
- 24 ■山島及び長直路 鉛筆・ペン 一枚
- 25 艦の航跡図 謄写一枚
- 26 臨時検閲予定 墨書 海軍野紙 一枚
- 27 海軍所轄軍港魚介藻類採捕等に関する件 墨書 大日本水産会野紙 一枚
- 28 英国皇帝皇后に対する軍艦「クイン」進水式に関する質問等案 墨書 海軍野紙 一綴
- 29 生徒卒業証書授与式次第書 海軍兵学校 明治二七年十一月五日 謄写 一冊 式次第書 海軍煩砲 古川■三郎 魚形水雷の効力 巖崎茂四郎
- 30 海軍兵学校構内之図 二千分の一 明治三五年三月印刷 謄写 一枚
- 31 海軍参考館開館挨拶 斎藤実 明治四一年五月二七日 墨書 一枚
- 32 教育参考館資料寄贈依頼 海軍兵学校 斎藤実宛 大正一四年七月 活版 一枚
- 33 海軍大学校構内図 謄写・彩色 一枚
- 34 赤間関海戦紀事 水交社記事号外 明治二一二年一〇月 活版

- 35 海軍服制 水交社記事七四号付録 明治二九年一二月 活版 一冊 (附) 服装規則
- 36 海軍官憲及官職の英訳 水交社記事第一二八号付録 明治三四年六月 活版
- 37 参考用諸表 水交社記事第一卷四号付録 明治三五年一〇月 活版
- 38 海軍刑法 海軍刑法施行法 水交社記事第五卷一号付録 明治四一年三月 活版 一冊 (附) 海軍刑法改正理由書・刑法・刑法施行法・陸軍刑法・陸軍刑法施行法
- 39 President Roosevelt Delivered an Address 明治三八年六月九日 活版 一綴
- 40 The Japanese Navy Translation by Mr. Davidson タイプ 一枚
- 41 会計法第二四条 墨書 海軍罫紙 一枚
- 42 米国回航艦隊本邦寄航に付 墨書 海軍罫紙 一枚

○ 海軍時代資料

▪ 五六、団体 (海軍関係他)

- 1 競漕会則・競漕規則 明治一七年三月 活版 一綴
- 2 水交社学術委員職務概則 明治一九年一二月 活版
- 3 水交社規則 明治二四年二月 活版
- 4 水交社内則 明治二四年二月 活版
- 5 水交社規則 明治二五年一月改正 活版
- 6 水交社改築費決算報告書 活版 一枚
- 7 水交社四四年度計算報告 活版
- 8 端艇競漕会役員選定通知 有地端艇競漕会長 斎藤実宛 明治二五年六月 活版 一綴 (付) 端艇競漕会規則
- 9 芝区兵事義会規則 明治二九年七月 活版 二枚
- 10 及後会規則 明治二八年六月改正 活版
- 11 及後会会員名簿 大正一三年一〇月末日 活版 一冊 (付) 及後会規則・連合弔慰会規約書
- 12 規則草案修正通知 帝国海事協会仮幹事長有地品之允 明治三二年 活版 一枚 (付) 規則草案修正・修正案 活版・蒟蒻版 二枚
- 13 大日本海事協会発起人総会開催通知 発起人総代有地品之允 斎藤実宛 明治三二年一二月 活版 二枚 (付) 大日本海事協会発起人設立趣旨 本会の目的 活版 一枚
- 14 発起人総会通知 東京市教育会創立主唱者 斎藤実宛 明治三三年七月二一日 活版 一枚
- 15 東邦協会報告東邦協会会報総目録 明治三三年一二月二八日 活版 一冊 「東邦協会会報」第七六号附録
- 16 東邦協会規約改正案 謄写 一綴 (付) 東邦協会通知 斎藤実宛 謄写 一枚
- 17 泰成会 (壬寅義会改称) の趣旨 明治三五年一二月 活版 一枚 規約・宣言・壬寅義会設立の趣旨・覚書・壬寅義会規約により追加したる事業
- 18 富老会創立趣意 明治三七年八月 活版 一綴 富田鉄之助翁記念のため
- 19 帝国水難救済会月報 明治三八年五月一〇日 謄写 一枚
- 20 下士卒家族共励会状況一斑 横須賀下士卒家族共励会 明治三八年九月一日 活版
- 21 報徳会主意並綱領規約 鹿児島市報徳会事務所代表花田仲之助 明治三九年三月改訂 活版 一綴
- 22 帝国海事協会 明治三九年一二月 活版 一冊 帝国海事協会設立旨趣・帝国義勇艦隊創設事業
- 23 第八回日本倶楽部事務報告 明治三九年四月 謄写 一綴 役員・会員の異動・会計報告 (付) 日本倶楽部書翰 明治三九年四月一五日 報告案送付 謄写 一枚

- 24 水沢町在郷軍人相互会会則 明治三十九年十一月創立 活版 一綴
- 25 陸海軍将校婦人会会員名簿 陸海軍将校婦人会 明治四一年一〇月一日現在 活版
 - 26 帝国水難救済会通知 会長吉井幸蔵 斎藤実宛 明治四三年六月一六日 謄写 三枚 評議員再選 月報七月分・八月分
 - 27 素行会議事録 明治四四年一〇月二八日 謄写 一綴 於松浦伯邸 山鹿素行遺著出版の建議案について
 - 28 帰一協会趣旨、意見書並に規約 明治四五年六月 活版
 - 29 明治聖徳記念学会趣意書 加藤玄智 大正元年十一月三日 活版 同文二枚
 - 30 忠勇顕彰会関係書類
 - (1) 定款原稿・定款草稿・高額寄附者名簿 活版・蒟蒻版 三点
 - (2) 定款 活版 同文四枚
 - (3) 大正元年度総会報告書 活版
 - (4) 定款 大正三年四月一七日 活版 一枚
 - (5) 改正案 大正三年 謄写 一綴
 - (6) 改正説明 大正三年 活版 一枚
 - (7) 拡張趣意書 大正三年九月 活版 一枚
 - (8) 大正六年度総会報告書 活版
 - (9) 大正七年度総会報告書 活版
 - 31 義済会第六〇回報告 自明治四五年七月至大正元年一二月 活版 一冊 会務景況・金銭出納 (付) 信義会第二八回報告
 - 32 義済会第六一回報告 大正二年自一月至六月 活版 一冊 会務景況・金銭出納 (付) 信義会第二九回報告
 - 33 仙台造士義会第三一回報告書 仙台造士義会 大正二年二月 活版
 - 34 親露協会創立趣意書・会則 大正三年 活版 一枚
 - 35 桜菊会趣意・会則 桜菊会 大正四年四月三日 活版 一枚
 - 36 日本移民協会入会勧誘状 井上通泰他八名 斎藤実宛 大正四年五月二四日 活版 三枚 日本移民協会創立趣旨・規約・役員 同改正案
 - 37 仙台育英会関係書類
 - (1) 第一回事業報告書 仙台育英会 大正四年一二月三十一日 活版 一冊 総況、基金寄附募集、貸費生、貸費金返納、寄宿生、会計、旧仙台造主義会旧仙台養賢義会所属出身者調、寄附行為施行細則他
 - (2) 発送書類目録 大正五年四月 ペン 一枚
 - (3) 委員囑託状 大正五年一月 印刷 一枚
 - (4) 募集方依頼状 大正五年四月 活版 一枚
 - (5) 趣意書 大正五年四月 活版 一枚
 - (6) 寄附行為施行細則 活版 二冊
 - (7) 寄附金募集手続き 活版 一枚 (付) 申込用紙 活版 二枚
 - (8) 基金募集関連書類 大正一二年七、八月 謄写 二綴 趣意書 各郡市委員部割当額、育英会出身者各郡市別調べ
 - (9) 旧仙台藩及び一の関藩封内の育英事業 (草案) 墨書 二枚 仙台造主義会、仙台養賢義会、五城寮の由来、活動

38 海軍協会関係書類

- (1) 大日本海軍協会仮趣意書 大日本海軍協会創立事務所 大正五年一二月 活版 一綴 (付) 海軍協会 発起人 墨書 一通
- (2) 大日本海軍協会発起人名 大正六年七月調 謄写 一枚
- (3) 大正七年度事業報告 活版
- (4) 海軍協会講演集 第一輯 大正八年六月 活版 一冊 地中海に於ける我駆逐隊の報告 青木董平 戦後の 所感 佐藤鉄太郎 大戦後の列国海軍 日高謹爾
- (5) 各国海軍協会の概況 活版 一冊 独逸海軍協会・英国海軍協会・米国其他の海軍協会
- (6) 海軍協会会意草案 墨書 一綴
- 39 自慶会創立者通知 斎藤実宛 大正六年一二月 活版 一枚 名誉会員に推薦
- 40 自慶会設立大会次第書 大正七年三月二日 活版 一枚
- 41 報告会開催通知 自慶会本部 斎藤実宛 大正七年二月三日 謄写 一枚
- 42 帝国水難救済会総会順序 帝国水難救済会 大正七年五月四日・八年六月九日 活版 二枚 (付) 入場券、食券、拝観券、割引券等
- 43 第一回全国青年団連合大会次第 大正七年五月五日 活版 一枚
- 44 大日本拓殖株式会社創立趣意書 (草案) 大日本拓殖同志会田代豊吉郎起草 大正七年八月 謄写 一綴
- 45 海事研究会関係書類
 - (1) 海事博物館設立に関する調査書 海事研究会 大正七年一二月二八日 謄写 一綴
 - (2) 戦後の命令航路査定案 海事研究会 謄写 一綴 航路・改正案・戦前現在・新旧比較概梗 (付) 送付状 大正八年七月三十一日 謄写 一枚
 - (3) 戦後命令航路査定案に対する修正意見 第一号 海事研究会 大正八年 謄写 一枚
 - (4) 海事研究会決議 海事研究会 大正八年一月二六日 活版 一枚 戦後の造船業に関する件 (付) 送付状 大正八年二月六日 謄写 一枚
- 46 日本倶楽部挨拶状 斎藤実宛 大正八年五月三日 墨書 一枚 副会長就任承諾願 (付) 日本倶楽部役員改選結果通知 議案 (日本倶楽部会館新築の件・現在会館並に債券処分に関する件) 活版 二枚
- 47 残桜会関係書類
 - (1) 残桜会書翰 斎藤実宛 大正九年一月 活版 一枚 残桜会設立賛同希望 (付) 趣意書規約細則・入会申込書 活版 二枚
 - (2) 残桜会理事書翰 斎藤実宛 大正九年二月 謄写 一枚 麿兵等の相互救助目的賛同願 (付) 賛同者氏名 謄写 一綴
- 48 有終会会員名簿 大正一二一一三年 活版 二冊
- 49 日本海法会規則 蒟蒻版 二部一綴 規則・会員名簿
- 50 呉竹会規則草案 墨書 一綴
- 五七、地図類
 - 1 大正七年海軍軍令部作製露細亜関係地図
 - (1) 中部露西亞略図 大正七年九月 活版 一枚
 - (2) 黒竜江沿岸明細図 大正七年九月 活版 一枚
 - (3) 烏蘇里鉄道沿線明細図 大正七年八月 活版 一枚

- (4) 東部西比利亞鐵道沿線明細図 大正七年七月 活版 一枚
- (5) 歐露北部略図 大正七年八月 活版 一枚
- (6) 黒竜鐵道沿線明細図 大正七年九月 活版 一枚
- (7) 亜露に於ける鐵道現況 大正七年四月 活版 一枚
- (8) 露支国境地方交通図 明治三八年九月製版大正七年一月鐵道補入同三月修正 陸地測量部 活版 四点
- (9) 海謀報二〇一二号 大正七年二月二六日迄に於ける独軍進軍狀況 謄写 一枚 (付) 露国常用単位換算要表 大正七年七月 活版 一枚
- 2 北海道鐵道全幹線概測図 五〇万分一 北海道庁 明治二八年五月 活版 二枚
- 3 北海道鐵道線路図 明治三〇年八月 活版 一枚
- 4 Railway Map of Japan 謄写・ペン 二枚
- 5 支那揚子江本支流総図 水路部 明治四四年一〇月 活版 一枚
- 6 支那現未鐵道線路略図 東亜同文会 大正三年三月調 謄写 一枚
- 7 支那現未鐵道線路及開市場一覽図 東亜同文会 大正四年四月調 謄写 一枚 (付) 東亜同文会事業一覽表
- 8 支那動乱地方図 東京朝日新聞 第一〇六八五号 大正五年四月七日 活版 一枚
- 9 台湾蕃地図 五〇万分一 台湾總督府民政部蕃務本署 大正二年六月 活版 一枚
- 10 海陸軍用欧州全図 附東洋方面 東京朝日新聞第一〇一〇一〇号付録 大正三年九月一日 活版 一枚
- 11 東欧地図 謄写 一枚
- 12 Sketch Map of the Province of British Columbia 一九〇七年 活版 一枚
- 13 The Lesson of the War Map 活版 一枚
- 14 The Downfall of Germany's World-Empire 活版 一枚
- 15 The War Illustrated 一九一四年八月二二日 活版 一枚
- 16 War Department Weather Map 活版三枚
- 五八、その他
 - 1 明治一八年天津條約写 明治一八年四月一八日 墨書 海軍野紙 一枚
 - 2 聖諭記 元田永孚 明治一九年一一月五日 謄写 一綴 和漢修身の学科更張などの勅諭について
 - 3 スタイン氏講義 墨書 一綴 内閣
 - 4 大日本帝国憲法
 - (1) 官報号外 内閣官報局 明治二二年二月一一日 活版 一綴 大日本帝国憲法
 - (2) 官報号外 内閣官報局 明治二二年二月一一日 活版 一綴 大日本帝国憲法附屬法
 - (3) The Japan Mail 一八八九年二月一五日 活版 一綴 大日本帝国憲法關係記事
 - 5 第三回内国勸業博覽会
 - (1) 第三回内国勸業博覽会事務局官制 明治二〇年一二月 活版 一枚 勅令八〇号
 - (2) 第三回内国勸業博覽会規則 明治二〇年一二月 活版 一綴 告示一—号
 - (3) 第三回内国勸業博覽会事務局規程 明治二一年三月一九日決判施行 活版 一枚
 - (4) 第三回内国勸業博覽会事務局職制 明治二一年三月一九日決判施行 活版 一枚
 - (5) 第三回内国勸業博覽会審査規則 明治二一年四月七日決判 活版 一枚
 - (6) 第三回内国勸業博覽会規則更正追加 明治二一年八月二八日 活版 一綴 告示二号
 - (7) 第三回内国勸業博覽会出品部類目錄 明治二一年八月 活版 一綴 告示三号

- (8) 第三回内国勸業博覧会地方官心得 明治二一年一二月 活版 一綴 訓令二号
- (9) 第三回内国勸業博覧会出品主心得 明治二一年一二月 活版 一綴 告示四号
- (10) 第三回内国勸業博覧会出品目録 内国勸業博覧会事務局 明治二三年一月 活版 一冊 官庁之部
- (11) 第三回内国勸業博覧会出品目録 内国勸業博覧会事務局 明治二三年一月 活版 一冊 第七部機械
- (12) 第三回内国勸業博覧会審査規則第一二条更正 明治二三年二月二六日決判 活版 一枚
- (13) 第三回内国勸業博覧会事務局博覧会規則追加 明治二三年二月 活版 一枚 告示第一一号
- (14) 第三回内国勸業博覧会場案内 内国勸業博覧会事務局 明治二三年三月 活版
- (15) 第三回内国勸業博覧会区画図 内国勸業博覧会事務局 明治二三年三月 活版
- (16) 東京上野公園内第三回内国勸業博覧会場略図 明治二三年 活版 一枚
- (17) 第三回内国勸業博覧会副総裁通知 斎藤実宛 明治二三年三月二二日 蒟蒻版 一枚 開会式通知
- (18) 第三回内国勸業博覧会開会式参場員心得 明治二三年 活版 一枚
- (19) 九鬼審査官長示諭大意書 明治二三年 活版
- (20) 第三回内国勸業博覧会審査部通知 斎藤実宛 明治二三年三月二九日 蒟蒻版 一枚
- (21) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年四月四日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 第七部会開催
- (22) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年四月二三日 墨書 一枚 皇太后陛下下行啓
- (23) 第三回内国勸業博覧会事務官長花房義質通知 斎藤実宛 明治二三年四月二三日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 皇太后陛下下行啓
- (24) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年四月二七日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 宮城拝観に付いて
- (25) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治三年五月一日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 出品審査に付き
- (26) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年五月二〇日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 出品審査に付き
- (27) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年五月二一日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 陸奥副総裁来着通知
- (28) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年六月五日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 出品審査点数送付依頼
- (29) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年六月一六日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 履歴書差出願 (付) 履歴書書式 タイプ 一枚
- (30) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年六月二〇日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一枚 審査官部会開催通知
- (31) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年六月二五日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 一綴 省庁府県委員褒賞の件
- (32) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年九日 墨書・蒟蒻版 第三回内国勸業博覧会事務局野紙 三枚 芝離宮参会通知 褒賞授与式参会通知送付
- (33) 第三回内国勸業博覧会審査部通知 斎藤実宛 明治二三年七月一〇日 蒟蒻版 一枚 褒賞授与式

- (34) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年七月一〇日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙一枚 芝離宮参会員心得書送付 (付) 心得書 活版一枚
- (35) 第三回内国勸業博覧会褒賞授与式次第書 明治二三年七月一日 活版一枚 (付) 参場員心得 会場略図 褒賞授与式場之図 活版二枚
- (36) 第三回内国勸業博覧会審査第七部通知 斎藤実宛 明治二三年七月一七日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙一枚 附貼紙書直通知
- (37) 第三回内国勸業博覧会褒賞授与人名録 内国勸業博覧会事務局 明治二三年七月 活版
- (38) 第三回内国勸業博覧会出品目録 追加七 内国勸業博覧会事務局 明治二三年七月 活版 同文二冊 第七部機械
- (39) 第三回内国勸業博覧会審査部第七部通知 斎藤実宛 明治二三年七月二七日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙二枚 閉会式参会通知送付
- (40) 第三回内国勸業博覧会警部通知 斎藤実宛 明治二三年七月三〇日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙一枚 審査報告材料回送依頼
- (41) 第三回内国勸業博覧会場略図 審査部第七部 明治二三年七月 活版三枚
- (42) 第三回内国勸業博覧会審査部長古市公威通知 斎藤実宛 明治二三年八月一〇日 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙一枚 出品審査依頼 (付) 審査内規 活版一綴
- (43) 第三回内国勸業博覧会褒賞薦告文 下 内国勸業博覧会事務局 明治二三年一〇月 活版一冊 第四・五・六・七部
- (44) 第三回内国勸業博覧会褒賞証及褒状薦告文末尾書式例 明治二三年 活版一枚
- (45) 第三回内国勸業博覧会審査事務官通知 斎藤実宛 明治二三年一〇月二二日 蒟蒻版一枚 辞令書交付
- (46) 第三回内国勸業博覧会審査附点紙 斎藤実 明治二三年 鉛筆一綴 船用蒸気機関・カノ一艇・西洋型蒸気船雛形他
- (47) 第三回内国勸業博覧会審査試験員名簿 明治二三年 墨書 第三回内国勸業博覧会事務局野紙一枚
- 6 第五回内国勸業博覧会
 - (1) 第五回内国勸業博覧会諸規則類 明治三四年 活版一冊 主旨・規則・出品部類目録・出品人心得・売店規則
 - (2) 第五回内国勸業博覧会庶務提要 明治三五年 活版一冊 事務局官制・事務局職員懲戒に関する件・事務局分課規定・事務局職制他
 - (3) 第五回内国勸業博覧会出品審査概況 第五回内国勸業博覧会事務局 明治三六年七月 活版
 - (4) 第五回内国勸業博覧会出品目録 第五回内国勸業博覧会事務局 明治三六年六月 活版一冊 参考館同別館
- 7 清国海軍を創立するの議 王恭寿 参謀本部海軍部編纂課訳 明治二〇年五月 活版一冊 総論・形勢に依る・糧餉を寿る・拳銃を蔽にす・煤鉄を求む・船砲を製す・器械を精くす・接済を謀る・島嶼を絵く
- 8 朝鮮独立論 ジャパン・ウィークリ・メール抄訳 在京城英国人某寄稿 明治二〇年十一月一二日 活版
- 9 明治天皇誕生日祝宴招待に対する返書 明治二二年一月 ペン 一四枚 井上良馨招宴
- 10 井上良馨招宴返書 明治二二年九月 ペン 四枚
- 11 万国国勢一覧表 明治二四年一月三日 活版一枚 「国会」第三一号附録

- 12 賞勲会議規程 タイプ 内閣用紙 一綴 明治二六年一〇月三一日勅令第一一七号 改正明治三一年第二五三号
- 13 日本海軍 ペン 一枚 「ステーツマンズ・イヤブック」 一八九四年 七二六頁写
 - 14 朝鮮医語類表 海軍省軍医鈴木裕三 明治二七年三月 墨書 海軍野紙 一綴
 - 15 義指金募集主意書 伊東美津子他二八名 明治二八年 活版 一枚 第一一八号水雷艇遺族に対し
 - 16 征清武功鑑編纂趣旨 国の礎発行社 明治二九年一月 活版 二枚
 - 17 占守嶋移住報告 報効義会東京支部長加藤洋 斎藤実宛 明治二九年一〇月 活版 二枚 (付) 計画報告 報効義会 斎藤実宛 明治二九年八月一日 活版 一枚
 - 18 満州鉄道 海軍軍令部第三局 明治三一年一〇月 印刷 一冊 一八九七年一二月二〇日北京発タイムス特別通信
 - 19 明治二六一三一年新聞切抜 活版 一三点 日本 (明治二六年九・一〇月) ・国民新聞 (明治三一年一月一三日) ・The honkong Telegraph (一八九八年六月一八日) 他
 - 20 熱田港築港計画書概要 明治三一年 活版 一冊 工事設計大要・築港費予算書・築港費予算内訳明細書・明治三一年度以降熱田湾築港費支弁に関する収支計画書・築港費継続年期及支出方法・明治三一年度県債及償還方法・築港県債及償還方法・築港図・海陸連絡略図
 - 21 熱田港築港に関する陸上計画書 明治三六年一〇月 活版 一綴総論・熱田港自然の位置に伴う将来の発達・熱田港の最も多く利用すべき内国の区域・外国港との関係に於ける熱田港の利用・貨物集散の程度・現在必要な設備の程度及其工費・埋立地市街区画・築港費の内海陸連絡設備等に要する工費支弁収支計算書
 - 22 仙台湾築港意見書 工学博士古市公威 明治三二年一二月 活版 同文二冊 (付) 仙台湾築港計画説明書・同予算書
 - 23 山口県下関市岬之町埋立に関する書類 山口県下関市役所 墨書 山口県下関市役所野紙 一枚 (付) 埋立地図 墨書・彩色 一枚
 - 24 大船渡築港並に鉄道敷設に関する建議案 大船渡築港鉄道株式会社創立事務所 墨書 大船渡築港鉄道株式会社創立事務所野紙 一枚
 - 25 大湊鉄道論 謄写 一綴 青森県大湊鉄道の計画
 - 26 秋田県船川湾築港計画説明書並図面 活版 一綴
 - 27 清国湖広総督張之洞よりの特派一行等との懇親会招待状 幹事榎本武揚外六名 斎藤実宛 明治三一年一二月五日 活版 一枚
 - 28 日本通信断簡 明治三二年一月二五日・二七日 謄写 四枚
 - 29 台湾特別事業費第一期第二期年割表他 明治三二年 活版 一綴 年割表 第一期計画と第二期計画と歳入出予定額及公債諸費比較表公債現金使用年割 公債月割使用表 公債諸費計算表第一期と第二期と歳入予定額比較表 二〇年計画と現計画と歳入予定額比較図第一期計画と第二期計画と歳出予定額比較表
 - 30 台湾事業公債法改正案稟申 児玉源太郎総督 内海忠勝内務大臣宛 明治三四年一二月一七日 蒟蒻版 一綴 台湾経営上鉄道築港土地調査道路改修等の為公債増加望む
 - 31 静岡県伊豆国下田鉄道敷設請願書 依田佐二平外八四名 貴衆両院議長宛 明治三二年一二月二五日 活版 一冊 (付) 静岡県伊豆国下田鉄道敷設請願線路略図 活版 一枚
 - 32 田辺実明債務保証事件
 - (1) 予審終結決定書正本 東京地方裁判所予審判事 中川富太郎 裁判所書記伊藤弥太郎 明治三二年五月三一日 墨書 一綴
 - (2) 公判始末書 明治三二年一〇月一日 墨書 一綴

- (3) 田辺実明、田辺格次、藤田実、山岸三四郎被告事件 明治三二年六月二七日 墨書 一綴
- (4) 刑事附帯の私訴執行 明治三四年四月 墨書 七綴 私訴状 私訴判決正本 二部 金円貸借証書謄本 二部
金円貸借公正証書中保証に関する部分抹消証書正式謄本 委任状 斎藤実
- (5) 判決謄本 明治三四年五月一日 墨書 東京控訴院罫紙 一綴
- (6) 田辺実明外六名被告事件第二審公判始末書 明治三四年五月 墨書 一綴
- (7) 明治三四年（れ）第七七四号判決書 明治三四年一〇月二一日 謄写 大審院罫紙 一綴
- (8) 三七（ワ）第一六五七号事件取寄記録 明治三四年 墨書 一綴
- (9) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治三六年一二月二三日 墨書 一通
- (10) 昇任祝詞 斎藤実宛 明治三七年六月八日 墨書 一通（付）葉書 一〇月九日 鉛筆 一通
- (11) 保証債務履行請求訴訟関係書類 明治三七・三八年
- (イ) 三七（ワ）第一六五七号口頭弁論調書 墨書 一綴
- (ロ) 三八（ネ）八三二号保証債務履行事件記録 墨書 一綴
- (ハ) 三八（ネ）八三六号保証債務履行事件記録 墨書 一綴
- (ニ) 保証債務履行請求の訴状 明治三七年一一月一八日 墨書 一綴
- (ホ) 保証債務履行請求事件の控訴 明治三八年一一月四日 墨書 一綴
- (ヘ) 訴訟費用概算書 明治三九年六月一一日 墨書 一綴
- (ト) 判決 墨書 一綴
- (チ) 証拠物写 明治三四年（れ）第七七四号明治三四年一〇月一〇日宣告 墨書 一綴
- (リ) 証拠物写 有体動産競売調書 墨書 一綴
- (ヌ) 金円貸借証書謄本 謄写・墨書 一綴
- (ル) 公正証書附属委任状 墨書 一綴
- (ヲ) 第漆阡肆拾壱号公正証書原本に附属する委任状謄本 墨書 一綴
- (12) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治三八年一二月二三日 墨書 一通
- (13) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治三九年一月八日 墨書 一通
- (14) 有体動産差押執行に関する調書 明治三九年六月二二日 墨書 東京区裁判所執達吏役場用紙 一綴
- (15) 横須賀一水兵書翰 斎藤実宛 明治四〇年四月一八日 鉛筆 一枚
- (16) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治四〇年四月二一日 里書 一通
- (17) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治四〇年七月一九日 墨書 一通
- (18) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治四〇年七月二四日 里書 二枚
- (19) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治四〇年八月一九日 墨書 一通
- (20) 田辺実明書翰 斎藤実宛 明治四一年一月二六日 墨書 一通
- (21) 赤城志郎書翰 斎藤実宛 一月二八日 鉛筆 一枚
- 33 百年後の長計を建てよ（横浜の市区に就て） 高木三郎 明治三三年一月横浜経済会報告第一五号抜萃 活版一枚
- 34 台湾総督府法院判官高野孟矩抗議書 内閣総理大臣伊藤博文宛 明治三二年一〇月二二日 蒟蒻版 一綴 非職辞令に対する抗議
- 35 月島丸遭難弔慰義指金報告 商船学校校友会内月島丸遭難弔慰会 斎藤実宛 明治三四年一月二日 蒟蒻版 三枚
- 36 月島丸遭難弔慰寄付金交付手続文案 商船学校校友会内月島丸遭難弔慰会 明治三四年 蒟蒻版 二点 贈与文案

交付請求文案 受取証文案

- 37 商船学校練習船月島丸遭難弔慰金義指金精算報告草案 月島丸遭難弔慰会委員平山藤次郎 一二月一四日 蒟蒻版 一綴
- 38 明治三五年アラスカ調査管見 明治三五年 墨書 一綴
- 39 横尾東作意見書 明治三六年七月 墨書 一綴 鉱毒被害民南洋諸島移民の件
- 40 王師遠征歌 日本音楽会選定 明治三七年五月 活版
- 41 観桜会入苑証 斎藤実・令夫人宛 明治三七年四月二〇日・明治三八年四月二四日 活版 一枚
- 42 吉成匠紹介書 明治三八年三月 墨書 一枚
- 43 官報号外 日英協約 明治三八年九月二七日 活版 一枚
- 44 Bath 勲章礼状並びに誓約書草稿 明治三九年六月 タイプ・ペン 三点 (付) 授与式における大使演説写 タイプ・ペン 二枚
- 45 電車賃に関する意見の要領 柳沢保恵 東京鉄道株式会社社長牟田口元学宛 明治三九年九月一四日 謄写 一枚
- 46 プロシア国赤鷲第一等勲章受領許可の件 賞勲局 斎藤実宛 明治四〇年二月二七日 墨書 一枚
- 47 郵便博物館陳列所観覧案内 明治四〇年六月製函 印刷 一枚
- 48 伏見宮訪欧中英文挨拶原稿他 明治四〇年 タイプ 三綴
- 49 褒賞授与式紀念彙報 第二回関西九州府県連合水産共進会 明治四〇年二月一日 活版 一枚 (付) 審査長申告 活版 一枚
- 50 高千穂学校通知 明治四一年九月一日 謄写 一枚
- 51 日本赤十字社
 - (1) 振天府拝観申込書 日本赤十字社篤志看護婦人会 明治四一年五月二三日 謄写 二枚
 - (2) 入社申込書 日本赤十字社宛 活版 一枚
 - (3) 篤志看護婦人会入会申込書 日本赤十字社篤志看護婦人会宛 活版 一枚
- 52 徳富一敬略歴 明治四二年 活版 一枚
- 53 近衛師団沿革概要 近衛師団司令部 明治四三年五月三〇日 活版 一冊 近衛の起源・明治維新後の近衛・近衛師団各団隊長一覧
- 54 本邦創始の事業にかかる硫酸安母尼亞製造業の由来 第一号 平野鉄工所 明治四三年一〇月 謄写 一綴
- 55 工場概要 平野鉄工所 明治四四年二月 墨書 平野鉄工所野紙 一綴
- 56 青山墓地移転に関する陳情覚書 明治四四年三月 活版
- 57 入営者必携 陸軍歩兵大尉高橋静虎編纂 軍事教育会 明治四四年九月 活版 一冊 勅諭・新兵の覚悟・軍人の信仰他
- 58 時局紀念事業の概観 農商務省 活版 一冊 時局と紀念植林・時局と基本財産・時局と農業経営・時局と水産事業・時局と商工経営・時局と交通事業・時局と教化事業・時局と勤儉貯蓄・時局紀念事業の総説
- 59 覚書 斎藤実 墨書 一枚 三井引受の韓国軍艦の儀
- 60 電報写 松方川崎造船所長 村上副官宛 六月二六日 墨書 海軍野紙 一枚 大臣病気について
- 61 山梨秘書官電報 古川秘書官宛 六月二三・二五日 墨書 海軍野紙 三枚 大臣病状問合せ
- 62 海事展覧会陳列品目録・海事奨励会役員 タイプ 二綴
- 63 露国白鷲勲章佩用 墨書 海軍野紙 一綴
- 64 不正行為審査委員任命法に対するネルソン卿演説 蒟蒻版 一綴 一八〇二年一二月二一日上院第二読会に於け

る演説

- 65 大勲位元帥、國務大臣等名簿 墨書 海軍野紙 一綴
- 66 陸軍省軍務課新井大尉書翰 井出海軍省副官宛 墨書 海軍野紙 一枚 載涛、溥儀兩殿下より齋藤海軍大臣に写真下賜
- 67 函館宴会席割 ペン 一枚 外国人招待
- 68 ロシア海軍関係者宴会席割 鉛筆 一枚
- 69 朝鮮論 謄写 一冊 一八八七年八月三日竜動「タイムス」新聞記事翻訳
- 70 旧仙台藩士下戻申請
 - (1) 旧仙台藩士下戻申請に関する参考書 墨書・活版 同文二綴 仙台藩の削封及各県の設置・旧仙台藩に於ける禄制の大要・旧仙台藩士の所有山林・下戻法発案の趣旨・仙台藩旧領郡村居住の臣属に関し同藩より弁事役所に願出たる其願書の趣旨
 - (2) 申請証拠書類 活版 同文二綴 宮城県庁備簿之内より写取県知事の証明を受けて申請証拠として呈出せしもの
- 71 南洲翁遺訓 三矢藤太郎 大正三年一月 墨書 一綴
- 72 齋藤実印符 一一点
- 73 第三回旅順閉塞隊秘話目次 謄写 一綴
- 74 独逸実業十戒の歌 独逸実業十戒 片岡覚太郎 カーボン 海軍野紙 一綴
- 75 挨拶類新聞切抜 活版 一括
- 76 Address by Henry Clews 一九一二年三月 活版 一綴 珍田駐米大使歓迎
- 77 中華民國諸法規 外務省政務局 大正元年九月二八日 活版 一冊 中華民國臨時約法・國務院官制・中華民國国会組織法・參議院議員選挙法・衆議院議員選挙法・寿備国会事務局官制
- 78 各植民地及内地に於ける命令航路 拓殖局 大正元年九月 活版 一冊 拓殖局報第三〇 命令航路一覧表・台湾総督府命令航路・朝鮮総督府命令航路・樺太庁命令航路・関東都督府命令航路・通信省命令航路・日本諸港間最近航路里程表・外国航路里程表
- 79 製鉄原料の供給に関する参考書 大正元年二月一日 蒟蒻版 一綴 内外製鉄業の概況 本邦製鉄業の概況 内地の生産状況の微々たること・輸入の激増したること・需要の将来如何・原料鉄鉱の需給並其の将来 世界の製鉄業の大勢・総説・各国の状況
- 80 製鉄原料の供給に付て 大正元年十一月一日 蒟蒻版 一綴 鉄の需要は国運の発展と共に増加す・我国に於ける鉄の需給・原料の供給問題・隣邦鉄鉱に対する将来の計画
- 81 金曜会報告第八輯 大正二年三月二四日金曜会例会 活版 一冊 貴族院議員前田正名君商品陳列館長鶴見左吉雄君講演筆記 日本重要輸出入品番附
- 82 濠洲みやげ 栃内曾次郎 大正二年四月 活版 一綴 総説・帝国的精神と国民的精神・移民人口鉄道問題・家庭生活・濠洲の発見及探検・地形及気候・動植物・苗族・濠洲の発展
- 83 枢密顧問官審査委員決定の通知 枢密院書記官 大正二年六月八日 蒟蒻版 一枚 文官任用令改正の件、任用分限又は官等の初叙陞叙の規定を適用させる文官に関する件
- 84 第一二回定時株主総会議長演説筆記 株式会社日本製鋼所 大正二年八月二七日 活版
- 85 日本シヨフワー交友会挨拶状 齋藤実宛 大正二年一月一六日 謄写 二枚 自動車運転手の会
- 86 触感追記 乾 田辺実明 大正三年一月 墨書 一綴 戊辰奥羽の大乱

- 87 触感追記 五 田辺実明 大正三年一二月 墨書 一綴 読仙台戊辰史
- 88 回顧録 北古賀竹一郎 大正三年三月 活版
 - 89 独逸通商破壊艦掃滅の為め行使せられたる艦艇数 大正三年一〇月 活版 一枚
 - 90 Telegram from British Foreign Office 大正三年一二月一〇日 謄写 一枚
 - 91 Facts about the War, a Bulletin of Infomation 一九一五一一六年 活版 三部
 - 92 帝国官営事業総覧（官業整理考） 沢政務調査所調査 大正四年九月一五日 活版 一枚 一般会計所屬・特別会計所屬・付表
 - 93 支那新聞翻訳 支那通信部同人 大正五年一月九日 謄写 一綴 雲南の將校に告ぐ（一二月三十一日黄鐘日報）・雲南軍の檄文（一二月二九日時事新報）・北軍南下と北方の防備（一月一日時事新報）他
 - 94 米国の新設に係る国際企業商会の計画現況 大正五年一二月六日 謄写 一綴（付）斎藤自筆覚書 墨書 一枚
 - 95 船員法船舶職員法及水先法の改正に就き請願書並に理由書 海員協会専務理事河内研太郎 逓信大臣田健治郎・司法大臣松室致宛 大正五年一二月二五日 活版
 - 96 大正六年度教科書定価表 高千穂販売部 大正六年三月一五日 活版 一枚
 - 97 粘土試験報告書 大正六年四月二八日 ペン 一綴
 - 98 大湊興業株式会社設立趣意書、起業目論見書、収支予算書並びに定款案 大正六年五月二日受領 謄写 一冊（付）大湊築港埋立計画地平面図他 青焼・印刷 四枚
 - 99 英米日独露支仏等の關係に就て独逸より觀望す 在伯林野村吉三郎大佐 大正六年五月 謄写 一綴
 - 100 大角海軍省副官通知 在京親任官宛 大正六年六月一十九日 謄写 一枚 皇后御誕辰参内礼装の事
 - 101 官房第三九七五号別表 大正六年一二月二六日 活版 一枚 大正六年歳末同七年年始儀式一覽表
 - 102 青葉神社奉遷先の件 石川邦光他五四名 大正七年一月 活版 一枚 経ヶ峯奉遷賛同依頼
 - 103 皇国音楽共和会設立趣意書 大正七年二月 活版 一枚 趣意書・会則抜粹
 - 104 対露先決問題 第一集 大正七年三月 謄写 同文二綴
 - 105 第四、五回卒業証書授与式順序 聖心女子学院高等女学校 大正七年三月二五日・八年三月二一日 活版 二枚
 - 106 恩賜賞、帝国学士院賞、桂公爵記念賞授与式次第 帝国学士院長 斎藤実宛 大正七年五月一一日・八年五月二五日 活版 二枚（付）案内状 大正七年四月三〇日 活版 一枚
 - 107 教育に関する方針 青森県東津軽郡長藤原喜蔵 村役場・小学校宛 大正七年七月一八日 活版 一部
 - 108 帝国在郷軍人会四谷区分会通知 大正七一年 活版・謄写 四枚
 - 109 欧州大戦
 - (1) 大正六年八月中地中海に於ける敵潜の行動 印刷 一枚 欧戦時報第三号附図
 - (2) 米国の戦費 大正六年一〇月一五日 謄写 一枚
 - (3) イープル東方略図 大正六年 印刷 一枚 欧戦時報第三号附図
 - (4) 一九一七年九月沈没船舶一覽表 大正六年 印刷 一枚 欧戦時報第三号附図
 - (5) 欧洲戦争秘報 第四四一五三号（四七号欠）海軍軍令部 大正七年八月三〇日一七年一〇月二五日 活版 一綴 独逸潜水艇及海軍飛行船の現状・米国「サブマリナー」の現状・外哨を以てする輸送船隊防禦法地中海に於ける敵我潜水艇作戦に関する見聞記事・附録新式「ハイドロフォン」の実験に就て「プリンゼン」港湾防禦設備在東洋米軍陸軍現在兵力・独逸戦艦「マルクダラツフ」・独逸海軍に関する情報・独逸海軍雑組独逸奪掠巡洋艦に就て・白耳義海岸に於ける独逸大口径砲・元露国黒海艦隊に対する独逸側の艦装状況・ゲーステムユンデ「テツクレンブルグ」造船所の近況・地中海聯合

国船舶遭難位置点記図・土領シリアのトリポリ港に於ける潜水艇根拠地・独潜潜水巡洋艦の公試・奥
洪国 Monfalcon 海軍造船所の復旧在仏米出国征軍概況 独艇U六四号捕虜訊問調書 独逸潜水艇問答 伊
国情報・独潜UB一六号生存者訊問書 英国大艦隊編制

- 110 対世界変局根本政策 加藤壯太郎 大正七年一月 カーボン 一綴 総論・国民精神（所謂思想問題）・平和策（所謂国際連盟問題）・領土の交換・領土保全と門戸開放・人種の差別的廃止と労働問題・西比和亜問題・支那問題・隣邦問題・結論
- 111 川崎正蔵略歴別冊送付状 川崎芳太郎 大正八年一月 活版 一枚
- 112 高田村役場寄留届書提出依頼 学習院教務課 父兄保証人宛 大正八年二月一日 謄写 一枚（付）斎藤自筆覚えあり
- 113 参謀本部副官吉江協中書翰 斎藤実宛 大正八年三月一二日 活版 一枚 上原閣下病氣経過
- 114 暁星学校賞品授与式 大正八年三月・一一年三月 活版 二部
- 115 通報 四谷班長中野菊太郎 四谷班団員宛 大正八年四月五日 謄写 一枚 衛戍大射撃会について
- 116 内藤新宿町並に淀橋町の一部を本市に編入する意見書 四谷区長佐藤三吾 斎藤実宛 大正八年四月 活版 一綴 意見書 東京市会議長加藤正義東京府知事井上友一・内務大臣床次竹二郎宛 四谷区及内藤新宿町廃合に関する意見書 四谷区会議長田中安 東京府知事井上友一・内務大臣床次竹二郎宛書類目録 会議決文 四谷新宿地盤図 内藤新宿町合併問題参考事項他
- 117 文部省直轄学校清国留学生教育案に要する経費調概算 甲案 墨書 東亜同文会用紙 一綴
- 118 十勝国河東郡音更村況概要 謄写 一綴

○ パンフレット類 一 明治期

■ 五九、政治

- 1 医師に関する法令抜粋・法律的医師会は無用にして有害なり 医師会法案反対同盟会 明治三二年一月 活版 二枚
- 2 官民衝突の急調議院政治の将来 西師意 明治三六年二月 活版 一冊 伊侯隈伯の提携・伊侯の主義・伊侯の大節・民軍の旗幟・政党の節制・政党の経綸・政党の離合・両院の確執・東洋の形勢・政界の大勢
- 3 戦時に於ける地方経営 内務省 明治三七年六月 活版 一冊 地方公共植林及砂防事業と戦時の紀念・耕地整理排水事業と失業者の救済・時局に於ける地方の勸業・時局に於ける自治の整善（付）軍人家族救護事業と授産奨励
- 4 戦時に於ける中央及地方公課の増減 内務省地方局 明治三七年八月 活版
- 5 世界の大勢と日露戦争の結末 戸水寛人 明治三八年三月 活版
- 6 和局私案 黒竜会同人 明治三八年六月 活版
- 7 奈何にして議院に対する人民の請願権を保護すべきか 拾遺 衆議院書記官長林田亀太郎 明治三九年二月七日 活版
- 8 府県会役員選挙紛擾始末 馬淵貞吉 明治四一年一月 活版
- 9 憲法一夕話法律とは何ぞ 寛克彦 明治四一年四月講話 活版 一冊 憲法と最小限度の国法・憲法と歴史及理・憲法と表現関係及独立関係・憲法と性質及数量・憲法と実質及形式・日本憲法の最も重き特色・結論
- 10 門司市政素乱史 赤峰瀬一郎 明治四五年七月 活版 一冊 市政素乱の由来・古今未曾有の予算会議・門司市今日の実業及び財政状態・市政の棄乱、風紀の廢弛及び教育の根底動揺は我々が最後の決心を促す
- 11 内務次官巡視取調書附録摘要 活版 一冊 時局経営 時局美譚 特種事業

12 大政奉還より国会開設の勅諭煥發に至る憲政發達史の梗概 活版 一冊 王政復古と五箇条之御誓文・立法機関發達の経路

- 13 学制改正卑見 松岡康毅 活版 一冊 形式の廃止・修学年間の短縮・費用の節約・結論

■ 六〇、財政・金融

- 1 株式会社岩手県農工銀行定款 明治三二年九月一三日 活版
- 2 財政經濟国是意見 雨宮敬次郎 明治三三年八月 活版 一冊 参考・総論・消極論・積極論・結論
- 3 財政救済策 井上甚太郎 明治三四年一月 活版
- 4 財政意見 田健治郎 明治三四年五月 活版 一冊 総論・資本の供給・通貨制度の改良・輸出入平準の方策・財政整理の方針・鉄道經濟策・附言
- 5 砂糖税増課意見 衆議院議員岡田治衛武 明治三六年四月 活版
- 6 地方財政概要 内務省地方局 明治三六年七月 活版 一綴 歳入歳出総説・歳出・歳入・地方財産蓄積の現在及将来・地方債（付）地方財政概要説明
- 7 戦時財源私見 松浦与三郎 明治三七年一〇月二五日 活版 一冊 明治三八年度戦費財源私見
- 8 第二一議会に於ける軍事費予算特別戦時税報告並戦況談筆記 衆議院議員恒松隆慶 明治三八年二月 活版
- 9 関稅定率法案修正意見 東洋經濟会 明治四三年二月 活版
- 10 千九百九年度英国予算に就て 森賢吾 倫敦日本人会 明治四三年三月 活版 一冊 緒言・国費、増収計画、法案説明・論争の要旨・在野党の成算・財政法案否決の結果財政上の影響・財政法案と上院との憲法上の問題・終結・（附録）英国財政大要

■ 六一、外交

- 1 対外政策 同志研究会 明治三四年三月 活版 一冊 法学博士戸水寛人演説・佐藤虎次郎演説
- 2 泰東之休戚 日英連盟解 西師意（中国語訳） 光緒二八年二月 活版
- 3 南鳥島事件（法科大学國際公法演習報告） 國際公法研究室 明治三五年一〇・一一月 活版 一冊 国家学会雜誌 抜刷
- 4 米国は何故に日本に同情を表するか デフォレスト 明治三七年三月 活版
- 5 改訂日英同盟協約各国新聞論評一班 外務省臨時報告委員 明治三九年四月 活版 一冊 英国新聞論評・米国新聞論評・独逸及奥国新聞論評・仏国新聞論評・白国新聞論評
- 6 中央亞細亞問題 歴史の部 外務省囑託立法学博士調査外務省政務局 明治四〇年三月 活版 一冊 中央亞細亞問題の範圍・亞富汗に対する露国の進勢・亞富汗に対する英国の政策・結論
- 7 排日問題意見書 対米同志会 明治四〇年三月 活版
- 8 日英同盟の将来に影響すべき英独協商論 ジョンストン 望月小太郎訳 明治四四年三月 謄写 一綴
- 9 露国の財政について 東亜經濟調査局 明治四四年 活版 一冊 在露国本野全権大使報告 一九一二年度露国政府歳出入予算案の概要・仏国ピエール・シヤスル述 露国の經濟及財政
- 10 英独協定の価値 デルブルック 望月小太郎訳 謄写
- 11 日印通商協定問題の解説 若松虎雄 活版

■ 六二、朝鮮

- 1 対韓策 第一編 野村才二 明治三七年三月 活版 一冊 日韓外交貿易
- 2 韓国視察録 衆議院議員横山一平 明治三七年六月 活版 一冊 農事に関する部
- 3 韓国幣制改革に関する情願書 大韓京城商業會議所陳情委員 大日本帝国内閣総理大臣兼外務大臣桂太郎宛

明治三八年一一月一三日 活版 一冊情願書 今次大恐慌後自八月至一〇月京城大商破産者 白銅貨葉錢通用区域及白銅貨中正貨不正貨通用予想 韓国政府に対する請願書訳文

- 4 韓国経営論雑纂（汎論） 嶺八郎 明治三八年 活版 一冊 帝国の大計と韓国経営・韓国経営とアングロサクソン民族・殖民の成功及び失敗と官吏本位他
- 5 建白書 宮川五郎三郎 明治四三年七月 活版 一冊 第一次統監政治の政弊・新統監の新政綱・立国の中心を看破せよ・公私有物件を保証せよ・地籍処分の大英断を望む・地籍を挙げて民有に編入せよ・結論
- 6 宮内府記録総目録 宮内府至章閣記録課 隆熙三年 活版 一冊 隆熙元年本府官制改正以前記録及其後本府二三庁課公文書類
- 7 京義線工事概況 朝鮮総督府鉄道局 明治四四年 活版 一冊 速成工事・改良工事 付図 京義全線平面図京義全線縦断面図
- 六三、中国
 - 1 台湾小史 台湾総督府軍務局海軍部 明治三〇年八月編纂 活版
 - 2 西比利及満州地名索引 海軍軍令部第三局 明治三五年一二月 活版 一冊（付）露国艦船名
 - 3 堪察加半島誌 大本営陸軍幕僚 明治三八年四月 活版 一冊 総論・沿革・地誌・気候・植物・動物・行政・兵備軍政・住民・交通・教育・衛生・寺院・市邑・漁業・猟業・捕鯨業並真珠採取・犬及馴鹿飼育業・牧畜・農業・商業・付録
 - 4 対満州通商の緊急施設に関する私見 木村桑市 明治三八年八月 活版 一冊 満州貿易の旺盛と其前途・日本の対満州貿易・日本対清貿易の不振と其原因・日本の対満州通商の施設・結論
 - 5 東清鉄道経営策 秋山運次郎 明治三八年九月 活版 一冊（附）樺太移民論
 - 6 東邦協会会員名簿 東邦協会会報第一三一号付録 明治三九年一月一日現在 活版
 - 7 実業視察概要 遠藤安太郎 明治四二年九月 活版 一冊 満州、韓国、台湾島、樺太島、北海道、甲信北越
 - 8 支那改造論 黒竜会主幹内田良平 明治四四年一一月 活版
- 支那革命と露国の態度及独仏米三国の態度・支那の革命と露国の干渉及列国の協同干渉・支那革命と我日本帝国の対清政策・支那改造案・支那改造と我日本帝国の天職
 - 9 支那革命調停案 黒竜会主幹内田良平 明治四四年一二月 活版 一冊支那動乱の現状と列国干渉の時機・支那問題の解決に対する調停案と我帝国の任務・東邦に於ける列国の大勢と支那問題解決の機会・連邦的共和政治に対する反対説と君主立憲連邦政治に対する反対説・結論
 - 10 英清対訳清国官衙官職名 活版 一枚
- 六四、産業・交通
 - 1 鉄道の改良に関する意見 陸軍軽重兵少佐大沢界雄 明治三一年七月 活版 一冊 最新式の材料及設備の採用 建築及運輸に関する法令の規定 荷物運輸法の改良 鉄道行政制度の改良 職員の養成 前項改良の結果として軍事上に及ぼす効程
 - 2 第三回農商工高等会議議事速記録 農商工高等会議 明治三二年一月 活版 一冊 諮問案目次・速記録
 - 3 市街鉄道公有の議 社会政策学会 明治三二年一二月 活版 一冊 欧米諸国市街鉄道の实例・東京市街鉄道市有実行方法・東京市会の特許条件を論ず
 - 4 国力之程度 中橋徳五郎 明治三三年 活版 一冊 緒言・富力・収入・富力の増進歩合・収入の増進歩合・国の公債負担力の程度・国の歳入負担力の程度・公債元利支払額の程度・結論・統計表
 - 5 横浜税関一覧 明治三三年四月 活版 一冊 横浜税関案内・横浜税関手続

- 6 東京市街鉄道非合同意見 東京市街鉄道株式会社取締役立川勇次郎 活版
- 7 第四次全国製糸工場調査表 農商務省農務局 明治四〇年六月 活版
- 8 産業組合成績概要 農商務省農務局 明治四一年三月 活版 一冊 組合数・組合員数・資金・事業
- 9 陳情書 東京鉄道株式会社社長牟田口元学 海軍大臣斎藤実宛 明治四一年一月三十一日 活版 一冊 乗車賃率改訂に付き陳情
- 10 勸察加方面漁業視察復命書 農商務属山内頭 明治四二年三月 活版 一冊 東亜露領方面の漁業状況
- 六五、農業
 - 1 明治三六年米作表 農商務大臣官房統計課 明治三七年六月 活版
 - 2 耕地整理事例 第一輯 農商務省農務局 明治四〇年二月 活版
 - 3 戦時に於ける農事奨励施設及成績 農商務省農務局 明治四〇年七月 活版 一冊 農商務省の施設・各地方農事奨励状況・各地方農事奨励成績概要・各地方農事奨励成績統計
 - 4 地主と産業組合 農商務省農務局 明治四一年三月 活版 一冊 松岡農商務大臣演説要領・大日本産業組合中央会 会頭平田男爵演説・貴族院議員伊藤長次郎君演説・大日本産業組合中央会副会頭加納子爵演説
 - 5 好良なる産業組合の収支状態 農商務省農務局 明治四一年四月 活版 一冊 収支状態一覧表・各組合の収支状態
- 六六、教育
 - 1 京都帝国大学一覧 京都帝国大学 明治三二年五月 活版 一冊 沿革略・帝国大学令・京都帝国大学設置に関する勅令他（付）大学略図
 - 2 東北法律学校開校式挙行順序 東北法律学校 明治三三年一〇月二八日 活版 一枚（付）送付状 活版 一通
 - 3 早稲田大学設立趣旨 東京専門学校 明治三三年一〇月 活版 一冊 設立趣旨・東京専門学校明治三三年度報告
 - 4 開校式順序 日本女子大学校 明治三四年四月二〇日 活版一枚（付）案内状 活版 一通
 - 5 教科書国定に就て 文部省官房 明治三六年七月 活版 一冊 菊池文部大臣演説大要
 - 6 文部省廃止すべからざるの意見 帝国教育会長辻新次 明治三六年八月 活版
 - 7 凱旋 文部省編纂 明治三八年一〇月 活版 一冊 戦争唱歌
 - 8 東洋英和女学校同窓会報告 東洋英和女学校 明治三九一四〇年 活版 二冊
 - 9 宮崎県教育一斑 若山甲蔵 明治四〇年一〇月 活版 一冊 宮崎宮・教育総説・県立師範学校他
 - 10 東京府立職工学校一覧 東京府立職工学校 明治四四年 活版 一冊 本校之部・附属工業補習夜学校之部・適材教育之部・付録
 - 11 義務教育年限延長に関する意見書 帝国連合教育会 活版 一冊 義務教育延長の時期並に其の実現方法・義務教育年限延長の必要なる理由・時期尚早説に対する弁明・経費概算
- 六七、その他
 - 1 東京慈恵医院会員心得書 明治二〇年四月 活版
 - 2 勲章佩用式 賞勲局 明治二二年 活版
 - 3 北海道移住案内 北海道庁殖民課編 明治二四年四月二日 活版 一枚 移住者の心得・北海道開拓進歩概覧表・北海道地図・植民地選定国別表・汽船運賃及乗客賃銀表・北海道温度表・各地里程概覧表・物価表・農具代価表・農産物播種収穫表
 - 4 第六北海道移住案内 北海道庁殖民部編 明治三二年一月 活版
 - 5 宣揚国光杯の記 陸軍編修横井忠直 明治二七年一一月二日 活版 一枚
 - 6 増上寺幻灯会案内 日本体育会委員 斎藤実宛 明治三〇年六月 活版 二枚

7 政教分離意見 岡本柳之助 明治三二年一〇月 活版

- 8 横浜海面埋立事件顛末録弁妄 新野周朔 明治三二年一二月 活版 一冊緒言・横浜組の主張・市の公益事業にあらず・純然たる私利業のみ・市会を利用し市名を濫用せり・浅田知事の挙措は偏頗なり・横浜組は先願者にあらず・出願の優劣・小山田信蔵等の信用・議員買収の報酬にあらず・誠心官紀振肅を唱うるにあらず・星亨氏の言を提造せり・信州組は買収せられたるにあらず・社会の公論果して如何・結論
- 9 天然足会旨趣及会則 明治三三年二月七日 活版 一冊 天然足会旨趣 黄玉階 会則 纏足解除に就き啓告 村上義雄
- 10 神道国教論 大道社幹事川合清丸 明治三三年二月 活版
- 11 汽車汽船旅行案内 第六六号 明治三三年三月一日 活版 一冊 時刻表
- 12 汽車汽船旅行案内 第七四号 明治三三年一二月一日 活版 一冊 時刻表
- 13 鷹ヶ丘城 成田果 明治三三年一月 活版 一冊 弘前一名案内記
- 14 全国文人専門家一覧表 好文堂 明治三四年一月 活版 一枚
- 15 宗教改良論 横田国臣 明治三五年一〇月 活版 一冊 (付) 観察哲学の創設及刑法刑事訴訟法の改正
- 16 戦時国民の覚悟 金森通倫 明治三七年六月 活版
- 17 国民の魂 佐藤顕理 明治三八年五月 活版 一冊 一九〇四年一〇月四日「タイムス」紙上軍事寄書家所論 和訳・原文
- 18 天意人言 西沢之助 明治三八年八月 活版 一冊 此の屈辱を奈何せん・責め五千万同胞にあり・鉄鎚は將に天より国民の頭上に下らん他
- 19 大国民唱歌 明治三九年七月 活版
- 20 東京地学協会定款 明治三九年一〇月 活版 一冊 (付) 会員名簿
- 21 鉱夫待遇事例 明治四一年一月 活版 一冊 鉱夫の種別員数・鉱夫の移動及勤続・鉱夫傭人の方法・鉱夫稼働日数及労働時間・鉱夫の賃金及支払方法・鉱夫日輿の供給・鉱夫居住の状態・娯楽慰安に関する鉱山の施設・鉱夫奨励方法・鉱夫の貯金・教育に関する施設・施療に関する施設・鉱夫の救恤・鉱夫の監督附直轄及飯場制度
- 22 伊藤公爵追悼号 東京市教育会雑誌第六二号 明治四二年一二月 活版 一冊 追悼の辞・伊藤公爵之官歴・伊藤公之略伝他
- 23 府県及北海道境域沿革一覽 第二編第三編 内閣統計局編纂 明治四三年八月 活版 一冊 第二編府県及北海道境域沿革概要第三編府県及北海道境域沿革に関する詔勅並諸法規
- 24 経学上より見たる革命の意義 谷口豊五郎 明治四四年一二月二三日 活版
- 25 敵国降伏 葦津耕次郎 明治四五年六月 活版
- 26 和気会旨趣書 活版 一枚 旨趣書・規約・会員待遇規程・名誉会員

• 朝鮮総督時代

◦ 朝鮮総督

■ 六八、総督就任時書類

- 1 総督献上及土産品 墨書 一綴
- 2 上奏書写 朝鮮総督長谷川好道 大正七年六月 墨書 一綴 朝鮮総督施政経営
- 3 朝鮮統治綱要 大正七年 墨書 一綴 朝鮮統治実績 主要農産物 林野調査 鉱業界 水産業 会社設立 鉄道 通信 海運業 財政 総督府委員 神祇 宗教 教育 裁判 土地調査 国勢調査等
- 4 朝鮮施政要綱 大正八年六月 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 緒言 沿革 官制 地方行政 教育 衛生 産業 貿易 金融 交通及土木 司法 警察 財政 調査事業

- 5 就職後に於ける施政概要 朝鮮総督長谷川好道 大正八年 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 官規 地方行政 社寺宗教 教育 産業 金融 交通及土木 司法及警察 財政 関税 国勢及地質に関する調査の開始
- 6 騒擾善後策私見 大正八年 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 三、一事件善後策 同化の方針を固執して益其の達成に務むること 中枢院制度を改革し且つ本府に地方行政監察官を置き内地人及朝鮮人中より任用すること 地方制度を革新すること 教育制度を拡張すること 内鮮人間の不平等待遇を改善すること 宗教に関する件 在外排日鮮人の善導及取締に関すること 言論集会の抑圧を緩和すること
- 7 朝鮮十三道人民代表郷在華等献賀歓迎文 大正八年八月三〇日 墨書 一枚
- 8 機密費引継書等 昭和四年八月二一日付 ペン・カーボン 朝鮮総督府野紙他 四枚 (付) 京城日報社権利義務承継契約書 昭和六年
- 六九、 総督訓示・演説
 - 1 訓示 斎藤実 大正八年 謄写 一綴 朝鮮総督就任に際し訓示成稿
 - 2 総督訓示要綱 斎藤実 大正八年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 朝鮮総督就任に際し訓示草稿
 - 3 朝鮮総督訓示 斎藤実 中枢院顧問以下四〇余名宛 大正八年九月一三日 墨書 朝鮮総督府中枢院野紙 一綴 総督就任に際し訓示
 - 4 諭告 朝鮮総督斎藤実 大正八年九月 謄写 一綴 民衆に告ぐ
 - 5 道知事会議に於ける総督訓示 大正八年一〇月一三日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 6 朝鮮銀行職員に対する総督訓示案 大正八年 ペン・タイプ 朝鮮総督府野紙 二点 (付) 朝鮮銀行重役並に本店幹部員・朝鮮銀行支店及出張所長名簿
 - 7 道参与官召集に際し訓示 斎藤実 大正九年六月一六日 墨書 一枚
 - 8 道知事会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正九年九月一日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 9 税関長に対する訓示 斎藤実 大正九年九月二九日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 新関税制度施行に際し訓示
 - 10 司法官に対する総督訓示 斎藤実 大正九年一〇月六日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 (付) 覆審法院長、同検事長の報告 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
 - 11 第三部長警察部長会議に於ける訓示並演述 朝鮮総督府 大正八年九月一一〇年四月 活版
 - 12 道知事会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一〇年四月二二日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 13 道知事会議に対する総督指示 大正一〇年四月 活版 一冊 外事に関する件 土木に関する件 地方行政に関する件 財務に関する件 産業に関する件 学務に関する件 警務に関する件 煙草専売に関する件
 - 14 司法官に対する総督訓示 斎藤実 大正一〇年五月五日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 15 管理事務分掌郵便局長に対する総督訓示 斎藤実 大正一〇年六月一三日 ペン 朝鮮総督府通信官署野紙 一綴
 - 16 第一回地方改良講習に於ける総督訓示 斎藤実 大正一〇年六月一四日 墨書 一枚
 - 17 財務部長会同に際し訓示 斎藤実 大正一〇年六月 墨書 一枚
 - 18 産業調査委員会に於ける総督演述 大正一〇年九月一五日 活版 一冊 (付) 産業調査委員会に於ける政務総監演述要旨 大正一〇年九月一五日 活版
 - 19 内務部長会同に際し訓示 斎藤実 大正一〇年一〇月一八日 墨書 一枚
 - 20 司法官に対する総督訓示 斎藤実 大正一一年五月一日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 21 道知事会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一一年五月二日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 (付) Baron Saito's Address to Provincial Governors (The Seoul Press 記事)
 - 22 施政に関する諭告、訓示並演述追録 朝鮮総督府 大正一一年四月一六月 活版 一冊 道知事会議 道財務部長会

議 税関長会議 逓信関係 産業関係 土木関係 司法関係 雑

- 23 管理事務分掌郵便局長会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一一年五月五日 墨書 朝鮮総督府逓信局野紙 一綴 (付) 郵便局長名簿 ペン 一枚
- 24 道知事会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一二年五月一五日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 (付) 道知事会議に於ける政務総監訓示要旨 政務総監有吉忠一 大正一二年五月一五日 謄写 一綴
- 25 第一回教育効績者選奨式に際し総督告辞 斎藤実 大正一二年五月一九日 墨書 一枚
- 26 司法官に対する総督訓示 司法官に対する法務局長注意事項 大正一三年五月七日 活版
- 27 日中連絡会議出席者招宴に於ける挨拶案 大正一三年五月三〇日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 28 道知事会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一三年六月一〇日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
- 29 財務部長会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一三年九月一五日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
- 30 総督訓示 斎藤実 大正一三年一月二〇日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 行財政整理の方針により国費経営の中等程度諸学校は明年度より道地方費経営に移管
- 31 大正乙丑の年頭にたちて 斎藤総督談 大正一四年一月 謄写 一綴
- 32 道視学官会議に於ける総督の訓示 斎藤実 大正一四年三月二三日 謄写 一綴
- 33 司法官に対する総督訓示 司法官に対する法務局長注意事項 大正一四年四月三〇日 活版
- 34 道農業技術官会同に於ける訓示・指示及注意事項 朝鮮総督府 大正一四年六月 活版 一冊 政務総監訓示 殖産局長訓示指示 (産米改良指導に関する件 穀物検査の統一に関する件 隣接道穀物検査連絡に関する件 土地改良事業施行奨励に関する件 棉作奨励に関する件 植桑に関する件 繭共同販売に関する件 優良牝牛保護に関する件 農業団体の監督に関する件 営農資金の蓄積及調達に関する件 萩の栽培に関する件 煙草耕作地域内に於ける対抗産業の奨励に関する件) 注意事項 (小作争議に関する報告 堆肥の増製に関する件)
- 35 刑務所長会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一四年一〇月九日 謄写 一綴
- 36 中枢院会議に於ける総督演説案 斎藤実 大正一五年一月一二日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
- 37 司法官会議に於ける総督訓示 司法官に対する法務局長注意事項 大正一五年七月七日 活版 同文二冊
- 38 憲兵隊長会議に於ける総督訓示 斎藤実 大正一五年一〇月一八日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 疆外共產主義団体と内通活動の動きにつき注意
- 39 朝鮮農業開発者に対する訓示案 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
- 40 仏領印度支那総督メルラン閣下歓迎の辞 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 41 道農務課長及農業技術官会同に於ける訓示・指示及注意事項 朝鮮総督府 大正年一二月 活版 一冊 総督訓示 西村殖産局長訓示要旨指示 (奨励事項の選定に関する件 奨励事項の指導方法に関する件 各種奨励機関の連絡統一に関する件 作物の種類又は品種に関する件 地主及自作農の指導に関する件 水稻優良品種の種子更新に関する件 米穀乾燥調整に関する件 籾包装の改善に関する件 米豆検査の施行に関する件 標準米豆及標準刈に関する件 米穀検査員の余暇利用に関する件 果樹栽培の指導に関する件 果樹苗木の育成に関する件 棉花の集約栽培指導に関する件 棉採種圃の経営に関する件 棉作指導里洞の設置に関する件 肥料の施用奨励に関する件 農業用機械及器具に関する件 蚕業奨励に関する件 集中的蚕業奨励に関する件 稚蚕共同飼育に関する件 蚕種の製造に関する件 畜牛の飼料等に関する件 豚鶏の飼養奨励に関する件 縄刈筵の製造奨励に関する件 道種苗場に関する件 農業生産統計に関する件 工業の調査及利用に関する件) 注意事項 (土地改良事業補助の副申に関する件 灌漑事業の奨励取締に関する件 国有未墾地処分調査費に関する件 国有地冒耕者取締に関する件 府郡島に於ける国有未墾地に関する事務連絡統一に関する件 未墾地処分に関する件 河岸国有未墾地の処分に関する件)

44 朝鮮総督臨時代理就任に際して官民に対する諭告 朝鮮総督臨時代理陸軍大臣宇垣一成 昭和二年四月一五日
活版

- 43 冷洞協成神学校に於ける英文挨拶 昭和五年一二月三日 タイプ 一綴
- 44 献堂式に於ける英文挨拶 タイプ 一枚
- 45 献堂式に於ける英文演説 タイプ 一枚
- 46 憲兵隊長会議における総督挨拶 墨書 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 47 総督諭告案 第一〇号 謄写 一綴 朝鮮統括の任に際し施政の綱領を諭告

■ 七〇、総督辞職

- 1 斎藤実覚書 昭和六年六月二四日 墨書 一枚 宇垣総督へ引継事項 内務局関係・学務局関係・警保局関係・法務局関係・財務局関係 他 (付) 日鮮人官吏数及俸給額 昭和三年度総督府調査 謄写 一枚
- 2 辞表草稿 斎藤実 大正一四年一一月・昭和二年一二月七日 墨書 一枚
- 3 朝鮮総督辞任に関する新聞切抜 昭和二年一一・一二月 活版 一括 極東時報 郷調 大阪毎日新聞西部毎日 京城新聞 北日本新報 大阪朝日新聞付録朝鮮朝日 京城日報 国民 朝鮮 思想通信 日本 京城日日 朝鮮新聞 THE SEOUL PRESS 他
- 4 朝鮮総督退官挨拶状 斎藤実 昭和二年一二月一〇日 活版 同文二枚 (付) 総督辞任に付挨拶状等の件 中村文書課長 松村秘書課長宛 昭和二年一二月一六日 タイプ 一枚
- 5 退官に際して 斎藤実 昭和二年一二月一〇日 活版
- 6 朝鮮総督辞任に際し惜別の電報 昭和二年一二月八日・九日 ペン 朝鮮総督府罫紙 二綴
- 7 朝鮮総督辞任に際し惜別の電報 昭和二年一二月一〇日・一一日 ペン 朝鮮総督府罫紙 三綴
- 8 朝鮮総督辞任に際し惜別の電報 昭和二年一二月一二日 ペン 三綴
- 9 朝鮮総督辞任に際し惜別の電報 昭和二年一二月 カーボン 電報送達紙 一綴
- 10 朝鮮総督辞任に際し惜別の電報 昭和二年一二月一日 タイプ 一枚
- 11 忠清北道評議会感謝電報 斎藤実宛 昭和三年二月一三日 カーボン・墨書 二枚 在任中心労感謝 斎藤実返電草稿のメモあり
- 12 斎藤実謝辞草稿 京城府尹馬野精一宛 昭和三年 墨書 一枚
- 13 奉奏文 李時華 昭和三年一月三日 墨書 一枚
- 14 総督の地位を論ず 松岡正男 昭和三年一月九日 ペン 一綴
- 15 同民会感謝状 同民会会長李達鎔 斎藤実宛 昭和三年一月二四日 墨書 一枚
- 16 全羅北道評議会員一同挨拶状 議長渡辺忍他二六名 斎藤実宛 昭和三年二月一八日 墨書 一枚 在任中の尽力に感謝 (付) 斎藤実返書草稿 墨書 一枚
- 17 辞表草稿 斎藤実 昭和六年六月 墨書 一枚
- 18 挨拶状発送名簿 ペン 朝鮮総督府罫紙 四綴 (付) 挨拶状発送に関する件 朝鮮総督府出張員事務所 斎藤実宛 昭和六年七月六日
- 19 朝鮮総督退官時電報 斎藤実宛 昭和六年六月一七、一八日 カーボン他 一八通
- 20 新聞切抜 昭和六年六月 活版 二枚 朝鮮総督退任の辞
- 21 斎藤総督辞任に伴う総督府退官者 昭和六年 墨書 一枚

○ 総督府・行財政

- 七一、行政一般

- 1 朝鮮に於ける新施政 朝鮮総督府 大正九年八月 活版 同文二冊 新施政の方針 主要なる施設改善事項 在外朝鮮人の状況
- 2 朝鮮に於ける新施政 朝鮮総督府 大正一〇年一〇月 活版 一冊 新施政の方針 主要なる施設改善事項 在外朝鮮人の状況
- 3 斎藤実書翰草稿 Dr. Schneder 宛 大正八年九月一七日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 朝鮮統治に就き将来の抱負 平等権の保障 参政権賦与
- 4 制度改正に関する意見附属法令案 大正九年 謄写 一綴 朝鮮地方費令案 貴族院令中改正案 議員法中改正案 貴族院朝鮮貴族伯子男爵選挙規則案 府制改正案 学校組合令中改正案 学校費令中改正案 面制中改正案 道制案
- 5 朝鮮統治に就て 斎藤実 大正一〇年一月 謄写 一綴 回顧一年 内外他事の秋 優渥なる二大恩典 本年度の計画 無限の親愛と同情 官民一般に望む
- 6 摂政殿下に言上要領 (斎藤実覚書) 大正一一年三月一四日 墨書 一枚 一般人民独立不能の自覚 不平不良の徒不穩の企 宣教師 警察力の充実 鮮人政府当局者に接近 他
- 7 朝鮮に於ける施設の一斑 朝鮮総督府 大正一四年一〇月 活版 一冊 朝鮮の地方制度社会事業並教育宗教等 朝鮮の財政 朝鮮の産業及交通 朝鮮の警察及衛生 朝鮮の司法
- 8 朝鮮統治方針 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 産業開発の基礎的施設を充実すること 民衆生活の安定を図る為左記施設を為すこと 地方制度を改正し或程度の自治を認め郡に諮問機関を設くること 他
- 9 朝鮮統治の概況 (内閣に提出したるもの控) カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 朝鮮統治の方針 施設の大綱 (治安・地方制度・教育・産業・交通及衛生・財務)
- 10 斎藤実覚書 墨書 一枚 朝鮮統治上の問題に付いて 儒道振興会 当局の考慮 土木工事支那人使用 農民緩和策 内地留学生 内地移入労働者 間島及浦塩移住民
- 11 新総督の施設 謄写 一綴 第一既に実行したる施設 (内鮮人官吏の差別撤廃・官民意志の疎通を図り慣習民情を考慮し政治をして地方の状況に適應せしむるに努めたる・文化政治の確立に努めたること・形式政治の弊を打破し事務の簡捷刷新を図りたること・警察力の充実と治安の維持) 第二将来の施設 (官吏に対する朝鮮語の奨励・監察官に設置・地方制度改正・学制改革・衛生機関の充実・開墾基本調査・旧慣調査の拡充・民事令及民籍法の改正)
- 12 朝鮮施政の改善 謄写 一綴 第一既設事項 (警察機関の充実・服制廃止・地方有志招集及沿革の趣旨宣伝並民情視察員の派遣・墓地火葬場・埋葬及火葬取締規則の改正・朝鮮人官吏俸給令改正・朝鮮人訓導の公立普通学校長任用・屠場規則の制定・公立普通学校の急設・高等普通学校女子校等普通学校規則の改正・私立学校規則の改正・臨時恩賜金事業の拡張・朝鮮人判検事の権限拡張・答刑令廃止・会社令の撤廃・事務簡捷に関する施設・布教規則の改正・宗教団体に法人格を認めたること・朝鮮諺文新聞の発行認可・道路夫役及敷地寄附に対する制限・早害救済・中枢院会議・恩赦・内鮮融和の為の施設・郷校財産經理の改正) 第二近き将来に於て施設せむとする事項 (地方制度改正・衛生機関の充実・民籍法の改正・地方行政監察・学制改正・未墾地基本調査・慣習調査の拡充・朝鮮語の奨励)
- 13 朝鮮在住者の国政並地方行政参与に関する意見 謄写 同文三冊 帝国議會と朝鮮 (衆議院議員の選挙・貴族院議員の選任) 朝鮮地方議會 (組織・権限・招集開会及閉会・監督) 道地方費以下各種団体の自治 (面制・府制・学校費令・学校組合令・道地方費令)
- 14 総督府人事に関する意見 (断簡) 昭和四年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 15 朝鮮統治策 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 文化政策 民心の悪化 言論集会等の取締 警察官の教義 東亜日報

の処断

- 16 第四十二回帝国議会説明資料 甲 朝鮮総督府 大正八年 謄写 一綴 秘書課所管 参事官所管 外事課所管 庶務部所管 中枢院所管 土木部所管 鉄道部所管 内務局所管 法務局所管 東洋拓殖会社事項
- 17 第四十二回帝国議会説明資料 乙 朝鮮総督府 大正八年 謄写 一綴 財務局 殖産局 勸業模範場 営林廠 中央試験所 平壤鉱業所 学務局 警務 通信局
- 18 議会説明資料追加の分 警務局 謄写 一綴 言論集會結社取締の方針 (付) 新聞雑誌一覽表大正九年一二月現在・要取締の結社・朝鮮人団体調査・自大正八年一〇月至九年九月政治に関する犯罪の被害並検挙表各医院に於ける職員資格大正一〇年一月現在伝染病流行状況及予防措置 (付) 伝染病患者発生数八年度・伝染病患者発生累年表・獣疫発生状況及予防費支出・獣疫発生累年表・各道獣疫予防費明細医院の経済 (付) 朝鮮総督府 医院歳入調書・朝鮮総督府 医院経費調書・朝鮮総督府 道慈恵医院歳入調書・朝鮮総督府 道慈恵医院経費調書・朝鮮総督府 医院及道慈恵医院収価規程大正九年五月一日より施行入歯営業者に対する取締方針 (付) 医師地方別表大正九年六月末調・入歯営業者表大正九年六月末調 (付) 警務局長送付書 朝鮮総督宛 大正一〇年二月一日 墨書 一枚
- 19 通牒 高秘乙第六二四号 大正一〇年二月七日 謄写 一枚 清瀬一郎朝鮮統治に関する質問を衆議院に提出
- 20 会合趣旨演説 謄写 一綴
- 21 裁判所及検事局監督官會議議席表 大正一五年七月 謄写 一枚
- 22 裁判所構成法を朝鮮に施行するの可否 カーボン・墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
- 七二、官制
 - 1 朝鮮総督府官制改正の件 (枢密院會議議案) 大正八年八月八日 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 委員会修正案 朱書修正
 - 2 コレツネ電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正八年八月二五日 一綴 新官制 鮮人不満
 - 3 朝鮮総督府官制改正に関する勅語 大正八年八月 蒟蒻版 一綴
 - 4 朝鮮総督府官制改正に就き原総理大臣の談 大正八年 蒟蒻版 一綴 漸次に内地と同様なるに到らしめんこと朝鮮に対する終局の目的
 - 5 朝鮮総督府官制台湾総督府官制改正関係資料 大正八年 活版・ペン 海軍野紙 一綴 現行朝鮮総督府官制・台湾総督府官制 現行朝鮮総督台湾総督へ御委任事項 朝鮮総督府・台湾総督府官制改正案 勅令案 軍令案 覚書
 - 6 朝鮮総督府地方官官制中改正案他 大正八年 謄写 一綴 朝鮮総督府地方官官制中改正案 朝鮮総督府通信官署官制中改正案 憲兵条例中改正案 朝鮮総督台湾総督分限勅令案 高等官官等俸給令中改正案
 - 7 官制案 ペン 一綴 朝鮮総督府官制中改正 憲兵条例 朝鮮総督府中枢院官制中改正
- 七三、総督府財政・予算関係
 - 1 陸海軍武官給与と総督府文官給与との対照表 大正八年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 2 大正九年度朝鮮総督府特別会計予算綱要 大正九年 謄写 一綴 朝鮮総督府 (総論・歳入・歳出) 朝鮮医院及濟生院特別会計 (朝鮮医院及濟生院・朝鮮医院及濟生院資金部)
 - 3 補充金増額及公債募集増加に付予告に関する件 齋藤実 内閣総理大臣原敬・大蔵大臣高橋是清宛 大正九年九月二〇日 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴
 - 4 朝鮮統治の方針 (予算演説) 大正九年 墨書 一枚
 - 5 併合後に於ける朝鮮経済の発達 朝鮮総督府財務局 大正一〇年九月調 謄写 一綴 財政上に於ける政府の施設・内地資金の流入・政府の施設並資金流入に基く経済発達の概況

- 6 大正一〇年度朝鮮總督府予算關係書類 活版・カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴 大正一〇年度大蔵省所管朝鮮總督府特別會計歳入歳出追加予定計算書各日明細書（歳入臨時部・歳出臨時部・大邱裁判所庁舎其他火災復旧及新宮費・継続費総費額各日明細書） 大正一〇年度予算総括 大正一〇年度予算金額表 大正一〇年度大蔵省所管朝鮮總督府特別會計歳入歳出予定計算書
- 7 大正一〇年度朝鮮總督府予算綱要他 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴 予算綱要 補充金増加を要する理由 移入税存置の理由 最近經濟及貿易金融の概況
 - 8 第四四・四五議會衆議院予算委員第三分科會議録（抄） 大正九・一〇年 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴 朝鮮總督府關係
 - 9 併合後に於ける朝鮮經濟の發達 朝鮮總督府財務局 大正一一年九月調 謄写 一綴 財政上に於ける政府の施設 内地資金の流入 政府の施設並資金流入に基く經濟發達の概況
 - 10 大正一一年度予算概要他 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴 予算概要 大正一一年度公債金支弁事業費調 大正一一年度主要新規事項調
 - 11 大正一一年度朝鮮總督府・朝鮮醫院及濟生院特別會計予算概算書他 謄写 一綴 予算概算書（大正一一年朝鮮總督府特別會計予算総括・歳入予算査定表・歳出予算査定表・公債支弁事業費内訳・大正一一年度朝鮮醫院及濟生院特別會計予算総括） 大正一一年度予算当然増減内訳 大正一一年度朝鮮總督府特別會計歳出査定額内訳
 - 12 大正一一年度朝鮮總督府特別會計予算綱要 謄写 一綴 朝鮮總督府特別會計 朝鮮醫院及濟生院特別會計
 - 13 自大正九年度至大正一一年度各年度主要新規増加額目的別調 カーボン 一綴
 - 14 朝鮮總督府官制改正後の予算概況 大正一一年 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴
 - 15 大正一二年度朝鮮總督府特別會計予算綱要 謄写 一綴 朝鮮總督府會計 朝鮮醫院及濟生院特別會計
 - 16 大正一二年度朝鮮總督府特別會計予算概要 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴
 - 17 朝鮮總督府予算に関する件 大正一二年 謄写 一綴 大正二二年度予算編成方針 大正一二年度予算実行に関する閣議決定事項 大蔵大臣井上準之助通牒（大正一三年度予算編成方針閣議決定） 大正一二年九月二七日 財務局長よりの電報写
 - 18 大正一三年度總督府予算編成方針 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴
 - 19 大正一三年度大蔵省所管朝鮮總督府特別會計予算綱要 謄写 一綴（付）朝鮮醫院及濟生院特別會計予算総表
 - 20 大正一三年度予算に就て 和田財務局長談 大正一二年 謄写 一綴 総説 歳入 歳出 既定継続事業費繰延額明細
 - 21 和田一郎書翰 齋藤実宛 六月五日 ペン 朝鮮總督府野紙 一綴 總督府事務報告 追加予算 仕払元金繰替払の件 殖銀資金充実に關する件
 - 22 追加予算説明書 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴 大正一三年度追加予算説明（付）大正二二年度朝鮮總督府特別會計予算比較総表 大正一三年度朝鮮總督府特別會計予算総括 大正一三年度朝鮮總督府特別會計予算異動表 予算外契約
 - 23 大正一四年度朝鮮總督府特別會計追加予算説明書 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴
 - 24 大正一五年度朝鮮總督府特別會計財政計画 大正一四年九月八日 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴 普通財源支弁事業 公債支弁事業 産米増殖計画促進に關する施設 林政改善に關する施設 災害復旧費
 - 25 大正一五年度朝鮮總督府特別會計財政計画 大正一四年九月一八日改訂 謄写 一綴 総額 普通財源支弁事業 公債支弁事業 産米増殖計画促進に關する施設 林政改善に關する施設（付）災害復旧費
 - 26 朝鮮總督府財務行政概要 大正一四年一二月調 カーボン 朝鮮總督府野紙 一綴 旧韓国時代に於ける財政の状況及財政整理の状況 併合後の財政状況 中央政府が朝鮮の爲支出したる主なる經費 公債貨幣金融機關貿易租税

専売朝鮮に於ける土地調査事業

- 27 大正一五年度朝鮮総督府特別会計予算綱要他 墨書・青焼・カーボン・謄写 朝鮮総督府罫紙 一綴 予算綱要（歳入歳出予算額並前年度との比較歳入の増減 歳出の増減） 土木費継続年割表 道路修築費予算要求理由書 道路修築及橋梁改良工事年割表（第二案） 港湾修築費継続年割表 治水事業費継続年割表 土木費継続年割表 道路修築費予算要求理由書 道路修築費 道路修築及橋梁改良工事年割表（第三案） 港湾修築費継続年割表 治水事業費継続年割表 大正一五年度予算対策（大正一四年十一月十九日）（別表）四大事業費査定表・治水事業費・道路修築費・港湾修築費大正一五年度予算に就て
- 28 大正一五年度朝鮮総督府特別会計予算概要 大正一五年一月二六日 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 29 大正一五年度朝鮮総督府特別会計追加予算説明書 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 30 大正一五年度朝鮮総督府・朝鮮鉄道用品資金特別会計予算概計書 謄写 一綴 大正一五年度朝鮮総督府特別会計予算総表大正一五年度朝鮮総督府特別会計歳入概計書 大正一五年度朝鮮総督府特別会計歳出予算概計書 当然増減内訳 新規増減内訳 一四年度追加予算一五年度追加予算
- 31 明年度補充金財源につき主計局長腹案 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一枚
- 32 大正一六年度朝鮮総督府・朝鮮鉄道用品資金・朝鮮簡易生命保険特別会計予算概計書 謄写 一綴 大正二八年度朝鮮総督府特別会計予算概計書総括大正一六年度朝鮮総督府特別会計歳入概計書 大正一六年度朝鮮総督府特別会計歳出予算概計書 当然増減内訳 新規増減内訳大正二八年度朝鮮鉄道用品資金特別会計予算概計書 大正一六年度朝鮮簡易生命保険特別会計予算概計書
- 33 朝鮮総督府財務行政概要 朝鮮総督府財務局 昭和二年六月発行 活版
- 34 昭和三年度朝鮮総督府・朝鮮鉄道用品資金・朝鮮簡易生命保険特別会計予算概計書 謄写 一綴 昭和三年度朝鮮総督府特別会計予算概計書総括昭和三年度歳入予算概算書 昭和三年度朝鮮総督府特別会計歳出予算概計書 当然増減内訳 新規増減内訳 昭和三年度朝鮮鉄道用品資金特別会計予算概計書昭和三年度朝鮮簡易生命保険特別会計予算概計書 朝鮮簡易生命保険特別会計
- 35 公債に依り治山治水事業及港湾の修築を施行することの必要なる理由 昭和二年一〇月三日 カーボン 朝鮮総督府 罫紙 一綴（付）最近五カ年間水害年度別災害費調 最近五カ年間水害に依る災害費支出調予算・決算 昭和二年九月三〇日
- 36 昭和四年度実行予算に関する説明 タイプ 大蔵省用紙 一綴 金解禁断行にあたり昭和四年度実行予算の編成は節減又は繰延を実行の方針歳出節約額内訳 昭和四年度各特別会計歳出節約額 一般会計歳入の減少するもの増加するものの説明 昭和四年度実行予算総額並各省別各特別会計別金額各省所管一般会計歳出節約事項説明
- 37 予算整理緊縮方針に関し朝鮮総督府に就き特に考慮せられ度事項 昭和四年 謄写 一綴
- 38 朝鮮予算に付考慮せられたき件 謄写 一綴 本府参与官新設の件 朝鮮貴族保護施設の件 砂防事業促進の件 鉄道建設改良費の件 朝鮮簡易生命保険制度実施の件
- 七四、 中枢院
 - 1 朝鮮総督府中枢院官制及議事規則 活版 一冊 中枢院官制 大正一〇年四月二〇日改正勅令第二八八号 議事規則 大正一〇年五月三日朝鮮総督府訓令第二六号
 - 2 中枢院議案・中枢院議員席次表 大正一〇年五月六日 謄写 二点 議案 成年妻の能力禁治産、準禁治産に関する規定を設け並親権者、後見人、保佐人親族会等の制を設けんとす
 - 3 中枢院会議の前後 国民会申錫麟氏談 ペン 朝鮮仏教大会罫紙 一綴 中枢院会議前の中枢院参議打合せについて
 - 4 朝鮮総督府中枢院職員録 大正八年九月 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一綴 出欠確認

5 中樞院議員に関する調書他 一綴 中樞院議員に関する調書 官職・位・勲・爵・氏名・学歴・略歴・新旧党派・資産・年齢・在職年数大正一三年二月末現在 カーボン 朝鮮総督府中樞院野紙 事務担任参議成績調 勤務期間・欠勤日数・担当事務・成績・氏名大正一〇年五月一日より大正二一年一二月末まで カーボン 同野紙 人口より見たる道の順位 道・人口・戸数 大正一一年度 カーボン 同野紙直接税負担額より見たる道の順位 道・負担額・一戸当・一人当 大正一一年度 カーボン 同野紙 府郡島数より見たる道の順位道・府数・郡数・島数・合計・面数 カーボン 同野紙 面積より見たる道の順位 道・面積 カーボン 同野紙 中樞院議員に関する調書官職・氏名・学歴・略歴・新旧党派・資産・年齢・在職年数・備考 大正二二年二月一日現在 カーボン 同野紙 中樞院議員調書官職・位・勲・爵・氏名・年齢・略歴・党派・在職年数・資産・備考 大正一三年 ペン 朝鮮総督府野紙

- 6 児玉秀雄政務総監電報 朝鮮総督斎藤実宛 昭和五年二月一五日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 諺文綴字法改正案につき中樞院懇談結果の報告
- 7 第一〇回中樞院会議に於ける訓示、挨拶、演述及答申要項 昭和五年九月 活版 一冊 総督訓示・議長挨拶・局長演述（付）会議日程・諮詢事項出席及欠席議員姓名
- 8 中樞院議官表 昭和五年九月一日現在 活版 一枚
- 9 中樞院議官略歴調 昭和五年九月現在 謄写 朝鮮総督府中樞院野紙 一綴 官職・年手当・主たる経歴・位勲爵・氏名・年
- 10 辛酉倶楽部員名簿 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 中樞院顧問参議他

■ 七五、参政権問題

- 1 朝鮮に於ける参政権問題 松山常次郎 大正一三年一月一日 活版 一冊 朝鮮に衆議院議員選挙法を施行せよ 朝鮮人の議員を貴族院に送れ日本の人口問題の将来 大陸政策と朝鮮 財政経済上の考察と朝鮮人 朝鮮の政治形式に関する諸種の意見 朝鮮統治の目標参政権賦与の結果につきての考察 結論
- 2 朝鮮議院（参議院）要綱 大塚常三郎内務局長私案 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴朝鮮議会設置の必要（参政権賦与の必要・衆議院議員選挙法施行の不可・特別議会組織に対する反対論予想・朝鮮議会特設の利益）朝鮮議会の権限（権限の範囲・財政の梗概・諮問機関か議決機関か・議決機関たる場合に於ける政府の把持すべき権限・議会権限と制令・予算権）朝鮮議会の組織（一院制を可とす・議会の構成議員種類員数・議員の選挙・任期・報酬・議会事務局）朝鮮議会設置に関する立法手続
- 3 朝鮮に対する参政権実施に関する請願書 請願人多木久米次郎 紹介議員井上孝哉 昭和四年二月 活版
- 4 朝鮮に於ける参政に関する制度の方策 昭和四年 謄写 一綴 朝鮮に於ける参政に関する制度実施の順序要綱 朝鮮参制（政）審議会官制 朝鮮在住帝国臣民の参政に関する制度案
- 5 朝鮮に於ける参政に関する制度の方策 昭和四年一二月二日 謄写 一綴 朝鮮に於ける参政に関する制度実施の順序要綱 朝鮮参制（政）審議会官制 朝鮮在住帝国臣民の参政に関する制度案（朝鮮地方議会設置に関する詔書案・朝鮮地方議会の組織権限等概略）
- 6 朝鮮に於ける参政権制度の方策 謄写 一綴 朝鮮に於ける参政権制度の創設又は改善実施順序要綱 朝鮮参制（政）審議会官制（第一、二案） 朝鮮在住者を国政及地方行政に参与せしむる制度案（第一、二案）
- 7 朝鮮に於ける参政に関する制度の方策 活版 同文二冊 朝鮮に於ける参政に関する制度 朝鮮参政審議会官制の制定 朝鮮在住帝国臣民の参政に関する制度案 現行朝鮮地方制度の改正
- 8 選挙制度の沿革並に現状 昭和四年 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 選挙制度の沿革（旧韓国時代より） 府協議会員選挙権者及当選者歩合比較府協議会員内鮮人別調 府協議会員選挙権者内鮮人別・府税納税者納税額別

■ 七六、教育

- 1 教育に関する勅語の奉積上特に注意すべき諸点 朝鮮総督府 大正八年二月 活版
- 2 在内地朝鮮学生状況 朝鮮総督府学務局 大正九年一〇月現在 活版 同文二冊 一般状況・帰還学生状況・諸表
- 3 騒擾と学校 朝鮮総督府学務局 大正九年一二月 活版 同文二冊 大正八年三月朝鮮人学生騒擾の顛末・騒擾後最近に於ける学校生徒の状況
- 4 朝鮮人 高橋亨 朝鮮総督府学務局 大正九年一二月三〇日 活版 一冊 朝鮮人の特性
- 5 国語普及の状況 朝鮮総督府学務局 大正一〇年一月 活版
- 6 内地人教育の状況 朝鮮総督府学務局 大正一〇年一月 活版 一冊 沿革・学制・小学校・中学校・高等女学校・実業学校・専門学校及各種学校・教育費
- 7 現行教科書編纂の方針 朝鮮総督府学務局 大正一〇年一月 活版 一冊 総説・普通学校教科用図書編纂の方針・高等普通学校女子高等普通学校教科用図書編纂の方針・実業学校専門学校教科用図書編纂の方針・朝鮮総督府出版教科用図書目録
- 8 新施政と教育 朝鮮総督府学務局長柴田善三郎 大正一〇年五月 活版
- 9 朝鮮教育の沿革 朝鮮総督府学務局 大正一〇年一〇月 活版 一冊 併合以前の教育・併合以後の教育・付録朝鮮人学制系統図
- 10 朝鮮の教育制度略史 朝鮮総督府学務局 活版 一冊 高麗の教育制度・李朝の教育制度・甲午年以後の学制
- 11 朴春吉報告 朝鮮総督齋藤実宛 大正一〇年一二月 ペン 松都高等普通学校作文用紙 一綴 朝鮮教育・松都高等普通学校につき
- 12 朝鮮教育令案 大正一〇年一一月二一日 謄写 一綴 法制局へ回付の原案 朱書あり
- 13 朝鮮教育令案 活版 同文二冊 朱訂正あり
- 14 朝鮮教育令案参照条文 活版 一冊 改正朝鮮教育令・現行朝鮮教育令等・現行台湾教育令・現行内地法令
- 15 臨時教育調査委員会決議要項 朝鮮総督府 大正一〇年 活版
- 16 朝鮮教育令改正要項 大正一〇年一二月六日 謄写 一綴
- 17 朝鮮教育制度改正要項 大正一〇年 謄写 一綴
- 18 朝鮮教育令改正の要旨及朝鮮教育の現状 大正一〇年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 朱書あり
- 19 朝鮮教育令の規定に依り朝鮮総督の定むる事項の梗概 大正一〇年 謄写 一綴
- 20 普通学校高等普通学校及女子高等普通学校に関する件・女子高等普通学校の終業年限及学科に関する件 大正一〇年 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 21 私立学校規則 謄写 一綴
- 22 朝鮮教育令 謄写 一綴
- 23 朝鮮教育令公布後の資格認定表 大正一一年 謄写 一枚
- 24 朝鮮教育令中改正の件審査委員指定通知書 枢密院書記官 昭和四年四月六日 謄写 一枚
- 25 枢密院審査委員会開催通知書 昭和四年四月一〇日 謄写 一綴 朝鮮教育令中改正の件・拓殖省官制他一二件
- 26 朝鮮教育令中改正の件 枢密院審査委員会報告 昭和四年四月一三日 蒟蒻版 一綴（参照）朝鮮教育令大正一一年勅令一九号
- 27（参照）朝鮮教育令中改正に関する件 昭和四年 謄写 一綴 改正案・理由・説明
- 28（参照）朝鮮教育令中改正参考資料 昭和四年三月 活版 一冊 師範学校の部（公立師範学校学級数及生徒数

調・公立師範学校教員数及其の担当時数調他一六件) 小学校及普通学校の部(公立小学校及普通学校教員需要概数調・公立小学校及普通学校教員供給概数調他一八件) 雑の部(公私立の普通学校、私立各種学校並書堂在学者等及経費調他一二件)

■ 29 名教中学寄付金関係資料

- (1) 名教大学校名教中学校創立趣意書 創立主唱者亀谷聖馨 大正三年 活版
 - (2) 麗沢会南波登発書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一〇年六月一日 墨書 一通 (付) 斎藤実覚書
 - (3) 総裁電報 不破秘書官宛 大正一一年七月四日 ペン 一通 立教中学京橋区移転の件
 - (4) 美濃部俊吉書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月四日 墨書 一通
 - (5) 麗沢会南波登発書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月六日 墨書 一通
 - (6) 麗沢会南波登発書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月八日 墨書 一通 (付) 南波登発領収書
 - (7) 鶴沢事務官書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月八日 墨書 一通
 - (8) 美濃部俊吉書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月九日 墨書 一通
 - (9) 亀谷聖馨書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月二〇日 墨書 一通 (付) 同書翰写 墨書 一通
 - (10) 麗沢会南波登発書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月二六日 墨書 一通
 - (11) 東京出張所鶴沢事務官書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年七月三十一日 墨書 一通
 - (12) 名教中学校増築寄付名簿 大正一一年七月 墨書 同三綴
 - (13) 鶴沢事務官電報 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年八月一日 タイプ 一通
 - (14) 美濃部電報 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年八月七日 ペン 一通
 - (15) 東京出張所鶴沢事務官書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年八月二日 墨書 一通
 - (16) 大木遠吉、柳原義光、亀谷聖馨書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年九月五日 墨書 一通
 - (17) 東京出張所鶴沢事務官書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年九月五日 墨書 一通 (付) 亀谷聖馨領収書
 - (18) 麗沢会南波登発書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年九月六日 墨書 一通
 - (19) 東京出張所鶴沢事務官書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年九月七日 墨書 一通
 - (20) 服部金太郎書翰, 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年九月二日 墨書 一通
 - (21) 斎藤実覚書 大正一一年 墨書 一枚
 - (22) 某書翰断簡 大正一一年 墨書 二通
 - (23) 亀谷聖馨書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年四月一三日 墨書 一通 (付) 大木遠吉・柳原義光・亀谷聖馨書翰 斎藤実宛 大正一一年九月五日 墨書 一通
- 30 朝鮮青年に代りて天下の篤志家に訴う 高橋鷹蔵 大正一一年一〇月三〇日 活版 一冊 私立関西高等普通学校設立趣意書・同教育綱領・同設立内容予定・同創立費及経常費概算・同名誉顧問芳名
- 31 卒業生就職状況其の他 京城工業専門学校 活版 一枚
- 32 京城帝国大学建築概要 大正一三年 謄写 一綴 大学設置に至る経過及建設の位置・工事費及施設内容の概要・京城帝国大学地鎮祭式次第
- 33 学校教練実施決定案・学校教練実施学校範囲決定に就て 大正一四年 謄写 一綴
- 34 朝鮮総督府編纂教科用図書概要 朝鮮総督府 大正一四年九月 活版 一冊 教科用図書の編纂及出版・教科用図書の供給及販売・教科用図書の検定及認可・諸学校の教科用図書・教科用図書一覧表
- 35 某覚書 墨書 一枚 服部博士京城大学総長就任要請の件

36 裡里高等女学校明治神宮神靈遷座祭執行上申 湖南日報裡里支社馬場恒雄 斎藤実宛 昭和二年一月一日 墨書 一綴

- 37 淑明女子高等普通学校関係書類 昭和三年 活版・ペン 三枚 学校一覽（昭和三年六月調） 整理案 二十五箇年 賦元利償還表
- 38 鹿洞書院顛末 鄭丙朝 昭和五年五月 墨書 一綴（付）安淳煥氏事業趣意
- 39 江外公立普通学校要覽 昭和五年九月現在 謄写 一綴（付）名刺・函 江外公立普通学校長水越順 二点
- 40 内鮮共学を主とする女子専門学校設立の趣意書 佐々木清之丞提出 昭和三年一月 墨書 一綴 実行方法概要
- 41 立正学院の設立 総裁本門法華宗管長桃井日晃他五名 昭和四年一月 活版 一枚 勤勞教育を主眼とする本能寺の慈善職業学校
- 42 総督閣下卒業生指導学校視察日程 六月一九日 謄写 一枚 坡州郡波山公立普通学校
- 43 給費生成績報告の件 朝鮮教育会奨学部長服部暢 大正一四年一月二八日 カーボン 学生係郵便紙 一綴
- 44 奨学部報 第九号 朝鮮教育会奨学部 昭和五年一月一日 活版 一部 昭和五年を迎う・苦学難・朝鮮と満州・在内地朝鮮学生名簿
- 45 在内地朝鮮学生状況調 大正一五年三月五日 カーボン 朝鮮総督府郵便紙 一綴
- 46 大阪府在住朝鮮人教育調査 大阪府庁内内鮮協和会 昭和六年五月末調査 活版 一冊 在阪朝鮮人学齡兒童調、在学調、中等学校以上在学生調・在阪鮮人数累年表・府下在住朝鮮人調・大阪市在住朝鮮人調
- 47 明倫学院評議員一覽 昭和六年三月二日現在 謄写 一枚
- 48 経学院議士一覽 昭和六年三月二日現在 謄写 一枚
- 49 教育効績者選奨式次第 謄写 一綴
- 50 毎週標準教授時数対照表 謄写 一綴 尋常小学校普通学校・中学校高等普通学校・高等女学校女子高等普通学校
- 51 社会教化の關鍵としての教育勅語 謄写 一綴
- 52 教育勅語渙発滿四〇年記念要項 昭和五年 謄写 一綴（付）朝鮮訳漢訳勅語頒布先調
- 53 教育勅語渙発滿四〇周年を迎えて 京城府立図書館長大山一夫 昭和五年 謄写 一綴
- 54 釜山商業專修学校及府立病院経営に関する意見書 釜山府尹 朝鮮総督斎藤実宛 大正九年七月二三日 墨書 釜山府郵便紙 一綴 地方費支弁要望（付）商業專修学校経営に関する意見書・釜山府立病院移管に関する件
- 55 陳情書 釜山府学校費評議員及学務委員金文培他六名 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年一月 ペン 一綴 中等普通教育機関設置
- 56 江陵高等普通学校設置陳情書 江陵高等普通学校期成同盟会 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年一〇月一四日 墨書 一綴
- 57 教育制度施行に関する沢柳博士の意見 沢柳政太郎 朝鮮総督斎藤実宛 墨書 一枚 沢柳氏覚書の写し（付）普通学校に於ける朝鮮史に関する件ペン 朝鮮総督府郵便紙 一綴 朝鮮教育制度調査委員会決議事項施行に関し参考意見 大正一三年六月一〇日 墨書 一綴朝鮮大学設立につき・学校の増設につき・経費につき
- 58 陳情書 白仁鳳他一三八名 慶尚南道知事谷多喜麿宛 昭和五年八月五日 ペン 慶尚南道郵便紙 一綴
- 59 忠良之道 教育協成会 大正一五年四月 活版

▪ 七七、宗教

- 1 朝鮮神宮を中心としたる内鮮融和の一考察 小笠原省三 大正一四年八月 活版 一冊 遭難鮮人慰靈祭の日・神道と内鮮両民族・朝鮮に於ける神社・朝鮮神宮と朝鮮・真の内鮮融和策

- 2 通帖 李東■他二三名 大正一一年 活版 一枚 儒林宣言
- 3 献堂式順序 京城基督教会 大正一五年二月二八日 活版 一枚
- 4 斎藤実覚書 墨書 一枚 殆ど死物視せらるる儒林を改善して世道人心に有益なるものとしたき希望に
- 5 朝鮮に於ける宗教及享祀一覽 朝鮮総督府学務局宗教課 昭和元年一二月末調 活版 一冊 朝鮮に於ける宗教の概況・朝鮮に於ける享祀の概要・神道之部・仏教之部・基督教之部・享祀之部・宗教団体社会的事業
- 6 官幣大社朝鮮神宮参拝人員調 昭和三年 謄写 一綴 参拝人員数調・朝鮮人参拝状況調 参拝人員三箇年比較表
- 7 地方普伝者名簿 謄写 一綴 道・氏名・略歴
- 8 仏教界の李範大氏に関する新聞雑誌記事筆写 ペン 一綴
- 9 最近の天道教と其の分裂より合同への過程 朝鮮総督府警務局 昭和五年一二月 謄写 一綴 前言・教派分裂の状況・分裂後各派教勢と其の指導精神・新旧両派の拮抗状況・突如同の提唱・新旧両派合同に対する各方面の影響・天道教の今後の運動・結語 (付) 「朝鮮日報」記事訳文 一〇月二三日他
- 10 済愚教趣旨書 大正九年二月 活版 一枚
- 11 陳情書 慶神矯風会発起代表者 趙善九他二名 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年八月二六日 カーボン 一綴 朝鮮巫現風習を名とする小峰源作等の悪行に対する告発
- 七八、地方・総督巡視
 - 1 新聞切抜 光州日報・全北日日新聞・木浦新報・京城日報 大正九年四月 活版 七点 斎藤総督南鮮巡視関係
 - 2 総督閣下朝鮮南岸巡視日程 大正一二年六月二〇日一二六日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
 - 3 全羅北道巡視関係書類
 - (1) 道勢一斑 全羅北道 大正一一年一二月 活版 一枚 全羅北道管内図・道勢表
 - (2) 全羅北道北西部沿道案内 大正一二年六月 謄写 一綴 大正一二年六月の斎藤地方巡視に際して
 - (3) 江景市街平面図 江景水道防火事務所 大正一二年 青焼 一枚 三〇〇〇分一
 - (4) 斎藤総督全羅北道巡視に際し謡類 大正一二年 活版 七点 俚謡全北六大懸案事業・益沃水利の歌・益沃水利組合竣工式謡・熱誠なる北浜知事の尻馬に乗って
 - 4 総督巡視日程 大正一二年四月 謄写 一綴
 - 5 総督北韓視察日程 大正一三年四月 謄写 一枚
 - 6 総督忠清南北道巡視日程 謄写 一綴
 - 7 総督閣下御視察地方案内 昭和五年六月 謄写 一部
 - 8 御視察地一覽地図 昭和五年六月 謄写 一綴
 - 9 間島地方旅行日程 六月一二日一二一日 謄写 一枚
 - 10 御巡視日程 六月二六日一二八日 謄写 一綴
 - 11 総督巡視日程 六月二二日一二八日 謄写 一枚 大川、郡山、羅洲等
 - 12 総督閣下巡視日程 六月二七日一三〇日 謄写 一綴 鉄原、金化、春川、横城、平昌、寧越等
 - 13 斎藤総督元山地方視察日程 九月一二日一一五日 謄写 一枚
 - 14 総督閣下元山方面旅行日程 九月一三日一一五日 カーボン 朝鮮総督府野紙 一枚
 - 15 総督閣下御旅行日程 謄写一枚
 - 16 南鮮地方民情視察兼内鮮融和宣伝講演記録 徐成烈 大正二一年 カーボン 一綴
 - 17 平安商道報第三九二号附録 大正九年二月二日発行 活版 一冊 朝鮮訳文 詔書・諭告・彙報
 - 18 黄海道道勢概要 大正一五年一月一五日 墨書 一綴 総説・産業 (農事・林業・水産・鉱業・工業) ・教育

(内地人教育・朝鮮人教育)・宗教・衛生・金融・税務・交通・物資運輸の状況・警備 (付) 添付図面 灌漑
計画一覧・山間部及平野部・交通

- 19 江原道報 第五九二号 大正一三年一月二五日 活版 一部 告示・叙任及辞令・彙報他
- 20 忠清北道報第五九四号 大正一三年一月二五日 活版 一部 道令・告示・公文・彙報他
- 21 朝鮮各道財務監督局施設関係書類 一綴地方財務機関管轄区域調等・全羅北道を管轄すべき財務監督局の位置に関する調・慶尚北道を管轄すべき財務監督局の位置に関する調・咸鏡北道を管轄すべき財務監督局の位置に関する調 謄写 財務監督局の位置に関し全州市民陳情要旨 四月一五日 朝鮮総督府野紙 謄写 陳情委員 氏名 墨書 亥角全羅北知事書翰 斎藤総督宛 大正一二年一二月三一日 ペン 財務監督局の位置に関する件内申写 全羅北道知事 朝鮮総督宛 大正一二年一二月三一日 謄写 (付表) 租税及租税外負担額表・銀行調其一、二・金融組合関係調・第一審民事訴訟事件調其一、二・第一審刑事事件其一、二・民事訴訟金額及価額調其一、二・光州を中心とした各財務署へ巡里程及旅費調・金州を中心とした同前調・光州を起点とした各財務署直通里程及旅費調・金州を中心とした同前調・金州財務監督局庁舎模様替修繕並に移築増築工事概算調書 (付) 朝鮮地図 活版 一枚
- 22 慶尚北道の両班 カーボン 一綴 本道名家の輩出・両班の変遷及現状・本道内現在両班表・本道名家略伝・新羅高麗李朝本道輩出名家表 (付) 本道の書院
- 23 地方官官制の改正他綴 大正九年 謄写 朝鮮総督府野紙 一綴 地方官官制の改正・府令案・朝鮮道地方費令・学校費令・府制改正令・府制施行規則中改正案 府制・面制
- 24 道知事に対する総督指示 昭和二年五月道知事会議 活版 一冊 統計に関する件・地方行政及土木に関する件・財務に関する件・殖産に関する件・学務に関する件・警務に関する件・林野に関する件
- 25 道知事提出意見 昭和二年五月道知事会議 活版 一冊 地方団体 (府費・学校費・道地方費) 費支弁雇員に文官任用資格を認むる件他二八七件
- 26 道知事提出意見に対する処理概要 昭和二年五月道知事会議 活版 一冊 地方団体 (府費・学校費・道地方費) 費支弁雇員に文官任用資格を認むる件他一六七件
- 27 道知事会議諮問事項答申書 昭和二年五月 活版 一冊 新税令の趣旨周知徹底に関する方策・金利引下げの地方金融経済に及ぼしたる影響・産米売急ぎを防止するに足る農業倉庫の設置に必要な具体的方策・地方水産業開発の根本方策・水産資金融通の実況並之が改善の方策・特に有望と認めらるる工業の現況並之が改善方策・開墾干拓事業の堅実なる発達を期せしむる方策・土地改良、鉄道、河川改修水力電気其他各種事業の実行に伴い之に要する労働者の需要の状況並之が調節方策・現下の状況に鑑み特に緊要と認むる社会教育の現状並之に対する将来の計画・共同墓地利用を馴致せしむる方策・火田の整理並之に伴う火田民の救済及其後に於ける生活の安定に関する具体的方策
- 28 昭和二年度道知事会議席上諮問事項答申要領・同諮問事項 内務局地方課 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 答申要領は特殊事項に対するもの諮問事項総括事項 (朝鮮の現状に照し現行地方制度上改正を可とす諸点具体的意見・地方行政運用上改善を要すと認むる事項)・特殊事項 (道及学校評議会等選挙罰則制定の適否並其の程度・府所在地の学校組合学校費を廃止、其の事務を府に承継せしむる可否並に方策・学校組合立中学校女学校商業学校工業学校の経営を道地方費に移管するの可否並影響・府協議会を議決機関に改むる場合の影響並選挙及被選挙資格制限の程度・道評議会を議決機関に改むるの可否
- 29 全羅南道道評議会内鮮人軋轢の顛末 昭和三年 墨書 一綴 矢島地方課長会见記・政務総監会见記 (矢島地方課長態度に憤慨して)・山梨総督会见記 (総監の勤めに依て会见す)・全羅南道道評議会内鮮人軋轢の顛

末

- 30 全羅南道知事訓示要項 馬野精一 昭和四年一二月二三日 謄写 一綴 新任の挨拶
- 31 管内状況 黄海道 昭和四年 謄写 一綴 総説・地方行政・教育及宗教・農務行政・勸業・運輸交通・税務・金融状況・警察
- 32 郡島制案 昭和四年 謄写 一綴 群島費制度案・群島制案の要旨・群島制案（制令案）・群島費支弁に移すべき事項・群島農会予算調一昭和三年度一・事業費内訳・郡島畜産同業組合予算調（昭和三年度）・事業費内訳・郡島森林組合予算調（昭和三年度）・面の主なる事業費（昭和三年度）
- 33 郡島歳計 謄写 一綴 郡島産業団体を廃止し事務を郡島費に移すとき郡島歳計・更に面費支弁事業中移し得るもの郡島に移すとき推算
- 34 郡島制に関する研究 謄写 一綴 第一案比較的整理を図るもの・第二案根本的整理を要するもの・第一案可とする点否とする点・結論
- 35 児玉秀雄政務総監電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年三月九日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 地方制度案成立につき確たる見込み立つまで滞京願う
- 36 朝鮮総督府官報 第一一七四号 昭和五年一二月一日 活版 一部 府制改正・面制改正他
- 37 朝鮮総督府官報 第一一九七号 昭和五年一二月二九日 活版 一部 邑面及邑面長に関する規定・府制施行規則改正他
- 38 地方制度改正産業団体統一に関する道知事会議意見 昭和五年 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴 道評議会を議決機関と為すの可否・府及指定面協議会を議決機関と為すの可否・普通面協議会を議決機関と為すの可否・学校評議会を議決機関と為すの可否・府に於ける三団体の統一の可否・各種産業団体の統一の可否・郡制施行の可否・地方公共団体の諮問機関を議決機関たらしむるの可否並に産業団体統一の可否
- 39 朝鮮地方制度改正案 昭和五年 謄写 一綴 府制改正の要旨・面制改正の要旨・地方費令改正の要旨・学校組合令及学校費令改正の要旨・議決機関を設くる団体に対する監督権・郡島制の調査
- 40 朝鮮地方制度改正の要領 昭和五年 謄写 一綴 府制・面制・道制・議決機関に対する監督権
- 41 朝鮮に於ける地方制度の沿革 昭和五年 活版 一冊 李朝時代に於ける地方政治・韓国併合後より大正九年度地方制度改正前までに於ける地方制度・大正九年地方制度改正・大正九年地方制度改正後より現在までの変遷・学校組合
- 42 地方制度改善案の実施に関する件他綴 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 地方制度改善案の実施に関する件・朝鮮人帰化問題・間島問題・公債問題・裁判所構成法を朝鮮に施行する件・多獅島築港問題・朝鮮に於ける兵力増加の件
- 43 朝鮮総督府地方官官制中改正案 第一案 謄写 一綴 各道参与官廃止産業部設置 部長は道事務官を充て道事務官一三人を増員
- 44 朝鮮総督府地方官官制中改正案第二案 謄写 一綴 道を指定し産業部を設置し部長は道事務官の外参与官を以て充てる
- 45 朝鮮総督府地方官官制中改正の件 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 各道に産業部を新設し部長は事務官を以て之に充つ従て事務官一三人を増員す各道の参与官を廃止す
- 46 朝鮮総督府地方官官制中改正に対する反対意見 謄写・ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 各道参与官を廃し之を産業部長に代うる案に対する反対意見の予想（付）参照 朝鮮総督府官制中改正説明書
- 47 総督府打合事項 慶尚南道第二部長 タイプ 慶尚南道野紙 一綴 管下金海郡民有採決地及国有査定地に対する

紛争解決道知事に一任せられ度件・現行地方費市場税廃止営業税を以て代られ度件他三件

- 48 忠清北道評議会席上準備書面 李泰治 墨書 一綴 忠北道行政上意見 開斥事業・教育機関・交通機関・警察機関 (付) 藤波通訳官訳文 ペン 朝鮮総督府野紙
- 49 忠清南道庁移転に関し朝鮮総督府内務局長の正式声明に対する検討異見 忠清南道公州地方民代表 昭和六年二月 活版 一冊 昭和六年一月二〇日今村内務局長声明に対する検討
- 50 忠清南道庁移転問題新聞切抜 昭和六年二月一三月 活版 一括 東京朝日・京城日日・朝鮮新聞・京城日報他
- 51 忠清南道道庁移転問題関係書翰
 - (1) 久永麟一書翰 斎藤実宛 昭和六年二月七日 墨書 一通
 - (2) 尹甲柄書翰 斎藤実宛 昭和六年二月一六日 ペン 一通
 - (3) 山本悦蔵書翰 斎藤実宛 昭和六年二月一八日 墨書 一通
 - (4) 尹甲柄書翰 斎藤実宛 昭和六年二月二四日 ペン 一通
 - (5) 銀山学人書翰 斎藤実宛 昭和六年二月二六日 墨書 一通
 - (6) 山本誠書翰 斎藤実宛 昭和六年二月 ペン 一通
 - (7) 劉鎮淳書翰 斎藤実宛 昭和六年三月一二日 墨書 一通
 - (8) 石原磯次郎書翰 斎藤実宛 昭和六年三月一五日 墨書 一通
 - (9) 尹致書翰 斎藤実宛 昭和六年三月一五日 墨書 一通
 - (10) 山本東光書翰 斎藤実宛 昭和六年三月一七日 墨書 一通
 - (11) 山本悦蔵(東光)書翰 斎藤実宛 昭和六年三月二〇日 墨書 一通
- 52 朝鮮地方自治制実施関係新聞切抜 昭和六年四月一日 活版 三枚 朝鮮日日・朝鮮新聞・京城日報
- 53 觀察道移転問題に関し取調 墨書 馬山居留民団役所野紙 一綴 馬山の位置並に交通運輸機関の完備・鎮海湾の経営並に要塞兵營の移転・各郡との距離並に其交通他
- 54 府尹制度に就て カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 府尹を民選とし自治確立を図るべしとの意見に反対 内鮮人関係上民選と為すを得ず・経費の関係上に於いても民選と為すを得ず・官庁事務関係上又現行制度を必要とす・府経費国費支出額
- 55 忠北警察部長発電話報告 警務局長宛 昭和六年五月一日 謄写 一綴 行政区域変更問題に関する件(大忠北建設期成同盟会の第一回委員会状況報告)
- 56 陳情書 忠清南道江景面代表表面長坂上富蔵他二名 朝鮮総督斎藤実宛 大正一〇年九月九日 ペン 一綴 上水道敷設・防水計画・国道線の変更及各地連絡道路改修・穀物現物市場・慈恵医院分院設置
- 57 陳情書 鳥致院市民一同 朝鮮総督斎藤実宛 大正一〇年九月一日 墨書 一綴 鳥川改修、正米市場設置許可・清州忠州間中央鉄道促成・清州米穀検査所指定に付き急激なる変化防止
- 七九、病院・衛生
 - 1 安東の兩班儒生に対して為したる衛生講演大要 藤田嗣素 大正三年一月一九日 謄写 一綴
 - 2 朝鮮医院及濟生院特別会計法中改正法律案関係書類 大正九年 墨書・活版 一綴改正法律案、同参考書(朝鮮医院及濟生院特別会計法・法定制限額拡張を要する理由・大正一〇年度予算・医院及濟生院所在地表、決算累年金額表・資産調書・朝鮮医院患者累年比較・巡回診療患者表・濟生院孤児收容人員調・濟生院盲啞者教養人員調)・同説明書
 - 3 巡回病院見積書類
 - (1) 渡辺守成書翰 斎藤実宛 大正一〇年三月二三日 墨書 一通

- (2) 巡回病院経費見積概算 ペン 一綴
 - (3) 在満鮮人戸口概数 大正八年九月 謄写 一綴
 - (4) 支那及朝鮮人呼称社名略図 朝鮮総督府警務局 大正九年一月調製 活版 一枚
- 4 相愛会附属第一第二簡易診療院取扱患者数 大正一一年九・一〇月分 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
- 5 大正一四年度阿片製造の状況 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 法令の改正・豊粟の栽培・阿片の提出鑑定及売渡・鑑定の成績
- 6 癩病に関する書類 謄写 一枚
- 八〇、総督宛公電等
 - 1 海軍大臣電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正八年一月三〇日 ペン 一綴 待命発令済みに付き変更し得ず
 - 2 京畿道警務部宿直電報 警務局宿直宛 大正一〇年七月一〇日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 宗秉■負傷の件
 - 3 松村秘書官電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正一三年二月九日 ペン 二枚 張作霖贈遣の肉処分について (付) 齋藤指示
 - 4 加藤高明総理大臣電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正一三年六月一三日 墨書 朝鮮総督府野紙 一枚 勅許の件に付東京にて面会を要す
 - 5 無線傍受の件 通信局長 大正一三年八月一三日 ペン 一枚 京城無線電信局が独乙ナウエン無線電信局に於いて放送する新聞記事を傍受したる訳文
 - 6 丸山鶴吉警務局長電報 朝鮮総督齋藤実宛 三月一三日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 露国避難民幹部「グレポフ中将」一行日本へ出発を報ず
 - 7 児玉政務総監電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和四年八月一四日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 進退一任
 - 8 某電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年六月一日 タイプ 一枚 辞職勧告
 - 9 三島駒治電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年九月一八日 ペン・タイプ 朝鮮総督府野紙 一綴 水沢、岩谷堂有志満鮮視察団につき便宜願
 - 10 児玉秀雄政務総監電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和六年一月一四日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 李■殿下に関する件・朝鮮関係問題議会対策に関する件
 - 11 児玉秀雄政務総監電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和六年六月六日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 若槻内閣成立につき朝鮮自治確立につき意見具申に関する件
 - 12 警務局長通知 松村秘書官宛 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 朝鮮より送金の件
 - 13 齋藤実電報控 ペン 二枚
- 八一、その他
 - 1 国勢調査に関する調 大正九年一月一六日 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 調査事項・調査機関・調査の結果・従来の継続予算・追加を要する額・予算増額理由書・国勢調査費・国勢調査費年度割一覧表・国勢調査費総予算・監理員調査員調
 - 2 国勢調査案内 京城府 活版 一枚 趣旨と調査方法内容
 - 3 昭和五年朝鮮国勢調査 朝鮮総督府 活版 一冊 国勢調査の要旨・関係法令
 - 4 昭和五年朝鮮国勢調査速報 世帯及人口 朝鮮総督府 昭和六年三月発行 活版 一冊 事務経過の概要・結果の概要・統計表
 - 5 朝鮮内地台湾比較統計要覧 朝鮮総督府 大正一一年 活版 同二冊 面積及人口・主要市街地人口・出生死産及死亡・気象・耕地面積他

6 統計便覧 朝鮮総督府 大正九年 活版 一冊 朝鮮面積及位置・累年気温及雨雪・道の行政区画・現住戸数・現住人口他

- 7 統計便覧 朝鮮総督府 大正一〇年 活版
- 8 統計便覧 朝鮮総督府 大正一一年 活版
- 9 統計便覧 朝鮮総督府 大正一二年 活版
- 10 統計便覧 朝鮮総督府 大正一四年 活版
- 11 朝鮮に於ける消防の概要 朝鮮総督府警務局 大正一五年九月 活版 一冊 道勢並消防組表・消防組表・消防組組織増減年別表他
- 12 朝鮮総督府新築落成式関係書類 大正一五年一〇月一日 活版 九点 式場案内図・工事概要・式次第
- 13 総督府落成祝賀上書 白蓮池雲英 朝鮮総督齋藤実宛 墨書 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 14 本府及所属官署高等官異動一覧 朝鮮総督府 昭和二年四月一八月 カーボン 一綴
- 15 堤正義書翰 齋藤実宛 昭和四年一二月二日 ペン 一枚 収賄常習者につき
- 16 京城商工会議所会頭電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和六年六月六日 タイプ 一綴 官吏減俸について
- 17 西村保吉書翰 齋藤実宛 三月一三日 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴 官吏に対する現株市場の株式配当問題
- 18 朝鮮総督府主要官名簿 タイプ 朝鮮総督府用紙 一枚
- 19 水沢行日程表 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴 (付) 松村電報 藤原秘書官宛 昭和二年四月三日
- 20 齋藤総督帰任日程 八月一九日一二二日 謄写 一枚
- 21 総督帰鮮日程 一二月八日一一四日 謄写 一枚
- 22 東亜日報記事書抜き 一月一八日・八月一五日 ペン 朝鮮総督府罫紙 二枚 齋藤総督帰京・政変近し
- 23 陸軍記念日関係書類 大正一三年三月一〇日 活版 三枚 会場一般図・祝宴会場要図 一般観覧者の注意 状況 (演習経過の概要)
- 24 陸軍始観兵式に際し総督御臨場に関する件内定事項 一月八日 謄写 一綴 (付) 地図
- 25 天長節祝日招待者名簿 大正一三年一〇月三十一日 謄写 一綴
- 26 園遊会次第書・園遊会場略図 大正一三年一〇月三十一日 活版 同文二綴
- 27 天長節園遊会次第書 大正一四年一〇月三十一日 タイプ 一綴 (付) 座席表
- 28 天長節祝日賀宴招待者名簿 大正一五年一〇月 謄写 一綴
- 29 地価改正に関する件 昭和四年九月二日 謄写 一綴 地価改正の経過・改正地価の実施を延期すること困難なる理由
- 30 土地に関する意見 石黒英彦 謄写 一綴 土地開拓は統治の重要策なり・領台当時既に土地調査及整理の府是を樹つ・土地開拓の方針は時に変動あり確立を要す・土地開拓の原則・原則に基く要目・付帯事項 (付) 石黒英彦送付状 齋藤実宛 鉛筆 一枚
- 31 石塚英蔵履歴参考資料 大正一三年 カーボン 一綴

○ 朝鮮・産業経済

▪ 八二、産業一般・商業

- 1 商務研究会規則 大正九年 活版 商務研究会罫紙 一冊 序言・商務研究会規則・細則・本部役員
- 2 負裸商の来歴 商務研究会 謄写・ペン 一綴 (付) 訳文
- 3 朝鮮財政及産業政策革新に関する希望 (未定稿) 賀田直治 大正九年九月 ペン 一綴 希望・希望を実現するに要する準備行為私見

4 朝鮮会社調 朝鮮銀行調査部 大正一〇年八月 活版 一冊 会社種別一覧・朝鮮に本店を有する会社・朝鮮に支店を有する内地又は外国会社

- 5 産業調査委員会の設置に際し挨拶 大正一〇年九月一五日 墨書 一枚
- 6 池雲英均商法関係資料
 - (1) 均商法 池雲英 大正一〇年 ペン 一綴 均商法序・均商法前論(乙未所作)・均商法後論(壬寅所作)・均商法類品例言・均商法類品・附商幣説(壬寅所作) 献議書
 - (2) 均商法広告天下文・均商共産比較論 池雲英 大正一〇年 墨書 一綴
 - (3) 池雲英上書 朝鮮総督齋藤実宛 陰五月 謄写 一綴 均商法援証説
 - (4) 神権記 池雲英 墨書 一綴
 - (5) 大鞞韃歌 池雲英 墨書 一綴
 - (6) 伊勢神宮祈禱実記 池雲英 墨書 一綴
 - (7) 一心劔記 附別記 池雲英 墨書 一綴
 - (8) 演義上書 池雲英 朝鮮総督齋藤実宛 墨書 一綴
 - (9) 意見書 池雲英 齋藤総督宛 大正十二年 墨書 一枚
- 7 産業組合一覧表 殖産局商工課 大正一二年三月二七日現在 謄写 一綴 組合名・設立年月日・事務所所在地・事業の種類・組合員数
- 8 経済破滅の原因現状及対策 東亜日報所載 謄写 一綴例言・経済破滅の原因(内的原因・外的原因)・経済破滅の現状(農業現状・商業現状・工業現状・水産業現状・鉱業現状・林業現状・銀行金融業現状・外来資本の現状・膨大なる負債)・経済破滅の対策(消極的対策・積極的対策・救済に必要な総督府政策の改良点)・結論
- 9 朝鮮産業叢書(未定稿) 全八巻 賀田直治 謄写 一綴 朝鮮産業の状勢総論・各論(朝鮮資源産業の状勢・朝鮮工業の状勢・朝鮮商業の状勢・朝鮮交通機関の状勢・朝鮮統治と産業・朝鮮財政と産業・朝鮮教育と産業・朝鮮社会施設と産業・朝鮮産業に関する協会機関・内鮮人の移住と産業・併合後に於ける朝鮮産業経済の発達統計総括)・結論 朝鮮産業の発達に関する研究総説・朝鮮歴史の概観・朝鮮開国以来李朝末路に至る迄の産業の変遷・明治三八年保護政治時代に於ける朝鮮産業の状況・明治四三年日韓併合時代に於ける朝鮮産業の状況・日韓併合後に於ける朝鮮産業の発達・朝鮮産業の趨勢朝鮮の農村及都市に関する研究 総説・朝鮮農村に関する研究・朝鮮都市に関する研究・結論 朝鮮の労働能力に関する研究総論(朝鮮人一般に関する研究・朝鮮人労働者の一般的観察・工場に於ける朝鮮人職員の一般的観察)・各論(農業労働・林業労働・鉱業労働・漁業労働・船舶労働・土木労働・建築労働・手工・製造工・女工・幼年工・機械職工・通信工並電気工・運輸労働・僕婢・平人夫)・結論 朝鮮鉄道政策に関する研究沿革・現勢・朝鮮鉄道政策の要項・刻下に於ける朝鮮鉄道政策・朝鮮鉄道政策の根本的解決案 朝鮮の天災に関する考察 朝鮮に関する植民政策的考察朝鮮産業政策に関する研究 総説・朝鮮産業の現勢摘要・朝鮮人思想の現勢摘要・朝鮮産業振興の原理並方法・結論
(付) 賀田直治の植民地生活と事業概要大正一三年一二月調
- 10 朝鮮総督府勸業模範場見習生規程 大正一五年 活版 一枚
- 11 現下の朝鮮と総督府の経済策 朝鮮総督府警務局図書課 謄写 一綴 ■成竜論文(東亜日報所載)
- 12 商務社概説 昭和二年 墨書 一枚 商務社沿革・事業
- 13 朝鮮産業政策研究要項 賀田直治 昭和二年 謄写 一冊 朝鮮産業政策の根本義・朝鮮産業の歴史一斑・朝鮮産業の現勢一斑・朝鮮産業政策の内容及範囲・朝鮮産業開発の方法及原理・結論

14 朝鮮産業振興に対する所見並に希望 賀田直治 昭和四年八月二二日 謄写 一綴 民間一私見として朝鮮各方面へ配布せんとするもの

- 15 林繁蔵財務局長電報 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年三月八日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 失業対策につき土地改良事業未着手事業、私設鉄道補助、慶南洛東江下流治水工事の三項に依り調査中
- 16 国産愛用 先ず鮮産 朝鮮総督府 昭和五年九月 活版 一冊 国産の愛用・国産の愛用と国産の振興・国産の愛用と国際貸借の改善・鮮産奨励・結論
- 17 朝鮮メートル法施行五周年記念関係新聞切抜 昭和六年四月一日 活版 二枚 朝鮮新聞・京城日報
- 18 朝鮮取引所令 タイプ・ペン 朝鮮総督府用紙 一綴 訂正あり
- 19 朝鮮取引所令施行規則他 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴 朝鮮取引所令施行規則・取引所制度運用に関し決定せられたる方針・朝鮮正米市場規則・市場規則改正

■ 八三、金融

- 1 朝鮮の金融 大正一〇年 活版 一冊 銀行概況・金融組合概況・無尽業調査資料・銀行貯蓄預金調査資料・参考資料
- 2 財務局長電報 小野理財局長宛 大正一〇年一二月一日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 殖産銀行の公共団体に対する貸出利率に付御異存の趣本府の処理に御委せある様配慮乞う
- 3 蔵第一二六五号 写 大蔵大臣高橋是清 齋藤実宛 大正一〇年一二月六日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 朝鮮殖産銀行債権引受方の件了承 三百万円当省預金部引受 (付) 朝鮮殖産銀行宛指令書
- 4 大正一一年度歳末金融概況 財務局理財課 大正一一年一二月一五日現在 謄写 一綴 歳末金融会は沈静凡調裡に推移と思惟せらる (付) 朝鮮銀行券発行高・各種銀行預金貸出金手許余裕金並金利・各地組合銀行預金並貸出金・各地手形交換高
- 5 有吉政務総監電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正一二年一月二三日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 鮮銀総裁後任について
- 6 有吉政務総監電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正一二年一二月五日 タイプ 朝鮮総督府野紙 一枚 美濃部鮮銀総裁辞表提出
- 7 日鮮信託株式会社朝鮮側発起人及内地側発起人氏名 謄写 一綴
- 8 植民地銀行及海外銀行を中心としたる特殊銀行制度の研究 尾崎敬義 謄写
- 9 漢城銀行整理案 昭和二年一〇月 謄写 一綴 漢城銀行の現状並之が根本的整理を必要とする理由・整理案概要第一案・整理案概要第二案
- 10 朝鮮銀行法・朝鮮銀行定款 活版 一枚
- 11 朝鮮銀行 昭和五年上半季利益処理・諸銷却並に留保金内訳 昭和五年 タイプ 一綴
- 12 齋藤実覚書 墨書 一枚 鮮銀総裁更迭問題
- 13 友愛預金方法案 謄写 一綴
- 14 朝鮮農事信託機関関係資料
 - (1) 朝鮮の土地投資と仲介機関 賀田直治編 大正一三年一〇月 謄写 一冊 内地資本の朝鮮土地投下に就て 賀田直治 他 (付) 朝鮮勸農株式会社現況・合資会社賀田組事業一般
 - (2) 朝鮮農事開発に要する低利資金要求案 謄写 一綴 朝鮮農事開発に要する低利資金要求額・土地改良事業資金貸与計画・肥料其の他農事開発に要する資金貸与計画・自作農創成計画・土地改良事業計画更新に伴う経費増額調・朝鮮産米増殖計画完成に依る米増収見込表・肥料資金年別所要見込高・青

州大豆種子年別所要高

- (3) 朝鮮農事信託機関の緊要性と発展性に就て カーボン 同文二綴 (参考資料) 朝鮮不動産金融株には信託金融の前途・朝鮮農地信託の必要事情・朝鮮林野信託を兼営するの必要事情・朝鮮総督府土地改良施設規定計画・朝鮮総督府鉄道網規定計画・朝鮮農地並びに林野の前途好望の事情 (付) 伊藤公と朝鮮の農事 賀田直治述 朝鮮農会報第四巻五号転載 活版
- (4) 朝鮮勸農信託株式会社の創立計画に就て カーボン 一綴 (付) 発起原案 朝鮮農事信託株式会社設立趣意書・設立目論見書・営業収支予算書・定款
- (5) 朝鮮勸農信託株式会社 増資改造計画案の沿革内容並に其の骨子 カーボン 同文二綴
- (6) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造計画発起人略歴 謄写 一綴
- (7) 朝鮮勸農信託株式会社新株株式募集人名簿 ペン 一綴
- (8) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造趣意書・増資改造目論見書・営業収支予算書・定款 謄写
- (9) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造趣意書・増資改造目論見書・営業収支予算書・定款 昭和五年 活版 同文四冊 (付) 朝鮮勸農信託株式会社概要一現況)
- (10) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造事務経過報告綴 浅井佐一郎・賀田直治 昭和五年 謄写 一綴 第一回報告昭和五年五月一五日より五月二七日第二回報告 昭和五年五月二八日より六月五日 第三回報告 昭和五年六月七日より六月一六日 第四回報告 昭和五年六月一七日より六月二五日 第五回報告 昭和五年六月二五日より七月二日 (付) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造趣意書・増資改造目論見書・営業収支予算書・定款 活版 一冊賛同依頼 発起人一同 昭和五年六月 活版 一枚
- (11) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造事務経過報告綴 浅井佐一郎・賀田直治 昭和五年 謄写 一綴 第一回報告 (準備時代) 昭和五年五月一五日より七月二日 第二回報告 (株式募集時代の内) 第六及七次 昭和五年七月三日より七月二二日 第八次報告昭和五年七月二三日より七月三一日 第九次報告 昭和五年八月一日より八月一〇日 第一〇次報告昭和五年八月一一日より八月三一日
- (12) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造事務経過報告綴 浅井佐一郎・賀田直治 昭和五年 謄写 一綴 第一・二回報告昭和五年五月一五日より六月五日 第三回報告 昭和五年六月七日より六月一六日 第四回報告 昭和五年六月一七日より六月二五日
- (13) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造事務経過報告綴 浅井佐一郎・賀田直治 昭和五年 謄写 一綴朝鮮勸農信託株式会社増資改造事務経過第二回報告 (株式募集時代の内) 昭和五年七月三日より一〇月一日 株式申込書 増資改造発起人依頼状 (付) 朝鮮勸農信託株式会社増資改造趣意書・増資改造目論見書・営業収支予算書・定款
- (14) 朝鮮産業の現勢並に振興策 賀田直治 昭和五年 謄写 一綴 朝鮮産業に対する大局的考察・朝鮮産業に対する緊要施設私案
- (15) 浅井佐一郎・賀田直治書翰 朝鮮総督斎藤実宛 昭和五年六月九日 墨書 一枚 内地に於ける株式募集その他報告
- (16) 浅井佐一郎・賀田直治書翰 斎藤実宛 昭和五年七月二二日 墨書・活版 一通 勸農信託株式会社増資改造につき株式募集の件 (同封) 朝鮮勸農信託株式会社増資に付新株式募集実行方法案 増資改造発起人依頼状 朝鮮勸農信託株式会社増資株式募集要項 株式申込証 名表
- (17) 浅井佐一郎書翰 斎藤実宛 昭和五年八月二九日 墨書 一通 兼て岩崎男へ御願の件 御厚配御礼
- 15 緊編政策と家産、公益財産、公共財産造成貯金 日本家産会理事保阪久松 昭和四年七月 活版

八四、交通運輸（鉄道・水運・築港）

- 1 朝鮮の道路 朝鮮総督府土木部 大正一〇年九月 活版 一冊 制度・一、二等道路の修築・既成一、二等道路構造物の補修・三等道路の修築・一、二等道路の維持修繕・三等道路の維持修繕・付表
- 2 朝鮮の交通 朝鮮鉄道株式会社伊藤利三郎 大正一四年一〇月 謄写 一綴（鉄道）
- 3 朝鮮産業鉄道株式会社設立趣意書目論見書事業説明書定款 朝鮮産業鉄道株式会社創立事務所 大正七年 活版
- 4 朝鮮の軽鉄事業に就て 朝鮮銀行調査局 大正八年六月 活版 一冊 概説・開業線の状況・未開業線の価値・結論（付）鉄道分布図
- 5 朝鮮鉄道の経営に関する件 鉄道部長 大正八年一〇月一日 謄写 一綴 委託経営の趣旨・委託経営の要領・委託経営の利害・朝鮮鉄道を満鉄に出資する利害・朝鮮鉄道経営の方針・委託制度廃止に付処理すべき事項・鉄道経営予算
- 6 朝鮮国有鉄道の経営及出資の件 鉄道部長 大正九年 謄写 一綴 現行委託経営の要旨及現状・委託経営は速に之を廃止するを可とすべき理由・鉄道出資に対する意見他
- 7 朝鮮鉄道出資に関する意見（稿） 斎藤実 大正九年 墨書 一綴 朝鮮鉄道は統治開発上政府に於ての経営を可とするも満鉄へ朝鮮鉄道を出資する己むを得ざる場合の条件三項及其の理由
- 8 朝鮮鉄道出資に関する意見綴 大正九年二月 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 総督意見 水野政務総監電報 斎藤総督宛 大正九年二月一三日朝鮮鉄道出資に関し御示しの件修正を要す 水野政務総監報告 斎藤総督宛 朝鮮鉄道出資の件に関する件修正意見（付）建設改良計画予定表（九年以降）・建設改良工事費年割額表
- 9 大正九年度以降一〇箇年間朝鮮線営業収支予想調書 大正九年 蒟蒻版 三枚
- 10 朝鮮私設鉄道補助法案説明資料 鉄道部長 大正九年一月 謄写 一綴 鉄道敷設経営に関する方針・昨年補助率を八分（配当保証）に改めたる理由・今回の補助法案に於て補助額を建設費の八分とせる理由・軌間に関する説明・建設費に関する説明・今後一〇年間補助金見込表
- 11 鉄秘第二七号 朝鮮私設鉄道令施行規則の件 大正九年五月二五日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
- 12 鉄監第一二三四号私設鉄道令施行の件 鉄道部長 守屋秘書官宛 大正九年一一月四日 ペン 朝鮮総督府野紙一枚
- 13 藤山雷太通知 朝鮮産業鉄道株式会社株主宛 大正一〇年五月二七日 活版 一綴 会社存続の通知
- 14 第四六議会提出朝鮮私設鉄道補助法中改正法律案参考書 大正一二年二月 活版 一冊 改正法律案説明・大正一二年度以降一五年度各社別補助金見込額表・現行朝鮮私設鉄道補助法
- 15 朝鮮私設鉄道補助法中改正法律案提案理由 大正一二年 カーボン 朝鮮総督府野紙 一枚 法定補助年額引上げ・補助期間の延長
- 16 有吉政務総監電報 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年一二月一四日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 私鉄社長候補者の件
- 17 朝鮮鉄道促進期成会要覧 朝鮮鉄道促進期成会 大正一五年七月 活版 一冊 趣意・会則・経過報告・役員名簿
- 18 大正一六年度以降朝鮮鉄道新規計画案 大正一五年九月 謄写 一綴 新線の建設・私鉄買収・既設線路及車輛改良・建設及改良費・買収費・買収後の私鉄建設見込・新計画完成後の鉄道延長
- 19 私鉄対策 大正一五年九月三〇日 謄写 一綴要領・私鉄事業の現状・帝国議会の決議・私鉄対策諸案・買収案・買収後の私鉄事業見込・買収後の私鉄補助見込・新計画完成後の国私鉄道延長・参照統計表（私鉄全体に関する統計・買収鉄道に関する統計・買収に因る利益算出表）・参照法令（朝鮮私鉄補助法・買収法規集）
- 20 予算外国庫の負担と為るべき契約をなすを要する件 謄写 一綴 朝鮮総督は資本金五千万円以上の私設鉄道株

式会社が鉄道建設費に充てる為発行の社債に元利支払保証契約を結ぶことを得

- 21 北鮮拓殖軽便鉄道計画要綱 朝鮮総督府鉄道局 昭和三年六月 謄写 一綴 (付) 鮮満鉄道連絡略図
- 22 吉会鉄道に関する陳情書 支那間島竜井村内地人居留民会・朝鮮人民会代表小野山広吉 昭和三年六月五日 活版 一綴 吉会鉄道の間島竜井村通過を陳情
- 23 朝鮮の鉄道及産業の当面緊急事項 渡辺定一郎 昭和四年七月二二日 謄写 一綴 鉄道と産業との連関・鉄道の経済的施設及工事の急務・朝鮮産業の急務
- 24 昭和五年一二月開通南朝鮮鉄道営業案内 南朝鮮鉄道株式会社 活版 一枚 沿線案内・案内図他
- 25 鉄道電化の経済的考察 前鉄道省電気局長吉原重成・朝鮮鉄道協会 活版 一冊 緒言・鉄道経営の改善・鉄道電化の一般社会に及ぼす影響
- 26 朝鮮鉄道史第二巻編纂要項(案) タイプ 朝鮮総督府鉄道局用紙 一綴 (水運・築港)
- 27 西村土木部長電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正九年五月一九日 墨書 一通 釜山築港定楚式無事終了
- 28 朝鮮の海運 大正九年度 活版 一冊 海運の沿革・海運の現状・貿易状況 (付) 航路図
- 29 朝鮮の港湾 朝鮮総督府土木部 大正一〇年九月 活版 一冊 制度・開港に対する施設・地方港に対する施設・付表
- 30 朝鮮の河川 朝鮮総督府土木部 大正一〇年九月一三日 活版
- 31 釜山商船会社創立の方針 大正一四年 タイプ 同文二綴 新会社の新造船及び其概要・新船製造所及び其船価・新船の就航航路・新船の所属地・新造船を以て払込に充当する汽船会社の設立・新会社の利益配当及び将来の方針・新会社の役員
- 32 釜山商船会社を創立し日本海一週新航路開始に付御補助金御下附請願書 釜山商船会社社長鑄木秀胤 朝鮮総督齋藤実宛 大正一四年 タイプ 同文二綴 請願書・命令航路として御補助金請願の理由
- 33 浅野総一郎御願書 朝鮮総督齋藤実宛 大正一四年一二月六日 カーボン 一枚 仁川港拡張願
- 34 洛東江改修計画図 大正一五年 謄写 一枚
- 35 朝鮮郵船株式会社救済策に関する上申 大阪商船株式会社社長堀啓次郎 朝鮮総督山梨半造宛 昭和四年三月一 二日 タイプ 朝鮮総督府逓信局用紙 一綴
- 36 仁川港海陸連絡施設拡張起工式関係書類 朝鮮総督府内務局 昭和四年 活版 三枚 式次第・会場着席案内図・拡張工事計画略図
- 37 木浦港埋立築港関係資料
 - (1) 木浦府湖南町地先埋立事業目論見書 謄写 二綴 木浦府の一般状況・埋立地の現況・成地の利用・工事の概要・工事費予算・工事施行の順序・利益予想 (付) 免許指令書写 朝鮮総督山梨半蔵 大塚市郎 他一名宛 昭和二年一二月二二日
 - (2) 埋立免許地附近平面図 青焼 一枚 三〇〇〇分の一
 - (3) 事業地付近地盤高低図 青焼 一枚
 - (4) 海岸道路(荷揚場位置)断面略図 青焼 一枚 二〇〇分の一
 - (5) 木浦府地図 朝鮮総督府 大正一三年一二月 活版 同文二枚 一万分の一
 - (6) 木浦港埋立築港事業目論見書 昭和三年 謄写 一綴 木浦の一般状況・本計画に対する府官民の熱烈なる同情・後方地帯の産業と出入船舶・計画の概要・工費予算・利益予想・添付書類
 - (7) 木浦駅背面埋立工事に関する覚書 飛舖秀一 昭和三年九月二六日 謄写 一綴 飛島文吉と飛舖秀一の埋立工事条件についての覚書 (付) 木浦府湖南町地先埋立事業地並木浦市街図 青焼 一枚

(8) 木浦埋築々港に関し鈴木穆氏の交渉経過概要報告 細井肇 昭和四年八月二六日 謄写 一綴 木浦港埋築々港に関する鈴木穆氏より細井肇宛書面一写) ・鈴木氏書面の要約

- (9) 木浦埋築々港に関し鈴木穆氏の意見 (八月二二日朝会見の際に於ける) 細井肇 カーボン 一綴 問題は鉄岸壁である・本事業の無理な点・総督府の真意を明にせられんことを冀う・二つの方法 (直木博士に本府へ交渉してもらうこと・木浦地元民から本府へ陳情してもらうこと) ・投資者と会社組織・要約

- 38 大同橋渡始式順序 大正一二年一一月三〇日 謄写版・青焼 一綴 大同橋渡始式 渡始式挙行の細目 大同橋渡橋式式場配置図渡橋式場案内並に式次第書 大同橋渡始式祭饗膳次第 渡橋式に関する係員一般心得 係員分担事務 渡橋式係員事務分担 (付) 記念絵葉書 朝鮮総督府活版 五枚

■ 八五、電気事業・石炭

- 1 京城電気株式会社電気料金に関する件 大正一三年 ペン 朝鮮総督府通信官署野紙 一綴 電気料金値下げを断行し輿望に副うべき旨勧告大正一三年一〇月に於ける京城電気株式会社料金査定経過の概要現行改定料金比較表 (大正一三年一〇月現在) ・収支表・料金値下に因る減収額内訳表・料金値下率・固定資本に対する利廻表 料金査定に関する調書固定資本増加予想表・収入表等 会社より提出せる一四年収支比較 (付) 京城電気株式会社電気料金に関する件附表 大正一三年 ペン 一綴
- 2 京城電気料金値下に関する参考 大正一三年 カーボン 一綴 京電料金三割値下・二割値下する場合の対照・補充財源・現株式価格より見たる京電
- 3 朝鮮に於ける電力基本計画の概要 吉原重成 昭和三年九月 タイプ 一綴 緒言・総説・電力資源及開発状況・朝鮮超電力連系・電力統制・経営方策・結論
- 4 朝鮮に於ける電力政策 吉原重成 活版 一冊朝鮮に於ける産業振興は国力伸張に貢献するところ至大なり・産業振興の要諦は動力政策の解決に在り・動力政策の解決は電力政策の確立に帰す・電力政策の基本は超電力連系と其の統制に在り・朝鮮に於ける電力政策の必要と其の効果・朝鮮に於ける超電力連系実施は刻下の急務なり
- 5 朝鮮に於ける電力政策の基本計画樹立に関する要領 昭和三年 タイプ 一綴 電力政策の目的・電力政策の対象とする電気事業の範囲・朝鮮に於ける電力政策基本計画の大綱・発送電網を計画するに考慮すべき要件
- 6 朝鮮電気事業調査会関係書類綴 昭和五年一一月 墨書・蒟蒻版・タイプ 一綴 朝鮮総督訓示 昭和五年一一月四日調査会第一回会議次第・議事方法案・議事発表方法案・諮問第一号及第二号・調査会役員氏名表・議席略図・委員及幹事宿所氏名表・朝鮮電気事業調査会官制主務局幹事通知 朝鮮電気事業調査会幹事会開催の件 昭和五年一〇月一四日 諮問第一、二、三、四号答申案 電力需要想定表朝鮮の将来に於ける予想電力量表・配電区域別予想電力量表・配電区域別配電所負荷表・配電区域別各種負荷最大電力
- 7 電力統制方策の確立に就て 附配電事業公営問題に関する意見 今井田政務総監談 昭和六年 タイプ・謄写 一綴 電気事業の統制・電気事業の監督・配電事業公営の可否及其の影響・結論
- 8 南鮮地方電力統制計画実施に就て 昭和九年 タイプ 一綴南鮮地方電力統制計画実施促進に就て・南鮮及湖南地方一大田地方をも含む一に於ける電力需給概況・資金関係及営業収支概算・閔慶無煙炭田の概況・期別起業費及営業収支概算・期別発電電力及発電設備 (付) 閔慶電力株式会社発電計画地図
- 9 朝鮮炭田統一関係書類
 - (1) 黒木鉱務課長書翰 朝鮮総督齋藤実宛 大正一五年一〇月二一日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 有煙炭田統一計画案送付 有煙炭田統一計画案 (統一の方法・会社要領・総督府の計画実現の為の援助事項・

鉱業者並に鉱区数調)

- (2) 黒木鉱務課長書翰 朝鮮総督齋藤実宛 大正一五年一〇月二五日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 新設会社の事業計画並収支見積参考の為送付 朝鮮無煙炭合同会社施業計画 第一期採炭設備企業費収支予想・第二期・第三期・参考表 株金払込、出炭、開坑利益配当見込表
- (3) 黒木鉱務課長電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正一五年一〇月三〇日 ペン 一綴 安川は参加の見込 資本金現物三百万現金三百万位にせざれば会社確立ならずとの意見適説再考の余地在り 住友本店に立寄り東上す
- (4) 咸北炭田統一要領 大正一五年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 主旨・統一方法・統一経営を為す会社の株式及資本・事業計画の綱領・鉱区の価格と買収・現金の用途・出炭予想・販売予想・利益予想
- (5) 有煙炭田統一計画案 第一案・第二案・第三案 大正一五年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 第一案咸北炭田のみの統一を目的とし現金株に対し割増株を交付するの特典を付せるもの 第二案 第一案と同一の目的なるも現金株を優先株とするもの 第三案咸北以外の有煙炭田をも統一するを目的とせるものにて何等現金株に特典を付せざるもの
- (6) 有煙炭田統一計画案 大正一五年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 統一の方法・会社要領・総督府の本計画実現の為の援助事項
- (7) 保留炭田解放と炭業統一に就て 大正一五年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 保留炭田解放と炭業統一に就いて・褐炭田の統一・無煙炭田の統一民間所属並出願褐炭鉱区調・統一に必要な鉱区・咸北炭鉱区中抵当権の設定あるもの・民間所属並出願無煙炭鉱区数調・保留無煙炭鉱出願調
- (8) 合同に必要な鉱区一覧表 大正一五年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- (9) 朝鮮無煙炭鉱業者組合規約案 大正一五年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- (10) 咸北合同炭鉱会社の設備及経費予想 大正一五年 ペン 朝鮮総督府野紙 三綴 一ヶ年一二〇万噸の場合収入支出内訳・合同会社の一カ年間一二〇万噸出炭に必要な設備費及出炭割当・咸鏡線全通後(大正一八年)に於ける咸北有煙炭の需要一ヶ年八〇万噸の場合 収入支出内訳・年生産八〇万噸としての咸北炭の需要先・合同会社一カ年八〇万噸出炭に必要な設備費及出炭割当一ヶ年五〇万噸の場合 収入支出内訳・年生産額五〇万噸として咸北炭の需要先・合同会社一カ年五〇万噸出炭に必要な設備費及出炭割当
- (11) 咸鏡北道炭鉱二〇万分一地図 活版 二枚
- (12) 平南炭鉱地図 活版一枚
- 10 燃料選鉱研究所大正一五年度予算要求に対する説明 謄写 一綴 (付) 平壤炭田図 墨書・彩色 一枚
- 11 大正一四年朝鮮石炭需給状況 朝鮮総督府殖産局鉱務課 大正一五年八月 活版 一冊 緒言・需給の概況・朝鮮炭産出の状況・朝鮮炭の輸移出入状況・石炭の輸移入状況・石炭の輸移出入港状況・付録
- 12 朝鮮炭の利用に就て 朝鮮総督府 昭和四年六月 活版 一冊 朝鮮炭の埋蔵量と消費量・朝鮮炭の特徴・混炭使用が最も有利・温突燃料には朝鮮炭が有利・朝鮮炭の焚き方・家庭用の燃焼器具
- 13 平南無煙炭運送計画 朝鮮総督府鉄道局・昭和五年一一月 カーボン 一綴 無煙炭の現況・将来運送計画 (付) 平南無煙炭運送系統図 青焼 一枚
- 八六、農業
 - 1 殖産局長電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正九年五月二三日 ペン 一綴 井上角五郎関係の農事会社補助の件
 - 2 朝鮮土地改良事業の促進上特殊会社の設立を必要とする理由 大正九年 謄写 一綴 (付) 朝鮮に於ける水利組

合事業調

- 3 財団法人朝鮮扶植農園 大正一〇年四月 活版
- 4 朝鮮産米増殖計画要領 朝鮮総督府 大正二年一月 活版 一冊 米産地としての朝鮮の地位・朝鮮産米増殖計画・土地改良に関する特殊会社・参照
- 5 朝鮮産米増殖計画要領 謄写 一綴 米産地としての朝鮮の地位・朝鮮産米増殖計画・土地改良に関する特殊会社（参照）朝鮮産米増殖計画施設経費概算・朝鮮産米増殖計画に於ける土地改良事業施行予定面積
- 6 全羅北道小作契約に関する書類綴 墨書 全羅北道野紙 一綴 亥角全羅北道知事書翰 朝鮮総督宛 大正一一年九月一八日地主小作人間小作契約に関する件 全北道訓令二号 府弄郡守 明治四五年四月 小作料決定に関する件 全地七省内務部長通牒 府手郡守宛 明治四五年四月 紛擾防止に関する件 第一部長第二部長 府弄郡守警察署長宛 大正九年九月 大正一〇年七月開催地主懇談会協議事項農事改良を促進する為小作人に対し地主の執るべき施設方法
- 7 李希魯書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一一年一二月二七日 墨書・ペン 一綴 水利機械の件
- 8 第二貯水池築造補助之件 大正一二年 ペン 古阜水利組合野紙 一綴（付）古阜水利組合事業一覧表（大正一二年四月調製）・古阜水利蒙利区域内地主収穫表
- 9 朝鮮土地改良事業官営計画要綱 大正一二年 謄写 一綴 官営計画要綱・官営実施細目・工事施行面積年別表・臨時土地改良事務局・朝鮮産米増殖計画に要する経費一覧・作業収支計算・土地改良事業作業費公債調・大正一一年度土地改良事業費特別会計歳出調
- 10 土地改良事業促進案 渡辺農務課長私案 大正一四年一月 謄写 一綴 主管問題・土地改良課の組織・民間会社の利用・総督府と民間会社との関係・低利資金・結論
- 11 朝鮮農村の土地制度創定の最大急務 肥塚正太 大正一四年七月 活版
- 12 全羅南道宮三面土地問題関係書類
 - (1) 宮三面土地問題の概要 全羅南道警察部高等警察課 大正一四年一月 謄写 一綴 東拓買収以前の概況・東拓買収当時より訴訟終結迄の概況・判決確定直後の反動的運動の概況・大正四年の解決后制度改正前迄の概況・大正八年制度改正後に於ける概況・東拓側の対策・東拓会社の宮三面買収後に於ける施設経営の概況
 - (2) 宮三面土地問題の概要（自明治二一年至大正一三年） 朝鮮総督府警務局 大正一四年 謄写 一綴 東拓買収以前の概況・東拓買収当時の関係面民及土地面積・東拓買収後の状況・宮三面買収後に於ける東拓の施設概要
 - (3) 旧宮三面土地問題概要附表 警務局 大正一四年 謄写 一綴 東拓の収支状況・小作地面積調・小作地分布状況・法定地価及東拓の評価・小作料収納状況・水田小作料歩合・旧宮三面土地縁故及非縁故調
 - (4) 大正一四年中に於ける宮三面事件経過概要 警務局高等警務課 大正一四年一二月一五日 謄写 一綴 本事件と福田森島等との関係・東拓の土地譲渡契約の発表・譲渡契約発表後の面民の行動・宮三面土地問題回収運動同盟会と血書同盟・面民大会の開催・面民の暴行と多衆運動・最近に於ける関係面民の要望・本件に対する東拓支店長の態度・当局の解決案と取締方針・鄭■朝等の東上・全羅南道警察部長参与官の諭示
 - (5) 旧宮三面土地問題に対する東拓と総督府との協議事項 大正一五年一月 謄写 一綴 大正一五年一月四日の会合（解決策東拓一号案）・同月六日本府関係方面協議（会合人名・協議事項）・一月六日

東拓側との協議・一月七日提出に係る東拓案（第二号案）・一月八日東拓側との協議（会合者・協議事項）

- 13 土地改良部設置に関する意見 殖産局長 大正一五年一月 謄写 一綴 実施案 土地改良部組織一覧表・土地改良部職員定員表・新要求人員一覧表
- 14 土地改良部設置に伴う事務分掌規程改正に関する意見 殖産局長 大正一五年一月 謄写 一綴 総督府事務分掌規程改正の件・職員配置・土地改良部職員定員表
- 15 産米増殖計画実施方法（主として土地改良事業関係） 大正一五年一月 謄写 一綴 産米増殖計画実施方法総則・細目・東拓工事請負に関する細則・殖銀の関係事項
- 16 今期議会に提出さるる鮮米増収計画案 柳川勉 大正一五年二月 活版 一冊 朝鮮拓殖案の内容・産米増殖一〇年計画案の内容・治水土木一〇年計画案・鮮米増殖と大朝紙の社説他
- 17 朝鮮産米の増殖計画 中央朝鮮協会 大正一五年七月 活版 一冊 朝鮮産米増殖の国家的意義・朝鮮は如何に産米増殖に有望なるか・朝鮮に於ける過去の産米増殖計画・更始一新されたる今回の計画・付表
- 18 東津水利組合関係書類
 - (1) 東津水利組合之事業 東津水利組合 大正一五年四月 謄写 一綴 組合の沿革及事業計画の概要・組合員及主なる地主・組合吏員及其の他役員
 - (2) 主要工事の現況 東津水利組合 大正一五年四月一三日 謄写 一綴
 - (3) 東津水利組合事業要項 東津水利組合 墨書 一枚
 - (4) 東津水利組合事業地平面図 東津水利組合 活版 一枚
 - (5) 職員名簿 東津水利組合 大正一五年四月二七日現在 謄写 一綴
 - (6) 事務分掌並職員配置状況 東津水利組合 大正一五年四月 謄写 一綴
 - (7) 東津水利組合事業地附近地図ハガキ 東津水利組合 二枚
- 19 利川水利組合事業概要 大正一五年一〇月 活版
- 20 農地改良実施私案 山本彦一 昭和二年二月 タイプ 一綴 平野農場に於ける経営試験
- 21 朝鮮干拓事業の堅実なる発達を期する方策 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 緒言・干拓事業の現状・干拓事業遂行上の困難・干拓事業の振興策（付）基本調査済中二百町歩以上干潟地実耕面積及工事費調査・農業土木に関する工務所調・内地各府県土地改良事業補助率他
- 22 朝鮮の農業 朝鮮総督府 昭和三年三月 活版
- 23 朝鮮産米増殖計画要綱 朝鮮総督府 昭和四年五月 活版 一冊 産米増殖の必要・朝鮮産米増殖の好望なる所以・朝鮮産米増殖計画の樹立・本計画の効果・付表
- 24 火田民に対する意見 渋川雲岳 昭和四年七月 謄写 二点
- 25 火田状況 カーボン 咸鏡南道豊山郡野紙 一枚
- 26 山県秘書官電報 近藤秘書官宛 昭和五年三月八日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚 米穀統制懇談会、土木会議等報告
- 27 鮮人農村視察概況 第一回報告 中野清助 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年五月二八日 謄写 一綴
- 28 農事試験場事業概要 昭和五年六月 カーボン 朝鮮総督府勸業模範場野紙 一綴
- 29 朴来春陳情書 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年八月二四日 ペン 一綴 全南道国有未墾地貸付願
- 30 朴来春陳情書に対する回答通知 全羅南道知事 土地改良部長宛 昭和五年一〇月六日 ペン・タイプ 朝鮮総督府野紙 一綴 全南道国有未墾地貸付願に対する回答

31 米価暴落に関する対策綱要・米価暴落対策・水利組合高利債借替調 朝鮮総督府土地改良部 昭和五年一〇月
謄写・タイプ 一綴

- 32 斎藤実書翰草稿 松田源治拓相宛 昭和五年一一月一四日 墨書・ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 米穀調査会に於ける鮮米に関する問題朝鮮統治上重大御配慮願う
- 33 米価対策 農家に対する野積粉担保貸出取扱要項 昭和五年 謄写 一綴
- 34 土地改良事業代行制度改善に関する件 朝鮮総督府 昭和六年一月 謄写 同文二綴土地改良事業代行機関東洋拓殖株式会社、朝鮮土地改良株式会社代行業務不振につき代行会社統一すべし参考表（東洋拓殖株式会社改良部営業収支計算表・朝鮮土地改良株式会社営業収支計算他）（付）東拓土地改良部技術者退職者調 カーボン一枚
- 35 陳情書 晋州市民代表清水佐太郎・桂登利蔵 朝鮮総督斎藤実他宛 昭和六年一月二六日 活版 一綴 南江放水工事速成方の件・同参考書 慶全線鉄道工事速成方の件
- 36 ■浦干拓事業に関する経過報告 田中光政 朝鮮総督斎藤実宛 昭和六年四月二九日 謄写 一綴
- 37 水利組合設立反対会電報 朝鮮総督斎藤実宛 昭和六年六月六日 同文二枚
- 38 干拓国営計画説明（未定稿）タイプ 一綴 計画の大綱・国営干拓地の選定・工事の施行・移民の収容・本計画実行の為に増置すべき職員・経費
- 39 土地の利用に就て 林業試験場長戸沢又次郎 謄写 一綴 歐洲に於ける現状・朝鮮に於ける現状及改善策・結論
- 40 宣言書 謄写 一綴 漢江治水について
- 41 麗達組合同規約 謄写 一綴

▪ 八七、物産

- 1 朝鮮の蚕糸業 朝鮮総督府殖産局 大正一〇年一〇月 活版 一冊 緒言・気候・栽桑・養蚕・製糸・施設・付表
- 2 事業経営実況及其成績 合名会社鈴木商店朝鮮纖維工業所 大正一一年三月 謄写 一綴 付表・創業と其成績・鈴木商店の事業継承と其後の成績・原料蘆草と葎田経営に就て他
- 3 南朝鮮製糸株式会社取締役青木一葉書翰控 朝鮮総督府殖産局長西村保吉宛 大正一二年一月二九日 タイプ 一綴 蘆田、蘆草工業に関する件
- 4 青木一葉書翰 戸坂隆吉宛 大正一二年一月二九日 ペン・タイプ 二点 朝鮮西田に関する請願の件 蘆草パルプ並製紙業工場設置願（付）青木一葉上申書 斎藤総督宛 大正一二年一月四日 タイプ 鈴木商店京城支店野紙 一綴
- 5 蚕業試験所女子蚕業講習所一覧 朝鮮総督府農事試験場 昭和四年九月 活版
- 6 養蚕奨励の今古他 ペン 光州郡野紙 一綴 養蚕奨励の今古 孟子濟世救民の所説 二千六百年前管子国策
- 7 高麗美術工業振興会趣旨書 大正一一年一二月 印刷 一枚 趣旨書・会則

▪ 八八、専売

- 1 朝鮮煙草専売令改正説明書 朝鮮総督府 昭和二年一月 活版 一冊 制令・告示・要領・要旨・付表
- 2 朝鮮煙草元売捌株式会社関係書類
 - (1) 新旧煙草元売捌人の営業引継引受要項案 昭和二年 謄写 一綴
 - (2) 朝鮮煙草元売捌株式会社事業目論見書案 昭和二年 謄写 一綴資本勘定・収支予算・利益金処分・収支予算内訳・資金運用状況・売上予定額及差益・売上予定額基準・経費支出見込額算出内訳・我員給与額算出内訳・雑給及雑費算出内訳・諸税公課算出内訳・手持商品及保険料算出内訳

- (3) 朝鮮煙草元売捌株式会社事業目論見 昭和二年 活版 一枚 資本勘定・収支予算
 - (4) 会社監督事項 昭和二年 謄写 一綴
 - (5) 昭和元年度支出額と新会社支出予算額との比較表 昭和二年 ペン 朝鮮総督府専売局罫紙 一枚
 - (6) 朝鮮煙草元売捌株式会社定款 昭和二年 活版 一枚 総則・資本及株式・株主總會・役員・計算
- 3 朝鮮製塩関係書類
 - (1) 昭和五年度塩専売創業費予算概算書 昭和四年 謄写 一冊昭和五年度塩専売創業費予算要求概算書・塩専売創業費年割予算書・塩専売創業費予算・塩専売創業費要求説明他 (付) 塩に関する意見書等送付書朝鮮総督府専売局 朝鮮総督府出張員事務所宛 昭和四年八月二一日
 - (2) 昭和五年度塩専売予算概算書 昭和四年六月二〇日 謄写 一冊 昭和五年度塩専売予算概算書・昭和五年度塩業収入予定額内訳書・塩価調・官塩生産並給量調他
 - (3) 朝鮮塩専売実施計画要領 昭和四年 謄写 同文二冊 専売の目的・専売とすべき塩の種類・専売事業の範囲・在来煎熬塩再製塩精製塩の取扱・専売塩の供給方法・塩の輸入方法・販売制度・塩の包装貯蔵回送・塩専売取締・塩専売官署
 - (4) 朝鮮塩専売実施計画要領 其の二 昭和四年 謄写 一冊 塩価決定の方法・塩の引渡地・元売捌人の一回買受数量の最小限度・現塩販売人の措置・塩専売創業費・塩専売の収支
 - (5) 朝鮮に於ける塩田築造計画 昭和四年 謄写 同文二冊 塩田三千町歩築造計画案・既設塩田整理計画案・南市第二区塩田築造計画案
 - (6) 朝鮮の塩政に関する意見 専売局長 昭和四年 謄写 同文二冊 塩自作自給政策による朝鮮の塩政 各領域に於ける塩の需給状態・各領域に於ける塩の生産適地・朝鮮に於ける自作自給の必要・朝鮮に於ける塩田築造の方策・朝鮮に専売施行の必要・付表
 - (7) 朝鮮の塩政に関する意見参考書 昭和四年 謄写 同文二冊 朝鮮に於ける塩需給状況・朝鮮に於ける塩田並塩生産の状況・朝鮮に於ける塩田拡張並専売実施に対する可否の意見
 - (8) 朝鮮の塩政に関する意見参考書 (其の二) 昭和四年 謄写 一冊 製塩事業と干拓事業との収支調・製塩事業・干拓事業
- 4 中国に於ける朝鮮紅参販売に関する調査 大久保唯雄 昭和二年三月 タイプ 一綴
- 5 人蔘に就て 朝鮮総督府専売局 謄写 一枚
- 八九、林業
 - 1 朝鮮林政計画書 後藤山林課長 大正一四年九月八日 謄写 一綴 要存国有林野管理経営計画・民有林野改善計画・林政機関
 - 2 木材輸入税に関する朝鮮の特例存廃に付て調書 大正一五年二月六日 カーボン 朝鮮総督府営林廠罫紙 一綴朝鮮の特例と内地現行税率、同改正案、税率との比較・朝鮮に於ける関税特例を設定せられたる理由・今日に於ては関税特例を設定せる理由は既に消滅せること・関税特例を廃止せざれば鮮内に木材輸入を増加すること・銀相場は必ずしも樂觀を容さざること・関税特例の廃止は今日を最好機とす・付表 (付) 調書送付書 営林廠長 藤原秘書課長宛
 - 3 国境森林経営に関する愚見 須藤前営林廠長提出 大正一五年六月八日 カーボン 慶尚北道罫紙 一綴 森林の保護取締・第二次林の養成・大量伐採の励行・朝鮮人労働者の使役
 - 4 朝鮮木材関税特例廃止に対する反対説に対する駁論 朝鮮商業会議所代表 朝鮮公職者代表 昭和二年二月 活版
 - 5 金彰漢申出 昭和四年 ペン 一綴 林野所有につき

6 林木種子の発芽力保存法・林木種子の発芽促進法・林地実播法 朝鮮総督府林業試験場 昭和五年八月改訂 活版一枚

- 7 林政機関の組織試案・林政機関の具体的組織試案 佐藤林学博士案 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 8 内鮮山林局長事務比較 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 要存国有林野管理経営事務比較・国有林野整理処分事務の比較・民間林業指導監督事務の比較
- 9 京城府三清洞払下出願地林野図（三〇〇〇分一） 鄭熙燦 墨書 一枚
- 10 江原道襄陽郡所在要存林表 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
- 11 慶北間慶郡所在鳥嶺国有林に対する処分関係書類 ペン 一枚
- 12 咸興郡下岐川面山林紛争に関する書類 申告者韓国隣 墨書 一枚
- 13 朝鮮総督府営林廠管内一覽図 印刷 一枚
- 14 斎藤音作意見書
 - (1) 朝鮮満州及東部西比列亜の森林経営に就て 斎藤音作 大正九年六月 ペン 一綴 経済上の関係・気象上の関係・国防の関係
 - (2) 農科大学留学生寄宿舎設立趣意書 斎藤音作 大正九年六月 ペン 一綴
 - (3) 隣国支那の治山事業 斎藤音作 大正九年七月 ペン 一綴 支那の山林荒廃 治山の援助
 - (4) 熊沢蕃山の治山説 斎藤音作 ペン 一枚 森林と雨・森林と治水・森林と砂防
 - (5) 御大典記念事業としての朝鮮植林投資・世襲財産としての林業投資・「木材飢謹来」に就て 謄写 一綴
 - (6) 堅実に大儲の出来る朝鮮の林業投資 斎藤音作述 謄写 同文三冊 内地の林業投資も悲観するに及ばぬ・朝鮮の林業投資は更に大儲が出来る

■ 九〇、移民

- 1 殖民統計 東洋拓殖株式会社京城支店 大正八年四月一日現在 活版 一枚 移住民回期別戸数・移住民移住地方別戸数・移住民出身府県別戸数・移住民譲渡地面積・移住費貸付金高
- 2 東洋拓殖株式会社へ命令事項調目次 大正九年一月二日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
- 3 東洋拓殖株式会社貸付営業案内（朝鮮の部） 東洋拓殖株式会社 活版 一枚
- 4 東拓の新組織意見書 ペン 一綴 東拓の新組織に海外移民代表と調査事業代表理事を創設すべき
- 5 在米同胞を満鮮に招致するの議 満鮮縦横評論社社長上田務 大正一二年一月 ペン 一綴
- 6 不二興業株式会社社長藤井寛太郎意見書 謄写 一綴 不二興業株式会社今後の営業方針 昭和四年四月三日 朝鮮に対する移民の実行方法に就き上申斎藤総督宛 大正一五年七月一日（付）不二西鮮農場建設以来毎年投資額及成績表・不二西鮮農場投資額及其収支説明・昭和三年度経営費支出計算表・借入金及利率表 タイプ
- 7 全羅北道沃溝郡不二農村移民事業計画説明書 謄写 一綴 移民地の状況・移住者募集並奨励の施設・計画の概要・追加借入資金年度別所要額並其の用途・資金用途別年度別内訳書・移民一戸当償還額・付表
- 8 篤農家久納浅太郎事績 墨書 一綴

■ 九一、貿易

- 1 大正八年朝鮮貿易概況 朝鮮総督府財務局 大正九年一月一五日 謄写 一綴 総況・国別貿易・港別貿易・輸移出重要品・輸移入重要品・加工貿易・通過貿易
- 2 内地移入税廃止に関する意見上申書 朝鮮総督府事務官林繁蔵 朝鮮総督斎藤実宛 大正九年二月二六日 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 内地側移入税は統一関税実施と同時に撤廃すべし 少なくとも朝鮮産品の移入税廃止を切望

す

- 3 朝鮮関税制度統一に関する反対意見 謄写 一綴 朝鮮関税制度改正を機とし朝鮮総督の関税行政権限を大蔵大臣に移属するは朝鮮総督が大蔵大臣の監督を受くる結果と為るべし
- 九二、その他
 - 1 大邸府市場敷地買収の真相取調書 朝鮮人事相談所渋川雲岳 大正一二年八月 ペン 一綴
 - 2 釜山水道拡張工事費補助申請 釜山府尹本田常吉 朝鮮総督齋藤実宛 大正八年九月一八日 ペン 一綴 (付) 釜山水道改良及拡張工事費概算・釜山水道拡張工事費年割表・釜山府債償還表
 - 3 建議書 帝国水産連合会委員川島滝蔵他 朝鮮総督齋藤実宛 大正九年二月一〇日 墨書 一綴 爆発薬使用漁業取締の件 支那密漁取締の件 甲種水産学校を朝鮮枢要の地に設置の件
 - 4 第三回満鮮商業会議所連合会議事録 大正九年一〇月一五日 活版 一冊 発開式・一〇月一五日の会議・本会の組織を拡大し満鮮貿易上に重要関係を有する日本内地の商業会議所を加入せしむること他
 - 5 釜山府重要事項に関する陳述書 大正九年 ペン 一綴 道庁所在地変更に関する件・釜山公立商業専修学校経営に関する件・釜山米穀取引所設立に関する件・釜山南港築港に関する件
 - 6 日鮮起業株式会社趣意書・定款・起業予算書・収支予算書 同創立事務所 大正一〇年一月 活版 一枚
 - 7 朝鮮の水産業 朝鮮総督府殖産局 大正一〇年八月 活版 一冊 総説・漁業・養殖業・製造業・輸移出・試験調査・指導教育・組合・付表
 - 8 臨時朝鮮商業会議所連合会議事速記録 大正一一年二月一七日 活版 一冊 出席委員及来賓・議案・議事・委員の東上及決議事項の請願
 - 9 江原道昌道重晶石鉱山（「朝鮮工業会誌」第六卷第三号抜刷） 朝鮮総督府地質調査所技師山成不二磨 中山昌道鉱山 大正一二年九月 活版
 - 10 再陳情書 渡辺鷹治郎 朝鮮総督齋藤実宛 大正一二年一〇月二日 ペン 一綴 忠清南道挿橋川変更改修願いに対する同道庁の処置に付き陳情
 - 11 日本植民通信社趣旨、目論見書、定款 同創立事務所 活版 一冊 (付) 承諾書 活版 一枚
 - 12 亜鉛鉱業 朝鮮総督府殖産局 昭和三年一二月 活版 一冊 緒言・世界の亜鉛生産概況・本邦亜鉛の需要と亜鉛鉱業・朝鮮に於ける亜鉛鉱業・結論
 - 13 朝鮮鉱業資源調査規則 朝鮮総督府殖産局 昭和五年二月 活版 一冊 鉱業資源調査に就て・朝鮮鉱業資源調査規則・資源調査法・資源調査法施行期日の件・資源調査法を朝鮮、台湾及樺太に施行するの件・資源調査令・付録 関係法令
 - 14 最近の鉱業界 昭和五年五月 活版
 - 15 日本に於ける朝鮮鉄鉱の価値（「朝鮮」第一八二号抜刷） 内田鯉五郎 昭和五年七月 活版
 - 16 金剛山公園計画第一回計画書 朝鮮総督府囑託上原敬二・吉村巖 昭和五年一二月 謄写 一綴 序説・金剛山風景の特徴と利用の大綱・公園計画・工種及工期・管理及経営・結語 (付) 図面説明書
 - 17 金剛山風景計画書 朝鮮総督府囑託田村剛・小坂立夫 謄写 一綴 現況調査 (地理・地勢・地質・気象及森林の概要・風景施設と其の利用状況・金剛山の風景と其の特色)・計画 (区域の決定・地域の設定・遊覧系統の樹立・路線の設定・施設・経営及管理・雑件・実施に対する意見)
 - 18 江原道地方試験航空実施計画書 朝鮮航空研究所 謄写 一綴 江原道山地帯並に海岸線航空路開拓 金剛山遊覧飛行
 - 19 朝鮮産金増加計画草案 朝鮮鉱業会 昭和六年三月 活版

20 国策上より見たる昭和製鋼所の位置 朝鮮商業會議所連合会会長渡辺定一郎・安東商工会議所副会頭瀬之口藤太郎・新義州商業會議所会頭加藤鍊治郎 活版 一枚

- 21 元山府民希望事項 元山毎日新聞社長西田常三郎他 カーボン・ペン 元山府野紙 二枚 平元鉄道速成 煙草専売支局設置 水産学校、商船学校等設置他

○ 朝鮮軍・警察

■ 九三、朝鮮軍

■ 1 朝鮮陸軍兵力増置問題

- (1) 朝鮮に陸軍兵力増加を要する件 斎藤実 大正八年 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 三、一万歳事件以後 朝鮮警備帝国内陸軍配備の偏重偏軽を匡する (付) 斎藤実草稿 墨書 三枚
- (2) 朝鮮に陸軍兵力の増加を要する件 内閣総理大臣宛 大正八年 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴
- (3) 朝鮮に陸軍常備兵力の増加を要する件 大正一三年 墨書 朝鮮総督府野紙 一綴 統治上威力ある兵備を緊要とす少なくとも一師団増加

- 2 陸軍大臣電報 朝鮮総督斎藤実宛 大正九年七月一六・一九日 墨書・ペン 朝鮮総督府野紙 二点 憲兵司令官児島中将薩哈連州派遣軍司令官内定後任憲兵大佐前田昇

- 3 朝鮮人将校に関する書類 一綴 朝鮮人将校の状態 (人員及素質・目下指導の為採りつつある方針・将来に関する希望・家庭状況調査表) 大正一四年三月 カーボン 陸軍野紙 奉天省輯安県管内不退鮮人により被殺たる者氏名録 大正一三年五月八日 カーボン朝鮮人陸軍将校李秉武中将以下予、後、退役将校一三名より提出したる請願書に対する意見 請願の大意・請願人等の経歴・判決 大正一五年一月一二日カーボン 朝鮮総督府野紙 旧韓国解散将校の優遇運動に関する件判決 大正一五年一月一二日 カーボン 朝鮮総督府野紙 韓国軍部解散時に於ける解官将校の請願書類 陸軍歩兵大佐西四辻公堯 歩兵大尉長谷川基宛 大正一五年 カーボン 願書 (訳共) 白性其他二〇三名斎藤実宛 大正一五年六月 ペン・活版・カーボン 参考書 ペン 朝鮮総督府野紙

- 4 国境警備に関する臨時施設説明 大正一三年 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 臨時施設を要する理由・施設すべき事項 (領事館及警察署の設置・道内警察官の増員他)

■ 5 朝鮮総督御用掛報告

- (1) 増設師団国境守備隊に関する報告 長谷川御用掛 大正八年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 朝鮮増設師団並国境守備隊に関する件 常設師団の配置陸軍案要領 軍の考案に対する意見 新師団増設の場合に於て軍部より要望する事項
- (2) 事情概要報告 津田御用掛 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年二月二〇日 ペン 海軍野紙 一綴 鴨緑江警備船保転の件・逡信局海員養成所教練用として海軍銃保転の件他
- (3) 舞鶴横須賀東京及佐世保出張大要報告 津田御用掛 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年七月一九日 ペン 一綴 飛行機用発動機保転・短艇保転・三八式機銃一〇挺保転他交渉に付いて
- (4) 廃兵器物品保管転換の件 (照会) 津田御用掛 塩沢軍務局第二課長宛 大正一三年一月一〇日 カーボン 海軍野紙 一綴
- (5) 海軍当局への内話依頼 津田御用掛 大正二二年一月一日 カーボン 海軍野紙 一綴 警務局より機銃保転・学務局逡信局より短艇保転・逡信局より無線電信保転・殖産局水産課及慶南道庁より測距儀保転・逡信局より廃艦装備の物品保転・海軍省人事局より離現役海軍士官並文官採用に付き
- (6) 無線電信機保管転換の件 (照会) 津田御用掛 出光軍令部参謀宛 大正二二年一月四日 カーボン 海軍野紙 一綴

(7) 朝鮮軍人の恩給に関する調書 御用掛長谷川基 大正一三年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 恩給増額に付類別に依る調査韓国武官恩給に依る者・朝鮮軍人恩給に依る者・現行恩給法に依り得るもの・恩給及服役年金の何れの恩典にも浴せざるもの・朝鮮將校恩給服役年金に関する経緯図 (付) 予備陸軍歩兵少佐金泰元意見書 斎藤実宛 大正一三年三月一日 退役軍人の恩給は内地人軍人恩給令を同一に通用せしむを願う

- (8) 事務報告 長谷川御用掛 朝鮮総督斎藤実宛 七月一日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 騎銃参千挺保管転換の件 黒絨六千尺を千住製絨所に於て交附方交渉の件他

■ 6 意見書・請願書

- (1) 鎮海要港部司令官桑島省三意見書写 海軍省軍務局長小林躋造宛 大正一三年二月一日 カーボン 海軍野紙 一綴 朝鮮沿岸警備に関する件 (別表) 大正一二年度部下艦船巡航統計表
- (2) 全州邑長森山五百足他電報 斎藤実宛 昭和六年五月二日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 軍制調査会成案 南鮮師団設置実現要望
- (3) 全州旅団設置請願書 吉富茂平他一一二名 朝鮮総督長谷川好道宛 大正七年一月二五日 活版 一綴 (付) 全州市勢一斑・軍営予定地概況・全羅北道道勢一斑・全州旅団予定地附近図
- (4) 守備隊存続請願に関する調査 大正八年 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴
- (5) 国境隊所に在勤する憲兵隊職員に国境在勤臨時手当支給の件上申 朝鮮憲兵隊指令官前田昇 陸軍大臣田中義一宛 大正九年八月一九日墨書・カーボン 陸軍野紙・朝鮮総督府野紙 一綴 (付) 参考書類 国境方面に在勤する朝鮮総督府及所属官署職員の臨時特別手当給与に関する件・臨時特別手当支給月額及所要額算出明細書・国境在職憲兵警察官給与比較表・憲兵下士以下一名当所要額調・巡查 (鮮人) 現員現給支払表・巡查 (内地人) 現員現給支払表・内地人巡查一人年額予算・鮮人巡查一人年額予算
- (6) 請願書 大正九年一〇月二〇日 活版 一綴 琿春間島方面出兵の軍隊を恒久的に駐屯せしめられたき請願
- (7) 請願書 朝鮮師団増設期成会委員長・平壤商業会議所会頭内田録雄 大正一五年七月 活版 一綴 朝鮮師団増設に就き再請願
- (8) 朝鮮警備に関する意見 ペン 海軍野紙 一綴 各艦隊は出来得る限り毎年朝鮮沿岸を巡弋寄港する事・鎮海要港部附属艦として海防艦又は軽巡一隻並駆逐隊一隊を常置する事・鴨緑江に浅喫水河用砲艦を配備する事
- (9) 陳情書 木浦商工会議所会頭村上直助 朝鮮総督斎藤実宛 昭和六年四月二八日 カーボン 木浦商工会議所野紙一枚 朝鮮に於ける兵備の充実断行
- (10) 声明書 朝鮮京城同民会 斎藤実宛 昭和六年一一月九日 活版一枚 帝国朝鮮駐屯守備兵増派 (付) 同民会創立趣旨・規約・役員・寄付行為 活版一枚

■ 7 金亨隻大佐回顧録 昭和五年四月 謄写

■ 8 魚潭少将回顧録其の一 昭和五年 謄写

■ 9 魚潭少将回顧録 其の二 昭和五年 謄写

■ 九四、警察・警察情報

■ 1 朝鮮警察に関する議会答弁書 大正一〇年 謄写 一綴

■ 2 朝鮮警察に関する議会答弁資料 大正一〇年 謄写 一綴

3 宏遠なる理想の実現 守屋栄夫 大正一〇年 活版 一冊 大正一〇年一月警察官講習所特別講習員に対する講演
(付) 新同胞に対する吾人の態度

- 4 平北知事電話報告写 竹内警務部長宛 大正一三年六月一三日・一四日 謄写 三枚 平北県内発生強盗事件に関する報告
- 5 対外交渉未決事項一覧 大正一四年三月末現在 謄写 一綴 支那より抗議したるもの・朝鮮より抗議したるもの
- 6 第六期講習科本科生教養状況 朝鮮総督府警察官講習所 大正一四年 謄写 一綴 本期講習科本科生卒業生・講習期間・教養概況(学科目授業時数並担任教官・見学旅行・見学場所)・規律訓練・衛生状態(患者・体量・生徒体量調査表・大正一四年度講習科生疾患別状況表)・第六期講習科本科生勤務状況表・各道別人員表・第六期講習科本科生人名表・第六期講習科本科生卒業試験成績表
- 7 第七期講習科本科生講習状況 大正一五年 謄写 一綴 本期講習科本科生卒業生・講習期間・教養概況・教授科目教授時数並担当教官・科外講演・見学・見学旅行・講習科本科生各道別調・分限別調・内鮮人別調・規律訓練・本科講習生各期別休暇欠勤欠課比較表・衛生状況(患者・体量・大正一五年講習科生疾病状況表・生徒体量調査表第七期本科生)・第七期講習科本科生官氏名表・講習科本科生各期別成績比較表
- 8 道第三部長会議日程 警務局 大正一五年四月 謄写 一枚
- 9 新規警備計画一覧表 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 警務局職員増加に要する経費事由・警察官臨時増員に要する経費事由・増員巡査募集及教習に要する経費・臨時警防費の増加・国境警察官宿舍新営費・対岸に警察官配置の経費事由・増員巡査募集及教習に要する経費・臨時機密費の増加事由・国境特別警備費事由・被居住制限者収容所及職員宿舍新営費(付) 支那官憲鮮匪取締状況 大正一五年一月二〇日現在調 カーボン 一綴 警視定員改定表他 カーボン 一綴 警察官一人負担力比較表、朝鮮対内地植民地警察官俸給其他比較 大正一〇年九月調査 謄写 一枚
- 10 朝鮮高等警察情報 警務局長 大正一〇年四月一五月 謄写 一綴 京城五星学校復興運動に関する件 在東京留学生卒業祝賀会開催の件秘密結社大韓独立女子青年団検挙の件 救国団検挙 労働救済会東洋無料宿泊所設立計画 上海情報 大韓独立軍備団員検挙在露領不退鮮人団の統一に関する件 上海に於ける不退鮮人間の紛擾倍熾烈となる 露領知多に於ける不退鮮人状況 仏教協会創立に関する件 上海情報一東耶蘇教青年連合会に関する件 在上海不退鮮人の宣伝計画に関する件 極東共和国憲法草案他
- 11 朝鮮高等警察情報三九七号 警務局 大正一一年二月四日 謄写 一枚 [イ] 市に於ける共産党大会と不退鮮人の状況
- 12 朝鮮高等警察情報四三六号 警務局 大正一一年二月一四日 謄写 一綴 上海に於ける赤化鮮人通応順及桂挨昊の供述概要
- 13 朝鮮高等警察情報五〇五号 警務局 大正一一年二月一七日 謄写 一綴 同光会の行動に関する件
- 14 朝鮮高等警察情報五三二号 警務局 大正一一年二月二〇日 謄写 一枚 上海に於ける朝鮮人共産党の形勢
- 15 朝鮮高等警察情報五三四号 警務局 大正一一年二月一九日 謄写 一綴 同光会支部の状況に関する件
- 16 朝鮮高等警察情報五三四号 警務局 大正一一年二月二八日 謄写 一綴 同光会の朝鮮に於ける行動に関する件
- 17 朝鮮高等警察情報五八二号 警務局 大正一一年二月二三日 謄写 一綴 上海仮政府軍務部臨時編輯委員部規定の件
- 18 朝鮮高等警察情報六五一号 警務局 大正一一年二月二七日 謄写 一綴 不退鮮人と共産党との提携に関する件
- 19 朝鮮高等警察情報七〇三号 警務局 大正一一年三月三日 謄写 一綴 華府会議に対する朝鮮人の独立請願運動の真相

- 20 朝鮮高等警察情報七五〇号 警務局 大正一一年三月七日 謄写 一綴 国民協会の請願運動に関する件
- 21 朝鮮高等警察情報二〇一四号 警務局長 大正一一年六月二六日 謄写 一綴 新団体創立の件（民友会・李花学会）
- 22 朝鮮高等警察情報二五三一号 警務局長 大正一二年七月二三日 謄写 一枚 義烈団の鉄道破壊計画に関する件
- 23 朝鮮高等警察情報三九五二号 警務局 大正一二年二月二四日 謄写 一枚 伯爵宗秉■の東上に関する件
- 24 朝鮮高等警察情報四三一八号 警務局 大正一二年一二月二五日 謄写 一綴 義烈団の兇暴計画に関する件続報
- 25 朝保秘二五四四号・二四九九号 警務局 昭和二年一二月一〇日・一一日 謄写 一綴 浦塩に於ける赤化宣伝放送の件 第三インターナショナル極東赤化新計画に関する件
- 26 朝保秘二六八号 警務局 昭和二年三月一七日 謄写 一綴 不穩雑誌 [革命の道] 発行に関する件
- 27 朝保秘三七四号 警務局 昭和二年三月一八日 謄写 一綴 不穩雑誌 [戦友] 発刊に関する件
- 28 朝保秘五〇九号 警務局 昭和二年三月一八日 謄写 一綴 不穩新聞 [大東民報] の記事に関する件
- 29 朝保秘四八七号 警務局 昭和二年三月二二日 謄写 一綴 東拓事件犯人亡羅錫疇を賞揚せる不穩文書配付に関する件
- 30 朝保秘五六六号 警務局 昭和二年三月二二日 謄写 一綴 間島東員学校紛争事件に関し不穩文書配付に関する件
- 31 朝保秘五六八号 警務局 昭和二年三月二二日 謄写 一綴 間島東興学校紛争事件に関し不穩雑誌 [学海] の記事に関する件
- 32 朝保秘六〇八号 警務局 昭和二年三月二四日 謄写 一綴 上海に於ける清醒党の宣言及布告に関する件
- 33 朝保秘六一三号 警務局 昭和二年三月二四日 謄写 一綴 支那国民党の反乱企画に関する件
- 34 朝保秘六一五号 警務局 昭和二年三月二四日 謄写 一枚 満州移住朝鮮人に関する件
- 35 朝保秘六二五号 警務局 昭和二年三月二五日 謄写 一綴 [ソヴェート] 連邦委員会に於ける片山潜の演説に関する件
- 36 朝保秘第一七八〇号 警務局 昭和四年九月二四日 タイプ 一綴 米人地質測量技師通過の件
- 37 万国青年共産党とは何ぞや エ、ヴェーニー、ゲルル著 警務局訳 一九二五年 活版
- 38 ピオネルの法律及習慣 ウ、ソローキン原著 朝鮮総督府警務局翻訳 謄写 一綴
- 39 賭博公開意見書 警察官署野紙 カーボン 一綴 当署管内滝川郡は支那近傍につき賭博ほぼ公然

○ 民族運動・在外朝鮮人

■ 九五、民族運動

- 1 明治一七年（甲申）以後政変干連人等名簿・明治二七年（甲午）以後政変干連非徒党名簿 謄写 一綴
- 2 騒擾事件の概況 朝鮮憲兵隊司令部・朝鮮総督府警務総監部 大正八年 活版 一冊 騒擾発生前に於ける民心の傾向・騒擾事件企画の内容・東京鮮人留学生と本件との関係・運動着手・騒擾事件と在外排日鮮人との関係・騒擾事件の経過・騒擾事件と外国人の言動・不穩文書
- 3 朝鮮騒擾事件の概況 其二 朝鮮憲兵隊司令部・朝鮮総督府警務総監部 大正八年 活版 一冊 四月一日一三〇日 報告綴
- 4 朝鮮騒擾事件概況 其四 朝鮮憲兵隊司令部・朝鮮総督府警務総監部 大正八年 活版 一冊 自大正八年三月一日 至大正八年六月三〇日在外鮮人の独立運動概説
- 5 朝鮮の現状及騒擾の原因に就て 大垣丈夫 大正九年 活版 一枚 三二事件原因
- 6 口代 竜岩浦警察署長関平次 大正九年六月一〇日 活版 一枚 民衆暴動鎮撫の告示

7 齋藤総督暗殺未遂事件に対する見舞電報

- (1) 電報 宮内大臣 齋藤実宛 大正八年九月三日 タイプ・ペン 一綴 両陛下貴官奇禍慰問ご沙汰あり 返答草案
- (2) 電報 田中義一 齋藤実宛 大正八年九月三日 タイプ・ペン 一綴
- (3) 電報 山本権兵衛 齋藤実宛 大正八年九月三日 タイプ・ペン 一綴
- (4) 電報 原敬 齋藤実宛 大正八年九月三日 タイプ・ペン 一綴
- (5) 電報 野田卯太郎 齋藤実宛 大正八年九月三日 カーボン 一枚
- (6) 電報 東郷平八郎 齋藤実宛 大正八年九月三日 カーボン 一枚
- (7) 電報 床次竹二郎 齋藤実宛 大正八年九月五日 カーボン 一枚
- 8 宇都宮太郎覚書 大正八年一二月一五日 ペン 二枚 柳東説、金義善等利用 鮮人懐柔に付陸軍機密費使用必要
- 9 平安商道知事篠田治策報告書 齋藤実宛 大正一二年一月二二日 活版・ペン 一綴従来不退思想の醸地と目せられたる本道一般の民心は昨年来安定・統契の組織（付）大正一一年二月一一日民力涵養に関する知事諭告の四大綱領（平安南道）及大正一一年二月一一日平安南道知事篠田治策諭告
- 10 朝鮮民族運動に対する対策案 カーボン 一綴 当局の態度方針を一層徹底せしむること・親日団体組織の必要・宗教的社会運動・人材の養成・遊食者の救済・日鮮資本家の連繋・農村指導・宣伝機関の設置又は利用
- 11 朝鮮独立運動の根源 大正一〇年八月四日 謄写 一綴 独立協会・四散した亡命客のその後
- 12 義烈団の沿革並其妄動状況 朝鮮総督府警務局 大正一三年一月 謄写 一綴 兇暴行動の概要（大正九年より同一三年）義烈団朝鮮革命宣言 四二五六年一月（訳文）及義烈団関係者一覧他
- 13 二重橋前金址燺爆弾投擲事件関係書類 大正一三年一月 カーボン・タイプ 一綴 丸山警務局長宛電報綴 一月六日一四日金址燺鮮内通過の有無に関する調査 警務局 大正一三年一月一二日 義烈団の共謀計画に関し内地官憲との往復書類写 警務局高等警察課大正一三年一月六日 義烈団の共謀計画に関する件報告 警務局長 内務省警保局長宛 大正一二年一一月三〇日
- 14 檄告文（訳文）大韓独立党 一九二六年 謄写 一綴 朝鮮教育は朝鮮人本位に（大韓学生会）・産業は朝鮮人本位に（大韓農民義勇団）（付）大韓独立運動者よ団結せよ・大韓独立万歳
- 15 哭し服する民衆に檄す 昌徳宮主人逝去に際して（訳文） 火焰社檄文 一九二六年五月 謄写 一綴 日本帝国主義撲滅
- 16 独立運動終息後に於ける民族運動の梗概 昭和二年一月 謄写 一綴 文化運動の大要と其の衰微・研究会組織の失敗と東亜日報論説の反響・民族主義運動の台頭・自治運動団体組織計画・新幹会組織計画
- 17 朝鮮学生騒擾事件及対策 石森久弥 朝鮮公論社 昭和五年一月 活版
- 18 一月一六日政務総監部に於ける取極事項 昭和五年一月一六日 タイプ 一枚 光州学生事件以後の処置に関する取極
- 19 学生事件裏面系統図 朝鮮総督府警務局 昭和五年二月 活版 一枚 民族主義系・共産主義系
- 20 学生騒擾の動機に関する報告覚 ペン 一綴 学校職員の警察化・警察の拷問による一般的反感他
- 21 朝鮮の最近と対応策 平壤鮮干鏑 カーボン 一綴 騒擾原因 最近人心の解剖 各種集会 対応策
- 22 時局犯罪に関する横田法務局長談話 活版 一冊 朝鮮司法協会雑誌一卷六号抜刷
- 23 洗浦事件と民怒 墨書 一綴
- 九六、在満州朝鮮人
 - 1 具然寿等西比利鮮人懐柔策ノ内容 大正八年 ペン 陸軍野紙 一綴

- 2 軍司令官より張督軍宛打電写 大正九年六月一二日 謄写 一綴 昨年以來対岸支那領土より不退鮮人侵入取締
- 3 間島琿春問題に対する建言及要望事項 間島琿春問題建言委員 大正九年一月二七日 活版 一枚 間島琿春治安維持
- 4 満州及西比利亞に於ける朝鮮人撫育に関する十年度計画 大正九年 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 処理すべき事項・処理すべき事務の系統・予算・特別派遣 (付) 朝鮮総督依頼書 外務大臣宛朝鮮人保護連絡の爲外務省囑託当該領事館勤務依頼・在外鮮人保護撫育に要する経費第一号第二号
- 5 満州及沿海州移住鮮民保護取締案 タイプ 外務省野紙 一綴 教育及衛生に関する施設並取締に付具体策・不退鮮人取締案・緊急救済費・朝鮮人保護取締費
- 6 在満朝鮮人の不安定原因と方策 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 在満鮮人不安定原因・根本方策一朝鮮人の帰化を認むる事・根本方策二速に商租細則の協定を遂ぐる事・根本方策三小農者に対する金融機関を各地に設立する事・根本方策四自衛方策
- 7 日高丙子郎意見書
 - (1) 間島対策卑見 日高丙子郎 大正一〇年二月 謄写 一綴 間島の将来に処すべき方策総領事以下通訳生等を朝鮮総督官吏中より任用のこと・威力ある警察官の増加・裁判及び監獄の改善一調査機関の拡張・宣伝機関の設置・諮問機関の設置・宗教及び思想方面に対する特別施設
 - (2) 内鮮人融合機関設立卑見 日高丙子郎 大正一〇年三月二一日 墨書 一綴 設立卑見・融合機関方針・事業・経費 (付) 別途私案 大正一〇年二月 平和博愛自由の理想郷建設
 - (3) 日高丙子郎書翰 朝鮮総督齋藤実宛 大正一〇年四月三〇日 墨書 一通 間島琿春方面森林権問題に関する鈴木商店の動向 (付) 日高丙子郎宛電報 二通
 - (4) 間島在住鮮人教化案費目概算 日高丙子郎 朝鮮総督齋藤実宛 大正一〇年八月七日 墨書 一綴 準備費・経常費・御下渡方法
 - (5) 齋藤実覚書 大正一〇年 墨書 一枚 日高丙子郎案採用
- 8 在外鮮人に関する諸問題 大正一〇年四月三〇日 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 在外鮮人は純粹の日本人なりや又は所謂朝鮮人なりや・在外鮮人の思想と保護指導の程度・在外鮮人に対する主管官庁及び領事館拡張・関東庁との連絡他
- 9 大豊水田股有限公司創弁發起文・同章程・設計書 中華民國一〇年一月 活版 一枚 鄭安立名刺貼付 (付) 股承認証書 活版 一枚
- 10 露領及間島方面に於ける不退鮮人の赤化 朝鮮総督府警務局 大正一一年一月二五日 謄写 一綴
- 11 調査報告 大正二年一月 謄写 一綴 治安状態・最近注意すべき現象及顯著なる事項・在外鮮人の帰服・満州経営
- 12 調査報告 赤池濃 大正一一年一月 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 治安状態・最近注意すべき現象及顯著なる事項・在外鮮人の帰服・満州経営
- 13 大正一一年中の北満朝鮮人 在ハルビン日本総領事館林善十郎 大正一二年二月 活版 一冊 対北満鮮人卑見
- 14 進政会論陣 大正一二年四月 活版 一枚 在満鮮人運動の真意
- 15 咸鏡北道知事 中野太三郎意見及報告
 - (1) 在満不退鮮人団の趨向と対策管見 大正十三年二月 謄写 一綴 (付) 第一回救済者略歴及救済費概算
 - (2) 不退鮮人懐柔策実施概況報告書 朝鮮総督齋藤実宛 大正一三年四月一四日 墨書 咸鏡北道野紙 一

綴 不逞鮮人懐柔実施経過・土地分給 救済費概算 甕声ニ子収容人物

- (3) 不逞鮮人懐柔救済策実施状況 朝鮮総督齋藤実宛 大正一三年六月六日 ペン 咸鏡北道罫紙 一綴 一三年四月以降の実績 土地買収・王三徳等の招致・柳振昊其の他の救済・本計画の反響
- (4) 在満不逞鮮人懐柔救済策実施経過報告書 朝鮮総督齋藤実宛 大正一三年一二月一四日 墨書 咸鏡北道罫紙 一綴
- (5) 在満不逞鮮人懐柔救済費支出状況報告書 朝鮮総督齋藤実宛 大正一五年八月二〇日 ペン 咸鏡北道罫紙 一綴 完結報告 収支計算書
- 16 満州水田経営の計画 鄭安立提出 大正一三年 蒟蒻版 一綴在満鮮人救済の要旨及其方法・機関設置の方法・華豊水田公司の設立・資本金の予算・予算編成の基本説明・事業目論見書・将来の計画 (付) 華豊水田公司株主に関する件・中国側華豊水田公司発起人代表 大正一三年七月 謄写 一綴
- 17 間島問題と其の対策 謄写 一綴 間島問題に対する観察・間島の現状・将来の対策
- 18 在満鮮人と間島協約及日支条約との関係 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴 間島協約本文・日支条約本文・支那に関する九国条約・間島地図・間島協約及日支条約に関する朝鮮総督府外務省との交渉顛末・華府会議と間島協約及日支条約関係
- 19 支那官憲の鮮人圧迫問題に関する根本的対策 国際大民会金永淳 昭和三年四月一五日 活版 一冊
- 20 間島方面よりする朝鮮人の吉林省地方移住に関する調査 末松吉次 齋藤実宛 昭和四年五月調 謄写 一冊 南北 満州及西伯利地方在住朝鮮人分布・間島及琿春地方在住朝鮮人・間島琿春地方の朝鮮人の土地所有・間島琿春地方在住朝鮮人の移住状況・在住朝鮮人土地所有権獲得の状況・間島琿春地方及接壤地方土地売買価格・間島及琿春地方在住者の密度・農作物中重なるものに付播種量播種期移植期及収穫量等の調査・間島及琿春地方作付反別・内地在住朝鮮人・間島琿春地方領事館警察機関及治安概況・間島地方朝鮮人民会附設の金融部の成績
- 21 相場清報告 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年六月二七日 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴 昭和五年間島暴動の原因
- 22 奉天派遣員報告 森岡警務局長宛 昭和五年七月四日 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴 国民府討伐計画に対する奉天総領事態度
- 23 間島地方共産系朝鮮人の暴動事件善後措置として警察官増員方に関する件 移牒 拓務大臣松田源治 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年七月二日 タイプ朝鮮総督府用紙 一綴 岡田総領事請訓 幣原外務大臣宛 昭和五年六月二六日 間島地方警察官の増員に関する件 幣原外務大臣訓令 在間島岡田総領事宛 昭和五年七月九日 間島地方共産系朝鮮人の暴動事件に関する件
- 24 間島問題の回顧 篠田治策述 昭和五年八月 活版 一冊
- 25 間島地方治安維持に関する件報告及照会 朝鮮総督齋藤実 拓務大臣松田源治宛 昭和五年九月六日 謄写 朝鮮総督府罫紙 一綴 間島地方の治安維持に関する従来の経過・最近に於ける間島の状況・朝鮮総督府としての対策 (別紙) 大正一〇年交渉の際の外務省閣議提出資料撤兵後に於ける間島地方の朝鮮人保護取り締まりに関する件・在間島領事官選任に関する件・外務省との覚書要綱・組織に関する事項 間島派遣警察官増員に要する経費 間島警察官現員表 間島図面 (付) 満州及間島琿春概況附図 六枚 在満鮮人戸口分布図 在外鮮人施設分布図 間島総領事館管内受持区域図 (間島琿春地図) 間島琿春在外鮮人施設図 在外鮮人施設一覽及移住鮮人人口表 (昭和四年一一月外務省調) 満州朝鮮人民会、金融部等施設図
- 26 間島自作農創定計画提案 昭和五年一一月 タイプ・ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴 甲号満鉄及東亜勸業提案・乙号朝鮮総督府提案・丙号間島総領事提案 昭和六年度対在外鮮人施設費予算増額要求の件 外事課長 間島土地買収の経過 東亜勸業株式会社の間島土地買収調 土地買収計画の発端・買収区域・買収の目的・買収方法及権利

取得の型式・買収地の種別・将来利用の方針（付）間島及琿春地図

- 27 間島自作農創定計画に関する覚書 昭和五年一二月 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴 在間島滝山副領事奉天東亜勸業株式会社花井専務、総督府に会合し穂積外事課長と協議を為し作成
- 28 満州概況及間島琿春概況 昭和五年 ペン 朝鮮総督府用紙 二綴 土地・人口・帰化朝鮮人・朝鮮人の土地所有面積・朝鮮人の耕作作付反別及収穫高・朝鮮総督府の補助施設
- 29 間島琿春在住四十万同胞の倒懸を救へ 間島朝鮮人民会連合会 昭和六年一月現在 謄写 三綴 間島沿革と事情概要・支那軍警の苛斂誅求及其暴行（付）泣訴 残酷無比なる虐殺事件
- 30 在満共匪暴動一覧表・五、三〇間島事件以後に於ける在満共匪暴動一覧表 朝鮮総督府警務局 拓務省朝鮮部長 外務省亜細亜局長他宛 昭和六年二月二十九日 謄写 一綴
- 31 間島地方朝鮮人に食料及耕牛貸付に関する件 昭和六年 ペン 朝鮮総督府用紙 一綴（付）参考事項 共匪による被害状況・諸種の課税及公課・在留朝鮮人の生活状態
- 32 此の事実に目醒めて間島同胞の危機を救へ 間島琿春朝鮮人民会連合会 昭和六年三月 活版 一冊 雄邦「日本」の恥辱間島問題の解決に努力せよ 昭和の朝鮮社長小笠原省三 間島琿春在住四〇万同胞の危機を救へ 間島朝鮮人民会連合会
- 33 間島に於ける共匪に因る被害朝鮮人救済方に関する件 外事課長 政務総監宛 昭和六年三月 ペン 朝鮮総督府用紙 一綴 在間島岡田総領事稟請被害朝鮮人救済項目参考の為報告
- 34 間島及琿春視察団員名簿 活版 一冊
- 35 満州に於ける不退鮮人取締に関する計画 ペン 朝鮮総督府用紙 一綴 視察団の組織・保民会の保護・機密費の補給・列車乗組隊の組織・朝鮮警察の拡張
- 36 斎藤実覚書 墨書 一通 朝鮮支那国境監視について
- 37 在満鮮人問題対策私見 満州朝鮮人愛護会本部田原天牛 大正一五年六月一〇日 活版 一冊 在満鮮人困窮につき救済策
- 38 在満鮮人貧窮者救済嘆願書 ハルピン道祖買売街仁和寮主中野清助 昭和三年八月二〇日 謄写 一綴
- 39 東亜保民会関係資料
 - (1) 東亜保民会設立趣意書並事業収支計算書 昭和三年一月 謄写 一綴
 - (2) 東亜保民会創立に関し国家的援助の請願 東亜保民会創立発起人金健中 衆議院議長元田肇・貴族院議長徳川家達宛 昭和四年一月一八日 謄写 一綴 在満鮮人救済を目的
 - (3) 在満州保民会及朝鮮人会調査書 カーボン 朝鮮総督府用紙 一綴
 - (4) 満蒙朝鮮人に対する建議書 金健中 活版 一冊
- 40 貧窮朝鮮人無料収容所仁和寮事業概況 昭和四年度 謄写 一綴
- 41 北満鮮人農村概況 森御蔭 昭和五年八月二八日 活版 一冊 主要鮮人農場概要他
- 42 朝鮮民族による満州開墾事業への援助に関する意見 タイプ 一綴 満州排日気分排除のため朝鮮民族を活用
- 43 大塚常三郎意見書 カーボン 朝鮮総督府用紙 一綴 隣接国境外移住鮮人に関する政策決定必要 在外鮮人生活安定方策及び保護
- 44 土地処分調書 活版 一枚
- 九七、在日朝鮮人
 - 1 鹿児島県日置郡下伊集院村苗代川の沿革概要 大正一〇年八月七日 活版・カーボン 一綴 沿革概要 朝鮮人職業別人員表 鹿児島県県治概要

- 2 鮮人集団地調 大正一一年一月三日 ペン 一綴 福岡県八幡市門司市在住朝鮮人に関する報告
- 3 京都朝鮮人協助会創立関係書類 川上清・大谷瑩韶 大正一三年一月 活版・ペン・謄写 一綴 趣意書・規定 大谷瑩韶氏の用件 関係図
- 4 鮮人労働者教化事業に関する報告 幸田タマ 八幡市長永井環宛 大正一四年一月一五日 謄写 一綴
- 5 鮮人労働者内地渡航阻止調・鮮人内地渡航帰還調表・下関モルヒネ患者送還調 大正一四年一月一四日 カーボン 慶尚南道野紙 一綴
- 6 静岡県小室村村民鮮人に対する暴行事件顛末報告 相愛会本部 昭和二年七月一六日 謄写 一綴
- 7 内鮮人闘争事件に関する顛末報告 相愛会本部 昭和二年九月二四日 謄写 一綴
- 8 丸山学院について 製鉄所 昭和四年九月 カーボン 一綴 八幡市における日鮮融和事業に功績ある幸田女史の丸山学院
- 9 朝鮮同胞帰鮮論 鄭然圭 昭和五年七月一二日 活版 一冊
- 10 内地在留鮮人対策私見 満鮮縦横評論社主幹杉山宗作 墨書 一綴 日鮮融和必要
- 11 京畿道第三部発表 謄写 一綴 在京鮮人学生休暇帰鮮の際不穩の言動あり
- 12 覚 不良思想の主たるもの ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 13 在日朝鮮人に関する調査覚 カーボン 一綴
- 九八、在外朝鮮人（その他）
 - 1 在上海鮮人の行動 在上海陸軍歩兵少佐佐藤三郎 田中陸軍大臣宛 大正八年八月一五日 墨書 陸軍野紙 一綴 仮政府概要・国会組織・関係外人・支那における主要連絡地・現在の行動他
 - 2 在支那不逞鮮人対策覚書 大正八年一月三日 ペン 陸軍野紙 一枚 支那官憲と共同して取り締まり強化のこと
 - 3 某覚書 墨書 一通 問島、安東県奉天、吟爾賓、北京上海間仮政府反日運動鎮圧策（付）同方面対策費一覧 墨書 一枚
- 牧山耕蔵電報 斎藤実宛 大正九年一月二七日 一通
 - 4 英文排日宣伝冊子内容 大正九年一月 タイプ 一綴 米国における排日朝鮮人委員会パンフレットに付き報告
 - 5 朝鮮憲兵隊司令部秘密情報綴 朝鮮憲兵隊司令部 大正一〇年四月二日一五月三日 謄写 一綴 平北督弁府書記 金利賢の言動に関する件・輯安県知事公署移転其の他に関する件・湯東辺鎮守使の借款と劉参謀来安の件・不逞鮮人欧州渡航に関する件・対岸不逞鮮人取締実況の件・不穩文書掲示に関する件・借称上海仮政府の訓令に関する件
 - 6 朝憲情一一七号 大正一〇年一月朝鮮外情況月報 朝鮮憲兵隊司令部 大正一一年一月二四日 謄写 一綴 一般 状況・図們江方面・鴨緑江方面
 - 7 朝鮮人近況概要 警保局 大正一一年一月 謄写 一綴 内地在留朝鮮人の状況・在外朝鮮人の概況
 - 8 To the Students of World-A Plea for Justice and Equal Change 一九二二年四月四日 活版 一枚
 - 9 伊集院彦吉電報 斎藤実宛 大正一二年一月一六日 一通 青島在留邦人の内通によれば明年朝鮮に事件発生
 - 10 朝鮮事情機密通信第一号 亜細亜文化連盟本部細井肇 大正一三年一月二五日 活版 一冊 露国共産党の東邦連絡部 義烈団の過激陰謀 慶南鎮海の小作争議
 - 11 朝鮮事情機密通信第二号 亜細亜文化連盟本部細井肇 大正一四年二月一日 活版 一冊 在外鮮人並びに国境の不穩 上海仮政府 満州朝鮮人統一会 左傾思想の蔓延
 - 12 赤化防止に関する意見書 内務局長大塚常三郎 斎藤実宛 大正一二年五月一〇日 墨書 一綴

13 帝政期に於ける露国の対朝鮮人政策 サハレン軍政部 大正一三年 謄写 一綴

- 14 大正一五年度朝鮮人外国移住及び帰還者数 朝鮮総督府警務局 謄写 一綴
- 15 在外朝鮮人新運動団体と其中心人物 未定稿 昭和二年 カーボン 一綴 上海仮政府 高麗共産党 同済会
- 16 上海在住一般朝鮮人の状態 通訳官尾田衛 昭和二年九月二二日 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一綴 在住朝鮮人生活困難 潜称政府幹部人名 義烈団他
- 17 全支那に対して根本的解決に関する進言書 洪竣杓 昭和三年五月 謄写 一綴 日支条約による朝鮮人保護 山東一帯は自由地域に
- 18 興士団長安昌浩逮捕の経緯 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 19 海外朝鮮人の目に映する日本の朝鮮統治 四月二五日 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 20 治鮮根本問題 カーボン 海軍罫紙 一綴
- 阿片問題解決 在外不退朝鮮人取締 対朝鮮人懐柔策

○ 朝鮮・王家貴族

■ 九九、李王家

- 1 李王家系譜一覧表 朝鮮憲兵隊司令部 大正八年一一月 謄写 一枚
- 2 大正八年度李王家予算 カーボン 一綴
- 3 斎藤実覚書断簡 墨書 一枚 李恨結婚に関する件
- 4 王世子結婚式次第 墨書 李王職罫紙 一綴
- 5 李王家御慶事記念会趣意書 李王家御慶事記念会事務所 活版 一枚
- 6 洪陵表石陰記 大正九年 墨書 李王職罫紙 一綴
- 7 李世子李堤略歴 公義敬 大正九年 墨書 李王職罫紙 一綴 (付) 高義敬送付状 斎藤総督宛 二七日 一通
- 8 李王家に関する事ども 今村勲提出 大正一〇年一月一〇日 ペン 一綴 時代は過去れり朝鮮統治上高等政策として李王家に対応すべき何物をも有せず・李王家財政・朝鮮貴族に関する事他
- 9 王世子殿下御来鮮記録 大正一一年 謄写・墨書 一三点
 - 故李晋殿下葬送の儀
 - 御葬儀行列
 - 王世子妃廟見の儀 王世子展謁儀附
 - 王世子妃謁見の儀
 - 王世子同妃晋三殿下奉迎準備打合事項
 - 奉迎者資格及概数調
 - 若宮御帰省中御道筋等の件
 - 王世子同妃両殿下御帰省中日程 御列次
 - 若宮御帰省御次第
 - (新) 若宮御帰省御日程
 - 御日程
 - 王世子帰省の機会を利用せんとする三系統に付き大要申報
 - 王世子帰省に付き打合覚書
- 10 李太王即位(元治元年) 後敗亡に至りし原因 大正一一年八月三日 謄写 一綴
- 11 有吉政務総監電報 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年一二月 ペン 朝鮮総督府罫紙 二点

李世子殿下卒業報告のため帰鮮の件

- 12 宮内大臣電報綴 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年一二月 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 李王世子殿下帰鮮の件 (付) 政務総監電報 斎藤総督宛 李埈叙勲の件
- 13 李王家基本財産現在額 大正一四年度現在 謄写 李王職野紙 一枚
- 14 李拓公葬儀関係書類
 - (1) 王家に関し御参考事項 大正一五年 ペン 一綴
 - (2) 故大勲位李王葬儀配役書 大正一五年 活版 一冊
 - (3) 御葬儀次第 大正一五年六月 活版 一冊
 - (4) 裕陵遷奉内儀次第 大正一五年五一六月 活版 一冊
 - (5) 故大勲位李王葬儀心得書 大正一五年六月 活版 一冊
 - (6) 国葬参列者予定宿舍割 朝鮮総督官房秘書課宿舍係 大正一五年六月五日調 謄写 一綴
 - (7) 国葬齒簿係業務規定 大正一五年 謄写 一綴
 - (8) 故大勲位李王殿下御葬儀陪従報告 大正一五年 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴
 - (9) 積殿毎日祭莫時間・葬儀顧問等・御葬儀各係員・故大勲位李太王殿下国葬要領 大正一五年 謄写 一綴
 - (10) 総督官邸晩餐国葬参列者御招待 大正一五年六月九日 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴
 - (11) 朝鮮のために惜む 菊池武徳 大正一五年 ペン 一綴 故李王殿下御不幸哀悼
- 15 王世子子女礼遇案 墨書 李王職野紙 一綴 一案王世子子女皇族の礼 二案王世子嫡子皇族の礼
- 16 徳恵姫学業成績表 ペン 一枚
- 17 斎藤実覚書 墨書 二枚 故李太王建碑問題
- 18 高永根碑石事件に関する報告 墨書・ペン 二点 (付) 徳老書翰 藤波通訳官宛 一二月一三日
- 19 男爵趨東潤家と李王家との関係 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
- 20 李綱公書翰 朝鮮総督斎藤実宛
 - (1) 李埈一身上につき陳情書 大正八年一二月一四日 ペン 三枚 (付) 李埈公の言 ペン 警察官署野紙 二枚
 - (2) 東京移住との警官勧告について 大正九年二月二三日 墨書 一通
 - (3) 東上勧告を健康上の理由により断る 大正九年三月二六日 墨書 一通 (付) 訳文 鉛筆 朝鮮総督府野紙 一枚
 - (4) 隠居せむこと、平民たらむこと、故土に於て死すことを志願 大正九年五月一四日 墨書 一通
 - (5) 李綱一身上につき陳情懇願 大正九年八月二五日 ペン 四枚 (付) 訳文 墨書 朝鮮総督府野紙 一枚
 - (6) 副官、事務官の交替を切望 大正一〇年五月一七日 ペン 四枚
 - (7) 身辺報告 大正一〇年八月二六日 ペン 四枚
 - (8) 摂政宮殿下に言上奉呈問題の件、李王家懸案に付いて 大正一五年六月二九日 墨書 一通
 - (9) 李王職人事 湯浅政務総監宛 大正一五年七月八日 ペン 三枚
 - (10) 李■身上につき ペン 訳文共一綴
 - (11) 李王職改革 鉛筆 二綴
 - (12) 軍制に付き陳述書 ペン 二枚
 - (13) 事務官の交替を希望 ペン 九枚 (付) 李■公家に関する件 墨書 一綴

- (14) 宋伯爵を相談役とする事、副官の交換 ペン 一枚
- (15) 総督面会都合問合せ (訳文) 墨書 朝鮮総督府野紙 二枚
- (16) 李王職人事 政務総監宛 ペン 二点
- (17) 李■公殿下御使の口上 ペン 四枚
- 21 李■動静報告
 - (1) 斎藤実覚書 大正一二年五月より一三年一二月 鉛筆 朝鮮総督府野紙 一綴 李■公行跡
 - (2) 李■公殿下動静報告 京畿道警察部長 警務局長宛 大正一四年五月一八月 カーボン・ペン 京畿道野紙 一綴 (付) 李■公覚書
 - (3) 李■公身辺調査報告 鉛筆 一通
 - (4) 李■公殿下東策滞在中の行状報告 一月八日 ペン 一綴
- 22 李■公覚書 大正一四年八月 墨書 同文二綴 守屋栄夫より預るものに斎藤実の覚書あり
- 23 李■公殿下の覚書に関する件 李王職次官篠田治策 大正一四年八月二八日 墨書 李王職野紙 一綴
- 24 総督・李■公会見始末 大正一四年一一月四日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 李公摂政殿下へ提出の書面に付き協議
- 25 李■公に関する書類 カーボン 朝鮮総督府野紙 同文二部 李■公の意見書要領 李■公家に対する李伯爵趙子爵の意見 李■公家相談役会議の結果報告書 王公族禁治産若は隠居制度新設に関する件 公殿下御行迹に関する具申書 李綱公行為に関し警務総長よりの報告に付内容を李王職へ照会の件 李■公の行状に関する回報 李■公誓約提出寺内総督 李■公談話要領並 李■公寺内総督へ謝過書提出
- 26 李■公殿下に関する件 第一案 第二案 墨書 李王職野紙 二綴 李■公殿下不行跡の取締
- 27 李■公に関する覚書 鉛筆 三枚 李■身辺につき
- 28 李王職より補給を受くべき金額 ペン 一枚
- 29 李鍵公家財政に関する覚書 児玉政務総監他 昭和五年八月二九日 タイプ 李王職野紙 二枚
 - (付) 自大正元年度至同一二年度 李■公家経費支出調 同年 李■公家内用金及令息留学費別邸費支出調 カーボン 李■公事務所野紙 一綴 自大正元年至同一二年公、妃殿下内用金高低表、同年 李■公家歳出経常費高低表 ペン 一綴 韓国併合に関する条約 明治四三年八月二二日 タイプ 一綴
- 30 李■公漁場経営関係書類
 - (1) 殖産局長電報 斎藤朝鮮総督宛 大正九年五月二日 一綴 漁場の件許可を与う
 - (2) 戸坂隆吉書翰 斎藤実宛 昭和五年三月一四日 墨書 一通 丸山様御紹介の件報告 青木一葉紹介 (付) 李■公家所有漁場経営株式会社創立趣意要領 計画者真藤慎太郎・青木一葉 昭和五年三月 タイプ 一綴 契約証 昭和五年 タイプ 一綴
 - (3) 香椎源太郎書翰 朝鮮総督斎藤実宛 昭和五年三月二日 墨書 一通 李■公家より拝借漁場これ迄通り拝借許可願う (付) 申請書 香椎源太郎義親王府宛 明治三九年一〇月一五日 タイプ 一綴 漁帳拝借願 香椎源太郎 義親王府宛 明治三九年七月二八日 タイプ 一綴 契約書 大正九年五月一六日 タイプ 一綴
 - (4) 上林敬次郎書翰 朝鮮総督斎藤実宛 昭和五年三月二七日 墨書 一通 李■公家漁場経営の件 青木一葉協議行違暫く中止
- 31 廟庭配享 大正一〇年二月一六日 墨書 李王職野紙 一綴
- 32 李王増額歳費經理方針 大正一〇年 墨書 李王職野紙 一綴 (付) 斎藤実覚書 李王歳費に際し希望の件
- 33 李王職財政整理大要 大正一四年 墨書 李王職野紙 一綴 李王職改革概要・既往に於ける李王職予算の整理及

大正一四年度の緊縮計画概要

- 34 李王職の事務職員及経費に関する規程並びに王公族の身分等に関する規程概要 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 35 李王殿下親用金内訳 墨書 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 36 日韓併合後旧韓国皇室所有財産を総督府に没収し国有財産に編入したりとの風説の真相 朝鮮総督府罫紙
カーボン 一綴 (付) 覚書 ペン 一枚
- 37 斎藤実覚書 墨書・鉛筆 朝鮮総督府罫紙 一綴 閔李王職長官尹賛侍長等の辞職辞爵並に手沢栄侯の辞爵決意
の動機李大王毒殺説について
- 38 全州李氏大同宗約所義捐金録 墨書 一枚
- 39 王公家軌範目次 朝鮮総督府罫紙 ペン 一綴 (付) 参考 帝室制度審議会決定案中著しい変更点並総督府とし
て留意を要すと認めるもの摘記
- 一〇〇、朝鮮貴族・叙勲
 - 1 朝鮮貴族に関する規程 朝鮮総督府内訓二四号 大正二年一二月二五日 活版 一冊
 - 2 朝鮮貴族世襲財産令 謄写 四綴 第一案 第二案二部 (付) 皇室令案
 - 3 朝鮮貴族略歴 大正一四年一〇月 謄写 一冊 李王家外戚略系 朝鮮貴族列伝 (李載完・李載覚・李海昌他七四
名)
 - 4 朝鮮貴族略歴 子爵西四辻公亮提出 朝鮮総督斎藤実宛 昭和四年一二月 謄写 一綴 旧韓国時代の履歴大要及位
勲 併合当時の身分官職 現官職 位勲 爵及併合時の恩賜金 参考事項
 - 5 朝鮮貴族 朴富陽論説 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴 (付) 石黒地方課長送付状 藤原秘書課長宛 一〇月一五日
 - 6 朝鮮人に対する授爵に関する意見 藤波通訳官 大正一五年一二月二日 墨書・ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴
(付) 某鮮人提出録書
 - 7 財団法人昌福会関係書類 (交付金支給の件報告) 理事長児玉秀雄 朝鮮総督斎藤実宛 昭和五年一月二八日 墨
書・ペン・謄写版・活版 一綴 (付) 朝鮮貴族名簿及び一月分交付金額 昭和四年一二月調 昌福会事務進行状況
報告 昌福会寄付行為・歳入歳出予算・庶務規則
 - 8 侯爵手沢栄の動静に関する件 京警秘五一〇号 (高警二二四六号) 写 京畿道知事工藤英一 朝鮮総督斎藤実宛
大正九年一月二七日 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一綴
 - 9 宋秉■関係書類
 - (1) 伯爵宋秉■の動静に関する件 鶴沢事務官 大正一一年一〇月二〇日 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一
綴
 - (2) 伯爵宋秉■の行動に関する件 (第四報) 鶴沢事務官 大正一一年一〇月二五日 カーボン 朝鮮総督
府罫紙 一枚
 - 10 故李容翊私金関係書類 大正一三年 ペン 朝鮮総督府罫紙他 一綴 李鐘浩の陳情書に関する件 斎藤実書翰案 戸
水寛人宛 大正一三年三月五日宮内府大臣李載克書翰写 統監伊藤博文宛 光武一一年六月九日 統監府総務長官公
文写 市原第一銀行支配人宛 明治四〇年六月一〇日 内蔵院卿照会写外部大臣宛 光武八年四月一〇日 外部大臣
照会写 大日本特命全権公使林権助宛 光武八年四月一一日 日本公使館書簡 第一銀行京城支店宛他帝室債務に関
する件 隆熙二年五月四日法律第九号 内蔵院に関する件 経理院卿任免に関する件 李容翊辞令 国庫金取扱に関
する契約書明治三八年一月三十一日 李鐘浩陳情書 斎藤実宛 大正一三年三月一三日 償還請求要領 李容翊当座勘
定通帳他写真
 - 11 趙男爵家関係書類

(1) 自大正一二年六月一三日至大正一四年二月二六日趙家整理費收支決算書 大正一四年二月二六日
現在 謄写 一綴

- (2) 趙男爵家家政整理經過報告 男爵趙重九家政整理委員西四辻公堯・浅井佐一郎 大正一四年三月 謄写 一綴 報告書 通男爵家寿松洞土地分割図 趙家整理の經過概要及希望事項に就て
- (3) 故趙東潤母堂李貞淑願書 朝鮮総督齋藤実宛 大正一四年三月 墨書・ペン 一綴 債務救済願 (付) 訳文
- (4) 故趙東潤母堂李貞淑願書 朝鮮総督齋藤実宛 大正一四年三月 墨書・ペン 一綴 債務救済願 (付) 訳文 趙母堂より聴取整理の概要 李貞淑名刺
- (5) 故趙東潤母堂李貞淑提出小録 朝鮮総督齋藤実宛 大正一四年五月 墨書・ペン 一綴 債務救済願 (付) 訳文
- (6) 趙男爵家財産現況調書 昭和二年一二月二五日調 カーボン 一綴
- (7) 趙男爵家家政整理の経緯に就て 整理委員 昭和三年五月一日 謄写 一綴 (付) 舌代 整理委員 齋藤実宛 整理委員報告 趙重九宛
- (8) 趙男爵家経費收支決算書 昭和三・四年度 謄写 一綴 (付) 昭五年度趙男爵家所要経費收支過不足予定調書 昭五年度趙男爵家所要経費予算明細書 昭和五年三月 現在趙男爵家債務高調書 懿寧園山林売却後に於ける仮定收支調書

■ 12 趙子爵家不動産信託関係書類

- (1) 証書控 東北拓殖合資会社代表社員千葉隆 子爵趙大錦宛 大正一四年三月 墨書 一綴 不動産名義変更に関する証書 目録
- (2) 不動産信託契約書 子爵趙大錦・東北合資会社代表千葉隆 大正一四年三月三十一日 墨書・ペン 一綴 (付) 千葉隆書翰 齋藤実宛 大正一四年五月五日 大正一三年度趙子爵家信託土地收支計算書 大正一五年度趙子爵家信託土地收支計算書 昭和二年一〇月末現在趙子爵家信託收支表
- (3) 趙子爵家信託土地收支計算書 大正一四年 昭和二・四・五・六年 ペン・カーボン 一〇点 (付) 天災修繕決済に関する覚書 趙大錦 千葉隆 大正一四年四月 墨書 一枚

■ 13 宋伯爵家関係書類

- (1) 宋家財産整理報告 昭和二年 カーボン 一綴 貸借対照表 貸借計算表 (自大正一四年六月一五日至昭和二年一月一八日) 収入すべきもの (昭和二年) 残存財産 財産目録 不動産目録
- (2) 宋家財産委任管理制規 宋鐘憲 金仁濟 宋在龜 昭和二年 墨書・カーボン 一綴
- (3) 第三整理案 昭和二年 ペン 宋伯爵家財産管理事務所野紙 一綴 方針変更の理由 整理方法 第一号表 (収入すべきもの) 第二号表 (支払うべきもの) 第三号表 (残存財産)
- (4) 齋藤実書翰案 昭和三年一月二五日 墨書 一枚 伯爵家自身御決心実践項目

■ 14 李恒九授爵礼状 (訳) 李完用 李恒九 齋藤実宛 大正一三年二月一二日 ペン 朝鮮総督府野紙 三枚

■ 15 侯爵李完用永訣式次第書及び行列図 大正一五年二月一八日 活版・謄写 一綴

■ 16 故侯爵一堂公墓前祭文 觀化山人 大正一五年二月 墨書・ペン 朝鮮総督府野紙他 一綴 (付) 訳文 漢詩

■ 17 閔泳■氏援助の件 田中通訳官 韓李王職長官宛 昭和五年一二月 タイプ 朝鮮総督府用紙 一枚 (付) 覚書 李王職長官男爵韓昌洙 齋藤実宛 昭和五年一二月二三日 墨書 一枚

○ 朝鮮・統治一般

- 一〇一、一般

- 1 韓国併合条約 明治四三年八月二日調印 蒟蒻版 一綴
- 2 宣言案 明治四三年 蒟蒻版 一綴 日韓併合に伴う外国人及外国貿易の処理に関する宣言
- 3 日韓合併引 岡鹿門 明治四三年九月 墨書 一綴
- 4 併合の由来と施政の一斑 朝鮮総督府 謄写 一綴 始政記念日に内地各地学校等に送付すべき印刷物の原稿 (付) 送付状 大西調査課長 松村秘書官宛 八月一九日 謄写
- 5 救鮮王李完用侯と日韓和合 李成玉 活版 同文二冊 故李完用侯の日韓併合当時の心事紹介
- 一〇二、出版・放送
 - 1 平壤新聞之綱領及其発刊理由書 平壤新聞創立委員長宮川五郎三郎 大正八年一〇月六日 謄写 一綴 (付) 目論見予算書
 - 2 忠愛新聞の発刊を祝す 斎藤実 大正九年七月 墨書 一枚
 - 3 陳情書 元毎日申報全南支局長吳憲昌 朝鮮総督斎藤実宛 大正一三年八月二日 カーボン 一綴 毎日申報代金未収問題に対する京城日報社の処置に付いて
 - 4 大正一四年一〇月諺文新聞不穩記事梗概 謄写 一綴 東亜日報・朝鮮日報等
 - 5 朝鮮出版物令草案 大正一五年九月案 謄写 一綴
 - 6 京城日報問題
 - (1) 問題の問題 中村玄涛 大正一五年一〇月 活版 一冊 御用紙京城日報幹部の醜態
 - (2) 新聞之新聞 中村玄涛 大正一五年一〇月 活版 一冊 御用紙京城日報の御家騒動
 - (3) 副島道正書翰 朝鮮総督斎藤実宛 大正一五年一〇月二日 ペン 一綴 京城日報内紛問題 社則改正の件・副社長宮部誠首の件・松岡に月給二〇〇円の御贈与の件 (付) 副島道正宛電報書翰綴 ペン・鉛筆 一綴
 - (4) 合資会社京城日報社に関する契約書 斎藤実代理美濃部俊吉 タイプ 朝鮮総督府郵便紙 一綴 (付) 斎藤実覚書 墨書
 - (5) 京城日報不敬事件と朝鮮統治 東亜之日本社長金谷雅城 昭和二年一月 活版 一冊 改元詔書偽造事件糺弾
 - 7 朝鮮内発行新聞紙一覧表 朝鮮総督府警務局図書課 昭和二年一月一八日 謄写 一綴 内地人・外国人・朝鮮人発行新聞雑誌
 - 8 不許可出版並削除記事概要訳文 警務局図書課 昭和二年八月中 謄写 一綴 朝鮮歴史唱歌集 朝鮮農人 暁鐘 東国 戦乱史 無窮花他
 - 9 不許可出版並削除記事概要訳文 警務局図書課 昭和二年九月中 謄写 一綴 鐘 大衆新語辞典 朝鮮少年 朝鮮商業 彙報 学窓他
 - 10 昭和三年度上半期仮決算報告書 合資会社京城日报社 謄写 一綴
 - 11 昭和三年度決算報告書 合資会社京城日报社 カーボン 一綴
 - 12 京城放送局説明資料 三点 社団法人朝鮮放送協会定款 活版 社団法人朝鮮放送協会役員 タイプ 京城放送局新 放送所局舎平面図 青焼
 - 13 昭和四年度事業会計報告書 京城放送局 昭和五年 活版 一冊 事業報告 会計報告 出資社員名簿
 - 14 朝鮮に於ける出版物概要 朝鮮総督府警務局 昭和五年五月 活版 一冊 朝鮮内に於ける新聞紙雑誌並其の他の 出版物の発行状況 朝鮮内発行新聞紙出版物取締状況 移輸入新聞雑誌普通出版物並其の取締状況 新聞記事の制限禁止及解除 特殊新聞記事の取締に就て

- 15 中外日報創刊の辞 訳文 十一月五日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 16 朝鮮文新聞紙発行願書 宋秉■ ペン 一綴 趣意書 要項 創立費予算
- 17 板垣拓務省嘱託依頼の朝鮮日日新聞許可に関する件 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴
- 18 毎日申報槿花（無窮花）使用の件 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴 題号背景に槿花を使用したことについて
- 一〇三、朝鮮関係諸団体
 - 1 朝鮮協会関係書類
 - (1) 朝鮮協会規約 朝鮮協会仮事務所 大正八年七月 活版・朱訂 二枚
 - (2) 朝鮮協会名簿一第一回報告) 活版 同文二枚
 - 2 会員名簿 中央朝鮮協会 大正一五年六月末日現在 活版 一冊
 - 3 国民協会関係書類
 - (1) 国民協会史 第一 大正一〇年一月 活版 一冊 協成倶楽部の設立及び経過 国民協会の設立
 - (2) 嘆願書 国民協会会長・時事新聞社長開元植 朝鮮総督齋藤実宛 大正九年六月八日 カーボン 一綴
国民協会時事新聞社経営に付き財政援助要請 (付) 事業経営概算書
 - (3) 自大正一四年一月一日至大正一四年一二月末日国民協会会計報告 総務李東雨他玉名 墨書 国民協会本部野紙 一綴
 - 4 一進会関係書類
 - (1) 一進会交渉類末書 内田良平 大正九年七月二八日 謄写 一綴
 - (2) 元一進会有力者名簿 謄写 朝鮮総督府野紙 一綴
 - 5 極東同族会趣意書 渋川雲岳持参 大正九年四月 謄写 一綴
 - 6 大東同志会状況報 第二号 大正一〇年 謄写 一綴 朝鮮半島思想憂慮 太平洋会議に対してと題する演題にて各地巡回講演会試む
 - 7 麗沢会創立の趣意 鹿沢会 大正一〇年一月 活版 一枚
 - 8 愛国婦人会朝鮮本部総会報告 大正一〇年 謄写・墨書 愛国婦人会朝鮮本部野紙他 一綴
 - 9 内鮮協会設立趣意及会則 内鮮協会本部 大正一一年七月 活版 一冊
 - 10 朝鮮倶楽部関係書類 大正一一年一月 七点 勧誘書 朝鮮倶楽部規約 理事候補二〇名氏名 朝鮮倶楽部設立趣意書並規約 返信葉書
 - 11 同光会関係書類
 - (1) 朝鮮内政独立請願に就て 同光会本部 大正一一年四月 活版 一冊 (付) 朝鮮内政独立請願書 朝鮮内政独立請願経過
 - (2) 朝鮮民情視察報告 同光会本部 大正一二年二月七日 活版 一冊 日程 上塚司報告 荒川五郎報告 副島義一報告 朝鮮民意聴取録
 - 12 共昌 第六号 東亜共昌会 大正一一年一〇月二二日 活版 一綴 在満三五万の内地人諸君一千七百有余万朝鮮人諸君に告ぐ 東亜共昌会設立趣旨他
 - 13 共昌之道第一号 共昌社 大正一二年八月三〇日 活版 一綴 巡南余滴朝鮮に於ける思想の流 (二) 杉慕雨 共昌之道 杉市郎平他
 - 14 朝鮮問題有志会結成案内 同会則案 朝鮮問題有志会準備委員 石塚英蔵宛 大正一二年一〇月六日 謄写 一綴
 - 15 同民会関係書類
 - (1) 同民会創立趣旨書並規約書 活版 一枚 (付) 同原稿 墨書 一綴

(2) 同民会役員（本部）謄写一綴

- 16 朝鮮協和会設立趣意書 渋沢栄一より手交 二月一八日 タイプ一綴 趣意書 規約 常務委員
 - 17 鮮満協会の栞 鮮満協会事務所 活版一枚 沿革等案内
 - 18 相愛会関係書類
 - (1) 朝鮮労働相愛会会則 活版一枚
 - (2) 満州視察状況と本会の態度 相愛会総本部 活版一冊 声明書 綱領 緒言 本会の態度 圧迫の実情 原因動機 帰化問題 不退鮮人 大刀会 満州に於ける朝鮮人使用の状況 対策如何 結論
 - (3) 相愛会館事業要覧 相愛会館 活版一冊 序言・本会の沿革・建築及設備・施設事業・其他施設・組織及経営
 - (4) 相愛会館建設情況報告 昭和三年一〇月 謄写一綴（付）新築会館建設の写真一葉
 - (5) 朝鮮総督府政務総監池上四郎依頼状 逓信大臣望月圭介宛 昭和三年五月一〇日 カーボン 同文二枚 財団法人相愛会への簡易保険資金融通に関し依頼
 - 19 朝鮮儒道振興会関係書類
 - (1) 儒道振興会趣旨書 同会則 活版一枚
 - (2) 儒道振興会発起人名簿 墨書一枚
 - (3) 朝鮮儒道振興会経過状況報告書 金栄漢 朝鮮総督齋藤実宛 大正九年四月 墨書三綴 総督府の援助要請に関する書翰 会の目的 経過状況報告
 - (4) 上書 軍威儒道振興分会 齋藤実宛 大正一〇年五月 墨書一枚（付）金斗鉉、朴文植名刺 活版一枚
 - 20 財団法人自彊会第三年度経過状況報告書 自彊会 昭和五年四月 活版一冊 事業報告 収支決算（付）役員名簿 活版一枚
 - 21 朝鮮実業倶楽部概況 昭和五年一二万現在 ペン 朝鮮実業倶楽部野紙一枚
 - 22 昭和朝鮮協会要覧 昭和朝鮮協会本部 活版一冊
 - 23 前田小林兩人東上中の経過 朝鮮仏教団 ペン 財団法人朝鮮仏教団野紙一綴 内鮮懇話会に付き渋沢子爵他と面会経過報告
 - 24 朝鮮事情研究所栞 活版 同文二部（付）朝鮮事情研究所事業一般 タイプ一枚
 - 25 商務団・儒教団・朝鮮宗教団・在外鮮人の運動に関する近況 墨書一綴
 - 26 孔夫人忌辰四〇周年追慕式発起文 大東斯文会 大正一〇年二月二九日 活版一枚 記念物立学校要目
 - 27 朝鮮書画協会規則附細則 大正七年六月一六日 活版一冊（付）職員録 墨書一枚
- 一〇四、意見書類
- 1 建白書 宮川五郎三郎 朝鮮総督府統監寺内正毅宛 明治四三年七月二九日（大正一二年刊） 活版一冊 第一次 統監政治の政弊新統監の新政綱立国の中心を看破せよ公私有物件を保証せよ地籍処分の大英断を望む 地籍を挙げて民有に編入せよ 結論
 - 2 京城居留民会議員団意見書 活版一綴 建議案 居留民会議員田中半四郎他 議長高橋章之助宛 大正二年一〇月四日 陳情書 在鮮民団議員連合会内閣総理大臣他宛 大正元年一一月二五日 陳情書 朝鮮京城居留民団陳情委員 内閣総理大臣他宛 明治四五年六月二七日 陳情書京城居留民団民長古城菅堂 朝鮮総督宛 明治四五年三月一五日 陳情書 京城居留民団民長古城菅堂 朝鮮総督宛 明治四四年六月二六日 陳情書京城居留民団民長古城菅堂 朝鮮総督寺内正毅宛 大正二年一〇月六日（付）送付状 海軍大臣齋藤実宛 大正二年一〇月六日 活版一通
 - 3 朝鮮時局管見（写） 宇都宮太郎 田中義一宛 大正八年五月一七日 ペン 朝鮮総督府野紙一綴

- 4 総督施政方針に関する意見書 国分三亥 大正八年五月 謄写 一綴
- 5 内鮮の關係 竜山某有力者談 大正八年七月 活版 一冊
 - 6 朝鮮人の観たる朝鮮問題 一朝鮮人 大正八年七月 カーボン 一綴 緒言 騷擾の原因 騷擾の経過と所見 統治方針の確立今後の世界大勢は益々日鮮統合提携を要す 日鮮人相互の諒解 朝鮮人の待遇及取扱 言論機関 教育問題 産業問題 朝鮮に於ける宗教問題風俗習慣の改善に就て 結論
 - 7 連合宗教会議建白書 在朝鮮新教福音伝道団連合会議長ヒュー・ミラー 幹事ビー・ダブルユー・ビリングス 朝鮮総督齋藤実宛 一九一九年九月二九日 謄写 一綴 伝道事業 教育事業 医療 宗教文学 所有権及財政
 - 8 朝鮮治式意見書 下国 齋藤実宛 大正八年九月一五日 墨書 一枚
 - 9 統治意見 李完用 大正八年九月 墨書 一綴 (付) 訳文
 - 10 意見書 東京青山学院ハーバート・ウエルチ 朝鮮総督齋藤実宛 大正八年十一月三日 謄写 一綴 政治犯処遇 信教の自由 教育問題 (付) 齋藤実覚書 墨書 一枚 ウエルチ抗議に関し善後策
 - 11 朝鮮統治唯一の主義 塩川一太郎 大正八年十二月七日 墨書 一綴
 - 12 朝鮮人の心事 李範昌 朝鮮総督齋藤実宛 大正八年十二月二六日 墨書 一綴
 - 13 意見書 依孫一 大正八年 ペン 一綴 鮮民負担の急劇なる増加を避ける 低級内地官民監督取締他
 - 14 意見書 宋秉 他 大正八年 墨書 一綴 東洋拓殖会社不適合 帝大研究会経費充当のための朝鮮森林伐採廃止他
 - 15 下村氏意見書 大正八年 墨書 一枚 人心収攬の方策
 - 16 意見書 大正八年 墨書 一綴 官民を戒節して朝鮮の事物に透徹せる概念を有せしめんこと 法系の孤立を緩和して内地人の定着を容易ならしめんこと 民団を復興して府郡自活の基礎を定めんこと他
 - 17 十三道民情に関する意見書 大正八年 謄写 一綴 地方自治制実施の爲面会府会郡会道会の施設を要す・各道人民の代表者を会集し民意暢達機関の設立を要す他
 - 18 某覚書 大正八年 墨書 一枚 南滿鉄道・中枢院等
 - 19 朝鮮統治私見 上下 原敬 大正八年 蒟蒻版 二綴 内地同化の立場より統治方針
 - 20 阿部充家意見 大正八年 謄写 一綴 独立運動 日本の国際的位置 総督政治に対する反感 新教育の結果
 - 21 朝鮮統治意見 阿部氏 大正八年 墨書 一綴 朝鮮民族に対する了解 朝鮮統治三大難関
 - 22 朝鮮統治問題 黒竜会本部 大正九年一月 活版 一冊 鮮人独立運動の根底 (内田良平) 朝鮮統治に就て (葛生能久) 騷擾善後策 (関元植)
 - 23 朝鮮統治策論 細井肇 大正九年二月 活版 一冊 朝鮮統治の根本、心理 悪化せる朝鮮の現状 排日の用字を禁断せよ 危急に迫れる国境問題 国境の自由郷土 儒風並に天道教を振興せよ 仮政府撤去分散案 五大秘密結社の結合 新聞政策の謬妄 暗行御史を全道に派遣せよ 警備機関の不備濫伐禁忌と燃料 道庁所在地変更の急要 在来種と優良種並に政友会の利権欲
 - 24 半島統治の当面応急策 特に御婚儀を一新紀元とする人心轉換策を論ず 細井肇 朝鮮総督齋藤実宛 大正九年四月一三日 ペン 一綴 予想外の悪化 鮮人の弾力性 内地延長主義の可否 一進会の末路と親日の報酬 思想系統と結社の分派 御婚儀を一新紀元とする政策
 - 25 朝鮮時局私見 内田良平 大正九年七月二八日 謄写 一冊 朝鮮時局私見 在外鮮人の行動 (付) 送付状 内田良平 齋藤実宛 大正九年七月一三日 謄写 一枚
 - 26 所感 宋秉 他 大正九年八月 謄写 同文二綴 朝鮮統治意見
 - 27 朝鮮統治論 持地六三郎 大正九年一〇月 墨書 統監府通信管理局野紙 一綴 総論 日鮮の歴史的関係 日本の朝鮮同化は果して可能なりや所謂本国延長主義 如何に此難局問題を解決すべき乎 結論 (付) Japan's Problem J.

O. P. Bland (新聞切抜) 活版一枚

- 28 内鮮人の本務 細井肇 自由討究社 大正九年一月 活版 一冊 内鮮融合の基本的説明 過激思想・民族自決主義・独立論の根本的謬妄を指摘して内地延長主義の旨趣を明らかにし鮮人の本務を論ず
- 29 朝鮮総督府中枢院参議劉猛意見書(写) 拓殖局長官古賀廉造宛 大正九年一月一七日 墨書 拓殖局野紙 一綴 (付) 古賀廉造送付書 斎藤実宛 一月七日 墨書 一枚
- 30 朝鮮統治後論 持地六三郎 大正九年 墨書 一綴 緒言 王道と霸道と 時務策
- 31 朝鮮統治問題 大正一〇年一月 墨書 日本生命保険株式会社京城支店野紙 一綴 鮮人の非 内地人の非 結論
- 32 朝鮮統治の将来 橋本徹馬 大正一〇年二月 活版 一冊 緒論 武断政治と文化政治 清施設と其努力 将来の難関 結論
- 33 公開状(斎藤実君に与う) (写) 白岳山人 大正一一年四月一日東亜日報所載 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 34 時局観 李範奎 大正一一年四月一日東亜日報所載 ペン・カーボン 一綴 日鮮融和政策 儒教振興 (付) 翻訳
- 35 献策 沈日沢 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年二月五日 墨書 三枚
- 36 建白書(朝鮮統治策) 宮川五郎三郎 大正一二年二月一六日 活版 二冊 如何なるか是れ政道 長谷川好道の阿房宮 寺内伯の治国平天下斎藤総督の政道を問う 朝鮮の産業界 東洋拓殖会社論 朝鮮銀行論 結論 (付) 宮川五郎三郎氏建白書中耕牛貸付に関する件 大正一二年四月二日 ペン朝鮮総督府野紙
- 37 朝鮮統治の過去現在及び将来 山県五十雄 大正一二年三月 活版 一冊 併合当時に於ける日本国民の狂態 成功したる寺内総督の政策 昔の韓国と今の韓国 独立騒擾の四大原因 今日の安静と将来の脅威
- 38 同化政策に対する建議案 忠清北道 郭昌鉉 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年五月 墨書 一綴 不退扇動者の心理 和同主義を施すべき方向 (付) 郭昌鉉履歴書 墨書 一綴 郭昌鉉上書 墨書 一通
- 39 大日本主義の確立と朝鮮統治方針の変更(内地延長主義又は同化政策の棄擲共存共栄主義の採用)に関する意見書 細井肇 大正一二年九月一七日謄写 一綴 暴力革命の思想 排妥協の精神 衷心の要求は何 朝鮮人の鈍重性と激情性 朝鮮人の現状と失性 日本朝野の朝鮮問題に対する無知と冷淡朝鮮問題の観方 翻訳的統治政策の産物 大日本主義の確立 内地延長と共存共栄 国民、心理の更改と国是の確立
- 40 細井肇意見書
 - (1) 太平洋會議に際して不退鮮人に対する私見 斎藤実宛 大正一〇年八月一九日 カーボン 一綴 太平洋會議を機会に策動せんとする在外不退鮮人に対しその独立論の根拠を粉碎すべし
 - (2) 鮮内赤化対策 大正一二年二月七日 カーボン 一綴 鮮人上下の生活の不安定・赤化宣伝恐るるに足らず
 - (3) 鮮内赤化対策(二) 大正一二年二月八日 カーボン 一綴 朝鮮人の慰安と娯楽
 - (4) 鮮内赤化対策(三) 大正一二年二月九日 カーボン 一綴 自決より共産へ・儒教運動の範囲・尊むべきは人の感激
 - (5) 鮮内赤化対策 大正一二年二月一〇日 カーボン 一綴 新日本党の創設
 - (6) 水田事業と鮮人救済に関する私案 斎藤実宛 カーボン 一綴 満州における水田事業と朝鮮人救済に関する私案
 - (7) 朝鮮統治方針に関する意見書 大正一二年 カーボン 一綴 大日本主義の確立と朝鮮統治方針(内地延長主義の棄擲共存共栄主義の採用)に関する卑見
- 41 李東■外四名意見書 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二年一月一八日 墨書

42 思想善導に関する実行条件 朝鮮小作人相助会朴炳哲他各派有志発起人一九名 大正一三年一月一六日 墨書 綴

- 43 朝鮮論 川島清治郎 大日本社 大正一三年一月 活版 一冊 入鮮第一の感 第二の疑 貧弱なる旧王国 総督政治の努力他
- 44 朝鮮統治心理の根本的変更に関する意見書 細井肇 大正一三年一二月 活版 一冊 暴力革命の思想排妥協の精神 衷心の要求は何朝鮮人の鈍重性と激情性 朝鮮人の現状と失性 日本朝野の朝鮮問題に対する無知と冷淡 朝鮮問題の観方 翻訳的統治政策の産物 大日本主義の確立内地延長と同保共栄 国民心理の更改と国是の確立 (注) 一〇四の39と同文
- 45 朝鮮人の、心の声 奉天 楊在河 大正一三年一二月 カーボン 一綴 朝鮮統治は朝鮮人本位とせよ 朝鮮人を危険視するなかれ他
- 46 封事謄本 宋秉■ 大正一三年 謄写 一綴 (付) 封事謄本 (写) 宋秉■ 大正一三年 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 47 意見書 慶尚商道参与官崔廷徳 墨書 慶尚南道罫紙 一綴 中枢院に関する意見 地方諮問機関に関する意見 道参与官に関する意見 鮮人官吏に関する意見 郷校財産に関する意見 漢文書堂を以て私立学校に為すの件に関する意見
- 48 治鮮策要旨 松岡静雄 謄写 一綴 法理論より見たる朝鮮 実質上の朝鮮 治鮮方針 当面の諸策
- 49 鮮人宣教師某の意見 謄写 一綴 緒言 前編 (併合に対する朝鮮人の見解・排日論の根拠及其の党派・思想界の色別け・騒擾の原因) 後編 (寛厳適度の制度・種々必要なる設備と改革事項・現行政治の長所) 附言
- 50 朝鮮統治に就て 副島道正 活版 一冊 朝鮮統治の根本義 京城日報社説副島伯の朝鮮統治論 大阪毎日新聞社説副島伯の朝鮮自治論 京城日報就任之辞 六千号の発刊に際して 始政一五回記念日に際して 偉人伊藤博文公
- 51 沈宜性意見書 斎藤実宛 二月一日 墨書 一枚 政治に対しての秘見
- 52 某覚書 墨書 一枚 朝鮮統治意見
- 53 朝鮮統治の根本対策 石森久弥 昭和三年九月 活版 一冊 緒論 統治政策の確立 財政経済の更新 文教の諸問題 結論 付録 朝鮮を斯く観る
- 54 山梨朝鮮総督の秕政 平井三男 昭和三年 活版他 一綴 民に威信なき山梨総督 後暗き政治と奇怪なる身辺の警戒 謀殺の未遂と傷害の陰謀 愚に盲なる教育政策 教育審議委員会の設置 教育の悪果に悩む現代朝鮮 民族自決より教育万能病へ 教育発展の世界的レコードと熱病の通下 錯覚か人気政策か 思想の危機を何と見るか 驚くべき浅薄教育の廉売 糊塗したる妄想案の末路 竜頭蛇足を断絶すべし 人を智めず自ら責めよ (付) 第四号議案師範教育改善に関する件 (朝鮮教育令中師範教育に関する事項の一部を改正)
- 55 陳情書 朝鮮国民協会 李東両 昭和四年四月 謄写 一綴 拓殖省新設に付き朝鮮管轄外を要請
- 56 陳情書 拓殖省朝鮮除外同盟 昭和四年四月 カーボン 一綴 拓殖省新設に付き朝鮮管轄外を要請
- 57 朝鮮統治意見書 附人口食料問題 岩佐善太郎 昭和三年三月 活版 一冊 (付) 対支意見の一端 岩佐善太郎 昭和三年八月一〇日 活版 一冊 朝鮮民論 昭和三年八月一日 活版 一部 岩佐善太郎書翰 斎藤実宛 昭和四年八月一八日 ペン 一通
- 58 朝鮮統治意見 韓乙 朝鮮総督斎藤実宛 昭和四年九月一日 墨書 一枚 朝鮮全民族の声を聞く事 衆議機関の必要 産業啓発他
- 59 朝鮮統治意見 片山慶助 朝鮮総督斎藤実宛 昭和四年九月八日 ペン 一通 綱紀の肅正 諸経費の節約
- 60 朝鮮統治意見 菊池謙讓 朝鮮総督斎藤実宛 昭和四年九月 墨書 一枚 内鮮両民族の共存共栄は外に対して高唱すべし 内鮮融和も外に対したる場合に実現するに力むべし他

- 61 朝鮮統治意見 金正基 朝鮮総督齋藤実宛 昭和四年九月 カーボン一綴 財政緊縮に関する件 郡に社会囑託を設置するの件
- 62 進言 附国民協会の現状 国民協会長金明溶 朝鮮総督齋藤実宛 昭和四年一〇月 墨書一綴 官紀及綱紀の肅正 鮮人青年の登用他
 - 63 李泰浩意見書
 - (1) 罪服善冠説関係綴 李泰浩 昭和四年一一月 活版・ペン・墨書 朝鮮総督府罰紙他 二点 李発明の罪服善冠の紹介宣伝 (付) 翻訳 罪服善冠説・罪服善冠説附演・道德富貴説・道德指路歌・公益歌・鮮人悲歌・人尊像剽造説
 - (2) 上総督書 李泰浩 朝鮮総督齋藤実宛 昭和四年一一月二日 墨書 李男爵家罰紙他 一綴 (付) 翻訳 緊縮節約に関する意見書 朝鮮の慣習風俗の改善を要する諸項
 - (3) 上総督書 李泰浩 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年二月一日 墨書一綴 学生騒擾事件の善後策に対する意見
 - (4) 党弊に就て 党弊の説 李泰浩 昭和六年二月一日 墨書一綴 昭和六年二月国会につき
 - 64 手甲柄意見書 朝鮮総督齋藤実宛 昭和四年 墨書一枚 朝鮮自治 兎玉政務総監留任希望他
 - 65 誤れる朝鮮の自治権拡張 西原亀三 昭和五年四月二五日 活版一冊
 - 66 朝鮮思想対策短見短案 武蔵浪人洪三杓 昭和五年一〇月三日 タイプ一綴 朝鮮悪化思想団体・思想善導短案
 - 67 第五八回帝国議会に於ける時局救済及農村発展に関し政府に対する質問演説の概要 附朝鮮参政権問題に言及す 衆議院議員多木久米次郎 昭和五年 活版一冊
 - 68 陳情書 咸興郡儒林代表 昭和五年九月 ペン一綴 咸興郡郷校財産従前通り郡守管理を懇願
 - 69 朝鮮文化政治の検討 此経春也 昭和五年九月 活版一冊
 - 70 朝鮮統治の根本方針は何であるべきか 浜田恒之助 昭和六年三月 活版一冊 鮮人故老の進言 我が植民政策の出立以来の過誤 同化政策同化政策の成功せざる所以 英領印度を何と見るか 朝鮮らしき政治を行へ 文化政治 内鮮の同胞化 同胞化の完成 一視同仁の意義 鮮人の要求 鮮人の参政権 偉大なる国民たれ
 - 71 朝鮮統治意見覚書 菊池武徳 五月二五日 墨書一綴 朝鮮十都市独立選挙区とし代議士を国会へ 内地農民移住 部落を促す 鮮人工業品の教育動力を与え販売機関として白木屋交渉 雑誌「朝鮮」官報化 別に朝鮮宣伝の出版を創始
 - 72 朝鮮の現状に就て 京城通信社長大垣丈夫 活版一枚
 - 73 朝鮮統治策卑見 小田原御花畑中井喜太郎 墨書一綴 朝鮮を内地人の朝鮮とし独立運動を絶望たらしむ可し 秘密推移の内朝鮮を内地人の朝鮮たらしむ可し 反乱抑止のため米価を低落せしむ他
 - 74 地方行政刷新に関する意見 吉松憲郎 カーボン一綴 鮮人思想界の善導に関する件 内地人移住に関する方針を確定する件 地方文廟の維持方法を確定するの件 夫役賦課の軽減に関する件 小作制度の改善に関する件 租税公課の種目減少に関する件 農会を設置し産業団体の整理統一に関する件 地方官吏に通訳手当支給の件 鮮人警察官の取締に関する件 面行政の刷新移管する件 面職員の待遇改善に関する件 区長の経費弁償支給に関する件
 - 75 世界の大大勢と朝鮮の将来 (東亜日報所載) 謄写一綴 過去盛衰の史跡 最近史実は如何 三一運動の由来 現状は如何 大大勢の趨移は如何 日本の外憂内患 東洋政局の危機 日本と朝鮮の関係 雄偉なる抱負と遠大なる経緯
 - 76 意見書 崔永年 墨書一綴 学生 民食 自治 思想 講学 詩風 小説
 - 77 Memorandum for Baron M. Saito タイプ二枚 Concerning plan proposed for avoiding difficulty in Mission Schools 他

一〇五、外国人論評

- 1 世界に於ける日本の地位 市俄古大学教授人類学博士エフ・スタール氏講演 大正六年三月二〇日 カーボン 陸軍野紙 一綴 於大阪天王寺公会堂 朝鮮・南満州領有肯定論
- 2 白禍対朝鮮及び山東 (一) - (八) C・H・シェリル 大正九年四月二六日-五月四日 活版 八枚 京城日報記事切抜
- 3 朝鮮問題の真相 米国宣教師フランク・ハーロン・スミス論文翻訳 大正九年五月 活版
- 4 在留外国人对総督政治思想変遷 外事課 大正九年度 謄写 一綴 斎藤新総督の政治につき
- 5 朝鮮統治に関する外国人の批評 朝鮮情報委員会 大正九年一二月 活版 一冊 朝鮮自決の要望 (ゼー・イー・ムーア) 「朝鮮に於ける独立運動」の梗概 (マッケンジー) 朝鮮統治批評の書柬 (ヘンリー・エム・ブルーエン)
- 6 外字新聞抄訳綴 第一二号一二一八号 (欠号あり) 大正九年一月二六日-一〇年五月 謄写 一綴 北京デイリーニュース チャイナプレス ジャパンタイムズアンドメール他
- 7 情報彙纂 第三 朝鮮情報委員会 大正一〇年三月 活版 一冊 朝鮮評論一九二〇年一一月号 米国著書「韓国の復興」の梗概 独逸新聞伯林日報
- 8 「自由ノ朝鮮」誌の発刊と仏国に於ける朝鮮問題の現状 謄写 一綴 (付) Albert K に関する情報 外務省情報部松岡新一郎 斎藤実宛 ベン
- 9 情報彙纂 第七 朝鮮に関する外国人の評論 朝鮮情報委員会 大正一〇年八月 活版 一冊 朝鮮問題の感想 (ビー・イー・スミス氏) ビゲロー氏の講演 ビゲロー氏の日本植民地政策 世界に於ける日本の地位 (スタール博士)
- 10 外字新聞抄訳 第二六九号 官房外事課 大正一〇年一〇月二九日 謄写 一綴 日本は朝鮮に於いて事実何を為しつつありや 前南満鉄道顧問エーチ・ジエー・ムレット=メリック
- 11 Une conversation avec l'amiral Saito (仏文新聞切抜) A. Maybon 一九二一年七月 活版 一枚 (付) 同記事抄訳 タイプ 外務省用紙 一綴
- 12 外事新聞抄訳 第二七二号 官房外事課 大正一一年一月二四日 謄写 一綴 日本の真相 (朝鮮問題他) ウィリアム・アクスリング
- 13 the Far Eastern Review 一九二四年一二月号 活版 一冊 Saito—his Work inKorea George Bronson Rea
- 一〇六、視察
 - 1 シャム皇帝御来朝に関する件 大正九年三月二〇日 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴 観光案内他 (付) 斎藤覚書 墨書 一枚
 - 2 シャム国文部大臣ダアニ親王同王妹殿下秘書京城におけるプログラム 九月二八・二九日 謄写 一枚
 - 3 閑院宮奉迎関係書類
 - (1) 閑院宮殿下御渡鮮に関する奉迎送打合事項 謄写 一綴 第一回 (九月二〇日) 第二回 (九月二七日) 第三回 (一〇月二日) 別途打合事項以外の事項
 - (2) 奉迎者資格 謄写 二綴
 - (3) 南大門駅奉迎に付心得置かれたき事項 謄写 一枚 (付) 閑院宮殿下御入京南大門駅附近奉迎位置要図 青焼 一枚
 - (4) 総裁殿下学校御巡視御発着日時並御道筋 閑院宮殿下学校御巡視順序 謄写 一綴
 - 4 衆議院支那視察議員団に関する件 庶務部長 大正一一年九月二九日 タイプ 一綴 旅行日程

5 高松宮宣仁親王殿下鮮内御視察の概要 謄写 一綴 金剛山（九竜淵）御探勝 九月一〇日より二三日

■ 6 朝融王滞城関係書類

- (1) 朝融王殿下御滞城関係書類 謄写 一綴 朝融王殿下御滞城中の御行動一般 李王家午餐其の他に關する打合事項 艦隊来仁中総督閣下関係事項抜粋第一艦隊仁川入港時に於ける本部側招待人名 第一艦隊司令部各戦隊司令部員（大尉以上）各艦長並に中佐以上 旅館及自動車割当予定表海軍知識普及に就て記者諸君に御願す（一色海軍中佐）軍艦観覧に就ての諸注意（一色朝鮮総督府御用掛談）四月二〇日仁川入港の旗艦陸奥に於ける午餐招待人名 第一艦隊仁川予定投錨地 朝融王殿下八日行動一般 司令長官午餐及艦隊アットホーム関係事項特務艦間宮要目概要 連合艦隊（一日）生糧品所用額調 団体に於ける使用の冷凍鮮魚還元標準時間表

- (2) 朝融王殿下御滞城中の御行動一般 謄写 一綴

■ 7 賀陽宮殿下御行動予定 総督府御用掛武官 大正一四年五月一八・一九日 謄写 一枚

■ 8 米国コンナー少将一行招待人名他 大正一三年 ペン・タイプ・謄写 一綴 招待人名 コンナー少将略歴 コンナー少将京城滞在間行動予定

■ 9 大臣一行朝鮮訪問に関する連絡電報（写） 古賀 一〇日 カーボン 朝鮮総督府罫紙 一枚

■ 10 Jphn R. Mott 博士来朝予定概要 三・四月 謄写 一綴

■ 11 御巡視箇所及順序表 カーボン 一枚 江界郡

■ 12 Admiral Behnche's visit to Seoul タイプ 一枚 旅程

■ 13 俗椎田法住寺御案内順序 謄写 同文二綴

■ 14 荒川・副島・上塚三代議士の朝鮮訪問について 墨書・ペン 一綴

■ 15 利川・陽智・水原視察里程 カーボン 一枚

■ 一〇七、朝鮮人履歴・調査書

■ 1 警視庁官房特高課長石井保報告 朝鮮総督府秘書官伊藤武彦宛 大正九年七月一三日 墨書 警視庁罫紙 一綴 佐々木敏夫（趙万錫）上書の件報告

■ 2 沈相翊の件顛末書 千葉第二部長報告 大正九年九月一一二月 カーボン 警察官署罫紙 一綴 沈相翊不正事件について

■ 3 沈相翊不正事実取調要領 甲乙 大正一〇年一月一七日 墨書 警察官署罫紙 二綴 侯爵李海昇より詐取せりとの説他

■ 4 上書 朴泰善 総督宛 大正一〇年八月二五日 墨書 一枚 公途へ就職依頼

■ 5 前中樞院顧問子爵権重顕略歴 大正一二年 墨書 二点 略歴 内地との関係略歴

■ 6 朴春吉上書（訳文） 朝鮮総督斎藤実宛 大正一二月二〇日 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴（付）朴春吉に対する調書

■ 7 金正基登用願 ペン 一綴

■ 8 関泳煥・崔益鉉略歴 千葉警務部長報告 ペン 京畿道罫紙 一綴

■ 9 陸鍾允氏経歴 墨書 一綴 経歴 陸氏と日本参謀本部の関係 陸氏と伊藤統監の関係 陸氏と桂公及び大浦子との関係 陸氏と原敬氏との関係 陸氏と清浦内閣との関係 陸氏の性質及居常

■ 10 韓相竜交際者名簿 謄写 一綴

■ 11 韓相竜の言動に関する件 ペン 一綴

■ 12 姜斗永功績 カーボン 忠清南道罫紙 一枚 地方改良功勞者

13 退溪先生李滉他調 ペン 朝鮮總督府罫紙 一綴

- 退溪先生李滉 柳成竜 金誠一 李彦迪 張顯光 郭再祐
 - 14 尹沢栄に関する調査 カーボン 警察官署罫紙 一綴
 - 15 任■宰履歴書 昭和二年二月三日 墨書 一枚
 - 16 警務局東京出張員赤沢寛報告 斎藤実宛 昭和三年六月一四・二一日 ペン・カーボン 朝鮮總督府罫紙 二点 要視察人（金鐘）言動に関する件
- 一〇八、朝鮮關係地図類
 - 1 韓国電信電話図 明治四一年七月参謀本部調 印刷 一枚
 - 2 最新釜山港市街図 明治四四年一月改正 印刷 一枚
 - 3 鎮海大市街發展予測図 明治四五年五月 活版 一枚
 - 4 朝鮮道路全図 大阪十字屋編 大正八年六月 活版 一枚 一二〇万分の一（付）京城市街全図
 - 5 忠清北道道勢一斑 大正八年一〇月 活版 一枚 道勢 忠清北道管内図 大正六年生産額比較 大正七年生産額比較 名所旧跡
 - 6 仁川港 大正一〇年海軍測量 印刷 一枚 一万五千分の一
 - 7 京城・轟島 大正一五年修正 活版一枚 二万五千分の一
 - 8 多獅島概要 昭和五年六月 ペン 朝鮮總督府罫紙 一綴 多獅島 新義州附近の地勢と多獅島錨地（付）多獅島港海図 大正一一年 青焼 一枚 鴨緑江口雑用海図 大正一〇年測量 印刷 一枚
 - 9 鎮海軍港各官舎平面図 青焼 一枚
 - 10 永興湾一般図 謄写 一枚
 - 11 朝鮮道別地図 五〇万分の一 朝鮮總督府 大正七年臨時土地調査局編纂製版 活版
 - (1) 京畿道 昭和一二年修補 一枚
 - (2) 忠清北道 昭和七年修補 一枚
 - (3) 忠清南道 昭和一二年修補 一枚
 - (4) 全羅北道 朝鮮總督府 昭和七年修補 一枚
 - (5) 全羅南道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (6) 慶尚北道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (7) 慶尚南道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (8) 黄海道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (9) 平安南道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (10) 平安北道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (11) 江原道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (12) 咸鏡南道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - (13) 咸鏡北道 朝鮮總督府 昭和一二年修補 一枚
 - 12 朝鮮全図 朝鮮總督府 昭和一三年修正 活版 一枚 一五〇万分の一
 - 13 朝鮮地図 朝鮮總督府 昭和一〇年九月一日現在 活版 一枚 二五〇万分の一
 - 14 朝鮮地図 昭和五年一二月二五日現在 活版 一枚 二五〇万分の一（裏）朝鮮總督府及所属官署 地方行政区域名称位置
 - 15 朝鮮地図 朝鮮總督府 昭和一一年一二月一六日現在 活版 一枚 二五〇万分の一（裏）朝鮮總督府及所属官署

一覧 府群島一覧

一〇九、史跡・名所

- 1 史跡概記 学務局調 墨書・ペン 朝鮮総督府郵紙 一綴
- 2 景福宮後庭絹敬堂 景福宮の沿革 大正四年九月二一日京城日報所載 ペン 一綴
- 3 景福宮 ペン 一綴
- 4 海印寺・海印寺大蔵経板 謄写 一綴
- 5 金山寺観覧 大正一一年一一月二〇日 墨書 一枚
- 6 海州邑附近の古蹟 海州保勝会 大正三年七月一日 謄写 一綴 清聖廟 芙蓉堂 梵字石塔
- 7 平壤名勝旧蹟 謄写 一綴
- 8 成青城の文辞に見えたる華陽洞 学鷗漁史 活版 一綴
- 9 朝鮮鴻儒宗時烈の遺蹟『華陽洞』 松田甲 大正一二年七月一日 活版
- 10 華陽洞案内 忠清北道 大正一三年一〇月 謄写 一綴
- 11 清虚集全 大本山五台山月精寺 木版 一冊 (付) 清虚大禪師小伝 活版 一綴 五台山釈尊頂骨塔廟讚仰会趣旨書 昭和五年 活版 一部 五台山月精寺パンフレット 活版 一部

一一〇、その他

- 1 対韓私見 帰一協会研究資料 牛溪王 大正二年六月 活版
- 2 金玉均 葛生東介 大正五年三月 活版 一冊 金玉均と日本との交渉関係 金玉均と韓廷改革 金玉均の亡命及最後名士の實話と回顧談
- 3 日本朝鮮及独逸に於ける人口動態統計に関する觀察 佐藤恒丸 大正六年八月二五日 活版
- 4 朝鮮史上に見ゆる日鮮古代関係 李範昇 大正七年七月一一日 謄写 一綴
- 5 陳情書写 京城弁護士会所属内地人弁護士一同 朝鮮総督長谷川好道宛 大正八年六月 カーボン 一綴 朝鮮人弁護士には別の弁護士会を組織させるべきことを陳情
- 6 壬辰録 全 大正八年八月二八日 謄写 一冊 加藤清正の朝鮮出兵を扱った諺文小説の翻訳
- 7 東亜大陸に於ける事業と人物 ポケット実業社編 大正八年十月 活版
- 8 朝鮮江原道牛頭里の靈蹟につきて 三浦直正 朝鮮総督齋藤実宛 大正八年 謄写 一綴
- 9 本願 大正八年 活版 一枚 世界太平祈願
- 10 謎の研究 (歴史とその様式) 朝鮮民族資料第一編朝鮮の謎付録 朝鮮総督府囑託田中梅吉 大正九年三月 活版 一冊 欧州及び其の他関係諸民族の謎 支那の謎 日本の謎 朝鮮の謎
- 11 成驩牧場一覧 大正九年五月 謄写 成驩牧場郵紙 一綴
- 12 足印録 朝鮮から支那へ 福井江亭 大正九年一一月 活版 一冊 (付) 福井江亭支那朝鮮漫遊記念創作展覧会目次・招待券 活版 二枚
- 13 在鮮欧米人氏名表 朝鮮総督府 大正一〇年三月 活版
- 14 帝都に在留せる朝鮮青年男女に忠告す 洪■杓 大正一〇年三月 活版 一枚
- 15 報告書 中枢院参議劉猛 大正一〇年四月 墨書・ペン・謄写 朝鮮総督府郵紙他 一綴 南朝鮮出張報告 (付) 劉猛参議報告書大意訳文 ペン 朝鮮総督府用紙 一綴
- 16 京都耳塚撤去問題関係書類
 - (1) 齋藤実、メアリー・クロージャ夫人往復書翰写 大正一〇年四月二八日一八月一一日 ペン 朝鮮総督府郵紙 一綴

- (2) 京都府知事若林實蔵書翰 朝鮮総督齋藤実宛 大正一〇年八月二十九日 墨書 一通 耳塚の件了解 嚴重取締 (付) 齋藤実書翰草稿 若林實蔵宛 一通 耳塚につき注意
- (3) 石丸重美書翰 朝鮮総督齋藤実宛 大正一一年四月二三日 墨書 一通 早速取調 タウソン氏意見書拝読国際重要
 - (4) タウソン書翰 朝鮮総督齋藤実宛 一九二二年二月二七日 タイプ 一通
 - (5) Mary Crozier 書翰 朝鮮総督齋藤実宛 一九二〇年一月二日 ペン 一通
 - (6) Mary Crozier 書翰 朝鮮総督齋藤実宛 一九二一年八月一日 タイプ 一通 (付) 同書翰写 タイプ三枚
- 17 頌徳書 李信模 総督宛 大正一〇年八月 墨書 一枚
- 18 朝鮮気象月報 第九一号 朝鮮総督府観測所 大正一〇年八月 活版 一綴 大正一〇年七月気象概況 雨量略図 朝鮮降水量表
- 19 四書五経東国通鑑印刷顛末 大正一〇年一月二三日 カーボン 一綴 朝鮮伝統技法による印刷製本について
- 20 祝賀名簿録 朝鮮寺刹三十本山連合事務所委員長 大正一一年一月二日 墨書 一枚
- 21 朝鮮之地方住家 朝鮮総督府 大正一一年四月 活版 一綴 一般の家構と宅地 実測せる家構 (付) 朝鮮部落調査の過程 「東洋」大正一一年四月号抜刷 小田内通敏
- 22 壬戌元朝説 池錫永 大正一一年五月 活版
- 23 現朝鮮之研究発行目次 大陸調査会 大正一一年 活版 一冊 発行の経過 目次
- 24 君子亭建物及敷地に関する件 大正一二年一月 墨書・ペン 全羅北道野紙・朝鮮総督府野紙 一綴 甲号洪事務官復命書抄 乙号君子亭建物に関する件
- 25 金楽■持参書類 齋藤実宛 大正一二年二月一六日 墨書・謄写 二綴 高岩山関係
- 26 嶺東方言 小倉進平 大正一二年七月一日 活版
- 27 朝鮮在留欧米人名簿 朝鮮総督府 大正一二年 活版
- 28 東宮御成婚記念叙位等関係書類
 - (1) 東宮殿下成婚記念日韓併合功勞者表彰に関する諮問及び答申 大正一二年一二月 墨書・ペン 一綴 齋藤実書簡 細井肇電報亥角仲蔵全羅北道知事・国友尚謙警務課長・今村鞞李王職庶務課長回答 (付) 御慶事に際し鮮人表彰案 墨書 一綴 授爵銓衡原案 宋秉■提出 墨書一枚 須永元名刺 活版 一枚
 - (2) 御成婚記念贈位叙位叙勲等恩典に関する小橋内閣書記官長談話 大正一三年一月 謄写 一綴 (付) 贈位府県別一覧表 贈位人名
 - (3) 守屋庶務部長電報 齋藤実宛 大正一三年二月八日 一綴 朝鮮側叙勲に関する意向とその対策
 - (4) 松村秘書官電報 齋藤実宛 大正一三年二月九日 一綴 朴泳孝叙勲等
 - (5) 東宮殿下御婚儀に際し文廟従事者に対する祭祀料御下賜に関する件 内務局長 知事宛 大正一三年二月四日 謄写 一綴
- 29 韓相竜伝言 (日本語訳) 松村秘書官宛 大正一三年二月二日 ペン 朝鮮総督府野紙 一枚
- 30 細井肇の「朝鮮問題講演」に関する調査書 大正一三年二月 謄写 一綴 大阪府立今宮中学校 富田林中学校 川北高等女学校 河南高等女学校に於ける講演
- 31 沁都館上棟文緒言 江華警察署長吉田太吉 大正一三年六月八日 謄写 一綴 江華警察署漢武道場改築に際し発見された上梁文
- 32 表文 密城朴氏三道代表朴尚鎰外六名 朝鮮総督齋藤実宛 大正一三年六月一六日 墨書 一枚

- 33 諺文新聞雜誌抄訳第一〇号 庶務部調査課 大正一三年七月一〇日 謄写 一綴 組織的なる印度人の独立運動
- 34 調査雜報第二二輯 庶務部調査課 大正一三年七月一二日 謄写 一綴 英領植民地近況 過去五〇年に於ける印度鐵道の發達 印度国有鐵道収支状況 印度予算の比率
- 35 知事の糺弾と官紀の肅正 時弊の匡救を基調として 栄山浦市民 大正一三年七月 活版 一冊 全羅南道知事の不信と背徳
- 36 上書 李東夷 総督宛 大正一三年一月三〇日 墨書 一枚 竜州書院落成に際し頌徳書 (付) 落成式、移安式案内状 竜洲書院宮建所 大正一三年一月二六日 印刷 一枚
- 37 忠北道知事朴重陽に対する批判 大正一三年 謄写 一綴
- 38 大正一二年度業績報告書 京城図書館 謄写 一綴 庶務要件 入館成績の景況 年度内付帯施設事業 大正一二年度経費収支決算書 大正一三年度収支予算書
- 39 朝鮮地方生活研究の意義 (地方行政第三卷第一二号抜刷) 小田内通敏 大正一四年三月 活版
- 40 朝鮮史編修会関係書類
 - (1) 朝鮮史編修会官制 勅令第二一八号 大正一四年六月六日 謄写 一綴
 - (2) 朝鮮史編修会第一回委員会関係書類 大正一四年一〇月八日 謄写 一綴 総督訓示 会長開会挨拶 朝鮮史編纂委員会 (第一回) 議案他
 - (3) 貴重史料提供者に対して総督の賜額を仰ぐの件 大正一四年 墨書・カーボン 朝鮮総督府中枢院野紙 一綴
- 41 朝鮮総督府図書館要覧 大正一四年七月現在 謄写 一綴 沿革 敷地及建坪 間取及収容人員経営方針 経費 蔵書 閲覧状況
- 42 総督軍艦磐手答訪次第書 大正一四年八月五日 謄写 一綴 (付) 練習艦磐手遠洋航海航路表 軍艦磐手要目
- 43 文廟祝典儀式 大正一四年九月二〇日 活版・謄写 一綴 式次第 祝奠祭官及執事名簿
- 44 朝鮮沿革大要 朝鮮総督府古蹟調査委員大原利武 大正一四年一月 活版 一冊 (付) 朝鮮略年表
- 45 財団法人桑椹荘申合規定草案 大正一四年一二月 墨書 一綴 故人武田範之、李容九両氏追慕の会
- 46 水城の総督 高鍋日統 大陸山水城院 大正一四年 活版
- 47 安達峰一郎書翰 斎藤実宛 大正一五年七月七日 ペン 在ベルギー日本大使館野紙 一綴 「ル・ソアール」紙記者「ピエール・デー」氏紹介状
- 48 落成式に於ける係員事務分担 大正一五年一〇月一日 謄写 一綴
- 49 Ancient Korean Court Orchestra Programme 一九二六年一〇月一二日 蒔蒨版 一綴
- 50 柳宮行事序草稿 斎藤実 大正一五年一〇月 墨書 二点
- 51 京城支那領事館地建物買収問題経過概要 大正一五年 ペン 一綴
- 52 総督文庫寄贈図書目録 墨書
- 53 帝国臣民としての自覚 大塚内務局長講演 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 54 チャイナプレス記者ペッフアー氏質問の要点 一月二〇日 謄写 一綴 同化政策 改革実行の形式及び時期
- 55 朝鮮を一瞥して 朝鮮支那行脚の記 芝仙郎 活版 一綴 (付) The Japanese Journalist in China S.Sheba タイプ 一綴
- 56 朝鮮満州台湾実状要覧 高橋邦周 活版 一綴
- 57 三月三一日より四月五日瓢家、蜂竜招待者名簿 カーボン 朝鮮総督府野紙 一綴
- 58 京城府歌 活版 一枚

- 59 革命避難民今後の方針（断簡） 謄写一枚
- 60 河回洞柳氏 忠州安東方面と文禄役 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 61 大学経一章首文 ペン 一綴（付）解説 ペン 一綴
- 62 京城運動場一覧図 活版一枚
- 63 招待者及び接待役名簿 大正八年九月九日――一日 カーボン 朝鮮総督府罫紙 四点（付）某会座席表 墨書一枚
- 64 某会座席表 ペン一枚 渡辺忍（全北知事）他
- 65 宴席漢詩 墨書一枚
- 66 朝鮮と斎藤（新聞切抜） 活版 一括 Texas Christian Advocate 極東時報 愛媛新聞 朝鮮民報 大阪朝日 大阪毎日 東京日日 平南毎日 南鮮日報 朝鮮新聞 朝鮮毎日新聞 全北日報 大日本新聞 時事新報 満州日日 Japan Advertiser 東洋水産新聞 岩手毎日新聞 日布時事 京城日報 京城日日 東京朝日 東亜経済通信 万朝報 朝鮮毎日 読売新聞 大観新報 京城新報 他 斎藤総督再任・朝鮮自治権・産米増殖・斎藤遭難・斎藤人物評 他
- 67 朝鮮総督関係新聞切抜 活版 一括 京城日報・共昌・朝鮮新聞・時事新報・郷調・朝日新聞・国民新聞・河北新報 他
- 68 京城日報 大正一二年六月二三日朝刊 同二四日朝夕刊 二五日 活版 四点
- 69 京城日日新聞 大正一二年六月二三・二四日 活版 二点
- 70 朝鮮新聞 大正一二年六月二四・二五・二六日 活版 三点
- 71 The Seoul Press 昭和三年五月一二日 活版 一部
- 72 頌祝昭和天皇陛下聖徳賦 韓泰 墨書 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 73 表文 忠清南道儒生代表崔九頭 昭和二年一月 墨書 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 74 巡回講演報告 金益昇 昭和二年四月一九日 カーボン 一綴 昭和二年三月二六日―四月一日
- 75 Program—Reception for Doll Messengers of Friendship 一九二七年六月一六日 タイプ 一綴（付）Letter from Dolls to Methers 一九二七年一月二八日
- 76 鮮清雑談 盛田暁 昭和二年一月 謄写 一綴 昔の交通はどうか 日本からみた朝鮮 日鮮は元と同族 内鮮ともに女が主 内鮮共に主の字襍も俗も似ている 内鮮語源同じ 社会組織 朝鮮は古代から日本領 半島の歴史地理 内鮮は一の仏教国 間島は元は朝鮮 朝鮮から見た内地生存権を行使せよ 特殊地帯とは何か 朝鮮から満蒙へ 鮮人は何ゆえ動く 鮮人思想の向背は重大 支那の横暴を何と見る 東蒙に入るべからず
- 77 朝鮮在留欧米人名簿 朝鮮総督府 昭和二年 活版
- 78 赤沢寛不平説と丙東進の自慢話 昭和二年 墨書 一綴
- 79 京城在住外国宣教師代表招待茶話会に於ける山梨総督による歓迎の辞（英訳） 昭和三年一月一〇日 タイプ 一綴（付）D. O. R. Airson 答辞
- 80 大聖院規則 昭和三年七月 活版
- 81 史実より見たる満鮮 人文社パンフレット第一編 盛田暁・松波治郎 昭和三年一〇月 活版
- 82 東京日々新聞切抜 朝鮮の疑獄事件 昭和四年九月一三日 活版一枚
- 83 敬賦金剛杖古詩三章呈 李柄憲 藤波義貫通訳官宛 昭和四年一〇月八日 墨書 一綴
- 84 朝鮮博覧会に関する民情 李範昇 昭和四年 ペン 朝鮮総督府罫紙 一綴
- 85 第三回京城花祭奉讃会趣旨並計画書 京城花祭奉讃会 昭和五年五月 活版 一冊（付）式典順序 活版一枚
- 86 盧正一報告書類

(1) 民心指導に関する所懐の一端 盧正一 朝鮮総督齋藤実宛 昭和五年四月二八日 カーボン 一綴 小生
今日までの経歴 外国の植民地統治に対する所感 朝鮮統治に対する見解 朝鮮人の共通短所 民心指導の
必要

- (2) 破格的指導運動の助長を望む 盧正一 昭和五年八月三〇日 カーボン 一綴 民衆思想の両面的観察
不穩団体の分布状態 自治運動の抬頭及其将来 民衆と当局の懸隔 行政当局の考慮すべき点 新しい民衆
運動の必要
 - (3) 天道教新派「道領」崔麟に関する報告 華峰 昭和五年十一月二六日 ペン一綴
 - (4) 朝鮮自治運動に関する報告 華峰 昭和六年二月四日 ペン 一綴
 - (5) 神田正雄氏を訪ねて 華峰 昭和六年二月一〇日 ペン 一綴 神田朝鮮自治統治意見
 - (6) 朝鮮新聞事業他報告書 華峰 昭和六年二月一八日 ペン 一綴 忠清南道庁移転問題の朝鮮民間の所
見 新幹会本部対京城支会紛糾事件 朝鮮新聞事業他
 - (7) 中外日報社内情 華峰 昭和六年三月二七日 ペン 一綴
 - (8) 朝鮮統治意見書 カーボン一綴 地方巡視 倫理の融化 移民問題 不穩思想根滅の方策
 - (9) マルキシズム・朝鮮の思想状況 ペン 一綴
 - (10) 新聞経営について ペン 一綴
 - (11) 咸鏡南道を觀て ペン 一綴
 - (12) 京城神社例祭に際して ペン 一綴 (付) 盧正一氏に対する貸付金の内容
 - (13) 株式会社中外日報社経営案 ペン 一綴
 - (14) 朝鮮人思想の動向 ペン 一綴
 - (15) 手甲柄書翰 朝鮮総督齋藤実宛 カーボン 一綴 盧正一を中樞院勅任待遇参議に推挙
 - (16) 借入金証書 売渡証書 昭和六年四月一〇日 活版・墨書 一綴 借主盧正一 千葉隆宛 売主朝鮮図書
株式会社 買主盧正一
- 87 京城よりの情報 ペン 中央朝鮮協会野紙 一綴 在鮮支那人に対する朝鮮人の報復行為
 - 88 朝鮮雜記 刊行の計画 刊行会所 活版
 - 89 歴史上にあらわれたる内鮮の融和 中山久四郎氏講演 中央朝鮮協会 活版
 - 90 博文寺の概要 春畝山博文寺 活版 一枚
- 総骨時代資料
 - 一、満州・中国
 - 1 南満州鉄道株式会社関係書類
 - (1) 拓殖局報第三二 南満州鉄道株式会社要覧 拓殖局 大正二年二月 活版 一冊 緒言 鉄道 海運 港湾 鈹
業 電気 瓦斯 旅館 地方経営 試験所 補遺 付録
 - (2) 増資案説明書 南満州鉄道株式会社 大正八年十月 活版 一冊 今後十年間に施設すべき事業概要 甲
案政府現金出資としての立案乙案朝鮮鉄道移転出資としての立案 (付) 送付状 南満州鉄道株式会社社
長野村竜太郎 朝鮮総督齋藤実宛 大正八年一〇月一八日 蒟蒻版 一枚
 - (3) 資本金増加の儀に付き内申 (写) 南満州鉄道株式会社社長野村竜太郎 内閣総理大臣原敬宛 大正
八年一〇月 タイプ 一綴
 - (4) 満鉄の使命に鑑みて吾人の衷情を披瀝す 南満州鉄道株式会社社員幹部一同 大正一三年七月八日
活版

- (5) 協約(写) 昭和四年 カーボン 南満州鉄道株式会社用紙 一綴 鉄道五線工事に付き支那政府と南満州鉄道株式会社間協約 借款利率及附件協約 借款利息別約
 - (6) 満鉄予定線朱書入地図 昭和四年 一枚 延海線・老図線・敦老線・吉五線・長大線・■索線
- 2 南満州製糖株式会社第二回営業報告書 南満州製糖株式会社 活版
 - (1) 第二回決算書類 自大正六年七月一日至同年一二月三十一日
 - (2) 第五回決算書類 自大正八年一月一日至同年六月三〇日
- 3 視察旅行感想 大正七年 謄写 一綴 満韓方面 候補生参考資料第三号撫順炭鉱本漢湖炭鉱並鎔鉱処概説
- 4 満蒙精穀株式会社設立趣意書・起業目論見書・事業予算書・収支概算書・定款・附属参考書 満蒙精穀株式会社創立事務所 大正九年一月 活版
- 5 張作霖に対する態度に関する件 青焼・墨書 外務省野紙他 一綴 (付) 外務大臣内田康哉通知 斎藤実宛 大正一〇年五月二四日 支那東三省巡察使張作霖に対する態度につき閣議決定通知
- 6 満蒙に対する政策 青焼・墨書 外務省野紙他 一綴 (付) 外務大臣内田康哉通知 朝鮮総督斎藤実宛 大正一〇年五月二四日 対満蒙政策に関する閣議決定通知
- 7 恰爾賓日日新聞宣伝ちらし 大正二年一月 活版 一枚
- 8 大連取引所建値問題経緯 朝鮮銀行東京調査部 大正一一年一月 活版 一冊 大連取引所金建制の沿革及最近金建発令後に於ける経過 大連取引所建値問題賛否意見
- 9 支那問題に対して 朝鮮清州朴重陽 大正一二年七月 謄写 一綴 支那に対する私見
- 10 支那政変後各家意見 大正一二年 謄写 一綴
- 11 第三回満州商業会議所連合会議事録 満州商業会議所連合会 大正一三年六月 活版 一冊 発会式 会議事項 (日露協商促進方を政府に要望の件他)
- 12 豆満江開発
 - (1) 豆満自由港論 松尾小三郎 大正一四年一月 活版
 - (2) 松尾小三郎書翰 斎藤実宛 大正一四年三月二六日 ペン 一綴
 - (3) 松尾小三郎書翰 斎藤実宛 大正一四年五月一二日 ペン 一綴
 - (4) 松尾小三郎書翰 斎藤実宛 大正一四年八月二七日 ペン 一綴
 - (5) 吉林省開発と豆満自由港 峯旗良充・松尾小三郎 大正一四年九月 活版 一冊 奉公会一発 国策上より見たる吉林の開発 豆満自由港 (付) 豆満自由港より覗きたる満蒙
 - (6) 運河開鑿浚深並に築港御願 松尾小三郎 大正一四年四月一日・二〇日 タイプ 一綴 本願計画要領・起業予算・工事計画説明書・工事方法書一工事費用明細書・出版理由書・付図
 - (7) 渡辺精吉郎氏の満蒙西比利亜に対する交通路と港湾批判 松尾小三郎 参謀本部第三部宛 大正一四年七月六日 カーボン 一綴 鉄道より見たる羅針湾と豆満港 港湾そのものより見たる羅豆両港比較
 - (8) 豆満江畜産中央組合設立目論見書 大正一四年 謄写 一綴 趣意 起業目論見 起業資金 収支計算
 - (9) 工事計画説明書他 大正一四年 カーボン 一綴 工事計画説明書 工事方法書 工事費用明細書 出願理由書
 - (10) 豆満江造材興業組合計画目論見書 大正一四年 謄写 一綴 趣意 起業目論見 起業予算 収支計算
 - (11) 運河開墾工事案並施行方法 大正一四年 謄写 一綴 一般計画 運河掘鑿工費 資金調達方法 収支予算 備考
 - (12) 豆満江貯水場池設計目論見書 大正一五年 謄写 一綴 趣意 起業目論見 起業予算 収支計算

- (13) 豆満江運河計画目論見書 昭和四年六月 活版 一冊 事業計画 計算 各種統計 一般図
- (14) 海産立国之礎石 その具体案 豆満江協会松尾小三郎 昭和五年五月 活版 一冊 閑却された基本生業 基本生業の基礎施設 環海運賃率三厘標準観 沿岸開放と漁村の復活 新組織の中心三事業 (付) 送付状 松尾小三郎 活版 一枚
- (15) 豆満江運河の特徴 活版 一冊 豆満江材の輸出径路 新系統運河出材の利益 運河と上流流域の資源 豆満江運河の真価 (付) 昭和五年度豆満江運河予算・昭和六年度豆満江運河収支予算 活版 一枚
- (16) 西水羅中央漁港建設案 謄写 一綴
- 13 満蒙対策に関する決議理由書 第二回全滿居留民大会 大正一五年一月一七日 活版 一綴 決議 理由書 宣言 出席者名簿
- 14 満蒙産業政策確立に関する意見書 大連商業会議所 大正一五年六月 活版 一冊 満蒙政策確立に関する具体案
- 15 満州金融制度並に政策改善に関する要請書 満州商業会議所連合会 (奉天商業会議所会頭庵谷沈) 大正一五年七月一二日 活版
- 16 関東州地方費 昭和四年 活版 一冊 関東州地方費令 関東州地方費施行規定 昭和四年度関東州地方費収入支出予算 昭和四年度関東庁特別会計歳入歳出予算
- 17 満鉄の百万円寄付に就て 帝国在郷軍人会財団 (陸軍主計総監辻村楠造) 昭和五年三月 活版 一冊 軍人会館建設費の寄付について
- 18 北満州調査班日程 謄写 一綴 (付) 北満州地図
- 一一二、東亜同文会
 - 1 東亜同文会会則 東亜同文会 明治三六年三月改正 活版 一冊 主意書 会則 東亜同文会本部役員名簿
 - 2 東亜同文会事業提要 東亜同文会 大正二年一二月 活版
 - 3 支那經濟調査部規則 東亜同文会 明治四〇年一二月 活版 一冊 (付) 支那經濟調査部報告綱目 活版 一枚
 - 4 沿革史 日清貿易研究所・東亜同文書院 明治四一年六月 活版
 - 5 貿易誘導機関設置案 東亜同文会 大正三年九月一九日 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会
 - 6 支那新聞閲読の急務 東亜同文会内支那通信部 大正五年一月 謄写 一綴 (付) 賛助加入願 支那通信部 斎藤実宛 大正五年一月一八日 謄写 一枚
 - 7 事業報告書 濟南同文商務公所 大正五年一月三十一日 謄写 一綴 調査及び紹介 代弁事務 商品陳列館
 - 8 東亜同文会通知 斎藤実宛 大正五年一〇月一三日 謄写 一枚 上海東亜同文書院基本金募集の件に付き評議員会開催 (付) 開催日変更通知 大正五年一〇月一六日 謄写 一枚
 - 9 東亜同文会財産目録 東亜同文会 大正一〇年三月三十一日現在 謄写 一綴
 - 10 東亜同文会会報 活版 一部 東亜同文会秋季大会 (大正六年一二月一五日)
 - 11 東亜同文会会報 活版 一部 東亜同文会春季大会 (大正八年五月一六日)
 - 12 発行書目録 東亜同文会調査編纂部 活版 一枚
 - 13 会員名簿 東亜同文会 昭和七年一二月現在 活版
 - 14 故近衛霞山公三〇周年祭典紀事 東亜同文書院 昭和九年四月 活版 一冊 (付) 靖亜神社建立趣意書 東亜同文書院長大内暢三 昭和九年四月一日活版 一枚 回送付状 靖亜神社建立委員長・東亜同文書院教授山田謙吉他 昭和九年四月一五日 活版 一枚 払込票 東亜同文書院会計課宛 活版 一枚 建立資金寄附申込葉書 活版 一枚 靖亜神社造営工事予算見積書 活版 一枚 東亜同文書院近況報告写 東亜同文会会長牧野伸顕 昭和九年三月一八日活版 一部

- 15 東亜同文書院紀要 東亜同文書院 大正六年四月二二日 活版 一冊 同文書院沿革 職員氏名担当他
- 16 東亜同文書院中華學生部章程 謄写 一綴 東亜同文書院中華學生部簡章 諸書式 中華學生部商務科課程表 中華學生部工業科製造化学部課程表 中華學生部工業科採鋇冶金学部課程表
 - 17 東亜同文書院新築関係書類 東亜同文会 大正三年 謄写 一綴 焼失損害賠償金収支予算 新築工事概要並予算書 焼失後書院復興経営費 (付) 東亜同文書院敷地略図並に建築配置略図 印刷 一枚
 - 18 東亜同文書院新校舍創設費総予算 東亜同文会 謄写 一綴
 - 19 東亜同文書院新築設備經費不足領頼末書 東亜同文書院新築委員根津一 大正六年一月 謄写 一綴
 - 20 東亜同文書院農工科新設計画 東亜同文会 活版 一綴 農工科新設計画要領
 - 21 東亜同文書院農工科新設計画 (日支両国学生合併養成案) 東亜同文会 活版
 - 22 明治三九年度決算書 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 東亜同文会送付状 斎藤実宛 明治四一年六月一日 謄写 一枚 予算確定通知 斎藤実宛 明治四一年六月五日 謄写 一枚
 - 23 予算確定通知 東亜同文会会長鍋島直大 斎藤実宛 明治四〇年四月二日 謄写 一枚
 - 24 評議員会開催通知 東亜同文会会長鍋島直大 斎藤実宛 明治四二年二月一四日 謄写 一枚
 - 25 明治四二年度予算案 東亜同文会 謄写 一綴
 - 26 明治四三年度予算案 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会会長鍋島直大 斎藤実宛 明治四三年三月一二日
 - 27 大正元年度決算 東亜同文会 大正三年 謄写 一綴 (付) 決算確定通知 東亜同文会会長鍋島直大 斎藤実宛 大正三年九月
 - 28 大正二年度予算 東亜同文会 活版
 - 29 大正二年度予算案 東亜同文会 謄写 一綴
 - 30 大正三年度予算 東亜同文会 活版 一冊 (付) 予算確定通知 東亜同文会会長鍋島直大 斎藤実宛 大正三年三月三〇日 謄写 一枚
 - 31 大正三年度予算案 東亜同文会 謄写 一綴
 - 32 大正三年度決算 東亜同文会 謄写 一綴
 - 33 大正五年度予算案 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会会長鍋島直大 斎藤実宛 大正五年三月二八日 謄写 一枚 予算確定通知 東亜同文会会長鍋島直大 斎藤実宛 大正五年四月 謄写 一枚
 - 34 大正五年度決算 東亜同文会 謄写 一綴
 - 35 大正六年度予算案 東亜同文会 謄写 一綴 斎藤実支出覚書あり
 - 36 大正六年度決算 東亜同文会 謄写 一綴
 - 37 大正七年度決算 東亜同文会 謄写 一綴
 - 38 大正八年度予算案 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会 大正八年三月二八日 活版 一枚
 - 39 大正八年度教育事業及通信員費予算 東亜同文会 謄写 一綴
 - 40 大正八年度決算 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会 大正一〇年一二月一五日 タイプ一枚
 - 41 大正九年度予算案・大正九年度教育事業及通信員費予算 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会 斎藤実宛 大正九年三月二七日 活版・謄写 一枚
 - 42 大正九年度収支決算案 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会決議通知 東亜同文会 大正一〇年一二月二一日

謄写一枚

- 43 大正一一年度収支予算案 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会会長牧野伸顕 大正一一年三月二四日 謄写版一枚
- 44 昭和三年度収支予算 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 評議員会開催通知 東亜同文会 斎藤実宛 昭和三年四月九日 謄写一枚
- 45 昭和四年度収支予算 東亜同文会 謄写 一綴 (付) 理事会決定通知 東亜同文会 斎藤実宛 昭和四年四月二二日 謄写一枚
- 46 清国枢要大官表 東亜同文会報告第一二八回付録 東亜同文会 明治四二年七月二〇日調査 活版 一綴
- 47 清国現未の形勢 東亜同文会幹事長・上海東亜同文書院院長根津一 活版
- 48 根津一意見書
 - (1) 甲号 卑見 明治四四年一〇月二〇日 墨書 東亜同文会用紙 一綴 対清国革命乱処分案 (付) 根津一 送付状 斎藤実宛 五月二四日 墨書一枚
 - (2) 乙号の上 卑見 墨書 東亜同文会用紙 一綴 支那の前途及我国の対支那経営策
 - (3) 乙号の下 対支那経営助成案要旨 墨書 東亜同文会用紙 一綴 支那通商港全部領事館設置案 対支那通商誘導館設立案 日支観光団誘導案他
 - (4) 対支那経営助成案要旨 墨書 東亜同文会用紙 一綴 (付) 根津一送付状 斎藤実宛 三月一五日 墨書一枚
- 49 対支那経営助成案 東亜同文会 謄写 同文二綴
- 50 支那留学生教育改善に関する意見 墨書 東亜同文会罫紙 一綴
- 51 支那留学生状況調査書 東亜同文会 大正八年六月三〇日 謄写 一綴 支那留学生を收容せる学校 寄宿舍 下宿 支那学生会館・倶楽部等
- 52 某武官の中国視察談速記録 東亜同文会 大正一一年二月八日 謄写 一綴 吳佩孚、張作霖、孫逸仙等に関する情報
- 53 本会会員寺西秀武大佐奉直兩派争闘に関する観測其の他 東亜同文会 大正一一年一月 活版 一綴 奉直兩派政争に関する予測 支那經濟概観一大正一〇年春講演せし一の補遺 支那に道学勃興せんとす
- 54 支那民国の大勢 東亜同文会幹事長東亜同文書院院長根津一氏講演筆記 謄写 一綴 大勢一段落を告ぐ 大政方針の三大願目 民国財政の前途 袁總統と熊内閣 名教の攪乱
- 55 中華民國大政方針宣言書案文 (付) 陸軍改革九大軍区案・廢省改置八十三州案 東亜同文会 謄写 一綴 外交方針 財政方針 軍政方針 実業方針 交通方針 地方行政方針 吏務澄清方針 地方自治方針 司法方針 教育の方針 実行上の希望 (付) 送付状 謄写一枚
- 56 支那の現在及未来の大勢 東亜同文会 活版
- 57 各地情報
 - (1) 漢口情報 (大正三秘第一号) 大正三年九月一二日 謄写一枚
 - (2) 湖南情報 (大正三秘第二号) 大正三年九月二六日 謄写一枚 洪江西と哥老会の蠢動
 - (3) 北京情報 (大正三秘第三号) 天津情報 (同第四号) 大正三年九月二六日・一〇月五日 謄写 一綴 独逸の新聞政策に就て 革命党現状・財界現状
 - (4) 上海情報 天津情報 奉天情報 南京情報 北京情報 漢口情報 青島情報 広東特電 (大正三秘第六一一号・一三一一五号) 大正三年一一・一二月 謄写 一綴

58 東亜同文会特報

- (1) 第七号 漢口派遣員電報 七月一日 謄写 一枚
- (2) 第二七・二八号 漢口派遣員通信 七月二三・二六日 謄写 一綴

■ 59 誘導部報告

- (1) 第五号 支那各地に於ける排日排貨状況 東亜同文会 大正四年七月 謄写 一綴 排日の遠因近因と之が救済法 排貨に関する前途観天津に於けるボイコット鎮静に対する帝国官憲及在留民の採りたる方法 天津に於ける排日排貨に関する消息 漢口に於ける輸入日本商品の被りたる排日影響湖南省長沙方面に於ける排貨情形 長春方面に於ける燐寸の影響
- (2) 第六号 支那各地に於ける排日排貨状況 其二 東亜同文会 大正四年 謄写 一綴
- (3) 第七号 支那各地に於ける排日排貨状況 東亜同文会 大正四年 謄写 一綴

■ 60 東亜同文会通信員報告

- (1) 小西茂 大正一〇年 活版 一綴 張家口發大正一〇年三月二〇日報告 (庫倫陥落実見談) 張家口發同八月一〇日報告 (張作霖の対蒙政策) 張家口發同八月一三日報告 張家口發同九月二日報告 張家口發同九月二一日報告 張家口發九月二二日報告 庫倫發一〇月三日報告 庫倫發一〇月四日報告 庫倫發一〇月六日報告 庫倫發一〇月一一日報告 庫倫發一〇月一二日報告 (付) 東亜同文会通知 大正一〇年一二月二日 謄写 一枚 本会派遣通信員小西茂露兵により護送、通信中絶
- (2) 小越平陸通信 大正一〇年 活版 一綴 濟南發大正一〇年二月六日報告 (小清河) 山東省浜州發同二月一一日報告 (小清河及黄河) 天津發同十一月二〇日報告 (黄河矢口各地に及ぼす直隸)
- (3) 小越平陸通信 大正一一年七月一一・二八日 謄写 一枚 甘肅省蘭州下流靖遠河岸發、寧夏發
- (4) 黄河調査報告 在濟南小越平陸 活版 一綴 淡口より張秋
- (5) 東亜同文会辺境通信員報告 工藤鉄三郎通信 大正一〇・一一年 活版 一綴 蘭州發大正一〇年四月一七日報告 蘭州發同四月二四日報告 蘭州發同七月一二日報告 蘭州發同八月二七日報告 蘭州發同九月二八日報告 寧夏發同十一月一〇日報告 寧夏發同十一月二一日報告 寧夏發同十二月八日報告 寧夏發同十二月一〇日報告 寧夏發同十二月二〇日報告 寧夏發一二月二九日報告 寧夏發大正一一年一月五日報告 寧夏發同一月二一日報告 寧夏發同一月二八日報告 寧夏發同二月一〇日報告
- (6) 山内山品通信 大正七・八年 謄写 一綴 北京發
- (7) 山内通信 謄写 一綴 北京發 相違せる両国民の思想に就て他
- (8) 山内報告 大正一〇年 活版 一枚 北京發大正一〇年一〇月一三日報告 (山東問題の未解決は我に取って不利なるものにあらず) 北京發同一〇月一四日報告 (中和会の成立)
- (9) 山内通信・佃信夫通信 大正一一年一月二一日 謄写 二枚 吳佩孚の背後 英国直隸派援助 他

■ 61 欧亜風雲録 大日本東亜同文会

- (1) 第一卷 大正三年八月 活版
- (2) 第二卷 大正三年九月 活版
- (3) 第三卷 大正三年一〇月 活版
- (4) 第四卷 大正三年一二月 活版
- (5) 補遺 大正四年一月 活版

■ 一一三、貴族院・華族

- 1 貴族院男爵議員補欠選挙関係書類

- (1) 清交倶楽部諫早家崇他一名書翰 明治四三年四月一三日 謄写一枚 神田乃武推選及び投票委託証状送付について
- (2) 千家尊福書翰 明治四三年四月一三日 謄写一枚 楠本正敏推選依頼
- (3) 清交倶楽部諫早家崇書翰他一九名書翰 明治四三年四月一七日 謄写一枚 楠本正敏推選依頼
- (4) 清交倶楽部諫早家崇書翰他一二名書翰 明治四三年五月二三日 謄写一枚 楠本正敏推選及び投票委託証状送付について
- (5) 千家尊福書翰他三名書翰 明治四三年七月三〇日 謄写一枚 佐竹義雄推選及び投票委託証状送付について
- (6) 貴族院男爵議員補欠選挙人名簿 大正五年一月二八日調 活版一冊 (付) 宗秩寮達第五号 送付状 宗秩寮総裁久我通久 活版
- (7) 貴族院男爵議員補欠選挙人確定名簿 大正五年一月二八日調 活版
- (8) 貴族院男爵議員補欠選挙人名簿 大正七年一月二五日調 活版
- (9) 貴族院男爵議員補欠選挙人確定名簿 大正七年二月一四日調 活版
- (10) 貴族院男爵議員補欠選挙人確定名簿 大正七年一月一四日調 活版
- (11) 貴族院男爵議員補欠選挙人名簿 大正七年一月二九日調 活版
- (12) 貴族院男爵議員補欠選挙人確定名簿 大正七年一月一九日調 活版
- (13) 貴族院男爵議員補欠選挙人名簿 大正九年三月二六日調 活版
- (14) 貴族院男爵議員補欠選挙人確定名簿 大正九年四月一五日調 活版
- (15) 委託証状 斎藤実 大正一四年 活版一枚
- 2 貴族院子爵議員補欠選挙関係書類
 - (1) 貴族院子爵議員補欠選挙人名簿 昭和四年五月二四日調 活版
 - (2) 貴族院子爵議員補欠選挙人確定名簿 昭和四年六月一三日調 活版
 - (3) 貴族院子爵議員補欠選挙人名簿 昭和七年一月二〇日調 活版
 - (4) 貴族院子爵議員補欠選挙人名簿 昭和七年二月一七日調 活版
 - (5) 貴族院子爵議員補欠選挙人確定名簿 昭和七年三月八日調 活版
 - (6) 貴族院子爵議員選挙人確定名簿 昭和七年六月一〇日 活版
- 3 男爵会自大正六年一二月至大正七年一二月庶務報告 男爵会幹事 大正七年一月二五日 活版一枚 (付) 幹事改選報告 大正八年一月 活版一枚 男爵会会費決算報告 大正七年一月二五日 活版一枚
- 4 協同会関係書類
 - (1) 協同会会規 協同会 大正八年二月三日 活版一冊 趣意書 会規 会員氏名 幹事 評議員
 - (2) 協同会名簿 大正一三年一〇月 活版
 - (3) 第一回總會報告 協同会幹事 大正七年二月一四日 活版一枚 庶務報告 会計報告 役員の選挙
 - (4) 第一回總會報告 協同会幹事 大正八年二月二日 活版一枚 庶務報告 会計報告 役員の選挙
 - (5) 協同会通知 斎藤実宛 大正九年四月一五日 活版一枚 貴族院男爵議員選挙につき木越安綱推選依頼
 - (6) 協同会臨時總會報告 大正一三年七月九日 活版一冊 尚友会男爵議員の復帰問題
- 5 貴族院の改造 農村義朗 大正一〇年九月 活版
- 6 貴族院改革再案 貴族院議員藤村義朗 大正一二年 活版一冊 改正の根拠 貴族院の構成分子 議員の資格年齢 議

員の数 議員の任期 其他の改正

- 7 貴族院改革と国民の態度 永田秀次郎 大正一四年二月 活版 一冊 一月二二日貴族院に於ける質問演説速記録 (貴族院令改正案について)
- 8 貴族院令起草の沿革 (研究会講演) 金子堅太郎 大正一四年一月一九日 活版
- 9 国民生活と貴族院改革 (男爵中川良長氏の貴革講演の大意) 土田貞治 大正一五年一月 活版
- 10 貴族院研究会革正私案 研究会会員板倉勝憲 昭和二年一二月 活版
- 11 貴族院議員諸君に与う 愛国同志会 昭和四年二月 活版 一枚 優詔問題に対する貴族院議員の態度を批判
- 12 貴族院廃止論 野依秀一 実業の世界社 昭和四年二月 活版 一冊 (付) 宮内省開放論 私が皇室を尊崇する理由
- 13 華族会館沿革略史 全 華族会館 大正一四年八月 活版
- 14 華族会館沿革摘録 昭和二年 活版
- 15 華族会館報告第二七号 大正二年四月 活版 一冊 (付) 大正二年二月二二日華族会館に於けるバーナード・ヴォーン君の講演
- 16 華族会館報告 第三八号 大正一二年一二月 活版
- 17 華族名篇 華族会館 大正七年六月一日調 活版
- 18 華族名簿 華族会館 大正八年三月一三日調 活版
- 19 華族会館定款 活版
- 一一四、皇族
 - 1 華族会館長徳川家達通知 大正八年五月二日 活版 二枚 皇太子成年式奉祝晚餐会 献上品奉呈
 - 2 丁第八六号 宗秩寮総裁井上勝之助通牒 大正八年五月三日 活版 一枚 皇太子裕仁親王殿下成年式拝賀並参賀について
 - 3 内閣書記官長高橋光威通知 朝鮮総督齋藤実宛 大正一〇年二月二六日 蒟蒻版 一枚 皇太子殿下東京駅発車前拝謁
 - 4 大正天皇御容態電報綴 大正一五年一二月 謄写 一綴
 - 5 新聞切抜 大正一五年一二月 活版 二枚 聖上御容体経過他
 - 6 新聞切抜 昭和二年一二月 活版 三枚 即位大礼に関する記事
 - 7 宮中宴会に関する件通牒 昭和四年一二月 活版 一綴 四大節宮中宴会班別名簿
 - 8 新聞切抜 昭和六年三月 活版 六枚 内親王誕生関係他 (大阪日日・国民・京城日報他)
 - 9 威仁親王御行実編纂委員会内規 謄写 一綴 分担区分・委員会内規・編纂要旨・威仁親王年譜
- 一一五、関東大震災
 - 1 東京震災に関する件 朝鮮総督・殖産局長 陸海軍大臣・内務大臣・東京府知事宛 大正一二年九月三日 謄写 一綴 東京に於ける食料補給罹災民救援の為朝鮮白米直送
 - 2 電報 朝鮮総督齋藤実宛 大正一二年九月四日 ペン 一枚 震災見舞い
 - 3 電報 政務総監宛 大正一二年九月四日 ペン 朝鮮総督府野紙 二点 震災の状況
 - 4 意見書 黒竜会主幹内田良平 齋藤実宛 大正一二年九月一一日 謄写 一綴 震災後の措置に関する意見
 - 5 新帝都奠定に関する主張 黒竜会主幹内田良平 齋藤実宛 大正一二年九月一一日 謄写 一綴
 - 6 建白書 釜山商業会議所会頭香椎源太郎 大正一二年九月二〇日 活版 一冊 銀行の合同・海運の統一・貿易の改善助長
 - 7 在日朝鮮人労働及収容所関係綴 大正一二年九月二〇日 墨書朝鮮総督府野紙 一綴

- 8 焼跡処分に関する建議書 日本労働総同盟 大正一二年九月二七日 謄写 一綴
- 9 焼跡処分事業計画書 日本労働総同盟 大正一二年九月二八日 謄写 一綴
- 10 鮮人労働者保護に関する意見書 鈴木文治 朝鮮総督府齋藤実宛 大正一二年九月二九日 墨書 一綴
- 11 震災関係警戒取締に関する重要通牒 朝鮮総督府警務局 各道知事他宛 大正一二年九月 タイプ 朝鮮総督府用紙 一綴 不穏行動連絡等嚴重警戒・内地人の自衛団組織に関する件・流言其他の言動取締方の件・共進会に対する警戒取締方の件等
- 12 大東京都市計画に対する私見 藤本徳之進 大正一二年九月 活版
- 13 震災事務報告 大正一二年一〇月 活版 一冊 出張員事務所震災の状況及措置・事務分掌・罹災鮮人の保護救済・罹災者に対する同情・情報・經理・震災と朝鮮金融・雑件
- 14 関東の震災と朝鮮人 在外朝鮮人事情研究会牛丸潤亮 大正一二年一二月五日 活版 一冊 禍を転じて福と為せ(丸山鶴吉)・震災当時を回想して一児玉秀雄)・内鮮人結合の発端(細井肇)他
- 15 時局に関する重要通牒控(国外関係) 朝鮮総督府警務局 大正一二年一二月 謄写・タイプ 一綴 国外の形勢に鑑み査察警戒を嚴重ならしむる件・時局に対する警戒取締方に関する件・在外不遇鮮人並共産党の計策に関する件
- 16 関東地方震災の朝鮮に及ぼしたる状況 朝鮮総督府警務局 大正一二年一二月 謄写 一綴 関東地方震災の朝鮮に及ぼしたる状況・震災当時に於ける不退鮮人の行動及被殺鮮人の数及之に対する処置・重要法令実施の状況(治安維持の為にする罰則に関する件)・鮮人の内地へ旅行取締の状況
- 17 東京地方に於ける災害救援として朝鮮総督府の今日迄に採れる措置 大正一二年 謄写 一綴 食料供給に関する件・木材供給に関する件
- 18 大東京に関する意見 細井肇 大正一二年 ペン 一綴 京浜を一都市とする大東京の創設に関する私見
- 19 帝都復興に関する管見 賀田直治 大正一二年 謄写 一冊 秩序の維持・罹災者の救済・失業者の授職・経済界の復興・帝都の政治、文化の中心的位置を尊重すること・挙国的同情及協助に基づくべき事・政府の体度と人民の自覚と世論若くは新聞の調子とを協調せしむる事・帝都復興の事業・総括
- 20 習志野収容所鮮人引受に関する件覚書 大正一二年 ペン 二枚
- 21 記憶せよ我同胞日本人よ水野練太郎と赤池濃を 大正一三年九月 活版 一枚 関東大震災時の朝鮮人迫害
- 22 郭昌弦意見書 墨書 一綴
- 一一六、 内政・外交・軍事一般
 - 1 宣言 浅野源吉 大正六年三月 活版 一枚 東北倶楽部設立計画
 - 2 第九回事務及会計報告 市政講究会 大正七年四月 活版 一枚 (付) 第九回定時総会開催通知他 活版 二枚
 - 3 独逸在外巡洋艦及仮装巡洋艦の通商破壊戦成績(世界大戦中) 活版 一枚
 - 4 同情融和大会通知 同情融和大会発起人 大正八年二月 活版 一枚
 - 5 憲法発布三〇年記念祝賀会次第 活版 一枚 (付) 送付状 大正八年二月八日 一枚
 - 6 本邦駐劄新任外国大使訪問並び答訪に関する件 外務大臣内田康哉 齋藤実宛 大正八年四月一〇日 謄写 一枚
 - 7 講和問題大会通知 講和問題大会発起人 大正八年五月二日 活版 一枚
 - 8 報国青年義会綱領及規約 大正八年六月 活版 一枚
 - 9 国際連盟と軍備縮小に関する卑見 葛生東介 大正八年八月 謄写 一綴
 - 10 外交問責大会開催通知 外交問責大会発起人 大正八年八月二四日 活版 一枚
 - 11 建言の事 杉山茂丸 大正八年九月四日 活版 一綴 政治上の改革の儀に付建言

- 12 老社会の労働問題解決案 老社会 大正八年一〇月 謄写 一枚
- 13 浦軍謀第一四八号 浦潮派遣軍参謀長稲垣三郎 大正八年一〇月六日 謄写 一綴 日本の西伯利に於ける反過激派団体に対する援助の概要（普伝資料大正八年一〇月）
- 14 官報号外 大正九年一月一〇日 活版 一綴 ヴェルサイユ平和条約及附属議定書
- 15 北一輝著「国家改造案原理大綱」 斎藤実宛 大正九年 謄写 一綴 老荘会本部大川周明・満川亀太郎紹介文 大正九年一月一日（付）講話条約調印当日の書簡 北一輝氏の国際政局観 大正八年六月二八日
- 16 国家主義同盟宣言・綱領・規約他 大正九年一月 活版 四点
- 17 東京駐在羅馬法王使節 Fumasoni-Biondi 大司教との会見顛末 松岡新一郎 大正九年一月三〇日 タイプ 外務省用紙 一綴 米国に於ける排日問題と羅馬法王庁・羅馬教府及び日本の相互諒解の必要・羅馬教府と使節を交換すべき必要・日本より教府へ一先つ特派使節を送る案・附記
- 18 支那租地契約案 大正九年一月二五日 謄写 一綴
- 19 第四四議會再開より衆議院予算案議定に至る迄 大正九年 ペン 一綴 立憲政友会及衆議院諸會議次第予想
- 20 東宮殿下御渡欧に際し羅馬法王御訪問の儀如何に関する私案 外務省情報部松岡新一郎 伊集院大使宛 大正一〇年二月三日 タイプ 外務省用紙 一綴
- 21 対米準備に関する意見 頭山満他九名 大正一〇年三月 タイプ 一綴 八八艦隊の完成期を繰上ぐる事・米国海軍の新計画に応じて更に適當の造艦計画を立て十対八の均勢を維持すること・水陸設備殊に民間に於ける造艦造機設備を拡充すること・速かに艦艇補充法を制定すること・海岸防御を整備すること・吉会鉄道を促成し釜奉線を複線と為し更に進んで満鮮方面との連絡設備を完成すること・石油の補給及軍需工業に関する国策を樹立すること・速に国有財産を整理して上掲諸計画を遂行するの財源に充当すること（付）国有財産総目 謄写 一綴
- 22 裏面より見たる西伯利事情（付革命露国の政情） 大正一〇年一月二月 タイプ 一綴 大正一〇年一月二月某倶楽部に於ける新帰着者の講演
- 23 帝国保全同志会趣意書 大正一〇年 活版 一枚
- 24 浦塩状勢報告 第六戦隊司令官竹内重利 斎藤実宛 大正一一年一月一日 謄写 一綴
- 25 黒竜会意見書 内田良平・林重俊 大正一一年二月 活版 一綴 柳原白蓮問題
- 26 加藤内閣に対する我党の宣明 純正会一同 大正一一年六月 活版 一枚
- 27 立憲政友会役員名簿 大正一一年六月現在 活版 一枚
- 28 国風会趣旨・要覽他 大正一一年一月 活版 四点
- 29 海軍軍備制限に関する条約 大正一一年 活版
- 30 太平洋方面に於ける島嶼たる属地及島嶼たる領地に関する四国条約並追加協定 大正一一年 活版
- 31 潜水艦及毒瓦斯に関する五国条約 大正一一年 活版
- 32 一九二一年一二二年華盛頓に於ける軍備制限會議に於て採用せられたる諸決議 大正一一年 活版
- 33 奉直戦争に関する情報 大正一一年 墨書 一綴
- 34 斎藤実意見書草稿 大正一一年 墨書 一枚 朝鮮の安危に関する儀 帝国政府は滿蒙に対する確固たる方針を内外に表明し、東三省に於て軍事行動を取り治安の妨害を為すものある時は帝国兵力を以て阻止すべしとの宣言を要す
- 35 オコツク視察状況 井上伊一 本橋栄太郎宛 大正一一年度 墨書 一綴 オコツク砂金鉞視察概況（付）露領「オホツク」地方の含金砂に就て 浅川柳作

- 36 露支貿易機関設立趣意書・組合総則・業務概目 加藤進吉 大正一二年五月二八日 ペン 陸軍野紙 一綴
- 37 Statement by The Japanese American Relations Committee of Tokyo (Issued at Tokyo, June 5,1923)
活版 一枚 米国西部在留日本人問題解決のため (付) 訳文 活版 一枚 送付書 日米関係委員会 渋沢栄一 斎藤実宛
大正一二年六月八日 活版 一枚
- 38 渋沢栄一意見書 (英文・和訳) 大正一二年六月九日 活版 二枚 米国西部在留日本人問題解決のため (付)
送付書 渋沢栄一 斎藤実宛 大正一二年六月九日 活版 一枚
- 39 対露国民外交の絶好機と其調査 林琴子 大正一二年六月末 謄写 一綴 露国に対する予備概念・ハルピンに於けるソビエト政府・ハルピンに於ける日本人・調査の道程と基準・宣伝部と鮮人・新経済政策の内容
- 40 露国避難民救済状況 大正一二年六月 謄写 一綴 傷病患者の治療経過・救護職員の動態・治療薬品衛生材料 其他の配給品・死亡者病名別・避難民一般の衛生状態及衛生施設・避難民異動の状況・慰問金品贈与に対する感激
- 41 加藤友三郎内閣後任に関する情報 大正一二年八月二二日 ペン 政友原稿用紙 一綴
- 42 加藤友三郎内閣後任に関するメモ 大正一二年八月二二日 鉛筆 朝鮮総督府通信官署野紙 一綴 大阪時事宛 新聞報 斎藤総督語る
- 43 情報 大正一二年八月二六日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 加藤友三郎死後、斎藤組閣につき李完用談話
- 44 加藤友三郎内閣後任に関するメモ 大正一二年八月 ペン 一綴 牧山代議士の斎藤総督意向打診
- 45 山本久顕意見書 大正一二年一一月 活版 一枚 選挙法改正・普通選挙
- 46 時局に際し民風作興の実行方法 謄写 一綴
- 47 合憲内閣 愛国青年党幹事長岩本栄 大正一三年一月 活版 同文二枚 憲法の大義に拠り閣臣の任免一に大権に存す
- 48 亜細亜会館設立の議 川島清治郎 大正一三年三月 謄写 同文二枚
- 49 貴族院質議に対する閣議決定答弁案 大正一四年三月 墨書 内閣野紙 一綴 国務大臣の輔弼責任と統帥大権、内閣官制七条問題他花井卓蔵議員への答弁案
- 50 世界経済的脅威の防止 大正一四年 墨書 三綴
- 51 国際連盟について 大阪朝日京城支局情報 大正一五年一〇月三〇日 謄写 一綴 国際連盟事務次長杉村陽太郎 京城通過東上につき参考となる事項摘記
- 52 情報 甲子倶楽部に関する件 二月三日 ペン 朝鮮総督府野紙 一綴 副島道正と甲子倶楽部関係
- 53 支那問題概 満州一浪人 斎藤実宛 昭和二年四月 活版 一枚 对支那人態度に付
- 54 殖民地便覧 内閣拓殖局 昭和三年二月 活版 一冊 面積人口比較図・土地人口・気象・行政組織・産業・鉄道・通信・開港及貿易・教育及宗教・銀行会社及工場・財政
- 55 日露漁業条約改訂に就て 露領漁業者小山富三郎 枢密顧問官斎藤実宛 昭和三年五月八日 謄写 一綴 条約改訂 反対 ポーツマス漁業条約破棄声明他
- 56 会員名簿 日華倶楽部 昭和三年八月七日 活版
- 57 昭和四年度予算綱要 活版
- 58 殖民地便覧 内閣拓殖局 昭和四年二月 活版 一冊 面積人口比較図・土地人口・気象・行政組織・産業・鉄道・通信・開港及貿易・教育及宗教・銀行会社及工場・財政
- 59 郡制、郡役所及郡長復活に関する請願 昭和四年 活版 同文二部
- 60 拓務要覧 拓務大臣官房文書課 昭和五年三月三十一日 活版

- 61 メモ 昭和五年 ペン 朝鮮総督府罫紙一枚 ロンドン軍縮会議関係
- 62 浜口首相容態に関する電報写 拓務大臣 朝鮮総督宛 昭和五年一月一日 ペン・謄写 三点
- 63 鎮要第四九号 鎮海要港部副官 寺垣朝鮮総督府御用掛宛 昭和六年二月一日 ペン 海軍罫紙 一綴 松真浦記念碑銘に関する件依頼
- 64 各国植民地行政組織 謄写 一綴
- 65 伯アマゾナス州日本植民地地域画定並植民計画に関する調査報告書 外務省通商局 昭和六年一月 活版 一冊 アマゾナス州事情・新植民地事情・アマゾン産業研究所綱要・アマゾン拓殖株式会社創立案の概要
- 66 国民皆兵と軍備縮小 河村日勝 ペン 一綴
- 一一七、その他
 - 1 日本大正炭株式会社趣意書・起業目論見・事業の内容・砒区の説明・起業予算・収支予算・定款 日本大正炭株式会社 創立事務所 大正七年一月 活版 一冊 (付) 下飯坂武二郎紹介状 斎藤実宛 大正八年六月七日 墨書一通
 - 2 麦酒醸造株式会社設立の件 渡辺義顕 大正八年二月 活版 一枚
 - 3 同仁会第二期事業計画改正の趣旨 大正八年四月 活版 一枚
 - 4 大日本器械開墾株式会社創立趣意書起業説明書・起業目論見書収支予算書 大正八年六月 謄写 二綴
 - 5 帝国輪業株式会社趣意書・起業目論見書・定款 創立委員長嘉悦敏 大正八年六月 活版
 - 6 東京タイム式精米株式会社設立趣意書 発起人総代柳沢保恵 大正八年一月 活版
 - 7 自叙小伝 新納時哉 斎藤実宛 大正九年五月一日 カーボン 一綴 教育統一会講演会の為
 - 8 皇道擁護団趣意書 石井弥四郎 大正九年一月十日 活版 二枚
 - 9 本部建築上棟式順序 大日本帝国愛国同志会 活版 一枚
 - 10 天文要覧序 斎藤実 大正一〇年一月 墨書 一二枚 小野子肅篤草稿
 - 11 評議員会議案 海防義会理事長小松謙次郎 大正一一年八月二日 蒟蒻版 一綴
 - 12 通信一覧 第三一回 大正一一年一月調 通信大臣官房文書課 大正一二年一月 活版 一冊 分課並職員・俸給及給料・歳入及歳出・共済組合・通信・貯金・保険・電気・海事
 - 13 十勝国鹿追村勢一覧 村長諸戸義久 大正一二年 活版 一部 鹿追村大正一二年度予算・教育費学校別及児童一人当平均比較 概説・土地・戸口・官公衙・人口動態・職業別他
 - 14 忍野温泉調査報告 富士古文書の考証 神原信一郎 大正一三年一月二日 謄写 一綴
 - 15 帝都消防施設に就て 建設工業社社長小宮山倭亮 大正一三年三月 活版
 - 16 東京消防義会 川島清治郎私案 大正一三年三月 謄写 一綴 設立趣旨・規約
 - 17 露領水産組合定款 大正二二年四月改正 活版 一枚
 - 18 耕地の拡張及潰廃に関する調査 第一次 農商務省農務局 大正一四年三月 活版 一冊 大正八年一一二年
 - 19 土地利用及開墾事業要覧 第六次 農商務省農務局 大正一四年三月 活版 一冊 図表・開墾奨励施設・全国調・地方別調・参考
 - 20 耕地改良拡張事業要覧 第一次 農林省農務局 大正一五年三月 活版
 - 21 拓殖語学校規定 拓殖語学校 昭和二年一月 活版 一枚 趣旨目的・学科目・入学願書
 - 22 臨時評議員会報告事項・決議事項 義勇財団海防議會 昭和二年一月七日 活版
 - 23 昭和二年度事業報告書他 義勇財団海防議會 昭和二年 活版 一冊 事業報告書・貸借対照表・財産目録・歳入歳出決算書・基金決算書・仮受金決算書

- 24 通常評議員会議案・臨時評議員会議案 義勇財団海防議會 昭和三年一二月一八日 活版
- 25 通常評議員會臨時評議員會報告事項・決議事項 義勇財団海防議會 昭和三年一二月一八日 活版
- 26 通常評議員會臨時評議員會報告事項・決議事項 義勇財団海防議會 昭和四年四月三〇日 活版
- 27 海外拓殖學校設立趣意書（並要覽） 海外拓殖學校 昭和四年四月 活版
- 28 昭和三年度歳入歳出決算書 帝国水難救済會 昭和四年五月二四日 謄写 一綴
- 29 拓務學校設立趣意書並予算 昭和四年一二月 活版
- 30 通常評議員會議案・臨時評議員會議案 義勇財団海防義會 昭和四年一二月一七日 活版 一部
- 31 大日本不動會趣意書 大日本不動會本部仮事務所 昭和五年 活版
- 32 通常評議員會議案・臨時評議員會議案 義勇財団海防義會 昭和六年四月二五日 活版
- 33 「パプア」島・蘭領「ニューギニア」「ゲールフィンク」湾西岸地方開發調査の件 「パプア」通商協會 昭和六年七月 活版

○ パンフレット 二 大正時代

▪ 一一八、政治・行政

- 1 時局小言 松山守善 大正二年一月 活版
- 2 同志會叢書 第一 立憲同志會 大正二年六月 活版 一冊 官制及任用令問題（江木翼） 制度整理（長島隆二）
- 3 台灣の真相 久我懋正 大正二年一〇月 活版 一綴 台灣官憲の失政及悪業
- 4 東京の市電と市會 大正二年一二月 活版
- 5 列國議會同盟規則・列國議會同盟日本議員團規約 衆議院公報付録 大正三年二月 活版 一冊（付）列國議員同盟日本議員團團員
- 6 政局大觀 田中勇右衛門 大正三年六月 活版 一冊 憲政の前途・内閣の失敗と政黨の非立憲・海軍問題と政友會・海軍問題と反對黨・海軍問題と貴族院・予算不成立と政府の辭職・元老會議と後繼内閣・大隈伯の内閣と三派合同の計画・大隈内閣と政黨の革新・臨時議會と解散・臨時議會と政友會
- 7 八州公論 七月号 大正一二年七月一日 活版 一部
- 8 第七政戰録 鈴木梅四郎 大正八年六月 活版 一冊 第四一議會報告書
- 9 ハウス大佐 Arthur D. H. Smith 星一訳 大正八年八月 活版 一冊 米國政界の大立者 現代の隠れたる偉人
- 10 國家之憂患 梶井盛 大正九年一二月 活版 一冊 衆愚人を誤り國を誤る・思想問題の分量・普通選挙の実体と政黨・選挙界の実験・労働問題・國民教育の方向
- 11 普通選挙と教育制度刷新の急務 安川敬一郎 大正九年一二月 活版
- 12 立憲政友會史要 小林雄吾 大正九年一二月 活版 一冊 創立の由来及準備・発會式及爾後の事歴・西園寺總裁時代・原總裁時代・本部役員更迭表・調査機關沿革・每期議會の院内役員
- 13 國策の遂行と国力 馬場義興 大正一〇年一月 活版 一冊 商工立國策の帰趨・原料及販路に対する不安・一流對二流國の本然的關係・排日問題・世界の大勢・国内工業保護論
- 14 陪審制度と原内閣 野村雪堂 大正一〇年八月 活版 一冊 緒言・憲政治下の一大矛盾・陪審制度と原内閣・陪審制度と大木伯・枢密院と憲法政治・枢密院と元老院・陪審制度と帝國の地位・危險思想と陪審制度・正義人道と陪審制度・陪審制度と疑獄・結論
- 15 時事小言 森作太郎 大正一〇年一〇月 活版 一冊 非模倣論・國家主義・労働問題・經濟・教育と宗教
- 16 綱紀弛廢の原因と善後策 貴族院議員上山滿之進 大正一〇年一〇月 活版
- 17 國體論 江木衷 大正一〇年一〇月 活版

- 18 一九二一年英帝国会議の概要 工藤隆治 大正一〇年十一月一日 活版 一冊 緒言・帝国会議の性質・帝国会議の沿革・帝国会議の問題・帝国会議召集理由・戦後の海軍・英国海軍・英本国と植民地との関係・米国海軍・日英同盟・各首相演説・太平洋問題並軍備制限問題
- 19 憲法と陪審法 江木衷 大正一〇年 活版
 - 20 第四五回帝国議会報告 衆議院議員木村作次郎 大正一一年四月 活版 一冊 第四五議会を了へたる日・新法概念・山東問題の解決と両国の将来・如是貴族院の分野・華盛頓会議の経過・大垣市会議員の改選に際して
 - 21 時代の要求と加藤内閣 進政会幹事長池谷源一 大正一一年七月 活版 一冊 巻頭語・加藤内閣出現に就て・普選と文化程度・治国の大本と加藤内閣・情実政治と現宰相・現内閣の財政経済方針
 - 22 各政党首領に対する憲政斉美の警告 大日本国粋会関東本部・陸軍中将佐藤鋼次郎 大正一二年六月 活版
 - 23 普選の五〇大欠陥 鈴木鷲山 大正一二年六月 活版 一冊 与論としての普選の一〇大欠陥・普選の立法主義上の三〇大欠陥・普選を与えざる結果に対する考察
 - 24 補欠選挙と所謂妥協問題 大正一二年七月七日 活版
 - 25 日本主義第二号 壬戌会 大正一二年八月 活版 一冊 天下無敵（上杉慎吉） 立憲政治の二大脅威（和木寅次） 則鳴録（高樹新蟬） 文化主義の暴威（茂木久平） 我国の嘆美者ピケロウ氏（山県五十雄） 他
 - 26 大詔を拜して特に後藻新平の自決を促す 東亜社 大正一二年十一月 活版 一冊 大詔を拜して・ヨ氏来朝の違算と成功・共産主義の宣伝は破壊と侵略である実証・主義者の叛逆的宣伝文と歌謡に付て・叛逆者庇護の秘密政策か・甘粕事件の動機に関する考察・戒厳司令官の免職と後藤氏・レーニン号事件の真相・乱臣賊子後藻新平の自決を促す
 - 27 起てよ無産の愛国者 上杉慎吉 大正一三年一月 活版
 - 28 政治は腐敗して国危し 総選挙に臨み天下に警告す 今田万次郎 大正一三年一月 活版
 - 29 現下の三大要綱に就て（貴族院に於ける演説要旨） 貴族院議員藤山雷太 大正一三年一月 活版 一冊 内閣の成立と貴族院・国是の確立・国防の真諦・教育方針の革新・文官任用令の撤廃・立国の基礎は産業にあり・農民現下の声・人口調節と満蒙及び西伯利亚・刻下の急務としての三大要綱・所謂超然内閣の使命・予の所謂更始一新論・結論
 - 30 政治改造運動 武藤山治 大正一三年一月 活版
 - 31 地方行政要覧 帝国地方行政学会 大正一三年一月 活版 一冊 地方行政年表・国土・人口・自治団体・地方財政・教育・産業
 - 32 社会主義運動と第二憲政擁護運動 内藤隈南 大正一三年二月 活版
 - 33 加藤内閣提出普選法案反対論 大正一四年三月 活版 一冊 第五〇議会に於ける普選反対論 和田彦次郎君総理大臣に対する質問演説・和田彦次郎君普選反対論・和田彦次郎君成案反対論
 - 34 大正一三年感想録 高崎市民各位に呈す 菊池武徳 大正一三年四月 活版 一冊 総選挙に臨みて・吾を信ぜよ・政局批判・日本と猶太の関係・階級闘争論・赤露承認の得失・日本の往くべき道
 - 35 国政論集 戸水寛人 大正一三年四月 活版 一冊 世界大戦に際して日本の取る可き方針・太平洋会議に就て・衆議院に於ける漢学振興に関する建議案の説明・普通選挙即時断行反対演説・再び普通選挙の不可なるを論ず・教育制度の改革を論ず
 - 36 政海の暗礁 東亜連盟協会主幹菊池武徳 大正一四年二月 活版
 - 37 国体擁護と皇道宣揚 大正一四年三月 活版 一綴 破倫無道を強い、民族性を奪い、忠孝を無忒し、皇国魂を喪ぼし、国体を危うする個人主義的普選案と国民の覚悟（付）推薦文 純正普選期成会頭山満

- 38 文官任用令問題意見集 工政会 大正一四年七月 活版 一冊 文官任用令の改正について
- 39 時事パンフレット 第一号 時事パンフレット社 大正一四年七月 活版 一冊 根拠なき政界の言動・協調内閣の幻滅・行き詰った犬養毅
- 40 瀕死の琉球 都新聞記者新城朝功 大正一四年九月 活版
- 41 何故官を辞した乎 小原新三 大正一四年一〇月 活版
- 42 統計上より観たる我国の将来 横山雅男 大正一四年一一月 活版 一冊 大正一四年一一月一四日水交社内終会に於ける講演
- 43 普選以後に備へよ 後藤新平 大正一四年 活版
- 44 内と外との問題 芝染太郎 大正一四年 活版 一冊 第二維新の信条（ネオシントイズム）・民族的の対策・新らしき露国の研究
- 45 普選は如何にして成立した乎 菊池武徳 大正一五年二月 活版 一冊 緒言・憲政会は何を為せし乎・珍品五何をか語る・旧国民党の初中終・政友会の衿持・政党外の功労者・政友本党は何を為すべき乎・結論・附衆議院議員選挙法
- 46 柱石の重臣を戒め国民の自覚を促す 田中弘之 大正一五年一〇月 活版
- 47 若槻首相の進退に関する請願書 松林亮 大正一五年一二月 活版 一冊 臣道を論じて若槻首相に誨ふ
- 48 市井の奸商久原房之助 大正一五年 活版 一冊 阿片密輸の容疑者が国务大臣
- 49 北一輝西田税一派の民主革命思想を批判す 山岡恒文 活版
- 一一九、 外交・軍事
 - 1 平和的世界統一政策 衆議院議員鈴木梅四郎 大正元年九月 活版
 - 2 時事新報付録 大正二年八月二一日 活版 一部 日英同盟の真相 故林董伯談
 - 3 攻勢と防勢・南洋事情 大日本国防義会 大正三年六月 活版 一冊 攻勢と防勢（黒沢準） 南洋事情（井上雅二）
 - 4 東方協会十月例会記事 東方協会 大正三年一一月 活版 一冊 欧州最近戦況（長尾恒吉） 戦時財政及び対支貿易発展策（辻村楠蔵）
 - 5 時局収拾管見 松浦厚 大正三年一二月 活版
 - 6 東方協会一月例会記事 東方協会 大正四年二月 活版 一冊 南洋占領諸島の現状（吉田茂明） 青島警見所感一堀内文次郎） 太平洋に於ける列強の発展一山崎直方一
 - 7 欧州戦乱と我国防上の危機 葛生東介 活版
 - 8 独逸の対露政策 奥野七郎 大正七年二月 活版 一冊 独逸の対露政策・独逸人の露西亜観
 - 9 Reality No. 85, 86, 87, 90, 91 活版 五部 The World's Searchlight on Germany
 - 10 世界平和の基礎 坂琢治 大正八年六月 活版
 - 11 警世危言 中城正城 大正八年七月 活版 一冊 世界の大勢・列国領土一覽表・白哲人及有色人領域概見図・世界各国面積一覽図表・宗教人種別世界各国面積人口一覽表
 - 12 外事特報 第三号 海軍軍令部 大正九年一〇月一〇日 活版 一冊 英国政情近況・中南米政情近況（付） 対土条約により変更せる土耳其情勢一般
 - 13 対米開戦論 小平総治 大正一〇年三月 活版
 - 14 当面の太平洋問題 和戦動衡論 西師意 大正一〇年八月 活版 一冊 帝国の大目的・平和将来の訣・終焉の祝福・國際審理の管轄違・人道第一の努・小利害の紛争・陸軍の除外・米国の軍国主義・米人の空論・社稷の

憂・不動の姿勢・衝角の緩和

- 15 二〇年前の回顧 日英同盟の効力 西師意 大正一〇年九月 活版 一冊 泰東の休戚・日英同盟の解
 - 16 須らく核心に触れよ 華府会議と吾等の希望 松木幹一郎 大正一〇年九月 活版 一冊 華府会議の起因・軍備制限問題・国民の生存問題・人口問題移民問題食糧問題・愚なる滿蒙移民論・産業立国主義の欠点原料政策・何処に往くべきか・門戸開放の主張と開放後の責任・仏領印度支那論 (付) 横山氏印度支那起業意見
 - 17 国際公法上より見たる所謂太平洋会議 篠田治策 大正一〇年九月 活版 一冊 於大東同志会主催太平洋問題講演会
 - 18 極東に於ける米国の隱微政策 大亜義会 大正一〇年一〇月 活版 一冊 (付) 間島問題の善後
 - 19 太平洋会議と滿蒙商租問題の根本的解決を促す 川村宗嗣 大正一〇年一〇月 活版 一冊 商租権の内容に関する私見
 - 20 太平洋会議に際し日本実業家の真意を闡明す 藤山雷太 大正一〇年一〇月 活版
 - 21 英米の争覇と華盛頓会議に対する新日本の対策 佐々木嘉市郎 新東邦協会調査局 大正一〇年一〇月 活版
 - 22 大亜義会会報 大亜義会本部 大正一〇年一二月 活版 一枚 大亜義会主旨・大亜本義・主張
 - 23 国際関係の現状と経世家の責務 モット博士 大正一一年五月 活版
 - 24 華盛頓会議に対する網島代表の実見の感想 神学博士網島佳吉 国際平和協会 大正一一年六月 活版 一冊 (付) 華盛頓会議に関して米国の名流より本協会に寄せたる消息
 - 25 男爵九鬼隆一氏談 大正一一年一〇月 活版 一冊 国際状況と日本
 - 26 武器問題の真相 亜細亜青年党野村雪堂 大正一一年 活版
 - 27 支那に関する九国条約 大正一一年 活版
 - 28 借行社記事 第五八二号 大正一二年二月 活版 一冊 原少佐の兵器事件に就て・突撃の三大変化に就て・教育学他
 - 29 国際連盟協会に就て 国際連盟協会 大正一二年三月 活版 一冊 国際連盟の由来と其の業績・各国の連盟協会と其の連合会・日本国際連盟協会の成立と其の事業
 - 30 対米問題私見 藤原俊雄 大正一二年四月 活版 一冊 人種平等期成会に於ける演説速記
 - 31 日米衝突の必至と国民の覚悟 上杉慎吉 大正一三年九月 活版
 - 32 全国軍人諸君に告ぐ 上杉慎吉 大正一三年 活版
 - 33 外国植民地制度梗概 二 朝鮮総督府文書課 大正一四年三月 活版 一冊 比律賓統治概観・一九一六年比律賓自治法
 - 34 世界不安の現勢とヴェルサイユ条約 ウィリアム・マルチン 大正一四年九月 活版 一冊 ジャパンタイムズ邦文パンフレット通信
 - 35 最近の露支関係 赤化途上の支那 大正一四年九月 活版 一冊 ジャパンタイムズ邦文パンフレット通信
 - 36 英国海軍の煩悶 チェラード・フィンネス 大正一四年一〇月 活版 一冊 ジャパンタイムズ邦文パンフレット通信
 - 37 南北中米視察談 井上雅二 華族会館 大正一四年一二月 活版
 - 38 国民主義と国際主義 教化資料第四四輯 塩沢昌貞 教化団体連合会 大正一五年四月 活版
 - 39 補助艦問題の経緯 貴族院議員坂本俊篤 海軍協会 大正一五年八月 活版
 - 40 World's Peace and Freedom of the Sea Rear-Admiral Tamisaburo Miyaji 活版
- 一二〇、財政・金融

- 1 金融緊縮、金利騰貴、株式暴落の原因及救済策 清水文之輔 大正二年 活版
- 2 金融政策に対する私見 高橋是清 大正八年一〇月 活版 一冊 通貨と物価との関係に関し・我国通貨の増加が不健全なりとする点に関し・通貨膨張の原因に関し・其の他の点に関し（付）第六回議員銀行家連合懇親会席上に於ける高橋日銀総裁の演説 明治四五年二月一一八日
- 3 戦後経営平和記念民資増殖奨励資料（一） 東京府 活版 一冊 名称及特質・貯蓄法の種類・貯金実行方法・奨励の方法（参照）東京府訓令第四〇号 民資増殖奨励に関する件
- 4 民力涵養に関する戦後必行要項 東京府 大正八年六月改訂 活版 一冊（付）内務省訓令第九四号
- 5 金融政策意見書 高橋是清 大正八年 活版 一冊 通貨膨張に関し・物価騰貴の影響に関し・労銀問題と同盟罷工に関し・現下必要の施設
- 6 金融政策私見 三島太郎 大正九年六月 活版 一冊 中央金融市場の拡張並に改善に対する対内的善後策・中央金融市場の改善に対する対外的善後策・結論
- 7 改正所得税法説明書 大蔵省主税局 大正九年八月 活版 一冊 改正の目的・改正の綱要・施行時期に関すること・納税義務者及納税関係者の心得（付）所得税法・所得税法の施行に関する法律・所得税法施行規則
- 8 東亜経済力樹立に関する意見 高橋是清 大正一〇年五月 活版 一冊 国策の意義・国力批判の標準・亜細亜経済力の樹立・支那の現状と当面の重要問題・英米の確執と其東洋侵入
- 9 金輸出解禁是非 矢野恒太 活版 一冊 財界の不安・兌換制度と外国為替のこと・解禁問題の由来・平価解禁論・非解禁（尚早）論・新平価解禁論・漸進的平価解禁論・解禁の準備・金の流出・気迷の相談
- 10 金輸出解禁の急務 市政講究会評議員武藤山治 大正一一年一〇月 活版
- 11 連盟国負債問題の研究 米国コロンビア大学教授セリグマン 藤原俊雄訳 大正一二年四月 活版 一冊 米国の連盟各国に対する債権整理問題
- 12 重ねて我経済政策を論ず 松方幸次郎 大正一二年八月 活版 一冊 輸出増進、物価下落、失業防止、金利引下論
- 13 地租委譲絶対反対論 貴族院議員菅原通敬 大正一二年九月 活版
- 14 関東州幣制の複本位的傾向を難ず 榊原健 大正一二年一〇月 活版 一冊 緒論・法律論・経済論・結論
- 15 英国経済雑誌の権威スタテスト誌の見たる「日本経済状態」に就いて 松方幸次郎 大正一二年一二月 活版
- 16 何故お互は馬鹿である乎並に外債募集反対論 松方幸次郎 大正二二年四月 活版
- 17 我国財政経済の概観 教化資料第一三輯 小林丑三郎 大正一四年一月 活版
- 18 金解禁への道程 片山繁雄 大正一四年二月 活版 一冊 外国為替相場・予備療法・早急に金解禁を実行したる結果・結論
- 19 難局打開の道 教化資料第一二輯 守屋栄夫 大正一四年四月 活版
- 20 円貨の低落と国民の覚悟 教化資料第二三輯 牧野輝智 大正一四年五月 活版
- 21 経済攻究会第六回報告 経済攻究会 大正一四年八月 活版 一冊 財政整理続行に関する決議
- 22 英国金輸出解禁に対する評論を論じて我経済政策に及ぶ 松方幸次郎 大正一五年二月 活版
- 一二一、産業・交通・労働
 - 1 樺太の漁業制度 植民問題研究資料其一 平岡樺太庁長官 大正二年一二月 活版 一冊（付）樺太協会趣意書会則事務章程其他 樺太協会 大正二年二一月 活版 一部
 - 2 東京府産業組合指導監督に関する五箇年計画の要領 活版 一冊 緒言・産業組合不振の原因・将来の計画の概要・指導監督機関・監督の方法・連絡機関・指導奨励の方針・指導奨励の方法・資本金の利用策

- 3 時局の鉄道運輸に及ぼせる影響並に国有鉄道の対応施設概要 鉄道院 大正七年六月 活版 一冊 緒言・戦乱前に計画せる国有鉄道改良事業の概要・開戦以来我国有鉄道運輸総量の激増・滞貨に対する応急施設・滞貨に対する将来の計画及希望・鉄道改良の根本計画
- 4 労働問題管見 安川敬一郎 大正八年九月 活版
 - 5 独逸新聞重要記事綱要 第四三号 臨時産業調査局資料科 大正八年十一月五日 謄写 一綴 石炭公営に関する法律案の内容
 - 6 独逸新聞重要記事綱要 第四四号 臨時産業調査局資料科 大正八年十一月二日 謄写 一綴 労資協議会制度に関する憲法法案
 - 7 事実上の証明 世界第一のパッケージに就て 内外興業株式会社 大正八年 活版
 - 8 製鉄業統一に就て 高木陸郎 大正九年六月 活版
 - 9 現物市場問題を如何に解決す可き歟 大阪証券交換所専務取締役久我金三郎 大正九年六月 活版 一冊 取引所問題の現状・定期取引と現物市場・賭博と投機と放資・事實は最も雄弁也・問題の解決や如何
 - 10 改訂増補船舶国有意見書 大刀川又八郎 大正九年一月 活版 一冊 国防必須要件・交通国策樹立・国有断行好機・国有収支予算・付表
 - 11 十字路に停める労働者へ 田中隆一編 大正一〇年一月 活版 一綴 (付) 送付書 大正一〇年三月一〇日 一通
 - 12 大正一〇年七・八月当社罷業事件経過概要 川崎造船所 大正一〇年八月 活版
 - 13 神戸に於ける三菱労働紛議 三菱造船・三菱内燃機製造・三菱電機 大正一〇年九月 活版
 - 14 労務一家言 上 矢野政二 時事評論社 大正一〇年一〇月 活版
 - 15 労務一家言 下 矢野政二 時事評論社 大正一〇年一〇月 活版
 - 16 常備労働者の生活 大阪市役所社会部調査課 大正一一年三月 活版 一冊 機械工業労働者・染色工業労働者・化学工業労働者・特種工業労働者・労働団体関係者・官公署被傭人
 - 17 船舶合同実行意見書 太刀川又八郎 大正一一年八月五日 活版
 - 18 実業組合連合会の覚醒を促し併せて某氏の反省を望む 中山太一 大正一一年一二月 活版
 - 19 余土村之農政産業組合の小作管理 余土村産業組合 大正一一年一二月 活版 一冊 緒言・農事概況・共同作業・自作農創設奨励・産業組合の小作地管理・結論
 - 20 自由港の設置並に海外移民奨励に関する請願 柴垣豊 大正一二年二月 活版
 - 21 阪敦運河開鑿計画案 陸軍憲兵大尉吉田幸三郎 大正一二年八月 活版 一冊 本事業提唱の経歴概要・本事業の目的及其効果・本事業計画概要・既存事業対案・事業費概算・収益概算・結論
 - 22 御歎願書 山本総理大臣・後藤内務大臣・田農商務大臣宛 大正一二年一〇月 活版 一冊 農村救済
 - 23 食糧問題の喫緊事 九鬼男爵講演速記 大正一三年二月 活版
 - 24 海外産業功労者彰績録 日本産業協会 大正一三年五月 活版
 - 25 農村振興に関する一考察 貴族院議員大河内正敏 大正一三年七月 活版 一冊 農村の窮迫と人造絹糸・農村振興事項・肥料の価格低下と理化学の研究・鉍毒の肥料化・農村の電化及機械化・農村副業の工業化・農村問題と国防計画・結論
 - 26 海洋政策私見 宮治民三郎 大正一三・一四年 活版 一冊 米国の海洋調査と我国将来の危険に就て・水産立国策筋書・米国の海洋調査
 - 27 国際経済戦争を通じて見たる我国産業の発達を阻害する時弊九ヶ条 今泉嘉一郎 大正一四年八月 活版 一冊 産業界自身が組織の改善に適當の努力を費さざること・一般人心が産業の使命に十分理解を持たざること他

- 28 炭坑争議の経緯及英国産業界の現状 大正一四年九月 活版 一冊 ジャパンタイムズ邦文パンフレット通信
- 29 国際航空路の話 大正一四年九月 活版 一冊 ジャパンタイムズ邦文パンフレット通信
- 30 社会政策と労働立法 大正一四年九月 活版 一冊 ジャパンタイムズ邦文パンフレット通信
- 31 交通対思想、経済困難観 松尾小三郎 活版
- 32 北海道開発策 北海道倶楽部幹事田中清輔・北海道会議員岩田宗晴 活版 一冊 経済機関の必要を論ず
- 一二二、教育
 - 1 九鬼男爵談片 東京美術学校改革問題 大正五年四月 活版
 - 2 東京美術学校改革問題世論一斑 石井柏亭・朝倉文夫編 大正五年五月 活版 一冊 東京美術学校は如何なる改革を要するか 美術教育の本来（高村光太郎） 美術学校問題（魯庵生） 腐敗を極めたる 東京美術学校（石井柏亭） 問題の東京美術学校（叱牛生） 他
 - 3 社団法人日本体育会一覧 大正七年二月 活版 一冊 趣旨及定款・沿革大要・事業概要・事業成績・施設すべき事業要項・本会役員
 - 4 民生教育 目賀田種太郎 大正九年九月 活版 一冊 民生教育とは何ぞ・個人訓練の基礎・自省に依る訓練・固有才能の發揮に努めよ・学校教育の実際化・結論
 - 5 新国語文法 用言之卷 松岡静雄 大正一二年五月 謄写
 - 6 月刊学校増設宣伝第二号 学校増設宣伝会 大正一二年六月五日 活版 一部
 - 7 国民教育に就て与総理内務文部三大臣之書 多木製肥所主人多木久米次郎 大正一三年一月三〇日 活版 一冊（付）現政府各位の覚醒を促す為警告 大正一三年二月四日 活版 一枚
 - 8 中学校に於ける外国語に就いて 大阪外国語学校 大正一三年三月 活版 一冊 中学校に於ける独逸語及仏蘭西語の学級増設の建議
 - 9 漢字廃止を前提とする字音かなつかいの研究 松岡静雄 大正一三年一〇月 謄写 一綴
 - 10 学校教練振作の指針 陸軍省軍務局 大正一四年三月 活版 一冊 学校教練振作施設の経緯・学校配属引当将校の召集並其の際に於ける諸口演・学校教練振作に関する法令諸規定・結論
 - 11 意見書 教育調査会会員九鬼隆一 活版 一冊 日本語文字平易化に就いて
 - 12 九鬼男爵政教談 活版 一冊 精神的教育振作の急務・教育勅語と宗教・我国体と外来宗教・精神的教育欠乏の結果・宗教的感化の勢力・宗教家活動の局面及び方法・結論
- 一二三、移民
 - 1 近世植民政策の趨勢 拓殖局報第三一 拓殖局 大正元年一〇月 活版 一冊 緒論・近世的植民の特色・近世植民地統治の趨勢・近世植民地立法の趨勢
 - 2 モンロー主義が我民族の海外発展に及ぼす影響 大日本国防義会中野武栄 大正二年四月 活版
 - 3 報告 添田寿一・神谷忠雄 大正二年八月 活版 一冊 加州に於ける土地問題
 - 4 米国加州排日事情 加州外人新土地法直接立法顛末 千葉豊治 大正一〇年二月 活版 一冊 日米関係調査蒐録第一輯
 - 5 米国加州及び布哇に於ける日本人問題 千葉豊治 大正一〇年一〇月 活版 一冊 排日問題
 - 6 米国に於ける排日思想の変遷 千葉豊治 大正一〇年一二月 活版 一冊 世界大戦前の排日思想・世界大戦後の排日思想変化
 - 7 東西文明の調和を国際是と為すの意見 日本移民協会幹事加藤壮太郎 大正一三年四月二五日 活版
 - 8 八方塞がりを打開して邁進すべき国民の総使命 日本移民協会幹事加藤壮太郎 大正一三年七月 活版 一冊 東西

文明の調和を国際是と為すの意見・我国の物質的發展に就ての管見

- 9 米国を中心として観たる移民問題 外務省情報部 武藤事務官 大正一三年七月 活版 一冊 移民の増加及其の種類の變遷・移民渡來の理由・旧移民と新移民・米国移民政策の變遷
- 10 日本植民相談所報告 内藤英雄 大正一五年七月 活版 一冊 大正一四年度決算報告・大正一五年度予算・大正一四年度事業報告・大正一五年度事業計画 所員名簿・顧問
- 11 米国加州の農業問題 米国加州中央農会専務理事千葉豊治 活版
- 12 排日の巷より 実業公論社社長中村杏道 活版 一冊 日米問題に関して我官民に与へて覺醒を促がす
- 一二四、中国
 - 1 对支那意見書 支那同志会 大正二年一月 活版 一冊 支那保全
 - 2 对支策断案 黒竜会本部 大正二年六月 活版 一冊 支那統治の前途・支那分割の趨勢・滿蒙問題解決の急務・北守南進政策と滿蒙問題・經濟上に於ける南滿州・滿蒙問題解決の好機 (付) 日本の執るべき亜細亞政策
 - 3 支那時局の真相を披歴して我邦の識者に訴う 萱野長知 中華民國通信社 大正二年六月 活版 一冊 (付) 宗案 破獲始末記 陸惠生
 - 4 旨趣書及規約書滿蒙問題理由書 对支同志連合会 大正二年九月 活版 一冊 支那問題に対する日本の主働的位置 他
 - 5 露支協約に対する意見 对支連合会 大正二年十一月三日 活版
 - 6 政府弾劾運動理由書 对支連合会 大正三年二月 活版 一冊 支那問題の解決
 - 7 排袁帝政議 小越平陸 活版
 - 8 中華民國憲法案會議經過对照表 日支国民協會 大正七年五月 活版 一冊 中華民國憲法案沿革・中華民國憲法案會議經過对照表
 - 9 蒙古開拓之機運 武藤金吉 大正七年 活版 一冊 視察談
 - 10 米国の对支經營策 速水篤治郎 大正八年一月 活版 一冊 戦後支那に於ける米国の經濟的活動準備
 - 11 对支貿易振興策と支那總稅務司制度 関東庁囑託製鉄所囑託野波静雄 大正九年一月一日 活版
 - 12 支那視察に関する報告 府立東京商工奨励館 大正九年一二月 活版 一冊 鮮滿支那視察報告 (細沼浅四郎) 日支經濟的關係一斑 (安本重治)
 - 13 間島の富源 平山多次郎 大正一〇年一月 活版 一冊 借行社記事第五五七号付録
 - 14 对支政策私議 由比氏 大正一〇年一月 活版
 - 15 山東談叢 第一集 田中逸平 大正一〇年七月 活版 一冊 十度泰山の上に立ちて・水滸伝奇と梁山泊考・支那回教問題の将来と皇国神道 (付) 漢文廢止問題を中心にして
 - 16 北支那饑饉救済の調査 上海東亜同文書院研究部 大正一〇年一〇月 活版 一冊 北支饑饉の救済会・外国人の救済・支那政府の救済・支那民間の救済・饑饉救済前後の状況
 - 17 日本人口糧食問題と滿鮮經綸 解説参考 大正一一年三月 活版
 - 18 日本人口糧食問題と滿鮮經綸 要綱 千葉豊治 大正一一年三月 活版
 - 19 哈爾濱日本商業會議所時報 第六号 哈爾濱日本商業會議所 大正二年六月 活版 一冊 哈爾濱輸入貨物事情・北滿産皮革に就て他
 - 20 財政上より見たる関東庁 大正一一年九月 活版 一冊 緒論・一般會計より受くる補充金・經費の膨張と施設・一二年度の事業費・歳入予算の内容・歳出予算の内容・地方費の膨張・經費節減の予知
 - 21 衆議院議員支那視察団日誌 大正一一年一〇月 活版 一冊 団長広岡宇一郎他衆議院議員九名同行二名

- 22 大陸政策論 岩本栄 満蒙協会 大正一一年一〇月 活版 一冊大陸政策の目的・対支外交上の利器・関東租借地・満州租借地に於ける統治機関及関東庁の政務・満鉄と文化的施設・我が文化普及の必要・我が食糧問題と満蒙の富源・満鉄中興の早川千吉郎氏・野村前社長の功績・伊集院長官に期待す・植民地事業と石塚総裁、美濃部総裁・結論
- 23 対支外交の最大禍根者 東亜電報通信社 大正一二年三月 活版 一冊 加藤高明外交批判
 - 24 日支親善策の研究 東方文華第二輯 能勢岩吉編 大正一二年六月 活版 一冊 日支親善の根本策（粕谷義三）日支両国の使命（能勢岩吉）西原借款明細書
 - 25 絶交問題 中外大事社 大正一二年七月 活版 一冊 日貨排斥経済絶交問題
 - 26 哈爾濱日本商業会議所時報 第二巻第七号 哈爾濱日本商業会議所 大正一二年七月 活版 一冊 哈爾濱に於ける邦人の事業・北満州産業の過去及現在・哈爾濱の油房現況・北満州事情大要・大正一二年自一月至五月月別建材物価表・哈爾濱重要商品商況
 - 27 哈爾濱日本商業会議所時報第二巻第八号 哈爾濱日本商業会議所 大正一二年八月 活版 一冊 北満産小麦に就て・哈爾濱に於ける邦人事業他
 - 28 東方時局の諸問題 東方文華第三輯 能勢岩吉編 大正一二年八月 活版 一冊（付）日本の食糧問題と暹羅の米（石丸祐正）中国鉄道外債の現状
 - 29 哈爾濱日本商業会議所時報 第二巻第一二号 哈爾濱日本商業会議所 大正一二年一二月 活版 一冊 在哈爾濱邦人特産商の現状・吟市邦商輸入綿糸布数量・物価調他
 - 30 満州土地商租問題解決の好機 川村宗嗣 大正一三年一月 活版 一冊 当面の事情と商租問題に伴う難問題商租権の内容と問題解決の好機
 - 31 遊支感想録 穂坂秀一 大正一三年六月 活版 一冊 緒言・対支政策の不統一・支那人の性格及び民性・清末より中華民國に至る政情・支那側自覚すべき点及び日本側も反省すべき点・我に対する彼の侮蔑・在支英米人の勢力
 - 32 満鉄会社の奉天商埠地買収問題の経緯 満州朝鮮人親愛義会本部田原天牛 大正一三年六月 活版
 - 33 満蒙文化協会パンフレット 第三輯 満蒙文化協会 大正一三年六月 活版 一冊 在満目支人の経済的消長に就て・会報・会員名簿
 - 34 盛世危言 津田隆司 大正一三年七月 活版 一冊 民風作興の大詔を拝して七千万同胞に想ふ（付）日支親善の根本義諦
 - 35 支那の病根 川島浪速 大正一三年一〇月 活版
 - 36 満蒙開発策 石山福治 在外朝鮮人事情研究会 大正一三年一一月 活版 一冊 序言・満蒙開発の概念・土地商租問題・日支合併企業問題・在満蒙朝鮮人問題・満蒙警備問題・満蒙関係の対支借款・排日官公吏の処置・領事裁判撤廃問題・間島将来の問題・突発事件の解決法・策案大綱
 - 37 混線の支那 菊池武徳 大正一三年一二月 活版 一冊 動乱の表裏・各勢力の分野・日本と満蒙・善後策の要諦・民間の論調
 - 38 甦生の支那 山本唯三郎 大正一四年二月 活版 一冊 支那動乱について
 - 39 日本の植民政策と満蒙の拓殖事業 山田武吉 大正一四年二月 活版 一冊 其の更新と振興の要を論ず
 - 40 日本工業の支那進出に関する研究 上田務 大正一四年四月 活版
 - 41 経済危機の打開策として満蒙の開発を提唱す 石本恵吉 大正一四年四月 活版 一冊 緒言・我国の国際経済・輸出奨励の価値・貿易外収入増加・満蒙開発と鉄道・満蒙開発の資金・独米植民地経営の実例・満蒙進出と対

支外交

- 42 満蒙文化協会パンフレット 第八輯 大正一四年一〇月 活版 一冊 会報・満蒙文化資料展覧会の盛況他
- 43 混乱の支那を視て来て 内藤隈南 大正一五年一月 活版 一冊 混線の支那と対支論策・郭松齡氏背叛の動機・反張運動と段派・奉派諸將の反揚宇霆氏・郭氏背叛と其の後・混乱の世と順逆論・超然たり得ぬ満州・赤化と排日・政略化したる出兵論・支那更正の萌芽
- 44 支那政治論 肅忠親王第八子憲真 南満州鉄道株式会社 大正一五年六月 活版 一冊 緒論・日本及支那の現状・日本対支那と清国対明国・基礎地盤・支那国民性・支那創業者の政策・清の開国政策と日本現今政策との比較・結論（付）憲真送付書 斎藤実宛 大正一五年七月一日 タイプ一通
- 45 日本の対支政策我観 憲真 大正一五年八月 活版 一冊 緒論・日本及支那の現状・日本対支那と清国対明国―基礎地盤・支那国民性・支那創業者の政策・清の開国政策と日本現今政策との比較・結論
- 46 南満州に於ける土地商租問題 調査資料第一編 東亜勸業株式会社 大正一五年八月 活版 一冊 緒言・商租の内容・在来の土地利用方法・余論・付録
- 47 対支並に対満蒙の根本経綸 川島浪速 大正一五年一一月三日 活版 一冊 於西園亭講演
- 48 支那衣住食の常識 中日文化協会 大正一五年一二月 活版 一冊（付）本協会事業経過報告
- 49 中国国民党 清水薫三 東亜同文書院支那研究部 大正一五年一二月 活版 一冊 支那研究第一二号別刷
- 50 対支国策の危機 江崎郁郎 大正一五年二戸 活版
- 51 満蒙問題と若州小浜湾の価値 東郷吉太郎 活版
- 52 満鉄問題の真相 日清興信所主任山口忠三 活版
- 一二五、ロシア
 - 1 自主的出兵論 衆議院議員松田三徳 大正七年七月 活版
 - 2 西伯利問題 衆議院議員頭本元貞 大正九年一月 活版 一冊（付）レーニン政府の真相
 - 3 露西亜飢饉の真相 黒竜会本部 大正一一年一〇月 活版 一冊 敢て博愛任侠なる日本国民の蹶起を促す
 - 4 ヨツフエ君に訓うる公開状 北一輝 大正一二年五月九日 活版 一冊 露西亜自らの承認権放棄
 - 5 露国革命の真相 壬戌会 大正一二年五月 活版
 - 6 露西亜承認論 大正一二年五月 活版 一冊 日露の真実関係（三宅雪嶺）高処より（沢柳政太郎）
 - 7 露西亜承認論 大正一二年六月 活版 一冊 脉搏通ずる日露両国（大山郁夫）国際友連主義の一着手（杉森孝次郎）
 - 8 露西亜承認論 大正一二年六月 活版 一冊 日露国交の精神的要素（中野正剛）日露復興の国内的緊急事情（伊藤正徳）日本側代表挨拶（三宅雪嶺）露国代表挨拶（ヨツフエ）
 - 9 極東露領に於ける通貨問題 朝鮮銀行 大正一二年一二月 活版 一冊 極東露領に於ける円貨幣・極東露領通貨問題の経過並露国側諸家の意見
 - 10 赤色露国の現状 東亜叢書第一編 野田蘭蔵 大正一四年四月 活版
- 一二六、思想、倫理
 - 1 神州の法制に現れたる信条の力 名尾玄乘 大正元年九月 活版 一冊 水交社記事第一〇巻一号付録
 - 2 国民思潮に就て 大正二年九月 活版 一冊 借行社記事第四六六号付録 本郷中将談話
 - 3 思想の選択に就て 本多日生 大正四年八月 活版 一冊 有終第二三号付録
 - 4 自覚と徹底 松本房之助 大正四年一一月 活版 一冊 勇行会の創立に就て
 - 5 勇行会会則 勇行会事務所 活版

- 6 神官神職を優待し以て国民思想の養成に尽さしむ可し 桜菊会給仕岡部長 大正八年一月 活版 一綴
- 7 中央義士会第五回報告 大正八年 活版
- 8 中央義士会第六回報告 大正八年一二月 活版
- 9 出雲問答 佐々木幸見・吉川健五郎編 大正九年五月 活版 一冊 千家蔵
- 10 春秋 第二号 泰秋社 大正一〇年九月 活版 一部
- 11 精神教化 自慶会 大正一〇年十一月 活版
- 12 資産家諸君へ 壬戌会 大正一一年一月 活版
- 13 露国革命と我思想界 第二号 依田光二 大正一二年一〇月 活版 一冊 危険思想に就て
- 14 天子論及官吏論 安岡正篤 社会教育研究所 大正一二年十一月 活版
- 15 国民思想の善導 伊東米治郎 大正一二年十一月 活版
- 16 救国運動と明魂の結盟 蓮沼門三 修養団 大正一三年二月 活版
- 17 国民精神の作興 九鬼男爵講演速記 大正一三年四月 活版
- 18 共同生活観念の確立 教化資料第二輯 穂積重遠 大正一三年一〇月 活版
- 19 改造要求書 川上英一郎 大正一三年十一月 活版
- 20 国民の精神的一致 教化資料第二〇輯 上杉慎吉 大正一四年四月 活版
- 21 国体観念 教化資料第二二輯 今泉定介 大正一四年四月 活版
- 22 生活の改善 教化資料第二一輯 棚橋源太郎 大正一四年四月 活版
- 23 国民の覚悟 教化資料第一八輯 吉田静致 大正一四年五月 活版
- 24 思想と国家 教化資料第一五輯 深作安文 大正一四年五月 活版
- 25 共存共楽主義大意 第一篇 宮井鐘次郎 神風会 大正一四年二月 活版 一冊 貧富の反目と社会悪の発生・今の社会の仕組・改造の原理としての共存共楽主義と其の三大綱領
- 26 何を待みとすべきか 教化資料第三一輯 守屋栄夫 大正一四年一二月 活版
- 27 教化事業と活動写真 教化資料第三九輯 橘高広 大正一四年一二月 活版
- 28 大日本大成会趣旨及規約案 大日本大成会發起人 大正一五年一二月 活版 一冊 (付) 信条・主義・綱領・目的・説明
- 一二七、その他
 - 1 皇謨恢張と帝都の位置 九鬼隆一 大正三年一二月 活版
 - 2 叙勲取消問題に就て 沢来太郎 大正五年九月六日 活版
 - 3 欧州旅行談 工学博士大河内正敏 有終会 大正七年一月 活版
 - 4 明治天皇に山岡鉄太郎先生御諫言の実際 墨書 一綴 (付) 全生庵記録の抜粹 金田清左衛門 大正七年三月 活版
 - 5 黒羽藩戊辰戦史資料 小林華平 大正七年六月 活版
 - 6 多門玉成会趣旨書 大正八年一〇月 活版 一冊 芸術奨励
 - 7 九鬼男爵の演述 井原豊作手記 大正一一年一〇月 活版 同文二冊 忠勇顕彰会総会に於て
 - 8 華府往返の路すがら 田川大吉郎 市政講究会 活版
 - 9 台湾遊草 持地六三郎 大正一二年四月 活版
 - 10 塚原周造氏海事関係五十年記念祝賀状況 記念祝賀委員 大正一四年五月 活版
 - 11 維新前後に於ける解放運動 融和資料第三輯 三好伊平次 大正一五年八月 活版

○ パンフレット 三 昭和時代

■ 一二八、政治

- 1 普選と憲政会 憲政宣伝社 昭和二年一月 活版 一冊 憲政政策叢書 普選実現と憲政会奮闘史・普選と憲政内閣功績・普選と憲政会功績・普選と若槻首相の演説・普選と国民の自覚
- 2 田中総裁は国賊か否か 広田荅洲 社会評論社 昭和二年一月 活版
- 3 疑獄松島事件 松林亮 昭和二年一月 活版
- 4 憲政会内閣の政策 若槻礼次郎述 憲政宣伝社 昭和二年二月 活版
- 5 田中義一論 矢野滄浪 昭和二年三月 活版
- 6 議会政治の危機 昭和二年六月一五日 謄写 一綴
- 7 普選に面して国民と政党・陸軍中將筑紫熊七 昭和二年一二月 活版
- 8 国会普選に直面して 久保山武雄・ 昭和三年一月 活版
- 9 普選天下昭和戊辰 矢野滄浪 昭和三年二月 活版 一冊 明るき日本・外交・財界救済・積極政策及地租委譲・悪化人心と悪思想
- 10 政党の解体を促す 梶井盛 昭和三年三月 活版 一冊 祖国を救い民を救わんが為め忠良なる我が純大和民族に計る
- 11 噴火山上の民政党 森田小六郎 昭和三年九月 活版 一冊 可能性に乏しき民政党内閣・外交と政争・屈辱外交と南京事件・満蒙政策の重大性・民政党の綱紀紊乱・憲本合同の旧式政党・安達一派とその策動・少壮議員の妄動・党弊打破の結論
- 12 除名に対する声明書 小寺謙吉 昭和三年九月 活版 一冊 (付) 床次顧問脱党の真相
- 13 小泉策太郎君に与えて愛染明王の返還を求む 普門寺住職 昭和三年一〇月 活版 一冊 事実を摘発し天下の正義に想え寺宝愛染明王御尊体の返還を求む
- 14 余の知る伊藤公 其二 金子堅太郎 昭和三年一〇月 活版
- 15 田中善立君の除名に対する弁妄書 憲政一新会 昭和三年一〇月 活版
- 16 安達謙蔵征伐論 松本正雅 昭和三年一〇月 活版 一冊 民政党を衰滅に導きつつある安達謙蔵を葬り党内革新の血祭に上げよ
- 17 政界秘聞政権民政党素通りの巻 風雲荘主人 政治春秋社 昭和三年一二月 活版 一冊 見よ安達等幹部のヘマサ加減を・語るに落ちた安達等の不純振・安達の陣笠操縦術の解剖・倒閣第一主義の是非・大御所三菱一派の匙を投ぐ・皇室重きか一身の栄達重きか・政権の素通りは殆んど的確となった
- 18 亡国的党争を排し天皇中心政治を高調す 国体擁護同盟本部 昭和三年 活版
- 19 峯堂座談 戊辰倶楽部 昭和三年 活版 一冊 無意義な政権争奪を排し国難の救済の急務を力説す
- 20 民政党の所謂曝露戦術は当さに売国的行動なり 対支外交研究会 昭和四年一月 活版
- 21 民政党の宣言及び綱領は共産思想なり 日高瓊々彦 昭和四年二月 活版
- 22 三教画一は不徹底なる宗教政策なり 宗教団体法案反対仏教徒同盟近角常観 昭和四年三月二日 活版
- 23 謹んで政友会諸賢に告ぐ 亜細亜文化連盟本部細井肇 昭和四年三月 活版 同文二冊
- 24 憲法上の信教自由 宗教団体法案反対各派連合基督教同志会日疋信亮 昭和四年三月 活版 一冊 憲法学者の定説及欧米の宗教立法例
- 25 一山秘話 前代議士川村数郎 昭和四年三月 活版 同文二冊第一版に対する各方面よりの所感・地租委譲に対

する原総裁の真意・高等学校増設に対する原総裁の趣旨・財政経済調査会の設立・義務教育費国庫負担問題・元手入らずの大儲け・始めて聞く原総裁の嘆声・地租問題の結末と原総裁最終の演説・郡制廃止に関する原総裁の意見の一部・附言

- 26 久原通相問題堀切代議士の演説 元代議士菊池武徳 昭和四年四月 活版
- 27 立憲民政党の政綱政策と時事問題に対する主張 立憲民政党 昭和四年五月 活版
- 28 満州某重大事件責任者処罰に就て勅令違反問題 護国同人社 昭和四年八月二五日 活版 一冊 宇垣陸相の責任 田中白川両大将の違勅
- 29 卑劣極まる政友会の非国民的組織的陰謀 政界廊清連盟 昭和四年一二月 活版
- 30 政党亡国論 日本社会問題研究所所長大井一哲 昭和五年一月 活版
- 31 兄弟牆に聞くな 関東玄洋社長山内盛久 昭和五年一二月八日 活版
- 32 第五九議会に於ける国務大臣に対する余の質疑 衆議院議員松岡洋右 昭和六年四月 活版 一冊 (付) 日本と満蒙・満蒙問題の考察・外交の更新と満蒙問題
- 33 故原白頭宰相の思い出 八角三郎 昭和六年一月 活版
- 一二九、 外交・軍事・移民
 - 1 対外国策の民衆化 海軍大佐加藤壯太郎 日本移民協会 昭和二年二月 活版 同文二冊
 - 2 海国大八洲 新進闊歩の面影 西師意 昭和二年九月 活版
 - 3 軍人鑑・西師意 昭和二年一〇月 活版 一冊 乃木一代記
 - 4 殉国志士横川省三君小伝 横川省三君銅像建設会 昭和二年一〇月 活版 一冊 (付) 横川省三君銅像建立設計概要・銅像建設資金募集規程・憂国志士横川省三君銅像建設趣意 活版 三枚
 - 5 義勇艦隊の後身 前代議士八田裕二郎 昭和二年一二月 活版
 - 6 三国会議の真相 細井肇 昭和二年一二月 活版 一部
 - 7 国際連盟総会と欧州の不安 軍縮会議全権随員丸山鶴吉 新日本同盟調査部 昭和二年 活版
 - 8 私が視た東アフリカ 大山卯次郎 日本移民協会 昭和三年五月 活版
 - 9 宣言 新東亜会 昭和四年三月 活版 一冊 (付) 規約
 - 10 軍部大臣文官制に就て 貴族院議員志水小一郎 昭和四年三月 活版
 - 11 帝国在郷軍人会概要 帝国在郷軍人会本部 昭和四年四月 活版
 - 12 啓明会第三一回講演集 貴族院議員藤村義朗 昭和四年五月六日 活版 一冊 欧米視察談
 - 13 人口問題解決策と世界漫遊の結論 畑桃作 昭和四年五月 活版
 - 14 世界の大勢と国民の覚悟 米田実 中央教化団体連合会 昭和四年一〇月 活版
 - 15 再び太平洋會議に就て 副島道正 昭和四年一二月二日 活版 一綴 「外交時報」五九九号掲載
 - 16 太平洋會議に就て 東亜經濟調査局理事副島道正 昭和四年一二月 活版 一冊 太平洋會議と移民問題・再び太平洋會議に就て・三たび太平洋會議に就て
 - 17 太平洋會議と移民問題 副島道正 活版 一綴
 - 18 啓明会第三四回講演集 昭和四年一二月八日 活版 一冊 木村増太郎「満蒙の經濟的価値」 南郷次郎「軍縮會議の開かるるに臨みて」
 - 19 米支に媚びて日本を罵倒した怪言論 副島道正 昭和四年 活版 一綴 三たび太平洋會議に就て
 - 20 太平洋會議に就て高木教授に答う 副島道正 昭和四年 活版 一部
 - 21 党人外交を戒む 埴原正直 昭和四年 活版 一綴

- 22 日本海海戦二十有五年 徳富蘇峯 昭和五年五月 活版 一部
- 23 軍備縮小問題と国際連盟 宇治田直義 外交時報社 昭和五年一二月 活版
- 24 沈勇噫佐久間艦長 国本協会 昭和五年 活版 一冊 殉難第二〇周年記念
- 25 軍務大権の輔弼機関と国務大臣 松本重敏 活版 一冊 統治権の発動・統治権発動の輔弼・軍務大権・結論
- 一三〇、財政・金融
 - 1 金解禁に就て 郷誠之助 昭和二年二月 活版 一冊 総説・金輸出禁止の損害を明にす・金解禁の影響を究め解禁反対論を駁す
 - 2 財界の廓清 金城外史 昭和二年九月 活版 一冊 国家急迫の要求
 - 3 金輸出解禁是非 矢野恒太 昭和三年 活版 一冊 財界の不安・兌換制度と外国為替のこと・解禁問題の由来・平価解禁論・非解禁論・新平価解禁論・漸進的平価解禁論・解禁の準備・金の流出・気迷の相談
 - 4 地租委譲論 松田雪堂 財政経済政策学会蔵版 昭和三年一月 活版 一冊 地租とは何んなものか・地租委譲の意義・地租委譲の起源・地租委譲の目的・地租委譲の主体・地租委譲の方法・地租委譲の方法・地租委譲の財源・地租委譲の反対論・プロシヤの地租委譲・地租委譲と教育費国庫負担
 - 5 金解禁実現準備の促進 日本貿易協会経済調査会 昭和三年四月 活版 一冊 緒論・金解禁問題の回顧・金解禁問題の現状・金解禁実現の準備・結論
 - 6 思想問題から田中首相に地租委譲の■棄を勧む 貴族院議員菅原通敬 昭和三年六月 活版
 - 7 譲租問題に関する石坂農学博士、土方経済学博士の論文 祖国同志会調査部 昭和三年 活版 一冊 地租委譲を断行すべき理由（石坂橘樹） 地租営業収益税委譲の可否（土方成美）
 - 8 地租委譲は農漁山村を禍し国民負担の衡正を害す 衆議院議員中村継男 昭和四年 活版
 - 9 税制並に町村制改正に関する意見 全国町村長会 昭和四年二月 活版 一冊 税制に関する件・町村制に関する件
 - 10 国民経済の立直しと金解禁の決行に就て国民に訴う 大蔵大臣井上準之助 昭和四年七月二四日 活版
 - 11 増税反対論 斯くすれば増税の必要がない 田川大吉郎 市政講究会 昭和四年一二月 活版 一冊 東京市の増税案概評・市民は閉店するか破産するか・昭和五年度の新增税収入には多分の疑いをもつ・本税と附加税は並行すべきもの・借金の据置きは相談は出来ないか・増税はせずとも処置はつく・堀切市長の再度の案にも服し難い
 - 12 再び国税地方税整理案を評す 衆議院議員勝正憲 活版
 - 13 財政振興策に就て 経済制度研究会 昭和五年七月一五日 活版 一冊 有力銀行は速に連盟して常設的産業振興団体を作るべし・公営事業の計画に当って予め商業的審査を行ひ且つ其経営を商業化すべし
 - 14 財政立直しの一策税制改革論 矢野恒太 昭和五年八月 活版
 - 15 経済国難問答 菊池武徳 昭和五年九月 活版 一冊 日米両国の経済的協力実現
- 一三一、産業・交通・労働
 - 1 産業合理化問題 日本貿易協会経済調査会 昭和三年三月 活版 一冊 カルテルと産業合理化運動
 - 2 銀行土曜半休反対理由書 銀行土曜半休撤廃期成同盟会 昭和三年七月七日 活版
 - 3 工場法改正私見 滝川定次 昭和三年一二月 活版
 - 4 欧米航空輸送事業の現況 日本航空輸送株式会社社長西野恵之助 昭和四年三月 活版
 - 5 水産立国策の提唱 東京商工会議所議員後藤杉久 昭和四年六月 活版
 - 6 鉄鋼に関する統計表 製鉄所 昭和四年一二月 活版 一冊 本所生産額表・本所鋼材一睡当石炭使用額表・本所職工延一人当鋼材生産高表・本邦銑鉄需要額表他
 - 7 産業合理化 第一輯 日本商工会議所 昭和五年一二月 活版

一三二、中国

- 1 満州に於ける金貨と銀貨 満鉄鉄道部嘱託渡辺精吉郎 満蒙研究会 昭和二年三月 活版 一冊 在満邦人経済界の衰微した理由
- 2 支那の動乱に直面して 国士同盟会 昭和二年四月 活版 一冊 支那動乱に関する上院の緊急質問と応答・国政振作建議案議事中的対支外交振作の言論
- 3 図什業図王旗事情 南満州鉄道株式会社庶務部調査課 昭和二年一〇月 活版 一冊 蒙古に対する一般考察・図什業図旗の沿革及政治一般・地理・一般経済・農業・牧畜・地質及応用地質・付録
- 4 北満金融事情(中) 小田切政孝 亜細亜パンフレット刊行会 昭和二年一二月一日 活版 一冊 貨幣取引所・錢舗・哈大洋の経過・日貨排斥当時に現れたる資料
- 5 啓明会第二十三回講演集 笹川潔 昭和二年一二月二八日 活版 一冊 支那動乱の回顧
- 6 声明 東亜連盟義会 昭和三年三月 活版 一冊 欧州大戦以後世界の競争
- 7 日支未解決懸案顛末 哈爾濱在住邦人有志大会 昭和三年五月 活版 一冊 前言・決議文・市会解散・土地問題・金円排斥
- 8 革命禍に悩む支那 愛国社パンフレット第一輯 三谷亨訳 昭和三年七月 活版 一冊 『東方雜誌』第二四卷二一號「紅槍会的起源及其善後」翻訳
- 9 新支那と対満蒙政策 首藤雄平 昭和三年八月 活版 一冊 支那民族性と王道と霸道・有色民族の現状と日本の使命・王道と労農主義と有色人種の団結他
- 10 同沢主義 菊池武徳 昭和三年九月 活版 一冊 三民主義を排す
- 11 近二十年來の支那外交 王正廷起稿 天彰生訳述 昭和三年一〇月 活版 一冊 支那二十年來の外交大要及び対外思想
- 12 日本の対支使命 川崎万蔵 昭和三年一一月 活版 一冊 日支共存同盟の期待
- 13 田中外交の惨敗 中野正剛 昭和三年一二月 活版
- 14 田中内閣対支外交の総決算 小林俊三郎 国民外交協会 昭和四年三月 活版 一冊 緒言・失敗と行詰り、排日排貨の現状・現状打破の道如何・田中内閣打倒の理由(付) 国民外交協会小史
- 15 日本人の注意すべき支那交際上の習慣 満蒙パンフレット第一号 中日文化協会 昭和四年四月 活版 一冊 日常の挨拶・初対面の挨拶・訪問他
- 16 満蒙より何を期待すべきか 満蒙パンフレット第二号 野中時雄 中日文化協会 昭和四年五月 活版 一冊 満蒙の広袤と人口・清蒙の資源・我国衣食住料問題と満蒙の資源
- 17 渤海の上京竜泉府に就いて 鳥山喜一 昭和四年六月 活版 一冊 踏査報告
- 18 中華党国の裸体を見よ 白逾桓 昭和四年六月 活版 一冊 中国国民党の自殺
- 19 支那事情講習録 東亜同文会調査編集部 昭和四年六月 活版 一冊 開会の辞(近衛文麿) 近代支那の文化生活(内藤湖南) 儒道二教の比較研究(宇野哲人) 支那の北族諸朝と漢文明(羽田亨) 最近支那の社会と大同思想(松井等) 西藏問題(矢野仁一) 満蒙問題の新研究(一宮房治郎) 支那の治外法権撤廃問題に就て(馬場敏太郎) 軍事上より観たる支那の現状(松井石根) 近代支那の政治革命運動(大西齊) 日支実業関係に就いて(白岩竜平) 国民政府の財政と国債整理(根岸信) 唐代に於ける西來の三宗教(石田幹之助)
- 20 明代支那に於ける西洋学術紹介の偉勲者 満蒙パンフレット第三号 徐宗沢 中日文化協会 昭和四年六月 活版 一冊 緒言・地理学・天文学・数学一神哲学・結論
- 21 商租権に就て 満蒙パンフレット第四号 松本侠 中日文化協会 昭和四年七月 活版 一冊 商租権獲得の由来・商

祖権の意義他

- 22 仲仕（積卸）苦力の研究 満蒙パンフレット第五号 上杉益喜 中日文化協会 昭和四年八月 活版 一冊 華工問題・一般貨物積卸仲仕・苦力と作業請負会社
- 23 墓穴を急ぐ奉天政権 満蒙研究会 昭和四年九月 活版 一部 金融問題
- 24 日支蒙親善 日支蒙協会 昭和四年九月 活版
- 25 満蒙に於ける日支経済提携の根本義 満鉄副社長松岡洋右 昭和四年 活版 一冊 満蒙開発の国際主義的意義・日露戦争と満州・満州の過去及現在・日本と満州・日支経済提携策
- 26 国民の声 王朝佑 中華民国一九年 活版 一冊（付）村山正隆送付書 昭和五年 謄写 二枚
- 27 満蒙開発の最要義 磯部検三 昭和五年四月 活版 一冊 方策に関する一般考案
- 28 昭和製鋼所私議 篠塚嘉郎 昭和五年四月 活版 一冊 満州か朝鮮か・鞍山か大連か
- 29 支那人の見た日本の満蒙政策 日華倶楽部 昭和五年六月 活版 一冊 序言・例言・原序四種・田中義一上日皇之奏章
- 30 南北支那及満州視察報告 東亜調査会 昭和五年一〇月 活版 一冊 南方支那・北方支那・満州（付）東亜調査会決議他
- 31 商租問題は何処へ行く 川村宗嗣 昭和五年一〇月 活版 一冊
- 32 蒙古王公説法要綱 高鍋日読 大亜細亞民族会 昭和六年一月 活版 一冊 日持上人入蒙の大精神を活現すべき先決問題
- 33 清朝学術源流概略 満蒙パンフレット第一五号 羅振玉 中日文化協会 昭和六年一月 活版 一冊 清朝学術の淵源・流派・学者の研究方法及び得失
- 34 満蒙問題序説 明治の国是に還えれ 外交時報社長兼主筆半沢玉城 昭和六年二月 活版 一冊 満蒙の排日概観・現在の儘での折衝は徒勞・先ず廟議を決して断固たる決意を示せ・寛容政策が支那に禍いす・満蒙紛糾の二大原因・満蒙投資は米國資本家の錯覚・日本は斯く欧米を誘導せよ・満蒙問題は東洋平和の鍵・附言
- 35 革命的支那外交と日本 内藤隈南 昭和六年二月 活版 一冊 支那問題と国民生活・現在支那の真実相・南京政府の内外新政策・新国定税率と厘金廃止・支那の満鉄包囲政策・漢口租界回収問題・対支国論先鋭化の急務（付）冬の支那
- 36 支那を当てにする勿れ 半沢玉城 活版 一綴 濟南事件解決後の日支関係
- 一三三、ロシア
 - 1 ソヴェト連邦漁業労働に関する団体契約の実例 露領水産組合 昭和三年二月 活版
 - 2 日露協会報告（露紙抄訳） 日露協会
 - (1) 日露協会報告第四一号 昭和四年一月 活版 一冊 蘇連邦民間飛行と其計画・獣骨の対日輸出問題・日英協会と合衆国・芸術座の三〇周年を迎えて
 - (2) 日露協会報告第四二号 ソヴェト連邦の国際関係他 昭和四年二月 活版
 - (3) 日露協会報告第四三号 蘇連邦とアメリカとの経済関係他 昭和四年三月 活版
 - (4) 日露協会報告第四四号 ソ連邦一九二六年の国勢調査に就て他 昭和四年四月 活版
 - (5) 日露協会報告第四五号 社会主義的建設の成功と困難他 昭和四年五月 活版
 - (6) 日露協会報告第四六号 英国実業団訪露他 昭和四年六月 活版
 - (7) 日露協会報告第四七号 ロシア共和国の内情他 昭和四年七月 活版
 - (8) 日露協会報告第四八号 ソ連邦の都市公益事業利権計画他 昭和四年八月 活版

- (9) 日露協会報告第四九号 ソヴェート連邦の国内問題他 昭和四年九月 活版
- (10) 日露協会報告第五二号 昭和四年一二月 活版
- (11) 日露協会報告第五四号 昭和五年二月 活版
- (12) 日露協会報告第五六号 昭和五年四月 活版
- (13) 日露協会報告第五七号 昭和五年五月 活版
- (14) 日露協会報告第五八号 昭和五年六月 活版
- (15) 日露協会報告第六一号 昭和五年九月 活版
- (16) 日露協会報告第六二号 昭和五年一〇月 活版
- (17) 日露協会報告第六四号 昭和五年一二月 活版
- 3 対露政策の樹立 新東亜会会報付録 昭和四年一月 活版 一部
- 4 露領漁業権益の危機を訴う 露領漁業権益擁護同盟北洋倶楽部 昭和四年四月 活版
- 5 露領漁区紛糾問題を解決せよ 第一輯 東方アジア調査団 昭和四年四月 活版
- 6 露領漁区問題の真相 日露貿易通信社 昭和四年四月 活版 一冊 島徳陰謀計画の内幕
- 7 露領漁業権益の一大危機 九州時論社 昭和四年四月 活版 一冊 露人と通謀して私利を図る非国民的徒輩の行為を糾弾
- 8 金権政治と日露漁業場問題 三井熊太郎・昭和四年四月 活版
- 9 重大化する露領漁業問題を検討して我権益の確保を全国民に訴う 国際産業助成同盟 昭和四年四月 活版
- 10 露領漁業権益に就て識者の考察に訴う 北洋倶楽部 昭和四年四月 活版
- 11 露領漁業権益保持に就て謹で邦家の重臣に奉つる 北洋倶楽部 昭和四年四月 活版
- 12 対露支時局考察 森御蔭 昭和四年八月 活版
- 13 タワリツシ八一八号とは何人ぞ 対露断交期成同盟 昭和四年 活版 一冊 国際共産党と中野正剛の関係
- 14 対露断交の檄 愛国社パンフレット第三輯 昭和五年三月 活版
- 15 日露戦争の世界史的意義 国民戦線小冊第一冊 満川亀太郎 昭和五年五月 活版
- 16 第一六回共産党大会に於けるスターリンの演説 日露協会 昭和五年八月 謄写 一綴 世界資本主義恐慌の成長とソ連邦の対外情勢・社会主義的建設の成長的昂揚とソ連邦の国内情勢・党
- 17 露支の経済的躍進に対する吾人の憂患 田中末広 昭和五年一二月 活版
- 一三四、思想、倫理
 - 1 修養団関係
 - (1) 修養団後援会要覧 修養団後援会 昭和二年四月 活版 一冊 趣意書・規則・役員・使命他
 - (2) 白色倫理運動の実際化 其一 修養団後援会 昭和二年七月 活版 一冊 はしがき・東洋紡績姫路工場と修養団・大阪に於ける朝野の名士と修養団・帝国海軍と修養団・修養団と後援会の概要
 - (3) 白色倫理運動の実際化 其二 修養団後援会 昭和三年一月 活版 一冊 はしがき・朝鮮に於ける修養団・満州に於ける修養団・朝鮮満州と後援会・修養団と後援会の概要
 - (4) 白色倫理運動の後援 修養団後援会 昭和三年一〇月 活版
 - (5) 救国運動と明魂の結盟 蓮沼門三 修養団 昭和四年二月 活版
 - (6) 救国運動と教化総動員 蓮沼門三 修養団 昭和四年八月 活版
 - (7) 救国運動と教化総動員 蓮沼門三 修養団 昭和四年一〇月 活版
 - (8) 修養団概要 昭和五年五月 活版 一冊 修養団の精神・修養団の事業

(9) 同胞愛の实行 蓮沼門三 活版

- (10) 愛と汗 第四卷・第五卷 修養団 昭和四・五年 活版 一三冊
- (11) 白ゆり 第二卷第二号 修養団 昭和五年 活版
- 2 赤の真相 内藤隈南 アジアパンフレット刊行会 昭和二年一〇月 活版
- 3 忠勇顕彰会講演 会頭九鬼隆一 昭和二年一〇月九日 活版
- 4 至誠教の教理 後藤武夫 日本魂社 昭和二年一一月 活版
- 5 皇権論 土田亦次郎 昭和二年一二月 活版 一冊 序言・皇室中、心主義・排民主主義・国体の異説 '皇権の障害・回天策・結論
- 6 昭和維新実現の具体的方策に関する意見 日本魂社長後藤武夫 昭和三年四月 活版
- 7 社会思想の発生 深作安文 中央教化団体連合会 昭和三年七月 活版
- 8 警世慨言 岸原鴻太郎 黒竜会出版部 昭和三年一一月 活版 一冊 東洋諸学の神髓・現代世相の警策・政治教育及医論
- 9 国民総動員の秋 梶井盛 昭和四年二月 活版 一冊 政党の拝金主義・新聞社及記者の墮落・教育家の思想錯誤・法学思想の道德破壊
- 10 全国有志大会 大日本国粹会革新連盟本部 昭和四年四月 活版 一冊 経過報告
- 11 大日本帝国の国体 後藤武夫・芳井直利 日本魂社 昭和四年九月 活版
- 12 赤禍とは何ぞ 諏訪部一之輔 昭和四年九月 活版
- 13 笹 昭和五年日本帝国之気運 洗心学堂 昭和四年一二月 活版 一綴
- 14 昭和維新の大国是 鈴木梅四郎 昭和四年一二月 活版 一冊 帝国文化協会の主義綱領に就て (付) 平和的世界統一政策
- 15 天皇政治の本義に復れ 勤皇連盟出版部 昭和五年二月 活版
- 16 現代に於ける我国農村事情とその対策 教化資料第一〇〇輯 東郷実 昭和五年七月 活版
- 17 皇室尊厳 福井県大野郡小山村皇室尊厳普及会 昭和五年一二月 活版
- 18 国家統制の経済的進出 中野正剛 昭和五年七月 活版
- 19 精神論 芝田昌 昭和五年一〇月 活版 一冊 教育に関する勅語四〇年を記念し奉りて
- 20 立極論 加藤房蔵 昭和五年六月 活版 一冊 国体の真意
- 21 大化会の本領 大化会 昭和五年 活版
- 22 左傾主義対案 増島六一郎 昭和六年三月 活版
- 一三五、その他
 - 1 堺鉄砲記念碑由来書 柳原吉兵衛 昭和三年春 活版 三部
 - 2 旧仙台藩主伊達伯爵家陞爵の儀に付御願 高橋是清・斎藤実・後藤新平 宮城県知事・内務大臣・内閣総理大臣・宮内大臣宛 昭和三年七月 活版
 - 3 有馬伯を会長とする震災共同基金の募集に青年団の参加を不可なりとするの議 日本魂社長後藤武夫 昭和四年八月 活版
 - 4 新日本の回顧 エス・エイチ・ウエンライト 昭和五年九月二八日 活版 一綴